

取扱説明ガイド

液晶カラーテレビ 形名 LC-60XL20/LC-52XL20/LC-46XL20



取扱説明ガイドの使いかた

- **?**ボタンを押すと取扱説明ガイドが開きます。
- **○**ボタンを押すとカーソルが移動します。
- **決定**ボタンを押すと選択したページが開きます。
- **戻る**ボタンを押すと前に見たページに戻ります。
- **青**ボタンを押すと「故障かな？」のページが開きます。
- **赤**ボタンを押すと「索引」のページが開きます。
- **緑**ボタンを押すと前ページが開きます。
- **黄**ボタンを押すと次ページが開きます。
- **終了**ボタンを押すと取扱説明ガイドが終了します。

お知らせ

- インターネット、コンテンツマネージャー、録画リスト(全画面)を使用中は、取扱説明ガイドを表示することができません。
その他の入力に切り換えたあと操作してください。
- 取扱説明ガイドに掲載しているイラストは説明用のものです。
実際の表示とは多少異なることがあります。
- 特に機種名を明示している場合を除いて、LC-60XL20を例にとって説明しています。
LC-52XL20、LC-46XL20は外形寸法などは異なりますが使いかたは同じです。

1. はじめに
 - 1-1. 安全上のご注意
 - 1-11. 使用上のご注意
 2. 各部のなまえ
 - 2-1. 本体各部のなまえ
 - 2-7. リモコンボタンのなまえ
 - 2-11. リモコン番号とは
 3. ふだんの使いかた
 - 3-1. ふだんの使いかた
 - 3-3. 食糧系の使いかた
 - 3-8. 視聴中の便利な機能
 - 3-39. タイマー機能を使う
 4. メニュー操作
 - 4-1. ホーム画面の使いかた
 - 4-3. 設定メニューの使いかた
 - 4-4. 設定メニュー項目の一覧
 - 4-67. タールメニューの使いかた
 - 4-68. タールメニュー項目の一覧
 - 4-80. 文字を入力する(ソフトウェアキーボード)
 5. 3D機能
 - 5-1. 3Dメガネの使いかた
 - 5-3. 3D映像を視聴する
 - 5-22. 3D視聴時の設定
 6. コンテンツマネージャー
 - 6-1. コンテンツマネージャーをお使いになる前に
 - 6-12. 写真を楽しむ
 - 6-28. 音楽を楽しむ
 - 6-31. 動画を楽しむ
 7. USBハードディスク
 - 7-1. USBハードディスク(市販品)の準備をする
 - 7-9. USBハードディスクの名前を変えたいときは
 - 7-10. USBハードディスクを省エネで使うには
 - 7-11. USBハードディスクを取りはずすときは
 - 7-12. 本機に登録したUSBハードディスクの登録を削除するときは
 - 7-14. 録画するときに自動的にに入るチャプター間隔を変えたいときは(オートチャプター設定)
 - 7-16. 録画をする前にお読みください
 - 7-23. USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する
 - 7-46. 予約の確認・取り消し・変更するには
 - 7-52. USBハードディスクに録画した番組を再生する
 - 7-59. 再生時の操作
 - 7-65. USBハードディスクに録画した番組の管理
8. ネットワーク
 - 8-1. 双方向通信/インターネット/ホームネットワークの準備をする
 - 8-27. インターネットに接続できない場合は
 - 8-33. 双方向サービス/インターネット/ホームページへの接続を制限する
 - 8-37. インターネットを楽しむ
 - 8-50. IPTV(ひかりTV)を視聴するための準備
 - 8-60. IPTV(ひかりTV)を見る
 - 8-72. 携帯端末を使ってホームネットワークで映像・写真・音楽を楽しむ
 - 8-76. AQUOSインフォメーションを表示する
 9. ファミリンクや他機器
 - 9-1. ファミリンク対応機器をつなぐ
 - 9-5. 4K2K出力対応機器をつなぐ
- 9-7. ファミリンクで使う
 - 9-38. スマートフォンをケーブルでつなぐ
 - 9-41. レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ
 - 9-57. オーディオ機器をつなぐ
 - 9-58. スマートフォンなどをMiracastでつなぐ
 - 9-62. スマートフォンなどをBluetoothでつなぐ
 - 9-67. 携帯端末などに表示される本機の機器名を変更する
 - 9-68. パソコンとつなぐで使う
10. 放送の設定と種類
 - 10-1. デジタル放送の受信の設定を個別に行なうときは
 - 10-17. 放送の種類について
11. 故障かな?
 - 11-1. 故障かな?と思ったら
 - 11-42. エラーメッセージが出たら
 - 11-60. こんなときは
12. 仕様や索引など
 - 12-1. おもな仕様について
 - 12-5. 別売品について
 - 12-6. 本機で使用している特許など
 - 12-9. 用語の解説
 - 12-16. 索引
13. English Guide
 - 13-1. Part Name
 - 13-4. Switching the Display Language to English
 - ホーム画面などの言語を英語にする
14. お問い合わせ
 - 14-1. お客様ご相談窓口のご案内
 - 14-4. 保証とアフターサービス

はじめに

安全上のご注意

本機をお使いになる前に必ず読み、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容をつぎのように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

	気をつける必要があることを表しています。
	してはいけないことを表しています。
	しなければならないことを表しています。

警告

	異物を入れない 通風孔(裏ぶたのすき間)などからもの(可燃性・導電性のものを含む)を入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。
	電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない 火災・感電の原因となります。
	不安定な場所に置かない 落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

安全上のご注意

 警告

 禁止	電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。
 禁止	電源コードに重いものを載せない 火災・感電の原因となります。
 分解禁止	本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない 内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

 水ぬれ禁止	本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない 水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。
 水ぬれ禁止	台所や屋外など、テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない 火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
 風呂、シャワー室での使用禁止	本機を風呂やシャワー室のような湿気の多いところで使用しない 火災・感電の原因となります。
 電源プラグを抜く	落としたり、キャビネットを破損したときは、電源プラグを抜く そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

安全上のご注意

 **警告**

 電源プラグを抜く	<p>煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源プラグを抜く</p> <p>異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。</p> <p>お客様自身による修理は絶対におやめください。</p>
 電源プラグを抜く	<p>内部に水や異物、または虫などが入ったときは、電源プラグを抜く</p> <p>そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。</p>
 接触禁止	<p>雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない</p> <p>感電の原因となります。</p>
 禁止	<p>使用中に本機を布や布団などで覆ったり包んだりしない</p> <p>熱がこもって、火災の原因になります。</p>

 禁止	<p>異常に温度が高くなるところには置かない</p> <p>特に真夏の車内や車のトランクの中は、想像以上に高温になります。本機を絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。</p> <p>また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。</p>
 指示	<p>本機を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがあるので注意する</p> <p>長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となることがあります。特に肌の弱い方はご注意ください。</p> <p>本体内部の発熱により、部分的に表面が熱くなることがあります。本体操作ボタンを操作する際や、外部機器を接続する際はご注意ください。</p>
 禁止	<p>無線LAN機能は病院内で使用しない</p> <p>医療機器の誤動作の原因となることがあります。</p>
 距離に注意する	<p>無線LANを使用するときは心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する</p> <p>電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。</p>

安全上のご注意

 注意

免責事項

お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

 離して配置	アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。 BS・110度CSデジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。
 禁止	風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

 禁止	重いものを置いたり、上に乗ったりしない 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。
 禁止	液晶画面に衝撃を与えない(物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない) 液晶画面のパネルが割れることができます。
 注意	通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く内部の掃除は販売店に依頼する 内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。
 電源プラグを抜く	お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く 感電や火災の原因となることがあります。

安全上のご注意

 注意

	<p>接続線をはずす</p> <p>移動させるときは、接続されている線などをすべて外す</p> <p>接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>ぬれ手禁止</p> <p>ぬれた手でコンセントに触れたり、電源プラグを抜き差ししない</p> <p>感電の原因となります。</p>
	<p>禁止</p> <p>電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない</p> <p>発熱して火災の原因となることがあります。</p> <p>販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。</p>

	<p>確実に差し込む</p> <p>電源プラグは確実に差し込む</p> <p>電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですると発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。</p>
	<p>禁止</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない</p> <p>電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>禁止</p> <p>タコ足配線をしない</p> <p>火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>禁止</p> <p>電源コードを熱器具に近づけない</p> <p>電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。</p>

⚠ 注意

	<p>禁止</p> <p>湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たる場所、または調理器具や加湿器の近く、硫化ガス(H_2S、SO_2)が大気中に含まれる温泉地などには設置しない</p> <p>火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>大気中に含まれる硫化ガス(H_2S、SO_2)に長時間さらされると、硫化により金属が腐食し、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>指示</p> <p>本機は重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行う</p> <p>1人で持ち運ぶと、けがの原因となることがあります。</p>

	<p>健康のために、次のことをお守りください</p> <p>連続して使用する場合は、1時間ごとに10分～15分の休憩を取り、目を休ませてください。</p> <p>新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。</p> <p>日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。</p> <p>この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診察を受けてください。</p> <p>ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。</p>
---	--

安全上のご注意

 注意

アルカリ電池についての安全上のご注意

液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、次の注意事項を必ずお守りください。

	<p>禁止</p> <p>電池は幼児の手の届く所に置かない 電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まつたりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。</p>
---	---

	<p>禁止</p> <p>電池のアルカリ液がもれたときは素手でさわらない 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師と相談してください。</p>
---	---

	<p>禁止</p> <p>電池は火や直射日光などの過激な熱にさらさない。水の中に入れない。加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。</p>
	<p>表示どおりに入れる</p> <p>電池はプラス(+)とマイナス(−)の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる 間違えると電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>
	<p>禁止</p> <p>指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>

安全上のご注意

⚠ 注意

アルカリ電池についての安全上のご注意(つづき)

液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、次の注意事項を必ずお守りください。



指示

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電によりアルカリ液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

保存のしかた

プラス(+)、マイナス(−)の方向をそろえて、低温で乾燥した涼しい場所及び湿気の少ない風通しのよい場所に保存してください。

廃棄のしかた

プラス(+)とマイナス(−)をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

安全上のご注意



別売の3Dメガネ(AN-3DG50)についての安全上のご注意
詳しくは3Dメガネの取扱説明書をご覧ください。



別売の3Dメガネ(AN-3DG50)についての安全上のご注意
詳しくは3Dメガネの取扱説明書をご覧ください。

■ 3D映像の視聴について

3D映像の見え方には個人差があります。



光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人、酒気帯びの人は3Dメガネを使用しない

病状悪化の原因となることがあります。



体調がすぐれないときは、3Dの視聴は控える

3Dメガネで視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、使用を中止するそのまま視聴すると体調不良の原因となることがあります。適度な休憩をとってください。

休憩をとっても疲労感、不快感が取れない場合は、使用を中止してください。



3D映像(映画、ゲーム、パソコン等)をご覧になる場合は、1時間程度を目安に適度に休憩をとる

長時間の視聴による目の疲れの原因となることがあります。

休憩に必要な長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断ください。



3Dメガネを使用しているときに誤ってテレビ画面や人をたたかない

3D映像のため、画面との距離を誤り、画面をたたきがの原因となることがあります。

⚠ 注意



3Dの映像を見るときは3Dメガネを使用する
3Dメガネは、両目を水平に近い状態で視聴する

近視や遠視の方、左右の視力が異なる方や乱視の方は、視力矯正メガネの装着などにより、視力を適切に矯正したうえで3Dメガネを使用する

3Dメガネを装着中も映像が2重に見える状態が続くときは、立体感が感じにくいときは使用を中止する

長時間の使用による目の疲れの原因となることがあります。

横になったり顔を傾けたりすると、映像が暗くなったり、3D効果を感じにくくなったりすることがあります。



3Dの映像を見るときは画面の有効高さの3倍程度の視距離で見る

(推奨距離) :

60V型 2.2m程度

52V型 1.9m程度

46V型 1.7m程度

推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因となることがあります。

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

汚れは柔らかい布(綿、ネル等)で軽く拭きとつてください。ベンジン、シンナーなどで拭いたり、化学雑巾(シートタイプのウエット・ドライのものも含め)を使うと、本体キャビネットの成分が変質したり、塗料がはげたり、ひび割れなどの原因となる場合があります。

硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷ができます。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布(綿、ネル等)をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。

殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

損害について

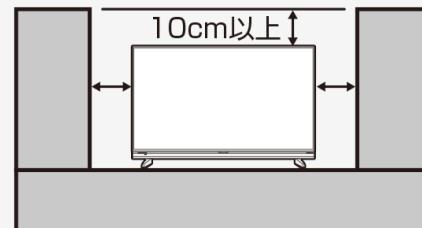
お客さま、または第三者使用によるこの製品の誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、この製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

設置時に関して

本体は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

本体の電源ボタンで電源を切っても、電源コードを接続している場合は微少な電力が消費されています。

本体の上部や左右は、それぞれ10cm以上のスペースを空けて設置してください。



守っていただきたいこと

液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

AQUOSクリーニングクロス 推奨品

24×24cm:CA300WH1※

40×30cm:CA300WH2※

※販売店またはシャープホームページ内のシャープいい暮らしストア(ネット販売)でお求めください。

お手入れの際は、必ず「電源ボタン設定」

(→4-19ページ)を「モード2」にしてから、本体の電源ボタンで電源を「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)やAQUOSクリーニングクロス、または柔らかい布(綿、ネル等)で軽くから拭きしてください。

ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や化学雑巾(シートタイプのウエット・ドライのものも含め)、ティッシュペーパーは使わないでください。ディスプレイパネルの表面がはく離することがあります。

紙や硬い布(ティッシュペーパー、デニム生地など)で拭いたり、強くこすりつけると、素材の硬い繊維でパネル表面に傷がつことがあります。

汚れがひどい場合は、柔らかい布(綿、ネル等)を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。

液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた (つづき)

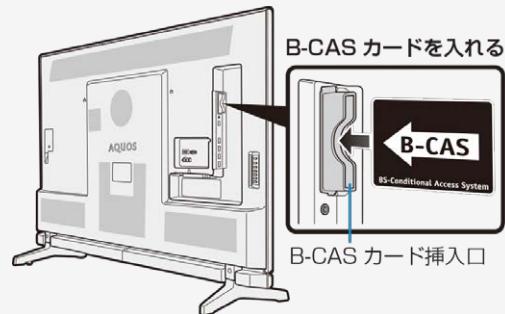
拭く布に、保湿成分や香料など配合されたものを使用しますと、パネル表面のくもり原因となることがありますのでご注意ください。

揮発性の殺虫剤やお菓子などの油脂がディスプレイパネル表面に付いた時は、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布(綿、ネル等)をよく絞り、軽く拭いた後に水拭きを行い、最後にから拭きをしてください。

B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

むやみに抜き差しすると故障の原因となることがあります。

B-CASカードの中にはICチップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないでください。



本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、上図のとおりに挿入してください。

守っていただきたいこと



電源プラグを抜く

長期間ご使用にならないとき

長期間使用しないと機能に障害をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

静止画を長時間表示しないでください

残像の原因となることがあります。

使用が制限されている場所

航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

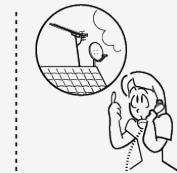
国外では使用できません

この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。(This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

電磁波妨害に注意してください

本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

アンテナについて



妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万ーアンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。

アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線には、必ずBS・110度CSデジタル用アンテナケーブル(市販品)を使用してください。

アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になります。特に強い風の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

使用上のご注意

守っていただきたいこと



注意

使用温度について

周囲温度は0°C~40°Cの範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがあります、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。(使用温度:0°C~40°C)



注意

結露(つゆつき)について

本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。



注意

結露(つゆつき)について(つづき)

本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください
急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

雨天・降雪中でのご使用の場合

雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

直射日光・熱気は避けてください

窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形・変色したり、故障の原因となることがあります。

本体や電池などの部品を、直射日光が当たる場所にさらしたり、火や熱器具などの近くに置かないでください。

守っていただきたいこと

無線LAN使用上のご注意

無線LANをご利用の場合は、電波や個人情報などに関して守らなければならない注意事項があります。

次の内容およびご使用の無線LAN機器の取扱説明書を必ずご覧になり正しくお使いください。

お客様、または第三者使用による誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、この製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いません。

■電波に関する使用上のご注意

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合認証を受けたモジュールを内蔵しています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。

本製品は、技術基準適合認証を受けたモジュールを内蔵していますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解／改造すること
- 内蔵している無線LANモジュールに貼ってある証明ラベルをはがすこと

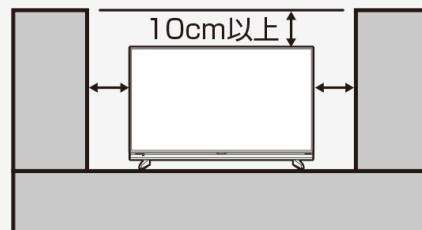
本製品は、次の場所で使用しないでください。ノイズが出たり、送信／受信ができないくなる場合があります。

本機と同じ周波数帯(2.4GHz／5GHz)を利用する無線通信機器であるBluetooth[®](本機と接続する機器を除く)、無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。(環境により電波が届かない場合があります。)

設置の際には以下の点をお守りください。

上部や左右はそれぞれ10cm以上のスペースを空けてください。10cm未満のスペースになると、

Bluetooth[®]、Wi-Fiなどのつながりが悪くなる場合があります。

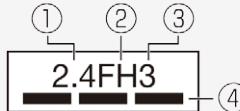


守っていただきたいこと

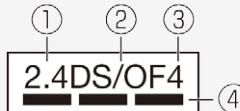
この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、お客様相談センター（⇒ [14-2 ページ](#)）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーテイションの設置など）についてご相談してください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センター（⇒ [14-2 ページ](#)）へお問い合わせください。

・本製品に貼られているラベルの見かたは次のとおりです。



①使用周波数帯域	2.4GHz
②変調方式	FHSS方式
③想定干渉距離	30m以下
④周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能



①使用周波数帯域	2.4GHz
②変調方式	DS-SS方式/OFDM方式
③想定干渉距離	40m以下
④周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

守っていただきたいこと

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n

J52	W52	W53	W56
-----	-----	-----	-----

- W52(5.2GHz帯 36、40、44、48ch)が利用できます。
- W53(5.3GHz帯 52、56、60、64ch)が利用できます。
- W56(5.6GHz帯 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)が利用できます。

※W52／W53は、電波法により屋外での使用が禁止されています。

■個人情報(セキュリティー関連)に関する使用上の注意事項について

無線LAN機器をご利用の場合は、暗号設定有無に関わらず、電波を使用している関係上、傍受される可能性があります。

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用して本機と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、通信内容を盗み見られる／不正に侵入されるなどの可能性があります。

無線アクセスポイントの取扱説明書の手順に従って、セキュリティー設定をおこなった状態で、本機をお使いください。

無線接続設定時に利用権限がない機器およびネットワークとの接続をしないでください。

第三者に譲渡したり廃棄するなどお客様以外の方へ渡る場合は、無線設定情報を初期化してください。(⇒設定メニューの「 (視聴準備)」-「通信(インターネット)設定」-「LAN設定」-「手動設定」-「無線設定」または[4-24](#)ページ(個人情報初期化))

守っていただきたいこと

■その他

一般的な無線LAN機器として、ご家庭宅内でお使いください。

- ・機密を要する重要な通信や、人命に関わる通信など、重要な通信には使用しないでください。
- ・病院内や医療機器のある場所やその近くで使用しないでください。

すべての住宅環境でワイヤレス接続、性能を保証するものではありません。

次のような場合は、電波が届かなくなったり、電波が途切れたり通信速度が遅くなることがあります。

- ・コンクリート、鉄筋、金属が使われている建造物での利用
- ・障害物の近くへの設置
- ・同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉
- ・電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ

本機は次の認証を取得しています。

- ・IEEE802.11a/b/g/n (WPA2™)(Wi-Fiアライアンスの認定プログラム)
- ・Wi-Fi Protected Setup™(Wi-Fiアライアンスの認定プログラム)
- ・Wi-Fi Direct™(Wi-Fiアライアンスの認定プログラム)
- ・Wi-Fi CERTIFIED Miracast™(Wi-Fiアライアンスの認定プログラム)

無線LANを利用するためには無線LANアクセスポイントが必要になります。アクセスポイントの取扱説明書をご覧いただき設置・設定を行ってください。

本機にUSB無線LANアダプターを使用すると電波法に準拠しない電波を発する可能性がありますので、USB無線LANアダプターは使用しないでください。

くわしくは、SHARP Web ページ内のAQUOSサポートページ「Q&A情報」をご覧ください。



AQUOS サポートページ

シャープ お問い合わせ テレビ

検索

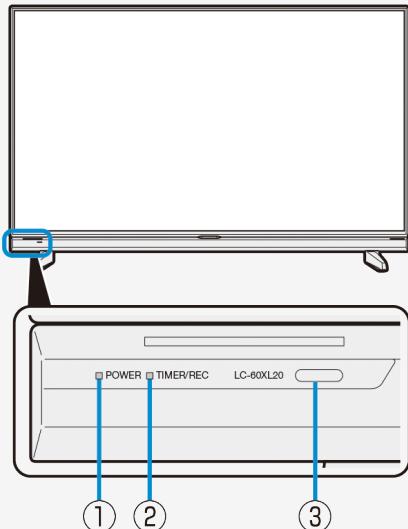
<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>

(スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)

本体各部のなまえ

- LC-60XL20を例に説明していますが、LC-52XL20、LC-46XL20も端子の配置は同じです。

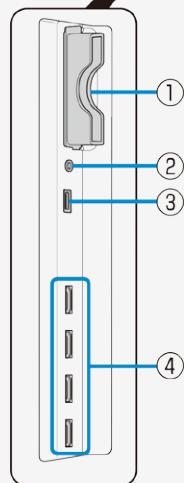
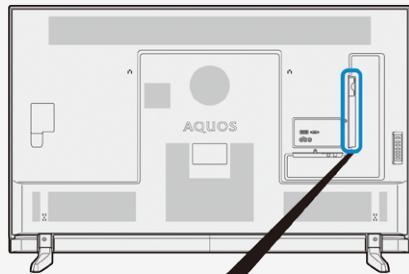
前面



名称		ページ
①	POWER(電源)ランプ <ul style="list-style-type: none">● 緑色点灯:動作状態● 赤色点灯:待機状態● 消灯:電源オフ状態	3-1
②	TIMER/REC(タイマー／録画)ランプ <ul style="list-style-type: none">● 赤色点灯:市販のUSB-HDD に録画中● 橙色点灯:予約やおはようタイマー設定中	3-46 ・ 4-52 ・ 7-30
③	明るさセンサー／リモコン受光部 <ul style="list-style-type: none">● リモコンをここに向けて操作します。	—

本体各部のなまえ

- LC-60XL20を例に説明していますが、LC-52XL20、LC-46XL20も端子の配置は同じです。

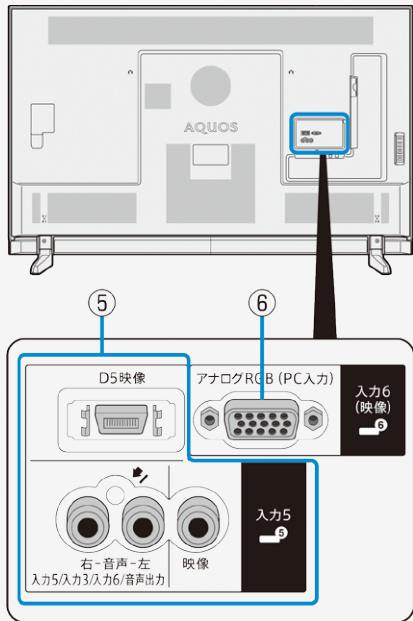


背面

	名称	ページ
①	B-CASカード挿入口	—
②	ヘッドホン端子	4-57
③	USB1端子	6-1
④	入力1～4(HDMI)	9-1～9-6 9-36～9-39 9-41～9-45 9-72～9-73

本体各部のなまえ

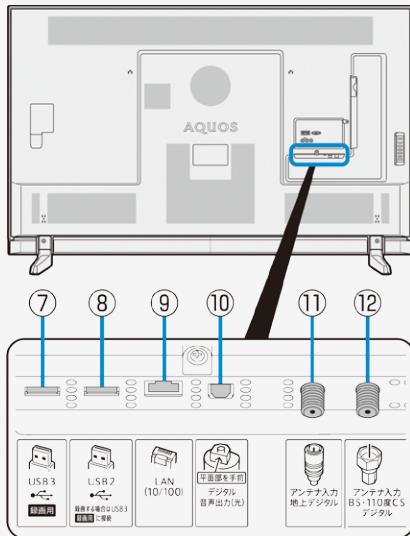
- LC-60XL20を例に説明していますが、LC-52XL20、LC-46XL20も端子の配置は同じです。



背面

	名称	ページ
⑤	⑤ 入力5/入力3/入力6/音声出力 <ul style="list-style-type: none">入力と出力を切り換える端子です。出力に切り換えた場合は、音声のみの出力になります。「入力／音声出力切換」で切り替えます。工場出荷時は入力端子としてはたらきます。映像端子は、入力専用です。	4-58 9-47 9-72 9-73 9-74
⑥	⑥ 入力6(アナログRGB) <ul style="list-style-type: none">パソコンのアナログRGB出力端子とつなぎます。	9-74

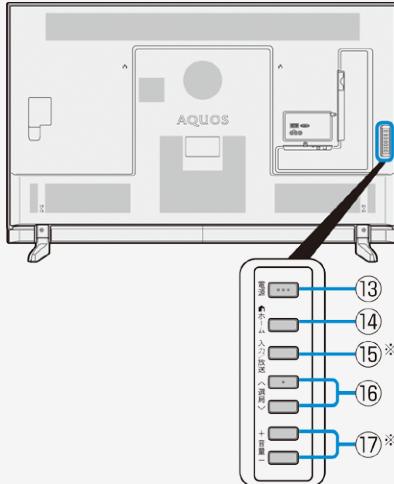
本体各部のなまえ



- LC-60XL20を例に説明していますが、LC-52XL20、LC-46XL20も端子の配置は同じです。

背面

	名称	ページ
⑦	USB3端子(録画用) <ul style="list-style-type: none"> 外付けハードディスクをつなぎます。 USBハードディスク、USBポータブルハードディスクに対応しています。 	7-5
⑧	USB2端子 <ul style="list-style-type: none"> USBメモリーをつなぎます。 USBメモリーに保存した写真・音楽・映像を本機で楽しめます。 	6-1
⑨	LAN端子(10BASE-T／100BASE-TX) <ul style="list-style-type: none"> インターネットや映像配信サービス、IPTV、デジタル放送の双方向通信、ホームネットワークで使用します。(LAN:ローカルエリアネットワークの略称) 	8-8
⑩	デジタル音声出力(光)端子 <ul style="list-style-type: none"> オーディオ機器をつなぎます。 	9-4 9-6
⑪	アンテナ入力 地上デジタル <ul style="list-style-type: none"> アンテナをつなぎます。 	—
⑫	アンテナ入力 BS・110度CSデジタル <ul style="list-style-type: none"> アンテナをつなぎます。 	—



※画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されたときは、本体のボタンで、本体側のリモコン番号を切り換えることができます。

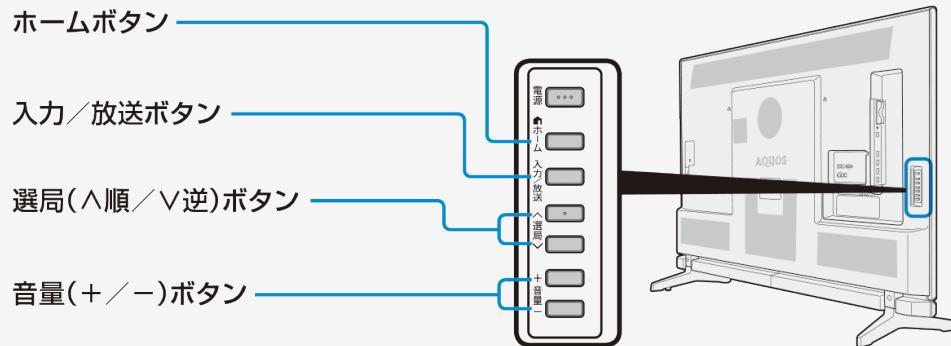
1. 本体の「入力／放送」ボタンを5秒以上押す(本体側のリモコン番号メニューが表示されます。)
2. 本体の「音量(+/−)」ボタンで「1」または「2」を選ぶ
3. 本体の「入力／放送」ボタンを押して決定する

本体各部のなまえ

背面

	名称	ページ
⑬	電源ボタン	3-1
⑭	ホームボタン	4-3
⑮	入力／放送ボタン • ホーム画面を操作するときは、決定ボタンとして使います。	—
⑯	選局(△順／▽逆)ボタン • ホーム画面を操作するときは、上下カーソルボタンとして使います。 • 「△」ボタンは「上カーソル」、「▽」ボタンは「下カーソル」としてはたらきます。	—
⑰	音量(+/−)ボタン • ホーム画面を操作するときは、左右カーソルボタンとして使います。 • 「+」ボタンは「右カーソル」、「−」ボタンは「左カーソル」としてはたらきます。	—

本体のボタンでチャイルドロックを解除する



画面上に「リモコン操作ロック中のため操作できません。」と表示されたときは

本体の操作ボタンで、チャイルドロックを解除してください。

1. 本体のホームボタンを押す
2. 本体の音量ボタンで「設定」を選び入力／放送ボタンを押す
3. 本体の音量ボタンと選局ボタンで設定メニューの「 安心・省エネ」—「チャイルドロック」を選び入力／放送ボタンを押す
4. 「しない」を選び入力／放送ボタンを押す



リモコンボタンのなまえ

ボタン名	ページ
① 電源	3-1
② 番組情報	3-26
③ 画面表示	
• 放送の種類やチャンネルなどの情報を表示	3-34
• 5秒以上長押しするとリモコン番号変更画面を表示	
④ 取扱説明(操作ガイド)	—
⑤ オフタイマー	3-40
2画面	3-11
3桁入力	4-48
3D	5-9

リモコンボタンのなまえ



ボタン名	ページ
⑥ 放送切換 (地上デジタル／BSデジタル／110度CSデジタル)	3-1
⑦ 検索	3-8
⑧ チャンネル(数字) <ul style="list-style-type: none"> チャンネルの選局 IPTV(ひかりTV)の選局 文字や数字の入力、インターネットを見る画面の操作、本機の設定操作にも使います。 	3-1 ・ 8-60
⑨ 音声切換 <ul style="list-style-type: none"> 音声切換ボタンは、IPTV(ひかりTV)のテレビサービスにも使います。 	3-28
⑩ 音量	3-1
⑪ 消音	3-2
⑫ インフォメーション	8-76
⑬ 選局	3-1
⑭ 入力切換 <ul style="list-style-type: none"> ゲーム機、パソコン、コンテンツマネージャーなどの入力に切り換える操作にも使います。 	3-2 ・ 9-50 ・ 9-52 ・ 9-71

リモコンボタンのなまえ



ボタン名	ページ
番組表(予約) • 番組表から行う操作に使います。	3-5 7-29 9-24
⑭ ホーム(インターネット) 裏番組 • 現在放送中の裏番組を表示します。	4-3 3-2
⑮ データ(dボタン)	3-37 8-61
⑯ カーソル(上／下／左／右)／決定 • ホーム画面、文字入力、インターネットを見る画面の操作などに使います。	
⑰ 終了 • ホーム画面、文字入力、インターネットを見る画面の操作などを終了するときに使います。	
⑱ ツール	4-67
⑲ 戻る • ホーム画面、文字入力、インターネットを見る画面の操作などに使います。	

リモコンボタンのなまえ



ボタン名	ページ
⑩ カラー(青／赤／緑／黄) <ul style="list-style-type: none"> 連動データ放送の操作 文字入力の操作 インターネットを見る画面の操作などに使います。 	3-37 4-80
⑪ ファミリンクパネル表示／録画・再生操作	7-23 ～ 7-27 7-54 ～ 7-64 9-18 ～ 9-32 9-36
⑫ 前／早戻し <ul style="list-style-type: none"> いま見ているチャプターの先頭に戻ります。 長押しで早戻しになります。 そのまま押し続けると、速度が速くなります。(4段階) 	
⑬ 早送り／次 <ul style="list-style-type: none"> 次のチャプターを頭出します。 長押しで早送りになります。 そのまま押し続けると、速度が速くなります。(4段階) 早送り1は約1.5倍速の早見・速聞き視聴ができます。 	

リモコン番号とは

- 2台のAQUOSを近くに設置している場合、リモコン操作で2台とも動作してしまうことがあります。
リモコン誤動作の可能性があるこのような使用環境の場合、リモコン番号の設定で、別々の番号に設定しておくと他のAQUOSの誤動作を防ぐことができます。(リモコン番号は、「1」または「2」に設定します。)



本体側のリモコン番号を変更するには

(インターネット)

- ホームを押してホーム画面を表示する
- 上下左右カーソルボタンで「設定」—「視聴準備」—「各種設定」—「リモコン番号設定」を選び、決定を押す
- 「リモコン番号1」または「リモコン番号2」を選び、決定を押す
- 「する」を選び、決定を押す
 - 本体側のリモコン番号が変更されます。この後リモコン側のリモコン番号を変更してください。

リモコン側のリモコン番号を切り換えるには

- 1または2を押したまま、

電源

- …を5秒以上押す

- 本体側で設定した番号に合わせてください。
- リモコンの乾電池が消耗したときや、乾電池を交換したときは、リモコン番号が「1」に戻る場合があります。

リモコン番号とは



リモコン側と本体側でリモコン番号が異なっている場合、下記の操作で本体側のリモコン番号を変更することもできます。

1. を5秒以上押す
2. 本体側のリモコン番号変更画面が表示されたら、左右カーソルボタンで「する」を選び、を押す

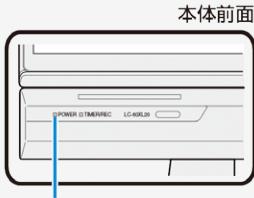
するしない
3. 左右カーソルボタンで「リモコン番号1」または「リモコン番号2」を選び、を押す





1. 電源を入れる

- リモコンの電源ボタンを
押すごとにテレビをつけたり、
消すことができます。
- 本体背面の電源ボタンを押して
「入」にすると、POWER(電源)
ランプが緑色になります。
- 電源ボタン設定が「モード1」になっている場
合は本体の電源ボタンを押して電源を切つ
てもPOWER(電源)ランプは消えません。
⇒「電源ボタン設定」([4-19ページ](#))をご覧ください。



POWER(電源)ランプ

2. 放送(地上デジタル放送/BSデジタル放送/CSデジタル放送)を選ぶ

3. チャンネルを選ぶ

- 選局ボタンまたはチャンネル(数字)ボタンを使って、見たいチャンネルを選びます。
- チャンネル(数字)ボタンは選局番号に対応しています。
- BSデジタル放送視聴中に **BS** を押すと、表示されたBS新サービスの選局が
チャンネル(数字)ボタンで行えます。
※110度CSデジタル放送を初めて選局するときは、
⇒[11-8ページ](#)をご覧ください。

4. 音量を調整する

- 「+」で音が大きく、「-」で音が小さくなります。

ふだんの使いかた



5. 音を一時的に消す

- ・ 消音ボタンを押すと音量が0になります。
- ・ もう一度押すと元の音量に戻ります。
- ・ 消音となってから30分経過すると自動的に音量0になります。この状態から音声を聞くには、音量+ボタンで音量を調節してください。

6. BD/DVDプレーヤー・ゲーム機・PC(パソコン)などの画面に切り換える

- ・ 選択した入力に切り換わります。
(⇒[9-50ページ](#))
- ・ 上下カーソルボタンでも選べます。

7. 番組表で番組を探す

- ・ ⇒[3-3ページ](#)をご覧ください。

8. 裏番組

- ・ 現在放送している番組の一覧を表示します。番組名を選んでチャンネルを切り換えられます。

お知らせ

- ・ 接続している機器や再生するディスクによって入力される音声レベルが異なる場合があります。本機は、入力ごとに別々の音量に設定できます。

ふだんの使いかた

番組表の使いかた

- ・テレビ画面に番組表を表示して、その中から番組を選べます。

番組表の画面例

・選択している日にち／時間帯(AM:午前 / PM:午後)

選んでいる番組の情報

選択中の放送の種類と テレビ／ラジオ／データの種別

予約している番組は
赤くなります。

放送局名(チャンネル名) /
チャンネル番号 /
3桁のチャンネル番号

番組名

見つかる検索(⇒3-7ページ)で検索された番組は、緑・青・黄のいずれかの色になります。

ふだんの使いかた

番組表の使いかた

ジャンルを示すアイコン

	スポーツ
	ドラマ
	バラエティ
	アニメ／特撮
	劇場／公演
	福祉

	ニュース／報道
	情報／ワイドショー
	音楽
	映画
	ドキュメンタリー／教養
	趣味／教育

番組情報を示すアイコン

アイコン	項目
	視聴予約している番組
	ファミリンク録画予約している番組
	USB-HDD録画予約している番組
	自動録画で予約されている番組
	有料放送
	デジタルコピーが禁止されている番組
	デジタルコピーが制限されている番組

お知らせ

番組表の表示のしかたについて

- テレビ放送 … 8日分
- データ放送 … 最低1日分
- 表示時間 … 3時間または6時間
(「文字サイズ設定」により変わります。
⇒右記)
- で番組表の文字の大きさを変更することができます。押すたびに「標準」と「拡大」を切り替えます。
- 「サブチャンネル設定」⇒ [3-7ページ](#)

表示される情報の期間

- テレビ放送 … 8日分
- データ放送 … 最低1日分
- 表示時間 … 3時間または6時間
(「文字サイズ設定」により変わります。
⇒右記)



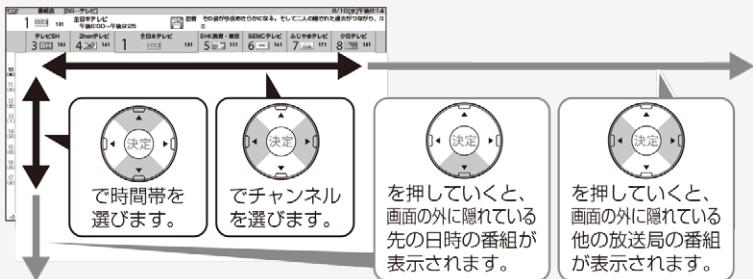
番組表で番組を選ぶ

(予約)

1. [番組表]を押し、番組表を表示する

- [地上] [BS] [CS] を押して、放送の種類(番組表の表示内容)を変更できます。
- 「チャイルドロック」(⇒ [4-45ページ](#))をかけているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。

2. 上下左右カーソルボタンで、見たい番組を選ぶ



- 現在の時間帯よりも前の番組表は表示できません。
- 番組内容が表示されないチャンネルがあるときは、「番組表の更新について」(⇒ [3-6ページ](#))をご覧ください。

番組表の使いかた



番組表で番組を選ぶ

3. **決定**を押す

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだときは録画機器を接続している場合は、「録画機器選択」で設定した機器への録画予約となります。USBハードディスクを接続していない場合は、予約選択画面になります。
予約については
⇒[7-28](#)、[9-24～9-28](#)ページをご覧ください。

番組表の更新について

データ

- 番組表は、チャンネルを選び **④**を押すと更新できます。ただし、地上デジタル放送の番組表は、各チャンネルを個別に更新する必要があります。
- 番組表を更新しているときは、一時的に音声が停止します。
- 検索画面を表示したり、番組表の表示を終了したときは、番組表の更新は停止します。
- 番組表は、電源待機中に自動で取得することもできます。「番組表取得設定」(⇒ [3-5](#)ページ)
- 外部入力で番組表を表示しているときは、番組表の更新はできません。
- デジタル放送録画中は、番組表は更新できません。

番組表の使いかた



番組表の機能メニューの使いかた

- 番組表の文字を大きくしたり、見たい番組の検索、放送の切り換えなどが、番組表の「機能メニュー」で行えます。
- 機能メニューは、番組表を表示させている状態で ボタンを押します。

番組表の機能メニューからできること

機能	説明
日時移動	番組表で表示する日時を素早く選べます。
予約リスト	予約した番組の設定や情報を表示します。
ジャンル別検索	ジャンルで番組を検索できます。
番組詳細検索	特徴やキーワードで番組を検索できます。
見つかる検索	特徴・ジャンル・キーワードを組み合わせた詳しい条件で、番組を検索できます。
放送切換	地上デジタル放送、BSデジタル放送、CSデジタル放送に切り替えます。
テレビ/ラジオ/データ	番組表の、テレビ放送／ラジオ放送／データ放送を切り替えます。
サブチャンネル設定	番組表にサブチャンネルを表示する／表示しないの設定ができます。
表示順設定	番組表のチャンネルの並び順を変えられます。
番組表取得設定	番組表をスムーズに表示させるために、番組表を電源待機中に自動取得するよう設定できます。

視聴中の便利な機能



スマートサーチ(検索機能)を使う

- キーワードを入力し、番組表、録画リスト、Webサイト、YouTube、VOD(レンタルビデオのネットサービス)を検索することができます。
- Webサイト、YouTube、VOD(レンタルビデオのネットサービス)を検索するには、インターネットへの接続が必要です。
⇒[8-3～8-4](#)ページをご覧ください。
- 録画リストを検索するには、USBハードディスクの接続が必要です。
⇒[7-5](#)ページをご覧ください。

キーワードを設定する操作について

1. を押してスマートサーチ画面を表示する

2. テキストボックスを選び、を押す

- 過去にキーワードを入力した場合、検索履歴が表示されます。
- 上下カーソルボタンで検索履歴を選ぶと、選択されたキーワードで検索します。

視聴中の便利な機能



スマートサーチ(検索機能)を使う

キーワードを設定する操作について(つづき)

3. キーワードを入力する

- ・ソフトウェアキーボードを使って、キーワードを入力します。(⇒ [4-80~4-85](#)ページ)
- ・全角20文字まで入力できます。

4. 左右カーソルボタンで検索対象を選び、**(決定)**を押す

- ・決定ボタンを押すと、検索された番組表、録画リスト、Webサイト、YouTube、VOD(レンタルビデオのネットサービス)が表示されます。
- ・インターネットに接続されていない場合は、Webサイト、YouTube、VOD(レンタルビデオのネットサービス)を検索することはできません。
- ・USBハードディスクが接続されていない場合は、録画リストを検索することはできません。

視聴中の便利な機能



スマートサーチ(検索機能)を使う

ホーム画面からスマートサーチ機能を使用する

1. (インターネット)
[ホーム]を押してホーム画面を表示する
2. 上下左右カーソルボタンで「Smart Search(検索)」を選んで **決定** を押す
3. スマートサーチ画面が立ち上がる
• ○を押すと、ホーム画面に戻ります。

視聴中の便利な機能



2画面で見る

本機は2つの異なる映像を同時に表示できます。

1. **2画面**を押し、2画面メニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで表示のしかたを選んで **決定**を押す
 - 2画面表示になります。
 - 「サイズ切換」、「左右入換」は、2画面表示のときに選べます。

2画面で見る

- 2画面のとき、「♪」マークのある操作画面(⇒ [3-18](#)ページ)は、チャンネルや入力の切り換え、音量調整ができます。
- 3D映像の視聴中は、2画面にできません。
- 2番組録画中またはIPTV録画中は2画面にできません。
- コンテンツマネージャーとの2画面はできません。
- 内容によっては、テレビとインターネットを同時に表示することもできます。
- デジタル放送を2画面で表示している場合、データ放送は左画面のみ表示できます。
- 2画面機能を入／切すると、まれに画面の映像が一瞬途切れた状態になることがあります。
- 2画面表示中に視聴予約や録画予約が開始されたときは、1画面に戻ります。
2画面表示しているとき、次の操作はできません。
 - 番組表の表示
 - 画面サイズの切り換え
 - AVポジションの切り換え
 - 画面の静止
 - 視聴中のデジタル放送の録画
 - 3D映像への切り換え など

2画面で見る

お知らせ

- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、2画面機能を利用して表示を行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 2画面表示しているとき、表示される放送番組／接続機器の解像度により、映像補正の関係で、右側の画面やPinP小画面の映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
ちらつきが気になる場合は、全画面でご視聴いただくか、左右入換操作により、左側画面でご視聴いただくことをおすすめします。

視聴中の便利な機能

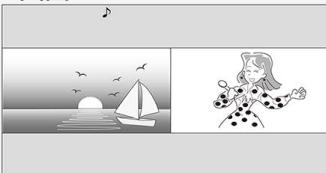


2画面で見る

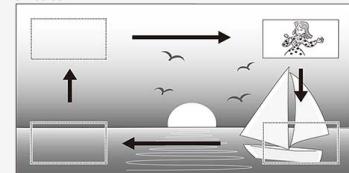
2画面表示の種類

- 「2画面」「PinP」「スマホスクリーン」があります。

2画面



PinP



- 2画面のときは、「左右入換」を選ぶと左右の画面が入れ換わります。
- PinPのときは、上下左右カーソルボタンで小画面の位置を移動できます。決定を押すと、小画面が画面の4隅を移動します。また、「左右入換」を選ぶと大画面と小画面が入れ換わります。

2画面で見る

2画面表示の種類

スマホスクリーン（縦スクリーン） スマホスクリーン（横スクリーン）



スマホスクリーン縦／スマホスクリーン横は、「（視聴準備）」 – 「スマホスクリーン設定」 – 「スクリーンモード切換」が「手動」の場合に表示されます。
「自動」の場合は「スマホスクリーン」と表示されます。

- 「スマホスクリーン」はスマートフォンの画面を同時に表示するためのモードです。
- 出荷時は、本機とスマートフォンをMiracast接続しておくと、上記の「スマートフォンの画面」に表示されます。
詳しくは、スマホスクリーンについて(⇒[3-19](#)ページ)をご覧ください。

2画面で見る

2画面表示の種類

お知らせ

- 「左右入換」をしても、「♪」マークの付いた操作画面
(⇒[3-18ページ](#))は変わりません。
- 複数の映像／音声のあるデジタル放送を大小2画面、PinP表示しているときに左右の画面を入れかえると、映像／音声はそれぞれ映像1／音声1に戻ります。(本体のスピーカーからは「♪」マークのついている側の音声が再生されます。)
- 「PinP」のとき、データ放送は表示されません。
- 「PinP」のとき、小画面にデジタル放送の字幕放送を選局しても字幕は表示されません。

視聴中の便利な機能



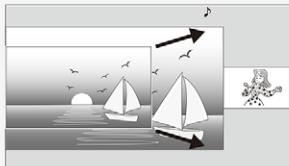
2画面で見る

画面のサイズを変える

- 「2画面」または「PinP」表示中、画面のサイズを変えることができます。

- 「2画面」または「PinP」表示中、を押して2画面メニューを表示し、上下カーソルボタンで「サイズ切換」を選んでを押す
- 左右カーソルボタンで画面サイズを変える

2画面にしている場合



PinPにしている場合



- 操作を終了する場合は、を押します。
- 1画面に戻すには、を押します。

視聴中の便利な機能



2画面で見る

2画面のうち操作する画面を選ぶ

- 2画面
1. 2画面表示中に **2画面** を押し、上下カーソルボタンで2画面メニュー中の「操作切換」を選んで **決定** を押し、操作画面を切り換える

- 上記操作を繰り返すたびに、「♪」マークが左／右に移動して、操作画面が切りわります。
- 「♪」マークのある操作画面は、選局や音量調整ができます。
「♪」マークが表示されている画面がスマートフォンの画面の場合は、選局や放送切換などの操作はできません。
(「♪」が表示されている画面がファミリンク機器の場合は「選局キー」設定によっては選局操作しないことがあります。)
- 1画面に戻すときは、 **終了** を押してください。
- 「♪」マークのある画面が1画面表示されます。
- 右画面は、最後に右画面で選局していたチャンネルまたは外部入力が保持されます。

2画面で見る

スマホスクリーンについて

スマホスクリーンを利用するための準備の流れ

1. 本機とスマートフォンをMiracastまたはHDMIで接続する
 - Miracast接続(⇒ [9-58](#)ページ)
 - お使いのスマートフォンによっては、MHLケーブル(市販品)で入力4のHDMI端子に接続することもできます。
 - HDMI(MHL)接続(⇒ [9-39](#)ページ)
2. スマホスクリーンとして使用する入力を指定する(⇒ [3-20](#)ページ)
3. スマホスクリーンの向きを設定する(⇒ [3-21](#)ページ)
4. 縦スクリーンの表示領域を調整する(⇒ [3-23](#)ページ)

視聴中の便利な機能



2画面で見る

スマホスクリーンについて

スマホスクリーンとして使用する入力を指定する

- スマートフォンを接続している本機の入力を指定します。

(インターネット)

- ホームボタンを押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定ボタンを押す
- 上下左右カーソルボタンで「(視聴準備)」—「スマホスクリーン設定」—「スクリーン入力切換」を選び、決定ボタンを押す
- 上下カーソルボタンで本機とスマートフォンの接続方法を選んで決定ボタンを押す
- 設定メニューの「(機能切換)」—「外部端子設定」—「入力スキップ」で「する」にしている端子は、スマホスクリーン表示できません。

視聴中の便利な機能



2画面で見る

スマホスクリーンについて

スマホスクリーンの向きを設定する

- スマホスクリーンの向きを自動的にスマートフォンに合わせるか、手動で選ぶかを設定します。

1. を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「スマホスクリーン設定」—「スクリーンモード切換」を選び、を押す
3. 上下カーソルボタンで「自動」または「手動」を選んで を押す

2画面で見る

スマホスクリーンについて

スマホスクリーンの表示について

- 「スクリーンモード切換」を「自動」にし、お使いのスマートフォンにリモコンアプリ「AQUOSコネクト」をダウンロードしてMiracast接続しているときは、スマートフォンの向きに合わせてスマホスクリーンの向きも切り換わります。
(AQUOSコネクトの「常駐設定」「テレビ画面連動設定」にチェックが入っていることを確認してください。)
- HDMI接続しているときは、縦スクリーンで表示されます。

MHLで接続したスマートフォンの画面の向きが自動でかわらないときは

- お使いのスマートフォンにリモコンアプリ「AQUOSコネクト」をダウンロードし「詳細設定」の「スマホ画面回転設定」にチェックを入れてください。

視聴中の便利な機能



2画面で見る

スマホスクリーンについて

縦スクリーンの表示領域を調整する

- スマートフォンの画面がはみ出しているときに調整します。
- 縦スクリーン状態ではスクリーン表示設定の変更はできません。
入力1~4、Miracastの1画面に切り換えてから設定してください。

- (インターネット)
1. を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「スマホスクリーン設定」—「スクリーン表示設定」を選び、を押す
3. 上下カーソルボタンでスマートフォンの画面サイズを選んで を押す

お知らせ

- スクリーン1~7を試しても画面が一部表示されないときは「スクリーン手動」を選び、表示する領域の各辺を上下左右カーソルボタンで調整します。

2画面で見る

表示できる画面の組み合わせ

- 表示できる画面は、画面の左右、放送や入力、録画状態によって異なります。

		右画面（小画面）					
		地上D	BS/CS	入力1~4※	入力5・6	Miracast	USB-HDD
左画面 (大画面)	地上D	○	○	○	◎	○	×
	BS/CS	○	○	○	◎	○	×
	入力1~4※	○	○	×	×	○	×
	入力5・6	◎	○	×	×	○	×
	Miracast	○	○	○	◎	×	×
	USB-HDD	○	○	○	◎	×	×

※映像信号が4K/60pの場合、映像は表示されません。

2画面で表示できる組み合わせは、録画の状態によって変わります。

- 録画中でも1番組の録画であれば2画面で表示できます。
- 録画中でも標準モードで1番組の録画であれば2画面で表示できます。
- 2画面で表示できません。
- 2番組録画中またはIPTV録画中は2画面で表示できません。
- 以下の組み合わせでは2画面表示できません。
 - Miracastとハイブリッドキャストの一部機能
 - USB-HDDとハイブリッドキャストの一部機能

視聴中の便利な機能



画面を静止させる

- いま見ている放送や映像を静止できます。
料理番組のメモをとったりするときに便利です。

1. **[II]** を押して、視聴中に映像を静止させる

- 動画と静止画の2画面になります。
- 静止画表示中に**[決定]**を押すと、そのときに表示されていた動画が新しい静止画として表示されます。
- [II]** をもう一度押すと、視聴中のチャンネルの現在の映像に戻せます。**[戻る]** または **[終了]** を押しても元に戻せます。

お知らせ

- 3D映像視聴中は、全画面の静止画表示になり、**[決定]**での静止画の更新はできません。

次の場合は、静止画が解除されます。

- 選局操作をしたとき
- [戻る]** / **[決定]**などを押したとき
- 映像を静止してから30分経過したとき

静止画表示中は、次のことができません。

- 画面サイズ、AVポジション、3Dモードの切り換え
- 番組表、裏番組表、番組情報の表示

視聴中の便利な機能



番組の詳細を知りたいときは

- デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示できます。

■番組内容

大好評の「知りたい!あなたの一曲」。今回はなんと3時間の拡大版でお送りします。

全国の視聴者による電話リクエストで1位から20位に輝いた名曲の数々を、歌手の皆さんが曲にちなんだ各地の名所にお邪魔して歌てしまおうという、ゴージャスにしてユニークな企画です。あの歌を歌うのは誰?あ

北は阿寒湖、南は石垣島まで。歌手の皆さん
が歌の心を求めて旅します。素晴らしい景色
と温かな人情でいっぱいの「名曲リクエスト
20」をどうぞお楽しみに!

他にも情報がある場合に表示されます。

番組情報

1. [番組情報]ボタンを押し、番組情報の画面を表示する

- 番組情報が表示されます。番組情報の右側に◀▶マークがある場合は、左右カーソルボタンで表示を切り替えられます。
- 終了ボタンを押すと、番組情報が消えます。

音声・映像・字幕を切り換える

- 複数の映像(最大4つ)または音声(最大8つ)がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しめます。
- 字幕のある番組をご覧のとき、字幕を表示できます。
複数の字幕がある番組の場合は、字幕を切り換えて楽しめます。

▼テレビ画面のチャンネルライン



数字ボタン(チャンネルボタン)の番号

視聴中の便利な機能



音声・映像・字幕を切り換える

複数の映像を楽しむ

ツール

○を押し、上下カーソルボタンで「映像切換」を選んで 決定 を押す

- ツールメニューの「映像切換」を選ぶたびに映像※が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに映像表示が出ます。
※ 番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を切り換える

音声切換

○を押して、音声を切り換える

- ボタンを押すたびに音声が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに音声表示が出ます。
- デジタル放送は「モノラル」への切り換えができません。

マルチ音声番組のとき

→ 音声 1 → 音声 2~8*

* 番組によって、音声の数は異なります。

二重音声番組のとき

→ 主 → 副

主／副

視聴中の便利な機能



音声・映像・字幕を切り換える

複数の音声を切り換える(つづき)

お知らせ

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声1」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 二重音声やマルチ音声(ステレオ二重音声)のときの言語表記は、放送からの情報による表示であり、必ずしも表記どおりでないことがあります。

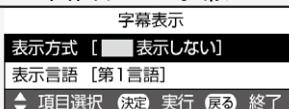
字幕を表示する／複数の字幕を切り換える

◆字幕の表示方式を変えたいとき

ツール

1. (決定)を押し、上下カーソルボタンで「字幕」を選んで (決定)を押す

- 画面右上に字幕メニューが表示されます。



視聴中の便利な機能



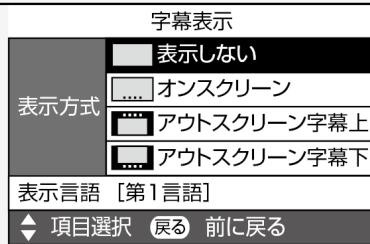
音声・映像・字幕を切り換える

字幕を表示する／複数の字幕を切り換える(つづき)

2. 上下カーソルボタンで「表示方式」を選び、**決定**を押す



3. 上下カーソルボタンで表示させたい字幕の種類を選び、**決定**を押す



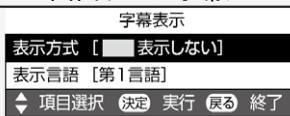
視聴中の便利な機能



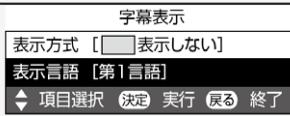
音声・映像・字幕を切り換える

◆字幕の表示言語を変えたいとき

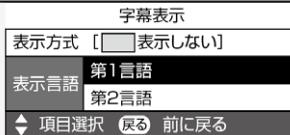
1. **○**を押し、上下カーソルボタンで「字幕」を選んで **決定**を押す
 • 画面右上に字幕メニューが表示されます。



2. 上下カーソルボタンで「表示言語」を選び、**決定**を押す



3. 上下カーソルボタンで表示させたい言語を選び、**決定**を押す



- 字幕が1種類しかない場合は、「第2言語」(副)に設定しても「第1言語」(主)の字幕が表示されます。

音声・映像・字幕を切り換える

「表示方式」の設定について

- 「アウトスクリーン字幕上」または「アウトスクリーン字幕下」に設定している場合は、字幕放送でない番組に放送局から字幕情報が送られてくると、自動的に映像が縮小される場合があります。
- 「アウトスクリーン字幕上」の場合でも、放送で送られる字幕の行数によっては、映像の上に字幕がかかる場合があります。

工場出荷時の設定

表示しない

- 字幕放送でも、字幕を表示しません。



字幕非表示

音声・映像・字幕を切り換える

字幕表示の種類

	字幕放送のとき	字幕放送ではないとき
オンスクリーン <ul style="list-style-type: none">字幕放送では、映像に重なって字幕が表示されます。(右の字幕は表示例ですので、放送によって上下の位置が変ります。)	 わあ、楽しそう！	
アウトスクリーン字幕上／アウトスクリーン字幕下 <ul style="list-style-type: none">字幕放送では、自動的に映像が縮小され、映像の上側（下側）に字幕が表示されます。放送によっては、字幕が映像と重なることがあります。	<p>アウトスクリーン字幕上</p>  わあ、楽しそう！ <p>アウトスクリーン字幕下</p>  わあ、楽しそう！	

お知らせ

- 連動データ放送を表示したとき、放送の種類によっては、アウトスクリーンに設定してもオンスクリーン表示になります。

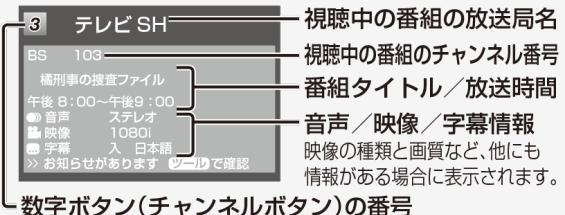
視聴中の便利な機能



放送の種類やチャンネルなどの情報を確認する

1. を押してチャンネルサインを表示する

▼テレビ画面のチャンネルサイン



2. を押してチャンネルサインの表示を切り換える

- を押したときに表示するチャンネルサインの情報を選択することもできます。
(⇒ [3-35 ページ](#))

視聴中の便利な機能



チャンネルサインに表示する情報を変更する

- 画面表示ボタンを押したときや、選局したときに表示するチャンネルサインの情報を選択することができます。

1. **(インターネット)** [ホーム] を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定** を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「**🔧 (視聴準備)**」—「各種設定」を選び、**決定** を押す
3. 上下カーソルボタンで「画面表示ボタン設定」を選び、**決定** を押す
4. 上下カーソルボタンで表示を変更したい項目を選び、**決定** を押す
5. 上下カーソルボタンで設定を選び、**決定** を押す

視聴中の便利な機能



チャンネルサインに表示する情報を変更する

時計の表示について

- ホーム画面から「設定」→「 (視聴準備)」→「各種設定」→「画面表示ボタン設定」→「時計設定」→「時刻表示」で行います。

お知らせ

- 「番組タイトル／放送時間」を表示する場合、選局したチャンネルで次の番組が2分以内に始まる場合は、次の番組名と時間も表示されます。ただし、2画面でPinP表示（「2画面表示の種類」⇒[3-14ページ](#)）しているとき、小画面に次番組は表示されません。
- 「時計設定」→「時刻設定」は時計を合わせるための設定です。
- 「時計設定」→「時計タイプ」は時刻表示のアナログ表示とデジタル表示タイプを変えるための設定です。



データ放送で天気予報や株価などの情報を見る

- データ放送には、テレビ放送に連動した「連動データ放送」と、データ放送専門の「独立データ放送」があります。
 - データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なります。データ放送画面を表示したら、画面の表示に従って操作してください。例えば、カーソルボタン(上・下・左・右)で画面の項目を選んで決定したり、カラーボタン(青・赤・緑・黄)で対応する項目を選んだりして操作します。

連動データ放送を表示する

- 連動データ放送を含む番組の視聴中に、④を押し、連動データ放送の画面を表示する



- テレビ放送に戻すときは、もう一度 **d** を押します。

お知らせ

- 電源を入れた直後やチャンネルを切り換えた直後は、**d**を押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、約20秒待ってからもう一度データボタンを押してください。(表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。)
 - BSラジオ放送も、⇒ [3-38](#)ページの手順で切り換えられます。
 - 3Dでない放送を3Dモードに切り換えると、データ放送が正しく表示されません。
 - 2画面表示中、データ放送の種類によっては表示できない場合があります。

視聴中の便利な機能



データ放送で天気予報や株価などの情報を見る

独立データ放送の番組から選ぶ

1. **BS** を押し、BSデジタル放送を選ぶ
 2. **ツール**
○を押し、上下カーソルボタンで「テレビ／ラジオ／データ／ポータル」を選び、**決定**を押す



- 再度選び直すことによって次のように放送の種類を切り換えることができます。

→テレビ→ラジオ→データ→ポータル→

- ### 3. 選局ボタンでチャンネルを選ぶ

- ・ ポータルはIPTV視聴中のみ切り換えられます。

タイマー機能を使う



指定した時間後に電源を切る(オフタイマー)

- テレビを見ながらお休みになるときなどに便利です。

1. を繰り返し押してオフタイマーを設定する

- 押すごとに次のように画面の表示が変わります。
「切」→「× × 時間× × 分(この番組の最後まで)」→
「0時間30分」→「1時間00分」→「1時間30分」→
「2時間00分」→「2時間30分」→「切」...
- オフタイマーの残り時間が5分になると、残り時間が画面左下に表示されます。
- オフタイマーを解除するには、「切」を選びます。

タイマー機能を使う



指定した時間後に電源を切る(オフタイマー)

オフタイマーの残り時間を確認するには

1. を押す
2. オフタイマーの残り時間を確認する
 - オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。
 - しばらくすると表示が消えます。
 - 残り時間が表示されている間は、 を押さないでください。残り時間が変わってしまいます。

指定した時間後に電源を切る(オフタイマー)

お知らせ

- ・「この番組の最後まで」は、番組延長には対応していません。
- ・「この番組の最後まで」は、オフタイマーを設定したときの番組終了時刻で設定されます。設定後にチャンネルを切り換えて終了時刻は変更されません。
- ・番組終了の約2分前を過ぎてからオフタイマーの設定をした場合は、「この番組の最後まで」の代わりに「次の番組の最後まで」が表示されます。
- ・デジタル放送視聴中以外や番組の情報が取得できない場合は、「この番組の最後まで」または「次の番組の最後まで」は選べません。
- ・おやすみタイマー動作中は、オフタイマー設定はできません。

タイマー機能を使う



時間を指定して電源を切る(おやすみタイマー)

- 指定した時刻に、自動的に電源が切れるように設定できます。
- ツール
- を押し、上下カーソルボタンで「タイマー機能」—「おやすみタイマー」を選び、○を押す
 - 左右カーソルボタンで「設定」を選ぶ
- おやすみタイマー

解除
設定

時刻 (時)	◀	午前00	▶
時刻 (分)	◀	00	▶
モード	◀	サンセット	▶
表示設定	◀	アイコン+文字	▶
- それぞれの項目(⇒ [3-45ページ](#))を設定する
 - ① 上下カーソルボタンで項目を選ぶ
 - ② 左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ
- 操作を終了する場合は、○を押します。

時間を指定して電源を切る(おやすみタイマー)

▼おやすみタイマー「通常」の画面例
(表示設定:「アイコン+文字」)



- 表示設定が「アイコン+文字」の場合は、1分ごとに大きなアイコンが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。
- 表示設定が「文字のみ」の場合は、1分ごとに残り時間が表示されます。

時間を指定して電源を切る(おやすみタイマー)

お知らせ

- 無操作オフや無信号オフ(⇒ [4-43ページ](#))が設定されている場合は、一番早く切れるタイマーで電源が切れます。
- おやすみタイマーのモードの設定が「サンセット」の状態で、「時刻(時)」「時刻(分)」を10分以内の時刻に設定した場合、徐々に画面を暗くし、音量を下げる動作は行いません。
- おやすみタイマーとおはようタイマーを同じ時刻に設定すると、本機が電源待機中のときはおはようタイマーが作動し、本機が動作中のときはおやすみタイマーが作動します。
- テレビに全画面表示している番組表の操作中や、一部のメニューの操作中は、指定時刻になっても操作を優先しているため、電源が切れません。操作を終了したあとに、画面左下にアイコンや文字が表示され、電源が切れます。
- 本機の内蔵時計が正しくないときは、「時刻設定」(⇒ [4-22ページ](#))が必要です。

時間を指定して電源を切る(おやすみタイマー)

おやすみタイマーの設定項目

項目内容	内容
おやすみタイマー	・タイマーの設定／解除を選択します。
時刻(時)	・タイマーで電源を切りたい時刻(時)を設定します。
時刻(分)	・タイマーで電源を切りたい時刻(分)を設定します。
モード	通常 ・毎日同じ設定時刻に電源を切れます。
	サンセット ・設定時刻の10分前から徐々に画面を暗くし、音量を下げて※、設定時刻に電源を切れます。
表示設定	アイコン+ 文字 ・画面にアイコンと残り時間を表示します。
	文字のみ ・画面に残り時間を表示します。

※何らかの操作をすると、画面の明るさ・音量は元に戻りますが、設定時刻に電源は切れます。

タイマー機能を使う



目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れる(おはようタイマー)

- 指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。(ヘッドホンをつないでいても、本体のスピーカーから音声が出ます。)
- おはようタイマーを設定すると、本体のTIMER/REC(タイマー／録画)ランプ(⇒ [1ページ](#))が橙色に点灯します。
- 異なる設定のタイマーを7種類までセットできます。

ツール

- を押し、上下カーソルボタンで「タイマー機能」—「おはようタイマー」を選び、決定を押す
- 設定したいタイマーを選び、決定を押す
- 左右カーソルボタンで「設定」を選ぶ
 - 「解除」を選ぶと、そのタイマー機能が働かなくなります。
- それぞれの項目(⇒ [3-49ページ](#))を設定する
 - 上下カーソルボタンで項目を選ぶ
 - 左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ
 - 操作を終了する場合は、○を押します。
 - 設定したタイマーには、手順2の画面で時計マークが表示されます。

目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れる(おはようタイマー)

▼おはようタイマー「サンライズ(アイコン)」の画面例



通常 : 電源「入」→ 文字表示

スヌーズ : 電源「入」→ 文字表示
(スヌーズ開始時)

0分後 -----→ 10分後

サンライズ : 電源「入」→ 
(アイコン)

- モードが「サンライズ(アイコン)」の場合は、1分ごとに大きなアイコンとメッセージが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。モードが「サンライズ」の場合は、1分ごとにメッセージが表示されます。
- モードを「通常」または「スヌーズ」に設定した場合は、メッセージのみが表示されます。

タイマー機能を使う



目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れる(おはようタイマー)

タイマーを設定／解除する

- ⇒ [3-46](#)ページの手順2の画面で、タイマーの設定／解除を切り換えられます。

1. 上下カーソルボタンで「タイマー1」～「タイマー7」のいずれかを選び、**決定**を押す

2. **黄**を押す

- 押すたびに、選んだタイマーが「設定」(時計マーク) ⇔ 「解除」(時計マークなし)と切り換わります。
- 設定したタイマーには、⇒ [3-46](#)ページの手順2の画面で時計マークが表示されます。

目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れる(おはようタイマー)

おはようタイマーの設定項目

項目	内容
おはよう タイマー	<ul style="list-style-type: none">タイマーの設定／解除を選択します。下記の曜日で設定した「1回だけ」に設定されているタイマーが動作した後は、自動的に「解除」になります。
曜日	<ul style="list-style-type: none">タイマーで電源を入れたい曜日を設定します。「毎日」「月一土」「月一金」「毎週○曜」(○は日から土のいずれか)「1回だけ」の中から選べます。
時刻(時)	<ul style="list-style-type: none">時刻(時)を設定します。
時刻(分)	<ul style="list-style-type: none">時刻(分)を設定します。
入力	<ul style="list-style-type: none">タイマーで電源が入ったとき表示される画面を、放送の種類(地上D、BS、CS)、入力、コンテンツマネージャーまたは時計から選びます。「コンテンツマネージャー」を選んだときは、USBメモリーの音楽が再生されます。USBメモリーのいちばん上の階層に「GM」という名称のフォルダを一つだけ作成し、その中にMP3ファイルを入れておくと、おはようタイマーとして再生できます。
CH	<ul style="list-style-type: none">電源が入ったときの画面に表示される、数字ボタン(チャンネルボタン)に割り振られた番号を選びます。
音量	<ul style="list-style-type: none">タイマーで電源が入ったときの音量を選びます。0～100の範囲で選べます。
アラーム音	<ul style="list-style-type: none">タイマーで電源が入ったときに鳴る音声(なし、ベル、電子音、鳩時計)を選びます。アラーム音の設定中に青ボタンを押すと、設定した音を試聴できます。「ベル」「電子音」「鳩時計」は5分間鳴り続けます。途中で何か操作をすると、入力の音声に切り換わります。

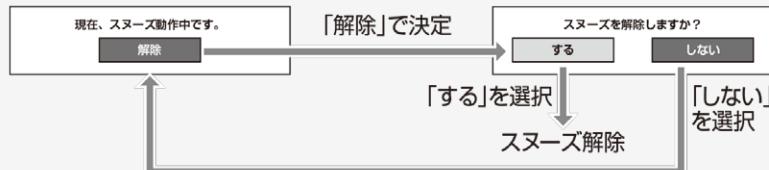
タイマー機能を使う

目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れる(おはようタイマー)

おはようタイマーの設定項目(つづき)

モード	通常	<ul style="list-style-type: none">設定した時刻に、設定した音量で電源を入れます。
	サンライズ	<ul style="list-style-type: none">設定した時刻に電源が入り徐々に音量が大きくなり、同時に画面も徐々に明るくなり、10分後に設定した音量で画面は最も明るくなります。
	サンライズ(アイコン)	<ul style="list-style-type: none">「サンライズ(アイコン)」を選ぶと、画面にアイコンが表示されます。
	スヌーズ	<ul style="list-style-type: none">いったん電源を切っても、5分後に再度電源が入るようにします。音量を下げた場合でも、5分後に元の音量に戻します。チャンネルや入力を切り換えると、5分後に元のチャンネルに戻します。「解除」「する」を選択すると、スヌーズ動作が解除されます。「解除」「する」を選択しないかぎり、7回(35分間)スヌーズ動作を繰り返します。スヌーズ起動中、他のタイマーは起動しません。決定ボタンを押しただけでは、スヌーズは解除しません。「する」を選択し決定ボタンを押してください。「電源ボタン設定」(⇒ 4-19ページ)を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切った場合、もしくは予約開始時にも、スヌーズ動作が解除されます。

▼スヌーズ機能動作中の画面表示



目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れる(おはようタイマー)

お知らせ

おはようタイマーを「設定」にすると

- 「解除」にするまで、設定した曜日に繰り返しおはようタイマーが働きます。
- おはようタイマーで電源が入ってから2時間操作をしない場合は、電源が切れます。(電源が切れる5分前になると画面左下にメッセージが表示されます。)
- タイマー1～7は、日時の早いものが優先して作動し、同じ曜日であれば、7回別々の時間に別々のモードで作動させることができます。ただし、「おはようタイマー」が「設定」かつ「曜日」が「一回だけ」のタイマーがあるとき、「一回だけ」のタイマーのみが作動し、他に設定したタイマーは作動しません。
- タイマー1～7が同じ時間のときは、より番号が若いタイマーの設定が優先されます。
- 「曜日」が「1回だけ」の設定で同時刻のタイマーがある場合は、タイマー番号の小さいものだけが実行されます。(他の「1回だけ」のタイマーは、「解除」になりません。)

おはようタイマーで外部入力を使用する場合には

- あらかじめ外部入力機器の電源を入れ、視聴できる状態にしておいてください。外部入力機器が視聴できる状態になつていなければ映像や音声は出ませんのでご注意ください。

目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れる(おはようタイマー)

お知らせ

おはようタイマーのモードが「サンライズ」または「サンライズ(アイコン)」の場合は

- 電源が入ってしばらくは映像が出力されません。
- サンライズの動作中に操作すると、設定値に従った明るさと操作時点の音量になります。
- 10分後に画面が最も明るくなりますが、すぐに通常使用状態に戻ります。

お出かけになるときなど、おはようタイマーで自動的に電源を入れたくない場合は

- 「電源ボタン設定」(⇒ [4-19](#)ページ)を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切るか、おはようタイマーを解除してください。

ヘッドホンを挿している場合は

- ヘッドホンを挿しているときでも、おはようタイマーで起動した際にはスピーカーからも音が出ます。途中で何か操作をすると、通常のヘッドホン出力に戻ります。
- 「デジタル音声設定」(⇒ [4-59](#)ページ)を「ビットストリーム」に設定している場合は、デジタル音声出力(光)端子からは、アラーム音が出力されません。
- インターネットやコンテンツマネージャーで写真や音楽を再生しているときなどは、残り時間が「00分00秒」になっても電子音を鳴らさずに画面の表示だけでお知らせすることがあります。

タイマーで音を鳴らす(お知らせタイマー)

- 設定した時間の後になつたら、知らせてくれる便利な機能です。

入力できる時間について

- 「00分01秒」～「99分59秒」の間で設定できます。(初期値は「03分00秒」です。)

お知らせタイマーの電子音について

- 「デジタル音声設定」(⇒ [4-59ページ](#))を「ビットストリーム」に設定している場合は、デジタル音声出力(光)端子からは、電子音が出力されません。

タイマー機能を使う



タイマーで音を鳴らす(お知らせタイマー)

ツール

1. ○を押し、上下カーソルボタンで「タイマー機能」—「お知らせタイマー」を選び、決定を押す
2. 左右カーソルボタンで「分」または「秒」の欄を選び、数字ボタン 1 ~ 10/0 で時間を入力する
 - お知らせタイマーの設定を中止したいときは、戻るを押します。
3. 上下カーソルボタンで「開始」を選び、決定を押す
 - カウントダウンが始まります。
 - 残り時間が「00分00秒」になると電子音が1分間鳴り続けます。
 - リモコンのいずれかのボタンを押すと、電子音が止まります。

次のようなときは、電子音が止まります。

- 本機の電源を「切」にしたとき

タイマー機能を使う



タイマーで音を鳴らす(お知らせタイマー)

カウントダウンを一時停止するには

- ツール を押し、上下カーソルボタンで「タイマー機能」—「お知らせタイマー」で を押し、 を押し、 を押します。再度 を押すと、カウントダウンが再開します。

お知らせタイマーを解除したいときは

- ツール を押し、上下カーソルボタンと で「タイマー機能」—「お知らせタイマー」—「解除」を選びます。

お知らせ

- お知らせタイマーが「00分00秒」になったとき、同時に選局操作や視聴予約、録画予約が動作した場合は、電子音が少し遅れて鳴ることがあります。
- 消音中は、残り時間が「00分00秒」になっても電子音が鳴りません。
- インターネットやコンテンツマネージャーで写真や音楽を再生しているときなどは、残り時間が「00分00秒」になっても電子音を鳴らさずに画面の表示だけでお知らせすることができます。

ホーム画面の使いかた



- 本機の設定や操作を行うとき、その入り口となる画面のことを「ホーム画面」と呼びます。
 - ここでは、ホーム画面の見かたや使いかたについて説明します。

ホーム画面の例（インターネット接続状態の画面例です。）

- ## インフォメーションゾーン

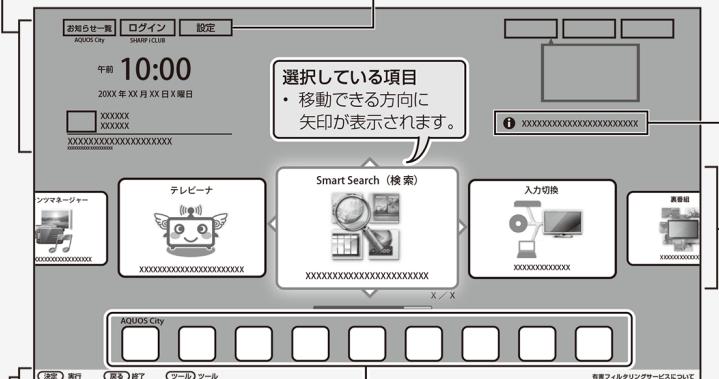
- ・中央に視聴していた映像が表示され、映像の左右には各種情報が表示されます。
 - ・左側の上部には、お知らせや設定などを表示するボタンがあります。

- ## ・ 設定

- ・「設定」を選び決定ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。設定メニューから本機の各種設定ができます。

- お知

- ・サービスや機能などについてのお知らせが表示されます。



ガイド表示

- 選択した項目のガイダンスが表示されます。
 - 選択した項目により表示内容が変わります。

ネットサービスゾーン(AQUOS City) 機能・おすすめ番組ゾーン

- ・インターネットを使って利用できるサービスやジャンルが表示されます。
 - ・この項目はリモコンの数字ボタンで選ぶことができます。
 - ・利用できる機能やおすすめ番組が表示されます。

インターネット機能についてお知らせ

- 本機に搭載しているインターネット機能は、ネットワークサービス事業者が提供するサービスを視聴する機能です。サービス事業者の都合により、予告なく変更や終了されることがあります。サービスの変更や終了による損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

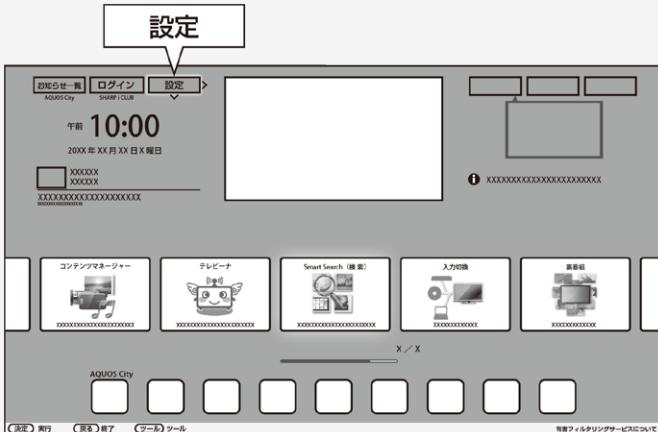
- ネットサービスゾーンの内容は予告なくURLが変更になったり、サービスが終了することがあります。また、表示されるアイコンも変更になることがあります。
- 本体のボタンでもホーム画面を操作できます。(⇒ [2-5ページ](#))
- 無線LAN接続でIPTVの録画をしているときは、デジタル放送の映像はホーム画面に表示されません。

設定メニューの使いかた



設定メニューの基本的な操作のしかた

1. ホームを押してホーム画面を表示する
2. 上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、 決定を押す



3. 上下左右カーソルボタンで目的の項目を選び、 決定を押す
 - 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。

設定メニュー項目の一覧



かんたん初期設定

- お買いあげ後、B-CASカードを入れて、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。画面を見ながら操作・設定をしてください。受信できるテレビ放送のチャンネルが設定されます。

メニュー項目名

事前準備

地域設定

チャンネル設定

ネット設定

確認

設定メニュー項目の一覧



テレビ放送設定

(メニューを操作したいとき)

地上デジタル

- 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合に選択します。

BSデジタル

- BSデジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合に選択します。

CSデジタル

- CSデジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合に選択します。

メニュー項目名		設定
チャンネル設定	地上デジタル	地上デジタルー自動
		する、しない
		ー追加
		する、しない
		ー個別
	BSデジタル	各CHの設定
		ー選局順
	CSデジタル	モード1、モード2
		チャンネル更新設定
		自動、手動
		各CHの設定
		各CHの設定

設定メニュー項目の一覧



テレビ放送設定(つづき)

(メニューを操作したいとき)

スキップ設定

- 各放送のチャンネルスキップの設定を行います。
選局時と番組表、それぞれのスキップ設定ができます。

アンテナ設定

- デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。(初めて設置するときや引っ越ししたときなどは、「かんたん初期設定」を行ってください。)

地域設定

- 地上デジタル放送の地域情報(緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報)をお住まいの地域に合わせる設定です。

メニュー項目名	設定
スキップ設定	地上デジタル BSデジタル CSデジタル
アンテナ設定	電源・受信強度表示 周波数設定 信号テスト－地上D 信号テスト－BS 信号テスト－CS
	地域設定
	地域選択、郵便番号設定

設定メニュー項目の一覧



通信(インターネット)設定

(メニューを操作したいとき)

LAN設定

- IPアドレスなどを設定する場合に選択します。(⇒ [8-10～8-32ページ](#))

メニュー項目名	設定
LAN設定	接続タイプ切換
	有線、無線
	WPS ブッシュボタン、WPS PINコード、アクセスポイント選択、アクセスポイント登録
	無線設定
	接続テスト
	する、しない
	接続タイプ設定
	有線、無線
	設定完了
	終了
手動設定	現在の設定
	変更する、初期化する
	無線設定
	接続方式選択
	WPS ブッシュボタン、WPS PINコード、アクセスポイント選択、アクセスポイント登録
IPv4設定	設定開始
	次へ
	設定完了
	終了
IPv6設定	現在の設定(設定確認)
	変更する、初期化する
	IPアドレス設定
	する、しない
接続テスト	DNS設定
	する、しない
	ネットワーク設定確認
	テスト実行、完了
インターネット、IPTV	

ツールメニューからも設定できます。(⇒ [4-74ページ](#))

設定メニュー項目の一覧

通信(インターネット)設定(つづき) [\(メニューを操作したいとき\)](#)

IPTV設定

- IPTVを視聴するときの設定を行います。(⇒ [8-53ページ](#))
- 取扱説明ガイドを表示中は操作できません。取扱説明ガイドを終了してから操作してください。

メニュー項目名		設定
IPTV設定	サービス設定	する、しない
	基本登録	事業者ID、事業者名
	チャンネル設定	IPTV設定－自動
		－追加
		－個別
受信状態		各CHの設定

設定メニュー項目の一覧

通信(インターネット)設定(つづき) [\(メニューを操作したいとき\)](#)

AQUOSコネクト設定

- 携帯端末やパソコンを使って本機をリモート操作するときに必要な設定です。
(⇒ [8-74ページ](#))

ホームネットワーク設定

リモート再生設定

- 本機がリモート再生を許可する設定です。
(⇒ [8-72ページ](#))

タイムアウト設定

- ホームネットワーク経由の映像再生が終了してから、テレビ画面に戻るまでのタイムアウト時間を設定します。
(⇒ [8-73ページ](#))

メニュー項目名	設定	
AQUOSコネクト設定	AQUOSコネクト設定	する、しない
	詳細設定	ログインID、 パスワード、 コントロールポート
ホームネットワーク設定	リモート再生設定	許可する、許可しない
	タイムアウト設定	しない、10秒、60秒
	サーバー設定	する、しない

設定メニュー項目の一覧

通信(インターネット)設定(つづき) [\(メニューを操作したいとき\)](#)

ネットサービス制限設定

デジタル放送接続制限

- 双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、デジタル放送の接続を禁止したいときに便利な設定です。(⇒[8-33](#)ページ)

インターネット接続制限

- インターネットは回線の利用料金がかかる場合がありますので、接続を禁止したいときに便利な設定です。(⇒[8-34](#)ページ)

プロキシサーバー設定

- プロキシ形式のフィルタリングサービス(インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能)を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定で入力してください。(⇒[8-35](#)ページ)

ブラウザ制限

- 有害サイトへのアクセスを防ぐために、URLを入力してページを表示させる機能を禁止することができます。(⇒[8-49](#)ページ)

メニュー項目名	設定
ネットサービス制限設定	デジタル放送接続制限 禁止する、禁止しない
	インターネット接続制限 禁止する、禁止しない
	プロキシサーバー設定 プロキシサーバーを利用する、利用しない、変更する、アドレス、ポート
	ブラウザ制限 禁止する、禁止しない

設定メニュー項目の一覧

通信(インターネット)設定(つづき) [\(メニューを操作したいとき\)](#)

Miracast設定

- スマートフォンと本機を無線(Miracast)で接続し、スマートフォンの画面を表示するときに必要な設定です。

テレビ名設定

- スマートフォンなどに表示される本機の機器名を変更するための設定です。

メニュー項目名	設定
Miracast設定	接続方式設定 プッシュボタン方式、PINコード方式
	無線チャンネル設定
	接続機器一覧
テレビ名設定	機器名

スマートフォン用アプリについて

- スマートフォン用アプリ『AQUOSコネクト』を使って本機の操作やMiracastの接続ができます。

『AQUOSコネクト』でできること

- 本機の操作(リモコン操作)
- Miracastの接続
- 放送番組との連動機能※
※番組に関するキーワードやURLなどをスマートフォンに表示します。

設定メニュー項目の一覧



スマートフォン用アプリについて

Android搭載スマートフォン用の『AQUOSコネクト』は次の方法でダウンロード(インストール)できます。

1. スマートフォンのGoogle Play™を起動する
2. Google Play™から『AQUOSコネクト』を検索する
3. 『AQUOSコネクト』をダウンロードする

iPhone用の「AQUOSコネクト」は次の方法でダウンロード(インストール)できます。

1. iPhoneのApp Storeを起動する
2. App Storeから『AQUOSコネクト』を検索する
3. 『AQUOSコネクト』をダウンロードする

※Android, Google Playは、Google Inc.の商標または登録商標です。

※iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
※上記のダウンロード方法は、将来予告なしに変更される可能性があります。

録画機器選択

(メニューを操作したいとき)

- リモコンの録画ボタンを押したときに録画するファミリンク機器を選ぶ設定です。
(⇒[7-23・9-10ページ](#))
ファミリンク機器に録画するには、「ファミリンクレコーダー」を選択の上、「ファミリンクレコーダー選択」で機器を選択してください。

設定メニュー項目の一覧



USB-HDD設定

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

機器の初期化

- USBハードディスクを使って録画するためには、使うための準備「初期化」が必要です。([7-7ページ](#))

機器の登録解除

- 本機はUSBハードディスクを16台まで登録できます。すでに16台登録された状態で新たにUSBハードディスクを登録する場合には、登録済みのUSBハードディスクのいずれかを登録解除してください。
([7-13ページ](#))

機器の取りはずし

- 本機やUSBハードディスクの電源を切ったり、接続しているUSBケーブルを抜く前に、必ず「機器の取りはずし」を行ってください。([7-11ページ](#))

録画モード

- ビデオテープの標準モードや3倍モードのように録画モードを指定して録画ができます。本機でデジタル放送を録画するときは、録画モード(録画時間)「標準(DR)」「モード1」「モード2」が選べます。

メニュー項目名	設定
機器の初期化	する、しない
機器の登録解除	
機器の取りはずし	
録画モード	標準(DR)、モード1、モード2

ツールメニューからも設定できます。([4-79ページ](#))

設定メニュー項目の一覧



USB-HDD設定(つづき)

(メニューを操作したいとき)

省エネ設定

- USBハードディスクを使わない状態が続いたときに、USBハードディスクを待機状態にして、消費電力を抑えます。

オートチャプター設定

- 録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。
録画した番組にチャプターマークが記録されていると、再生したい場面を探すときに便利です。

機器名の変更

- USBハードディスクを複数台つないだときに識別しやすくするために、各USBハードディスクに名前を付けられます。

自動録画領域設定

- 自動録画で使用するUSBハードディスクの領域を録画時間で設定します。

メニュー項目名	設定
省エネ設定	する、しない
オートチャプター設定	おまかせ、しない、10分、15分、30分
機器名の変更	する、しない
自動録画領域設定	X時間

設定メニュー項目の一覧



Bluetooth設定

(メニューを操作したいとき)

- スマートフォンやオーディオプレーヤーなどと本機をペアリングします。

メニュー項目名	設定
Bluetooth接続	する、しない
Bluetoothペアリング	

設定メニュー項目の一覧



スマホスクリーン設定

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

- スマホスクリーンの設定をします。

メニュー項目名	設定
スクリーンモード切換	自動、手動
スクリーン入力切換	入力1、入力2、入力3、入力4(MHL)、Miracast
スクリーン表示設定 ※1	スクリーン1、スクリーン2、スクリーン3、 スクリーン4、スクリーン5、スクリーン6、 スクリーン7、スクリーン手動

お知らせ

※1 外部入力またはMiracast入力のときのみ表示されます。

設定メニュー項目の一覧



各種設定

(メニューを操作したいとき)

暗証番号設定

- ・ 視聴の年齢制限など、各種の制限を設定できます。これらの制限を設定するときや変更するときに、暗証番号を使います。

メニュー項目名	設定
暗証番号設定	する、しない

お知らせ

暗証番号を忘れたときは

- ・ 個人情報の初期化(⇒4-24ページ)が必要です。個人情報の初期化を行うと、暗証番号以外の情報も消去されます。暗証番号はメモなどをして忘れないようにしてください。

設定メニュー項目の一覧



各種設定(つづき)

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

視聴年齢制限設定

- 年齢制限のある番組の視聴を4~20歳の範囲で制限します。この設定には、暗証番号設定
(⇒[4-17ページ](#))が必要です。

メニュー項目名	設定
視聴年齢制限設定	XX歳、無制限

お知らせ

- IPTVの成人向けチャンネルやコンテンツを視聴するためには、視聴年齢制限設定が必要です。視聴年齢制限を「20歳」または「無制限」に設定すると、番組表などに成人向けチャンネルが表示されます。

ダウンロード設定

- 本機のソフトウェア更新はダウンロードで行います。自動的に行う方法と、必要に応じ手動で行う方法があります。お買いあげ時は利便性を考えて自動になっています。

メニュー項目名	設定
ダウンロード設定	する、しない

設定メニュー項目の一覧



各種設定(つづき)

(メニューを操作したいとき)

電源ボタン設定

- 本体の電源ボタンで電源を切ったとき、電源オフになるか待機状態になるかの設定ができます。

メニュー項目名	設定
電源ボタン設定	モード1 本体の電源ボタンで電源を切っても、視聴予約やおはようタイマーは動作します。リモコンの電源ボタンで電源を切った場合も同様です。
	モード2 本体の電源ボタンで電源を切ると、電源がオフになり、視聴予約やおはようタイマーが中止されます。

お知らせ

- リモコンの電源ボタンで電源を切ったときは、電源ボタン設定に関わらず待機状態になり、視聴予約やおはようタイマーは継続されます。

設定メニュー項目の一覧



各種設定(つづき)

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

起動モード設定

- 本体起動時に表示される画面モードの設定をします。

クイック起動設定

- クイック起動設定とは、電源を入れてから画面が出るまでの時間を早くするための設定です。

メニュー項目名	設定	
起動モード設定	通常(テレビ)、ホーム画面(テレビ+情報)	
	しない	クイック起動しません。
クイック起動設定	する(常に有効)	電源待機状態からの電源立ち上がりが早くなり、番組表やホーム画面を早く表示させることができます。「しない」のときより待機時の消費電力が増えます。
	する(2時間のみ有効)	電源切後2時間のみクイック起動を有効にします。

設定メニュー項目の一覧



各種設定(つづき)

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

USBメモリー設定

- 写真のコピー先や、ホームネットワークのサーバー機能として使用するUSBメモリーの設定です。

リモコン番号設定

- 2台のAQUOSを近くに設置している場合に、リモコンの操作でAQUOSが2台とも動作してしまうことがあります。このとき、リモコン番号の設定を変えると他のAQUOSの動作を防ぐことができます。

メニュー項目名	設定	
USBメモリー設定	USBメモリーの指定	データの保存先のUSBメモリーを指定します。
	指定済みUSBメモリーの取り外し	接続されている指定済みUSBメモリーを取り外します。
リモコン番号設定	リモコン番号1	リモコン番号2

設定メニュー項目の一覧



各種設定(つづき)

(メニューを操作したいとき)

画面表示ボタン設定

- リモコンボタンでの表示内容を設定します。

メニュー項目名	設定	
画面表示ボタン設定	チャンネル表示	する、選局時のみ、しない
	番組タイトル/放送時間表示	する、選局時のみ、しない
	音声/映像/字幕情報表示	する、選局時のみ、しない
	時計設定	時刻設定
		時刻 時 分
		する、選局時のみ、しない
	時計タイプ	デジタル、アナログ
	再生状態表示	する、操作時のみ、しない

お知らせ

- 時刻が自動設定されている場合、「時刻設定」は選べません。
- 設定できる時刻は12時間表示です。
- 設定できる日付は、2035年12月31日までです。
- 画面表示ボタンを押すと、現在時刻が確認できます。
- 「時計タイプ」を「アナログ」に設定していても、視聴している画面によっては「デジタル」の時計が表示されます。
- ホームネットワークまたはUSBで視聴しているときは、「時計タイプ」の設定ができません。

設定メニュー項目の一覧



各種設定(つづき)

(メニューを操作したいとき)

明るさセンサー(OPC)感度設定

- 本機の明るさセンサーが部屋の明るさを感知し、部屋の照明に合わせた最適な画質調整ができるようになります。
- AVポジション「ぴったりセレクト」選択時に有効となる設定です。

メニュー項目名	設定	
明るさセンサー(OPC)感度設定	感度	-8～0～+8
	感度(暗めな部屋)	-8～0～+8

設定メニュー項目の一覧



Language(言語)

(メニューを操作したいとき)

- Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
ホーム画面などの画面表示を英語にすることができます。

設定

日本語、English

個人情報初期化

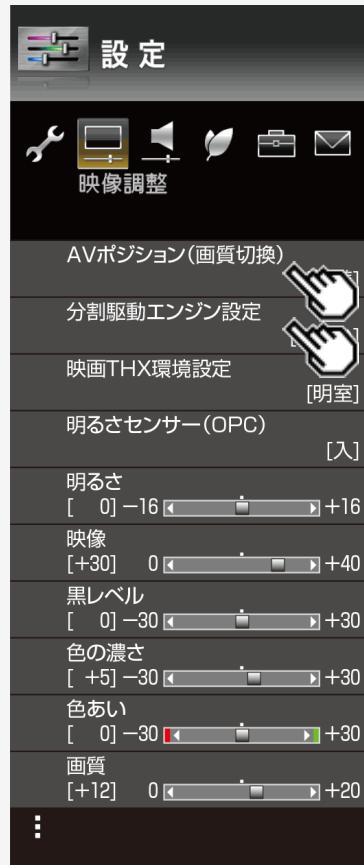
(メニューを操作したいとき)

- 本機を譲渡したり廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行いこれらの情報を消去してください。
お客様が設定した情報内容(チャンネル設定、予約、各調整値、LAN設定、暗証番号、IPTVの基本登録情報やアクティビラの購入情報、インターネット関連のデータなど)がすべて初期化されます。

設定

全ての情報を消去、USB-HDDの情報を残して消去、しない

設定メニュー項目の一覧



AVポジション(画質切換)

(メニューを操作したいとき)

- 映画やゲームなどに適した映像・音声に切り替えます。

設定

高精細、ぴったりセレクト、標準、映画、映画THX、映画(クラシック)、ゲーム、PC、フォト、ダイナミック、ダイナミック(固定)、3D、ゲーム(3D)

ツールメニューからも設定できます。(⇒ [4-68ページ](#))

お知らせ

- 入力によっては選択できないAVポジションがあります。
接続する機器によっては、記載されていないAVポジションが表示される場合があります。

分割駆動エンジン設定

(メニューを操作したいとき)

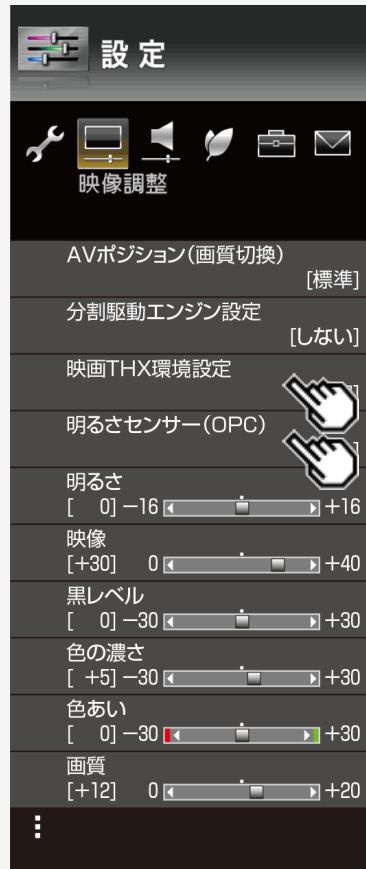
- 分割駆動エンジンの画質を設定します。

メニュー項目名	設定
しない	分割駆動エンジンを停止します。
モード1	映像の精細感を出しつつ、画面の明るさを重視したモードになります。
モード2	映像の精細感を重視したモードになります。

お知らせ

- 「QS駆動」を「240フレッドスピード」に設定している場合は、「分割駆動エンジン設定」の設定はできません。

設定メニュー項目の一覧



映画THX環境設定

- 室内の照明状況など周囲の明るさに応じた映像に調整します。
この項目はAVポジションが「映画THX」のときのみ選べます。

設定

明室、暗室

明るさセンサー(OPC)

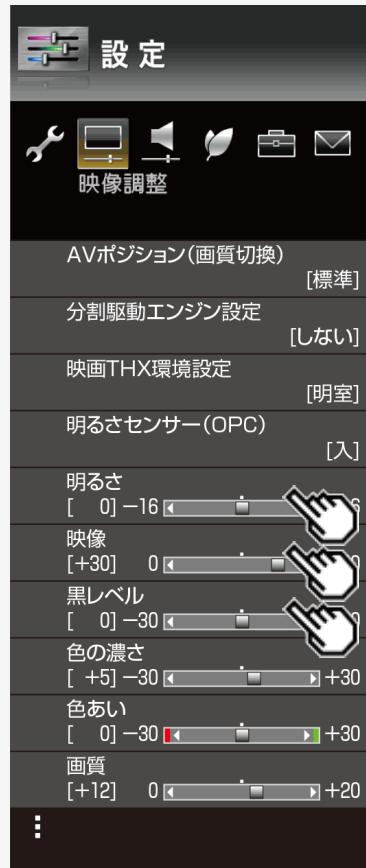
(メニューを操作したいとき)

- 室内の照明状況など周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整するかを、「入:表示あり」「入」「切」で設定します。

設定

切、入、入:表示あり

設定メニュー項目の一覧



明るさ

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

- 画面をお好みの明るさに手動で調整します。(調整すると、上の項目の「明るさセンサー(OPC)」は「切」になります。)

設定

-16～0～+16

映像^{※1}

- 映像の強弱を調整します。

設定

0～+40

黒レベル^{※1}

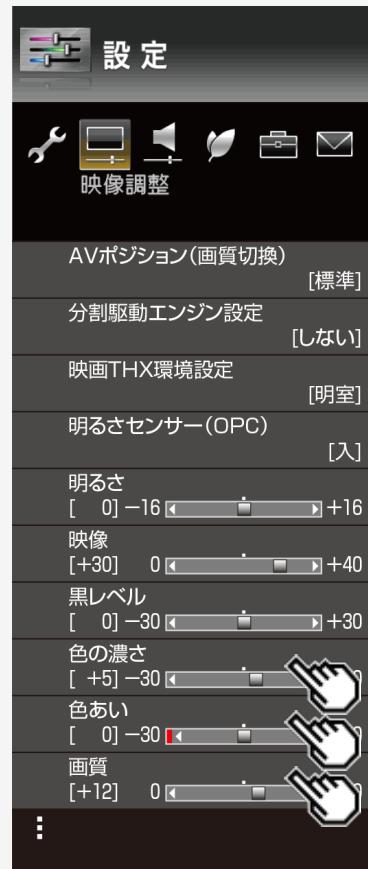
- 画面を見やすい明るさに調整します。

設定

-30～0～+30

お知らせ

※1 取扱説明ガイドを表示中は操作できません。取扱説明ガイドを終了してから操作してください。



設定メニュー項目の一覧

色の濃さ※1

- 映像の色の濃さを調整します。

設定

-30～0～+30

色あい※1

- 色を調整します。

設定

-30～0～+30

画質※1

- 画面をお好みの画質に調整します。
AQUOS純モード対応レコーダーが接続されているとき、レコーダーによっては、番組表示時やモードによって選択できない場合があります。

設定

0～+20

お知らせ

※1 取扱説明ガイドを表示中は操作できません。取扱説明ガイドを終了してから操作してください。

設定メニュー項目の一覧



プロ設定

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

色域モード

- 表示する色再現範囲を設定します。

設定

アドバンス、スタンダード

色温度

- 青みがかった白(色温度:高)にするか、赤みがかった白(色温度:低)にするかを調整します。
また、色温度ごとにRゲイン、Gゲイン、Bゲインの値を変えて、ホワイトバランスを微調整することができます。
- 色温度の「低(キセノン)」「低(カーボンアーケ)」はAVポジションが「映画」「映画(クラシック)」のときのみ選択できます。

メニュー項目名	設定
色温度	色温度 高、高-中、中、中-低、低、 低(キセノン)、低(カーボンアーケ)
	Rゲイン(低) -30～0～+30
	Gゲイン(低) -30～0～+30
	Bゲイン(低) -30～0～+30
	Rゲイン(高) -30～0～+30
	Gゲイン(高) -30～0～+30
	Bゲイン(高) -30～0～+30
	リセット

設定メニュー項目の一覧



プロ設定(つづき)

(メニューを操作したいとき)

QS駆動

- 動きの速い映像をくっきりと、より見やすくする設定です。

設定

240フレットスピード、アドバンススピード、アドバンス(強)、
アドバンス(標準)、スタンダード、しない

お知らせ

- QS駆動の設定を「240フレットスピード」「アドバンススピード」「アドバンス(強)」「アドバンス(標準)」にすると、映像が乱れる場合があります。その場合は「スタンダード」にしてください。
- インターネットやコンテンツマネージャーで写真や音楽を再生しているときは選択できません。ただし、動画を再生しているときは、選択できます。
- 3Dモード中は選択できません。
- AVポジション「PC」のときは、「240フレットスピード」「アドバンススピード」「アドバンス(強)」「アドバンス(標準)」が選択できません。
- 「分割駆動エンジン設定」を「モード1」「モード2」に設定している場合は、「240フレットスピード」が選択できません。
- 取扱説明ガイドを表示中は操作できません。取扱説明ガイドを終了してから操作してください。

設定メニュー項目の一覧



プロ設定(つづき)

(メニューを操作したいとき)

ランプ揺らぎ効果

- 光源ランプのゆらぎ演出効果を設定します。
- AVポジションが「映画(クラシック)」のときのみ選択できます。

設定

0~+3

アクティブコントラスト

- シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。「する」「しない」の2つの中から選べます。

ガンマ設定

- 映像の明るい部分と暗い部分の階調の差を調整できます。

メニュー項目名	設定
アクティブコントラスト ^{※1}	する、しない
ガンマ設定	-3~0~+3

お知らせ

※1 視聴している画面によっては選択できません。

設定メニュー項目の一覧



プロ設定(つづき)

(メニューを操作したいとき)

フィルムモード ※1※3※4※5※6※7

- ・ フィルム収録のDVDなど、元信号が24コマ／秒の映像を高画質で再生するための設定です。

デジタルNR ※2※5※6※7

- ・ 映像に乗ったノイズを減らし、すっきりさせる機能です。

4Kアップコンバート

- ・ 映像のアップコンバート回路の設定です。

メニュー項目名	設定
フィルムモード	アドバンス(強)、アドバンス(標準)、スタンダード、しない
デジタルNR	自動、強、中、弱、しない
4Kアップコンバート	アドバンス、スタンダード

お知らせ

※1 AVボタンが「ゲーム」のときは選択できません。

※2 AVボタンが「PC」のときは選択できません。

※3 入力信号がプログレッシブ(480p, 720p, 1080p)のときは選択できません。

※4 入力信号がPC信号のときは選択できません。

※5 視聴している画面によっては選択できません。

※6 人力信号の種類や映像コンテンツによっては、効果がわからないことがあります。

※7 取扱説明ガイドを表示中は操作できません。取扱説明ガイドを終了してから操作してください。

設定メニュー項目の一覧



プロ設定(つづき)

(メニューを操作したいとき)

モノクロ

- 白黒映像にします。

明るさセンサー(OPC)設定

- 明るさセンサー(OPC)「入」時の、動作範囲の最大値と最小値をお好みの値に設定できます。
周囲の明るさにもよりますが、設定範囲がせまい場合は、明るさセンサーが働きません。

メニュー項目名	設定	
モノクロ ※1	する、しない	
明るさセンサー(OPC)設定	最大値設定	-16～0～+16
	最小値設定	-16～0～+16

お知らせ

※1 取扱説明ガイドを表示中は操作できません。取扱説明ガイドを終了してから操作してください。

リセット

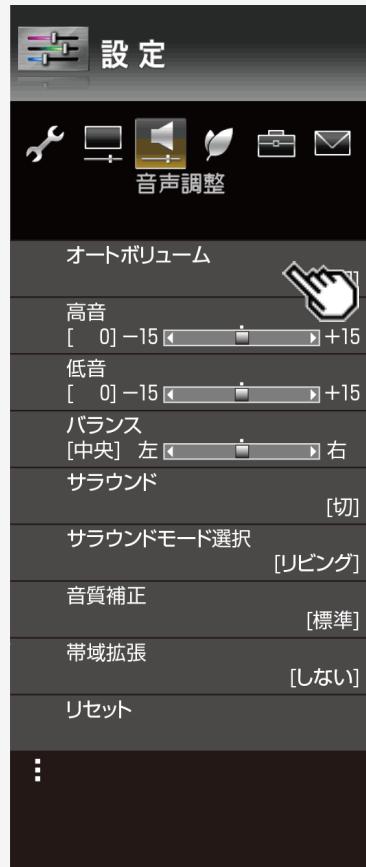
(メニューを操作したいとき)

- 映像調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。

設定

する、しない

設定メニュー項目の一覧



オートボリューム

(メニューを操作したいとき)

- チャンネルを切り換えたときやコマーシャルに切り換わったときなど極端に音量が変わると、自動的に音量を調整して不快感を軽減できます。撮影した映像や他の機器で録画した番組の音量が小さすぎるときは、自動的に聞こえやすい音量になります。

設定

強	音量変化を強く抑え、音量差を最も小さくします。
中	音量変化を中くらいに抑えます。
弱	音量変化をわずかに抑えます。
切	この機能を無効にします。元の音の音量変化を保ちます。

お知らせ

- 声の聞きやすさ設定を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合、オートボリュームは自動的に設定され、変更できません。
- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーに対しては働きません。
- 放送やBD/DVDなどのコンテンツによっては、本機能の効果が十分に得られない場合があります。

設定メニュー項目の一覧



高音

(メニューを操作したいとき)

- 高音を調整できます。

設定

-15～0～+15

低音

(メニューを操作したいとき)

- 低音を調整できます。

設定

-15～0～+15

バランス

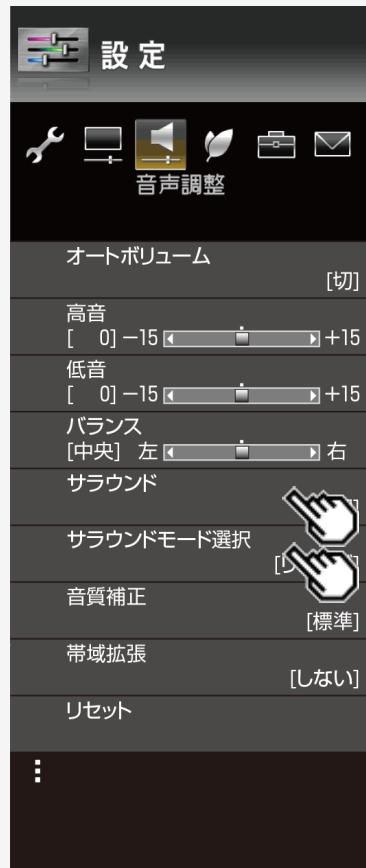
(メニューを操作したいとき)

- 左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。

設定

左30～中央～右30

設定メニュー項目の一覧



サラウンド

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

- 内蔵のスピーカーで臨場感あふれるサラウンド空間を擬似的に実現します。

設定

自動、入、切

サラウンドモード選択

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

- サラウンド有効時のモードを選択します。

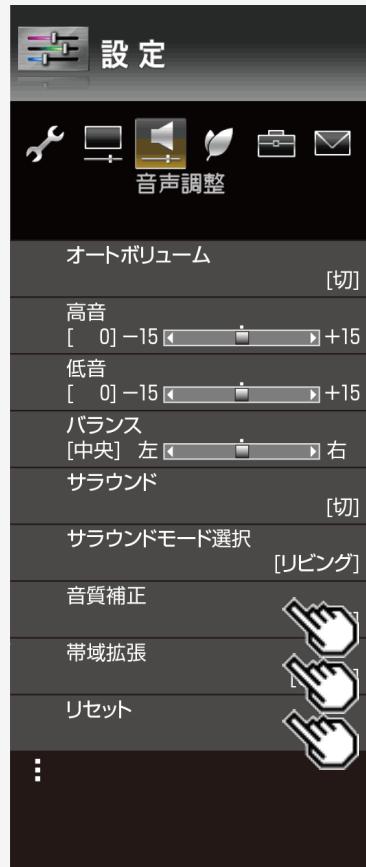
設定

リビング	立体的なサラウンドが楽しめます。
------	------------------

シアター	映画館のような臨場感あふれるサラウンドが楽しめます。
------	----------------------------

ホール	ホールで聞いているようなサラウンドが楽しめます。
-----	--------------------------

設定メニュー項目の一覧



音質補正

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

- 選択しているAVポジションの音質を設定します。

設定

標準

標準設定です。

ダイナミック

メリハリのきいた設定です。

帯域拡張

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

- 低域と高域を拡張します。

設定

低域+高域、低域、しない

リセット

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

- 上記の音声調整設定を工場出荷時の設定に戻します。

設定メニュー項目の一覧



壁掛け視聴設定

(メニューを操作したいとき)

- この機能は、当社が開発した壁掛け設置に適した音質の設定機能です。

メニュー項目名	設定
壁掛け視聴設定	する、しない

お知らせ

- 壁掛け視聴設定は、一般的な壁に掛けた際の音を設定していますが、壁の材質や設定条件によっては、本設定が適さない場合があります。その場合は、ホーム画面から「設定」→「 (音声調整)」で調整してください。
- 声の聞きやすさ設定を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合は、視聴設定は選べません。
- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。

設定メニュー項目の一覧



声の聞きやすさ

(メニューを操作したいとき)

- ドラマや映画のセリフが聞き取りにくいとき、人の声に関する音域を強調させて聞き取りやすくすることができます。

設定	
標準	音の大きさをそろえた標準的な音質にします。
マイルド	標準よりもマイルドな音質にします。 セリフ以外の効果音や雑音を小さくし、セリフを聞きとりやすくします。
くつきり	標準よりもくつきりした音質にします。 セリフの音質をくつきりさせて、聞きとりやすくします。
しない	この機能を無効にします。(工場出荷時設定)

お知らせ

- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。

設定メニュー項目の一覧



照明オフ運動

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

メニュー項目名	設定	
照明オフ運動	解除、設定	照明オフ運動機能の「設定」「解除」を設定します。
電源切(待機状態)移行時間	0分、15分、30分、60分	部屋の明るさがある程度の暗さに変わってから、画面の明るさと音量を徐々に上げ、何分後に本機の電源を「切」にするかを設定します。
表示設定	アイコン+文字、文字のみ	画面にアイコンとメッセージを表示するか、メッセージのみ表示するかを選択します。

お知らせ

- 明るさセンサーの前にものを置いたりすると、部屋の明るさを感知できなくなります。

設定メニュー項目の一覧



セーブモード設定

(メニューを操作したいとき)

メニュー項目名	設定	
セーブモード映像オフ	する、しない	セーブモードにすると映像が消えるように設定できます。(音声は消えません)
セーブモード画質	する	画面の明るさを最小にして消費電力を抑えつつ、見やすい画質にします。
	しない	画面の明るさを控えめ(最小にはしない)にして、消費電力を抑えます。
セーブモード無信号オフ	する	セーブモードにすると、「無信号オフ」 (⇒4-43ページ)が「する」に自動で設定されます。
	しない	「無信号オフ」 (⇒4-43ページ)の設定に従います。
セーブモード無操作オフ (3時間)	する	セーブモードにすると、「無操作オフ」 (⇒4-43ページ)が「3時間」に自動で設定されます。
	しない	「無操作オフ」 (⇒4-43ページ)の設定に従います。

お知らせ

- セーブモードに設定されている場合は、映像調整ができません。

設定メニュー項目の一覧



映像オフ

(メニューを操作したいとき)

- 映像を消して音声だけを聞くことができます。

設定

する、しない

お知らせ

- 操作により映像が復帰したり、一度電源を切ったりすると、自動的に設定が「しない」になります。

映像を復帰させたいときは

- 選局ボタンを押すなど、「音量調整」、「消音」、「音声切換」以外の操作をしてください。

設定メニュー項目の一覧



無信号オフ

(メニューを操作したいとき)

- 放送終了後など、番組が映らない状態になると、約15分後に電源が切れるように設定できます。

設定

する、しない

お知らせ

- 放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
- 放送電波の状態などにより、番組を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。

無操作オフ

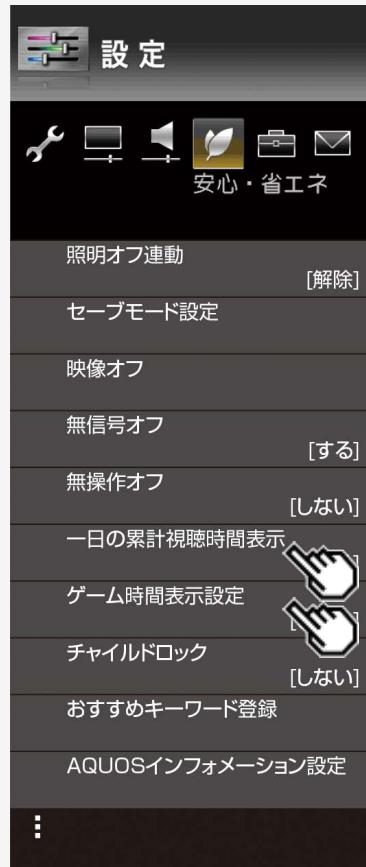
(メニューを操作したいとき)

- 本機を操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

設定

しない、30分、1時間、2時間、3時間

設定メニュー項目の一覧



一日の累計視聴時間表示

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

- 午前0時からの累計視聴時間を右下に30分ごとに表示する設定です。

設定

する、しない

ゲーム時間表示設定

- ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、プレイ時間を30分ごとに表示する機能です。
- 入力1～入力6に入力切換しているときに表示されます。

設定

する、しない

お知らせ

- 取扱説明ガイドを表示中は操作できません。取扱説明ガイドを終了してから操作してください。



設定メニュー項目の一覧

チャイルドロック

(メニューを操作したいとき)

- リモコンまたは本体の操作をロックするよう設定できます。

設定

しない、リモコン操作ロック、本体操作ロック

お知らせ

- 誤ってリモコン操作をロックしてしまった場合は、本体の操作ボタン(⇒ [2-6ページ](#))で操作し、ロックを解除してください。
(⇒ [11-41ページ](#) ビジュアルガイド)

おすすめキーワード登録

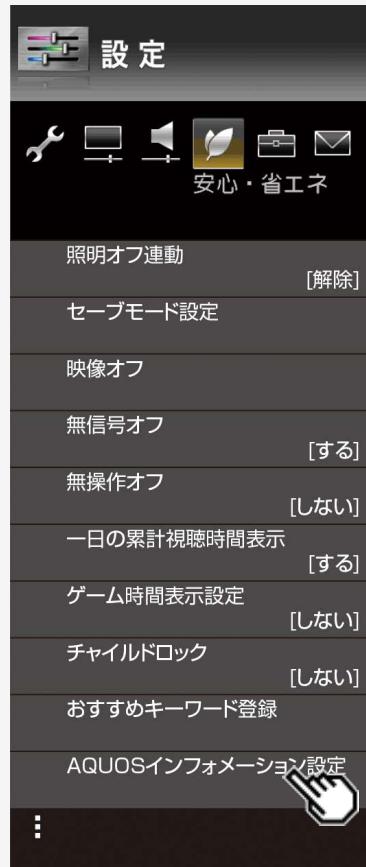
(メニューを操作したいとき)

- おすすめキーワードの登録を行います。

設定

キーワード	検索の対象にしたいキーワードを設定します。
除外ワード	検索の結果から除外したいキーワードを設定します。
ジャンル	各種ジャンルから検索の対象にするかどうかを設定します。
自動録画	見つかった番組を自動で録画するかどうかを設定します。
録画先HDD	自動で録画するUSB-HDDを設定します。
対象の放送	自動録画の対象にする放送種別「地上D」「BS」「CS」を設定します。
有料チャンネル	有料放送を自動録画の対象にするかどうかを設定します。

設定メニュー項目の一覧



AQUOSインフォメーション設定

(メニューを操作したいとき)

- AQUOSインフォメーションとは、インターネット経由で情報を受信したり、おすすめの番組があるときに番組タイトルの一覧を表示させたりすることのできる機能です。

メニュー項目名	設定	
視聴番組連動情報	する、しない	AQUOSインフォメーションで視聴番組連動情報が表示されます。
おすすめ番組※1	する、しない	AQUOSインフォメーションでおすすめ番組の情報が表示されます。 登録したキーワードや視聴履歴から番組をおすすめします。
未視聴録画番組	する、しない	AQUOSインフォメーションでUSB-HDDの未視聴録画番組の情報が表示されます。
インターネット情報	する、しない	AQUOSインフォメーションでインターネットからの情報が表示されます。

お知らせ

※1 取扱説明ガイドを表示中は操作できません。取扱説明ガイドを終了してから操作してください。

設定メニュー項目の一覧



履歴リセット

(メニューを操作したいとき)

- おすすめ番組で使用する視聴履歴や検索履歴を消去します。

メニュー項目名	設定
視聴履歴リセット	する、しない
検索履歴リセット	する、しない

設定メニュー項目の一覧



視聴操作

設定	
番組情報	デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示できます。 番組情報 リモコンの でも表示できます。(⇒ 3-26 ページ) ツールメニューからも切り換えられます。(⇒ 4-78 ページ)
画面表示	視聴中のチャンネル情報を表示します。 画面表示 リモコンの でも表示できます。(⇒ 3-34 ページ)
3桁入力	3桁のチャンネル番号を入力して選局します。 3桁入力 リモコンの でも選局できます。
テレビ/ラジオ/インターネット/ポータル	複数のプラットフォームを受信している場合に、プラットフォームを切り換えられます。 ツールメニューからも切り換えられます。 (⇒ 4-69 ・ 4-77 ページ)
dデータ	データ運動がある番組のとき、データ画面を表示できます。
映像切換	複数の映像がある番組のとき、映像を切り換えられます。 ツールメニューからも切り換えられます。(⇒ 4-69 ページ)
音声切換	複数の音声がある番組のとき、音声を切り換えられます。
字幕	字幕の表示方式や表示言語を変更します。 ツールメニューからも変更できます。(⇒ 4-69 ページ) (詳しい操作手順は⇒ 3-29 ページをご覧ください。)
静止	画面を静止させます。 (詳しい操作手順は⇒ 3-25 ページをご覧ください。)

お知らせ

- 取扱説明ガイドを表示中は操作できません。取扱説明ガイドを終了してから操作してください。

設定メニュー項目の一覧



視聴操作(つづき)

設定	
3Dボタン	映像を3Dで視聴したり、3D映像を2Dで視聴することができます。
3Dストレッチ	3D映像で目の体操ができます。
画面サイズ	放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。「画面サイズ」の設定で、映像の左右幅や上下幅を変えて黒帯を消すことができます。 ツールメニューからも操作できます。(⇒ 4-71ページ) (画面サイズ切換の設定項目については⇒ 12-14ページ をご覧ください。)
2画面	2つの映像を同時に画面表示します。 <small>2画面</small> リモコンの  でも表示できます。(⇒ 3-11ページ)

お知らせ

- 取扱説明ガイドを表示中は操作できません。取扱説明ガイドを終了してから操作してください。

「画面サイズ」について

- USBメモリーの画像の表示中は、画面サイズの切り替えはできません。
- 字幕表示の「表示方式」(⇒[3-32ページ](#))を「アウトスクリーン字幕上」または「アウトスクリーン字幕下」にした場合、画面サイズの切り替えはできません。画面サイズを切り替えたい場合は、「表示方式」を「表示しない」または「オンスクリーン」にする必要があります。
- 1035iは、本機の画面表示(チャンネルサイン)では「1080i」と表示されます。
- ハイビジョン放送など、画面サイズ「フル1」でご覧になっているときに、上部にわずかな黒帯が表示される場合は、「フル2」でご覧ください。

設定メニュー項目の一覧



視聴操作(つづき)

設定	
録画状態	録画場所、録画番組詳細、録画時間・カウンター、録画モード、録画可能時間などを10秒程度表示します。ツールメニューからも表示できます。(⇒ 4-68ページ)
ファミリンク操作	ファミリンク機器の操作ができます。
セーブモード	セーブモードでの視聴に切り換えできます。ツールメニューからも切り換えできます。(⇒ 4-71ページ)
インフォメーション	AQUOSインフォメーションを表示できます。
取扱説明 (操作ガイド)	テレビに内蔵した操作ガイドを表示します。ツールメニューからも表示できます。(⇒ 4-74ページ)

お知らせ

- 取扱説明ガイドを表示中は操作できません。取扱説明ガイドを終了してから操作してください。

3D設定

(メニューを操作したいとき)

- 3D関係の設定です。

メニュー項目名	設定
3D自動切換	する、しない
2D→3D変換効果調整	1～16
3D視聴時間お知らせ設定	する、しない

設定メニュー項目の一覧



ファミリンク設定

(メニューを操作したいとき)

メニュー項目名	設定	
ファミリンク制御(連動)	する、しない	ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合、「しない」に設定します。
連動起動設定	する、しない	ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。
ファミリンクレコーダー選択	録画に使用するファミリンク機器を選択します。	
ジャンル連動	する、しない	デジタル放送のジャンル情報に従って、AQUOSオーディオが適切なサウンドモードに切り換わるように設定できます。
選局キー	入力1	自動、する、しない
	入力2	自動、する、しない
	入力3	自動、する、しない
	入力4	自動、する、しない
ARC設定		「ARC (オーディオリターンチャンネル)」は、テレビのチューナーの音声をHDMIケーブルを使ってAVソースなどに伝送する機能です。「ARC設定」を「自動」に設定すると、本機がARC対応のAQUOSオーディオをHDMIケーブル一本で接続することができます。この機能は、入力2端子に接続したときのみ使えます。

ツールメニューからも設定できます。(⇒ [4-73ページ](#))

設定メニュー項目の一覧



おはようタイマー

(メニューを操作したいとき)

- 指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。（ヘッドホンをつないでいても、本体のスピーカーから音声が出ます。）おはようタイマーを設定すると、本体のTIMER/REC（タイマー／録画）ランプ（⇒[2-1](#)ページ）が橙色に点灯します。
異なる設定のタイマーを7種類までセットできます。
(⇒[3-46](#)～[3-52](#)ページ)

メニュー項目名	設定
おはようタイマー	解除、設定
曜日	毎日、月～土、月～金、毎週日曜～毎週土曜、1回だけ
時刻(時)	おはようタイマー時刻設定 時
時刻(分)	おはようタイマー時刻設定 分
入力	地上D、BS、CS、入力1～6、コンテンツマネージャー
CH	
音量	0～100
アラーム音	なし、ベル、電子音
モード	通常、スヌーズ、サンライズ、サンライズ(アイコン)

ツールメニューからも設定できます。（⇒[4-71](#)ページ）

設定メニュー項目の一覧



おはようタイマー(つづき)

(メニューを操作したいとき)

お知らせ

おはようタイマーを「設定」にすると

- ・「解除」にするまで、設定した曜日に繰り返しおはようタイマーが働きます。
- ・おはようタイマーで電源が入ってから2時間操作をしない場合は、電源が切れます。(電源が切れる5分前になると画面左下にメッセージが表示されます。)
- ・タイマー1～7は、日時の早いものが優先して作動し、同じ曜日であれば、7件別々の時間に別々のモードで作動させることができます。ただし、「おはようタイマー」が「設定」かつ「曜日」が「一回だけ」のタイマーがあるとき、他のタイマーは作動しません。
- ・タイマー1～7が同じ時間のときは、より番号が若いタイマーの設定が優先されます。
- ・「曜日」が「1回だけ」の設定で同時刻のタイマーがある場合は、タイマーレベルの小さいものだけが実行されます。(他の「1回だけ」のタイマーは、「解除」になります。)

設定メニュー項目の一覧



おはようタイマー(つづき)

(メニューを操作したいとき)

お知らせ

おはようタイマーで外部入力を使用する場合には

- あらかじめ外部入力機器の電源を入れ、視聴できる状態にしておいてください。外部入力機器が視聴できる状態になっていなければ映像や音声は出ませんのでご注意ください。

おはようタイマーのモードが「サンライズ」または「サンライズ(アイコン)」の場合は

- 電源が入ってしばらくは映像が出力されません。

お出かけになるときなど、おはようタイマーで自動的に電源を入れたくない場合は

- 「電源ボタン設定」(⇒ [4-19ページ](#))を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切るか、おはようタイマーを解除してください。

設定メニュー項目の一覧



おやすみタイマー

(メニューを操作したいとき)

- 指定した時刻に、自動的に電源が切れるように設定できます。
(⇒ [3-42ページ](#))

メニュー項目名	設定
おやすみタイマー	解除、設定
時刻(時)	おやすみタイマー時刻設定 時
時刻(分)	おやすみタイマー時刻設定 分
モード	通常、サンセット
表示設定	アイコン+文字、文字のみ

ツールメニューからも設定できます。(⇒ [4-71ページ](#))

お知らせ

- 無操作オフや無信号オフ(⇒ [4-43ページ](#))が設定されている場合は、一番早く切れるタイマーで電源が切れます。
- おやすみタイマーのコードの設定が「サンセット」の状態で、「時刻(時)」「時刻(分)」を10分以内の時刻に設定した場合、徐々に画面を暗くし、音量を下げる動作は行いません。
- おやすみタイマーとおはようタイマーを同じ時刻に設定すると、本機が電源待機中のときはおはようタイマーが作動し、本機が動作中のときはおやすみタイマーが作動します。
- テレビに全画面表示している番組表の操作中や、一部のホーム画面の操作中は、指定時刻になつても操作を優先しているため、電源が切れません。操作を終了したあとに、画面左下にアイコンや文字が表示され、電源が切れます。
- 本機の内蔵時計が正しくないときは、「時刻設定」(⇒ [4-22ページ](#))が必要です。

設定メニュー項目の一覧



オフタイマー

(メニューを操作したいとき)

- 指定した時間後に電源を切れます。
(⇒ [3-39](#) ページ)

メニュー項目名	設定
変更する	切、この番組の最後まで(次の番組の最後まで)、0時間30分、1時間00分、1時間30分、2時間00分、2時間30分
変更しない	

ツールメニューからも設定できます。(⇒ [4-71](#) ページ)

お知らせ

- 「この番組の最後まで」は、番組延長には対応していません。
- 「この番組の最後まで」は、オフタイマーを設定したときの番組終了時刻で設定されます。
- 設定後にチャンネルを切り換えるても終了時刻は変更されません。
- 番組終了の約2分前を過ぎてからオフタイマーの設定をした場合は、「この番組の最後まで」の代わりに「次の番組の最後まで」が表示されます。
- 番組の終了時刻の情報が取得できない場合は、「この番組の最後まで」または「次の番組の最後まで」は選べません。

設定メニュー項目の一覧



外部端子設定

(メニューを操作したいとき)

ヘッドホン

- ヘッドホン使用中に、スピーカーとヘッドホン端子から出る音声を切り替えます。

メニュー項目名	設定	
ヘッドホン	モード1	ヘッドホンだけで音を聞きたいときの設定です。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからは音が出なくなります。
	モード2	ヘッドホンをつないでもスピーカーから音が出ます。スピーカーだけでは聞きづらい方と、スピーカー音量を大きくし過ぎたくない方が一緒に楽しむときに便利な設定です。
	モード3	1画面時はヘッドホン端子からのみ出力され、2画面時は操作側音声がスピーカーから出力され、非操作側音声がヘッドホン端子から出力されます。

お知らせ

「モード2」の音量調整について

- スピーカーの音量調整はリモコンで行います。
- ヘッドホンの音量調整は本体の音量(+/-)ボタンで行います。
- リモコンの消音ボタンを押しても、ヘッドホンの音量は「0」になりません。

設定メニュー項目の一覧



外部端子設定(つづき)

(メニューを操作したいとき)

入力／音声出力切換※1

- 入力5端子を音声出力に切り換える設定をします。

入力3音声選択※2

- 入力3時に、音声入力する端子を切換します。

入力6音声選択※3

- 入力6時の音声入力を設定します。

メニュー項目名	設定	
入力／音声出力切換	入力	映像と音声の外部入力端子として使います。
	モード1	するしない 音声出力端子(音量可変)に設定します。 テレビのスピーカーから音が出ません。
	モード2	するしない 音声出力端子(音量可変)に設定します。 テレビのスピーカーからも音が出ます。
	モード3	するしない 音声出力端子(音量固定)に設定します。
入力3音声選択	HDMI アナログ音声入力	入力3時に、音声入力する端子を切換します。
入力6音声選択	アナログ音声入力、 使用しない	入力6時の音声入力を設定します。

お知らせ

※1 取扱説明ガイドを表示中は操作できません。取扱説明ガイドを終了してから操作してください。

※2 入力3に入力切換しているときに表示されます。

※3 入力6に入力切換しているときに表示されます。

設定メニュー項目の一覧



外部端子設定(つづき)

(メニューを操作したいとき)

デジタル音声設定

- デジタル音声の信号形式を設定します。

メニュー項目名	設定
デジタル音声設定	PCM
	ビットストリーム

設定メニュー項目の一覧



外部端子設定(つづき)

(メニューを操作したいとき)

入力スキップ

- 入力1～4、入力6、コンテンツマネージャー、Miracast、テレビーナ、地上D、BS、CSを使用しないときは、入力切換の際に飛ばすことができます。

メニュー項目名	設定
入力スキップ	入力1(HDMI)
	入力2(HDMI)
	入力3(HDMI)
	入力4(HDMI)
	入力6(PC)
	コンテンツマネージャー
	Miracast
	テレビーナ
	地上デジタル(本体)
	BSデジタル(本体)
	CSデジタル(本体)

ツールメニューからも設定できます。(⇒ [4-75ページ](#))



設定メニュー項目の一覧

外部端子設定(つづき)

(メニューを操作したいとき)

入力選択

- 入力5の映像が表示されない場合、「D端子」または「ビデオ映像」を選びます。

メニュー項目名	設定
入力選択※1※2	自動、D端子、ビデオ映像

入力表示

- 入力1～6、Miracast入力に接続している機器に合わせ、入力切換メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。

メニュー項目名	設定
入力表示※1※3	(選択入力で内容変化)ユーザー設定: 編集

HDMIコンテンツタイプ連動

- HDMIケーブルを使って本機と接続した機器から、映画、ゲーム、フォト、グラフィックのコンテンツ情報が送られたときに、受け取ったコンテンツ情報に合わせて、本機が自動的にAVポジションを切り替えます。

メニュー項目名	設定
HDMIコンテンツタイプ連動 ※1※4	する、しない

お知らせ

※1 取扱説明ガイドを表示中は操作できません。

※2 入力5に入力切換しているときに表示されます。

※3 入力1～入力6、Miracast入力に入力切換しているときに表示されます。

※4 入力1～入力4に入力切換しているときに表示されます。

設定メニュー項目の一覧



画面表示設定

(メニューを操作したいとき)

メニュー項目名	設定		
番組 サムネイル	地上デジタル	する しない	地上デジタル放送の静止映像を取得します。
	BSデジタル	する しない	BSデジタル放送の静止映像を取得します。
	録画番組	する しない	録画した番組の静止映像を取得します。
文字サイズ	標準 大きな文字	する	ホーム画面に表示される文字の大きさを変更できます。 ツールメニューからも設定できます。(⇒4-14ページ)
ホーム画面 表示入／切 設定	天気、時計、 AQUOS Cityからの お知らせ	する	ホーム画面の表示情報の入／切を設定します。
文字 スーパー 表示	する、しない	する	デジタル放送では、災害が発生すると同時に文字情報(文字スーパー)を表示する場合があります。文字スーパーを表示させるかどうかを設定できます。
画面位置	水平位置	する	画像が右寄せまたは左寄せの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
	垂直位置	する	画像が上がりすぎまたは下がりすぎの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
	リセット	する	工場出荷時の状態に戻します。

お知らせ

- 「文字スーパー表示」を「しない」に設定しても、放送局が強制的に表示する文字スーパーがあります。
- 「画面位置」は、インターネット閲覧時および取扱説明ガイドを表示中は設定できません。

設定メニュー項目の一覧



画面表示設定(つづき)

(メニューを操作したいとき)

オートワイド

- オリジナル映像の種類によって、映像を最適な画面サイズで表示することができます。デジタル放送視聴時は選択できません。
- 取扱説明ガイドを表示中は操作できません。取扱説明ガイドを終了してから操作してください。

メニュー項目名	設定
オート ワイド	映像判別 する、しない
	D端子識別 する、しない
	HDMI識別 する、しない

【説明】
入力1～5から入力された映像の上下に黒い幕があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」(⇒12-14ページ)にします。
入力5のD映像端子とビデオ機器との接続に使うケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えます。D端子ケーブルのときは「する」にすると自動的に最適な画面サイズになります。D-コンポーネント変換ケーブルのときはD端子識別が動作しないので「しない」に設定します。
入力1～4から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。

緊急警報放送設定

(メニューを操作したいとき)

- 外部入力などを視聴中に地上デジタル放送の緊急警報放送を受信したときに、受信した放送局へ自動で切り替えます。

設定
する、しない

お知らせ

- 電源待機状態からの起動はしません。

設定メニュー項目の一覧



受信機レポート

(メニューを操作したいとき)

- 予約の失敗や変更に関するレポート(自動で電源オフになった理由など)やB-CASカードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。

放送局メッセージ

(メニューを操作したいとき)

- 受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。ダウンロード設定(⇒4-18ページ)を「しない」に設定した場合、放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードできます。

設定メニュー項目の一覧



ボード(CSデジタル)

- 現在の放送で送られている、CS各ネットワークの掲示板(ボード情報)のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。
ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。
録画予約実行中は選べません。

設定

CS1、CS2

お知らせ

- 取扱説明ガイドを表示中は操作できません。取扱説明ガイドを終了してから操作してください。

B-CASカード

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

- 受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客様の契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。

カード識別…メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。
カードID……カード固有の番号です。

設定

実行



設定メニュー項目の一覧

システム動作テスト

(メニューを操作したいとき)

- B-CASカードが正しく挿入できているかをテストします。

設定

テスト実行

ソフトウェアライセンス

(メニューを操作したいとき)

- ソフトウェアライセンスを表示します。

ソフトウェアの更新

(メニューを操作したいとき)

- ソフトウェアをアップデートします。

設定

USBアップデート、ネットワークアップデート

取扱説明(操作ガイド)

- 取扱説明(操作ガイド)を表示します。

お困りのときは

(メニューを操作したいとき)

- 操作でお困りのときに便利な情報を表示します。

ツールメニューの使いかた



ツールメニューの基本的な操作のしかた

ツール

1. **ツール**を押してツールメニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで目的の項目を選び、**決定**を押す
 - リモコンの数字ボタンで項目を選ぶこともできます。
3. 上下カーソルボタンでさらに目的の項目を選び、**決定**を押す
 - 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。

お知らせ

- 表示中の画面によってツールメニューの項目は異なります。

ツールメニュー項目の一覧



ツール(放送視聴／外部入力など)

ツール

- 放送視聴中や外部入力視聴中などに  を押すと表示されます。
- 視聴中の画面によっては、表示されない項目があります。

録画状態

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

- USB-HDDの情報を画面に表示します。
- USB-HDD録画をしているときに表示されます。

録画停止

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

- USB-HDDまたはレコーダーの録画を停止します。

AVポジション(画質切換)

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

- 映画やゲームなどに適した映像・音声に切り替えます。

ツールメニュー項目の一覧



ツール(放送視聴／外部入力など)

ツール

- 放送視聴中や外部入力視聴中などに  を押すと表示されます。
- 視聴中の画面によっては、表示されない項目があります。

テレビ/ラジオ/データ/ポータル ※1

- 放送メディア切換を行います。

映像切換

- 複数の映像がある番組をご覧のとき、映像を切り換えて楽しめます。

字幕 ※1

- 字幕放送がある番組のとき、字幕の表示ができます。

お知らせ

※1 取扱説明ガイドを表示中は操作できません。取扱説明ガイドを終了してから操作してください。

ツールメニュー項目の一覧



ツール(放送視聴／外部入力など)

パソコン入力

- ・ アナログRGB入力の設定をします。
- ・ 入力6に入力切換しているときに表示されます。

メニュー項目名	設定
入力解像度	自動、1024×768、1366×768、1360×768 入力映像信号の解像度の手動設定です。
自動同期調整	する、しない 画面を自動で調整します。(入力信号によっては自動調整できないことがあります。)
画面調整	水平位置、垂直位置、クロック周波数、クロック位相、リセット 画面の位置を調整します。
	動きのある映像や色のメリハリの少ない映像などの映像信号やPCIによっては、自動調整で最適な画面にならないことがあります。手動で画面を調整してください。
水平位置	画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
垂直位置	画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
クロック周波数	縦じま状のチラツキがあるときに調整します。
クロック位相	文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。
リセット	工場出荷時の設定に戻します。

ツールメニュー項目の一覧



ツール(放送視聴／外部入力など)

画面サイズ

- 放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。「画面サイズ」の設定で、映像の左右幅や上下幅を変えて黒帯を消すことができます。
- 取扱説明ガイドを終了してから操作してください。

セーブモード

(メニューを操作したいとき)

- セーブモードでの視聴に切り換えできます。

タイマー機能

(メニューを操作したいとき)

- 各種タイマー機能の設定をします。

メニュー項目名	設定
お知らせタイマー	指定した時間に電子音を鳴らします。
おはようタイマー	設定した時間に電源を入れます。
おやすみタイマー	設定に従い自動で電源を切ります。
オフタイマー	指定した時間後に電源を切ります。

ツールメニュー項目の一覧



ツール(放送視聴／外部入力など)

Bluetooth↔テレビ音声切換

- Bluetooth機器の音声とテレビの音声を切り替えます。

お知らせ(受信機レポート)

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

- 予約の失敗や変更、本体に関わる情報を表示します。

お知らせ(放送局メッセージ)

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

- デジタル放送の放送局からのお知らせです。

ツールメニュー項目の一覧



ツール(放送視聴／外部入力など)

前画面

- 直前に視聴していたチャンネルや入力に戻します。

ファミリンク設定

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

- 外部機器との連携操作を行うファミリンクの設定です。

設定

[\(メニューを操作したいとき\)](#)

- 設定メニューを表示します。

ツールメニュー項目の一覧



ツール(ホーム画面)

ツール

- ホーム画面を表示中に
を押すと表示されます。

文字サイズ

- ホーム画面などの画面の文字サイズを設定します。

設定

標準、大きな文字

おすすめキーワード登録

- おすすめキーワードの登録を行います。

LAN設定

- LANの情報を設定します。

取扱説明(操作ガイド)

- 取扱説明(操作ガイド)を表示します。

ツールメニュー項目の一覧



ツール(入力切換)

ツール

- 入力切換画面を表示中に○を押すと表示されます。

入力表示

- チャンネルサインに表示する名称の設定です。

設定

入力1、入力2、入力3、入力4、入力5、入力6、Miracast

入力スキップ

- 入力選択のスキップ設定を行います。

インターネット1画面切換

- テレビ放送とインターネットを2画面表示しているときに表示されます。
- インターネット1画面に切り換えます。

テレビ+インターネット切換

- インターネットを1画面表示しているときに表示されます。
- テレビ放送とインターネットの2画面表示へ切り換えます。

ツールメニュー項目の一覧



ツール(スマートサーチ)

ツール

- スマートサーチ画面を表示中に  を押すと表示されます。

おすすめキーワード登録

- おすすめキーワードの登録を行います。

ツールメニュー項目の一覧



ツール(裏番組)

- 裏番組画面を表示中に  を押すと表示されます。

番組情報

- 番組情報を表示します。

テレビ/ラジオ/データ

- 放送メディア切換を行います。

ツールメニュー項目の一覧



ツール(録画リスト)

ツール

- 録画リストを表示中に  を押すと表示されます。

全画面録画リストへ

- 全画面録画リストを表示します。

消去

- タイトルを消去します。

番組情報

- 番組情報を表示します。

録画タイトル検索

- 録画されたタイトルを検索します。

ツールメニュー項目の一覧



ツール(録画リスト)

この番組を毎週予約する

- 選んだタイトルを毎週予約するように設定できます。

USB-HDD設定

- USBハードディスクを使用するための設定です。

文字を入力する(ソフトウェアキーボード)



- 本機の操作でUSBハードディスクの機器名の変更、番組表の検索等文字の入力が必要なときは、画面に表示されるソフトウェアキーボードを使って入力します。

- ソフトウェアキーボードは文字入力欄を選んで  を押すと表示されます。
- ソフトウェアキーボードは2種類あり、  で切り換えられます。

ソフトウェアキーボードの画面例①

(予測変換候補や文字種などの画面は一例です。)

上下左右カーソルキーと決定ボタンで文字や機能を選びます。

「文字種切換」や「入力完了」などボタン名が書かれている機能は、リモコンのボタンで直接選べます。

予測変換候補
保存された履歴によって候補が変わります。

入力中の文字が表示されます。 入力に関する操作

変換 無変換 入力完了 閉じる

よこそ AQUOS シャープ 変換履歴リセット

文字種切換 変換 無変換 文字種切換 入力完了

かな/カナ	あ	い	う	え	お	は	ひ	ふ	へ	ほ	←左	右→	戻る	1文字消去
英数字(A/a)	か	き	く	け	こ	ま	み	む	め	も	、	。	全文消去	
記号	さ	し	す	せ	そ	や	ゆ	よ	！	？	大→小			
区点	た	ち	つ	て	と	ら	り	る	れ	ろ	スペース	ツールキーボード切換		

文字の種類(文字種)

入力欄によって選択できる文字種が変わります。

入力できる文字

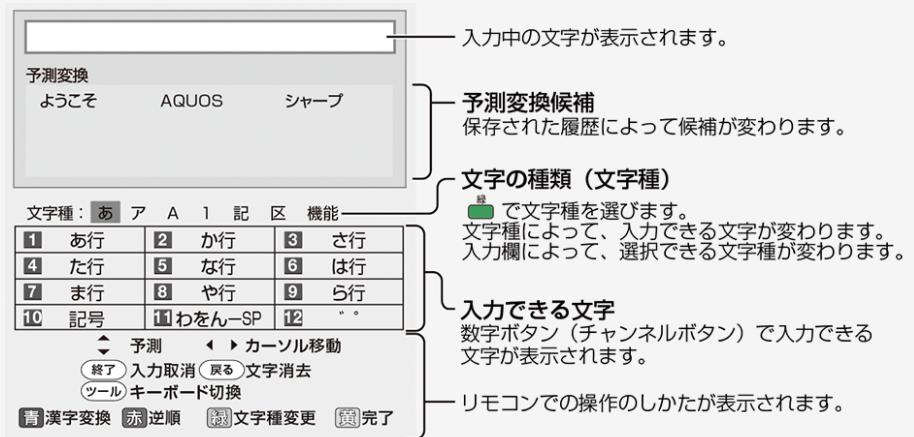
文字種/入力欄によって入力できる文字が変わります。

文字を入力する(ソフトウェアキーボード)



ソフトウェアキーボードの画面例②

(予測変換候補や文字種などの画面は一例です。)



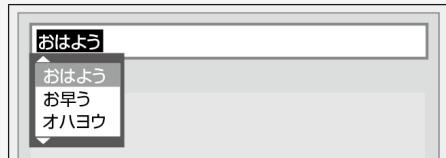
文字を入力する(ソフトウェアキーボード)



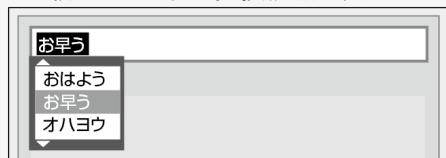
漢字やカタカナに変換する

青

1. 青色の **決定** ボタンを2回押し、入力欄の文字を変換する
 - 変換候補が表示されます。
 - 左右カーソルボタンで変換する範囲を選びます。



2. 上下カーソルボタンで入力したい文字を選び、**決定** ボタンを押す
 - ここでは「お早う」を選びます。
 - 次に続く文字の予測変換候補が表示されます。



文字を入力する(ソフトウェアキーボード)



漢字やカタカナに変換する

お知らせ

文字入力の制限について

- 文字入力する画面によっては、予測変換されない場合があります。
- 1つの入力欄に入力できる文字数は全角で128文字まで、半角で256文字までです。ただし、入力欄によっては、別途文字数制限が設けられている場合があります。
- 文字が入力されている欄を選んだときは、入力済みの文字が入力欄に表示されます。このとき、全角で128文字(半角の場合は256文字)を超える文字は削除されます。

予測変換候補を工場出荷時状態に戻すには

- 上下左右カーソルボタンで、「変換履歴リセット」を選んで  を押します。

文字を入力する(ソフトウェアキーボード)



改行するとき

1. 改行したい箇所を選ぶ

2. [機能] を繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ



3. [2] を押し、「改行」を選ぶ

- 「←」が入力されます。[OK] を押して文字を確定すると、「←」の部分で改行されます。

お知らせ

- 入力欄によっては、改行できない場合があります。また、改行以降の文字が消去される場合があります。
- 改行マークは、全角1文字として数えられます。
- 入力欄によって、選択できる文字種が変わります。
- 入力欄によっては、英字、数字、記号の全角と半角の切り替えができない場合があります。

文字を入力する(ソフトウェアキーボード)



入力中の文字を全て消去するとき

- 入力欄に表示されている文字をまとめて消去することができます。

緑

- 緑色のボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ



- 1を押し、「全文クリア」を選ぶ

- 入力中の文字が全て消えます。

- 続けて文字を入力するときは、緑色のボタンを押して、文字種を選んでください。

3Dメガネを準備する

3D映像を楽しむために

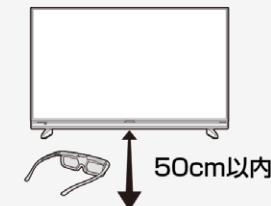
- 本機では、別売の3Dメガネで3D対応の映像を見ると3D映像を楽しむことができます。
- 本機で交互に再生される左用・右用の映像に合わせて、3Dメガネの液晶シャッターを交互に開閉し、3D映像を表現します。
- 3Dメガネは本機とペアリングする必要があります。

お知らせ

- 別の無線装置の影響があると、正しい3D映像が見られないことがあります。

ペアリングのしかた

- 本機を3Dモードに設定し、3Dメガネの電源ボタンを3秒以上長押ししたあと、下記推奨位置に3Dメガネを置いてください。



お使いの環境によってはペアリングしにくい場合があります。

その場合は本機と3Dメガネの位置を近づけて、再度ペアリングを行ってください。

3Dメガネの視聴可能範囲⇒[5-2ページ](#)
3Dモードへの切り替えについて⇒[5-3ページ](#)

3Dメガネの使いかた

3Dメガネの視聴可能範囲

視聴可能範囲

- AN-3DG50の場合、本機から約5.0m以内(左右約30°、上下約20°以内)

推奨距離

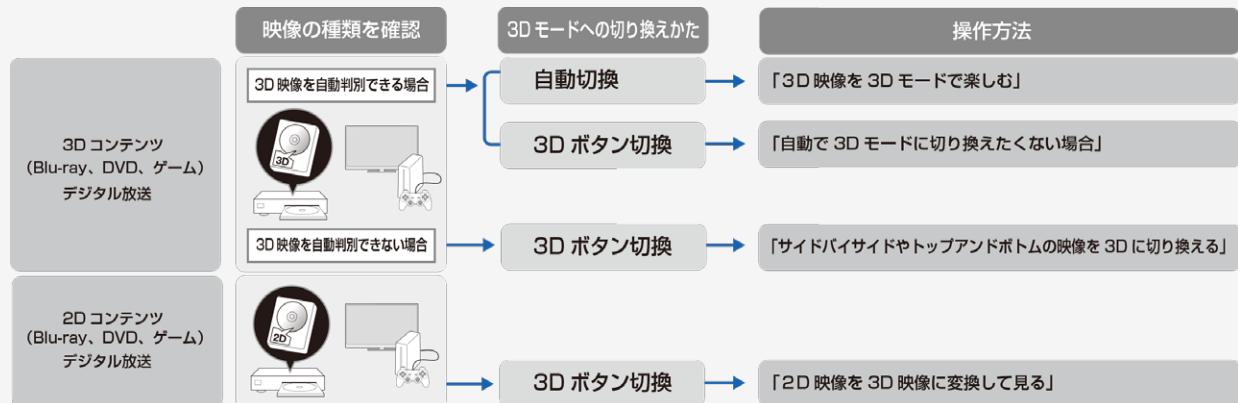
- 液晶画面の高さの3倍程度でお楽しみください。
60V型 2.2m 程度
52V型 1.9m 程度
46V型 1.7m 程度

- 視聴可能範囲以外で使用すると、3Dメガネが正常に動作しなくなることがあります。視聴可能範囲以内でも、ご利用の環境によっては3Dメガネが正常に動作しなくなることがあります。
- 3Dメガネのレンズに力を加えないでください。また、3Dメガネを落としたり、曲げたりしないでください。
- 銳利なもので3Dメガネのレンズの表面をひつかないでください。3Dメガネが破損し、3D映像の品質が低下するおそれがあります。

3D映像を視聴する

3Dモードへの切り替えについて

- 3Dモードへの切り替えかたは、映像によって異なります。
ご覧になりたい映像の種類を確認して、3Dモードに切り換えてください。



3D／2D映像の表示方式⇒[5-4ページ](#)

3D映像を3Dモードで楽しむ⇒[5-9ページ](#)

自動で3Dモードに切り換えたくない場合⇒[5-11ページ](#)

サイドバイサイドやトップアンドボトムの映像を3Dに切り換える⇒[5-15ページ](#)

2D映像を3D映像に変換して見る⇒[5-20ページ](#)

3D映像を視聴する

3Dモードへの切り換えについて

3D／2D映像の表示方式

3Dで視聴する表示方式(3Dメガネを使用します)

- 2D→3D変換(⇒ [5-5](#)ページ)
- サイドバイサイド→3D(⇒ [5-5](#)ページ)
- トップアンドボトム→3D(⇒ [5-6](#)ページ)

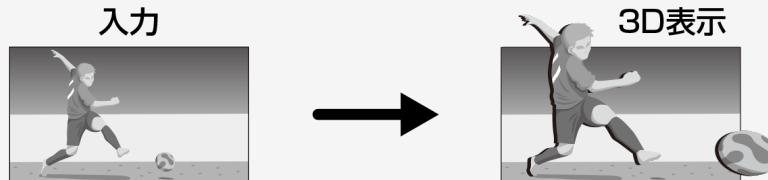
2Dで視聴する表示方式(3Dメガネを使用しません)

- サイドバイサイド→2D(⇒ [5-6](#)ページ)
- トップアンドボトム→2D(⇒ [5-7](#)ページ)

3Dモードへの切り換えについて

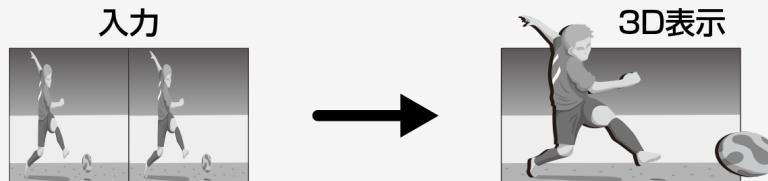
3D／2D映像の表示方式 2D→3D変換

- 3Dで視聴します。3Dメガネを使用します。
- 通常の2D映像を3Dで視聴するときに設定します。



3D／2D映像の表示方式 サイドバイサイド→3D

- 3Dで視聴します。3Dメガネを使用します。
- 左右にならんだ映像を3Dで視聴するときに設定します。左右で2分割した後、引き伸ばして交互に出力することで立体に見えます。

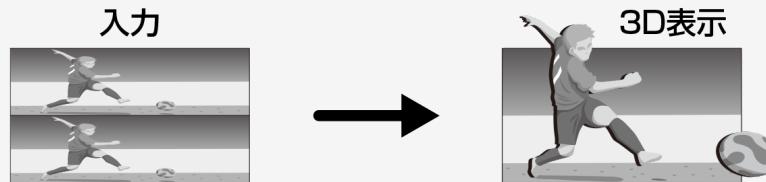


3D映像を視聴する

3Dモードへの切り換えについて

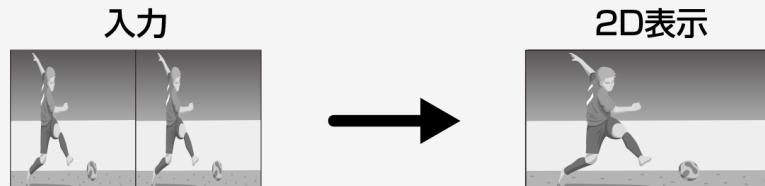
3D／2D映像の表示方式 トップアンドボトム→3D

- 3Dで視聴します。3Dメガネを使用します。
- 上下にならんだ映像を3Dで視聴するときに設定します。上下で2分割した後、引き伸ばして交互に出力することで立体に見えます。



3D／2D映像の表示方式 サイドバイサイド→2D

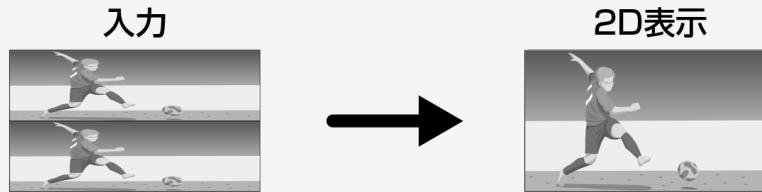
- 2Dで視聴します。3Dメガネを使用しません。
- 左右にならんだ映像を2Dで視聴するときに設定します。
左の映像だけを引き伸ばして表示します。立体には見えません。



3Dモードへの切り換えについて

3D／2D映像の表示方式 トップアンドボトム→2D

- 2Dで視聴します。3Dメガネを使用しません。
- 上下にならんだ映像を2Dで視聴するときに設定します。
上の映像だけを引き伸ばして表示します。立体には見えません。



3D映像視聴中のご注意

- 3Dメガネの近くで強い電磁波を生じる機器（携帯電話、ハンディ無線機など）を使用しないでください。誤動作の原因となります。
- 高温あるいは低温では3Dメガネは十分な性能を発揮できません。
使用温度範囲でお使いください。（使用温度範囲10°C～40°C）
- 3Dメガネは正しく装着してください。上下を反対にしたり、前後を逆にしたりすると、正しい立体像が見られません。
- 3Dメガネをかけた状態では、ほかのディスプレイ（パソコン画面、デジタル時計、電卓など）の表示が見づらくなることがあります。
- 3D映像以外は、3Dメガネを外して見てください。
- 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人、酒気帯びの人は3Dメガネを使用しないでください。
- 3Dメガネは、両目を水平に近い状態で視聴してください。横になったり顔を傾けたりすると、映像が暗くなったり3D効果を感じにくくなったりすることがあります。
- 画面の有効高さの3倍程度の視距離で見てください。
- 蛍光灯などの照明によっては、ちらついて見えることがあります。
このような場合は、蛍光灯を暗くしたり消したりして視聴してください。

3D映像を視聴する



3D映像を3Dモードで楽しむ

- 3D映像信号受信時に迫力と臨場感のある映像を楽しむことができます。
- 3D映像を自動判別できる信号の場合、自動的に3Dモードの映像へ切り換わります。3Dメガネを装着してお楽しみください。
3Dモードの映像に切り換わらない場合は、を押してください。

◆重要◆

- 選局、入力切換、電源を切った場合は、3Dモードが解除されます。
 - 2画面表示中は、3Dモードへ切り換えできません。
- 3Dモードに対応した映像を画面に表示する
 - 3Dメガネの電源を入れて装着する
(3Dメガネを準備する⇒[5-1ページ](#))

3D映像を視聴する



3D映像を3Dモードで楽しむ

お知らせ

- 3Dモードで視聴中に、2D映像の入力信号に切り換わったときは、自動的に2D映像に切り換わります。
- 3D映像を自動判別できる信号の場合、チャンネル表示に3D状態を表すアイコンが表示されます。
- 3Dモードで視聴中に  を押すと3Dメニューが表示され、カラーボタンで各種設定ができます。
 -  赤 2D→3D変換効果調整
 -  黄 3D設定メニューを表示
- 3Dモードから2Dモードに切り換わるとき、2Dへの切換完了メッセージ表示中に  を押すと3Dストレッチが再生されます。

3D映像を視聴する



3D映像を3Dモードで楽しむ

自動で3Dモードに切り換えたくない場合

- 2D映像視聴中に自動で3D映像に切り換わらないように設定できます。
- 自動で切り換わらないようにしたときは、3D映像と判別できる信号が入力された場合、を押して3D映像へ切り替えます。

1. を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、を押す
 2. 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「3D設定」を選んでを押す
 3. 上下カーソルボタンとで「3D自動切換」—「しない」を選ぶ
- (インターネット)
- メニューを消すときは を押します。
 - 「3D自動切換」を「しない」にしたときの3Dモードへの切り替えかたは⇒ [5-12ページ](#)以降をご覧ください。

3D映像を視聴する



3D映像を3Dモードで楽しむ

自動で3Dモードに切り換えたくない場合

「3D自動切換しない」にしたときの3Dモードへの切り換えかた

1. 3Dモードに対応した映像を画面に表示する

- 3D映像が入力されたことを示すメッセージが表示されます。

2. を押して左右カーソルボタンで「する」を選び、を押す

- 3Dモードへ切り換わります。
- 2D映像のままで見るときは を押さないでください。

3. 3Dメガネの電源を入れて装着する
(3Dメガネを準備する⇒[5-1ページ](#))

- 3Dメガネは、3Dモードで視聴するときのみ装着します。

3D映像を視聴する



3D映像を3Dモードで楽しむ

自動で3Dモードに切り換えたくない場合

お知らせ

- 3D映像を自動判別できる信号の場合、チャンネル表示に3D状態を表すアイコンが表示されます。
- 3Dモードで視聴中に を押すと3Dメニューが表示され、カラーボタンで各種設定ができます。
 - 赤 2D→3D変換効果調整
 - 黄 3D設定メニューを表示

赤

2D→3D変換効果調整

黄

3D設定メニューを表示

3D映像を視聴する



3Dストレッチ機能を利用する

- 本機に内蔵されている3Dコンテンツを使って、目の体操をすることができます。
1. **ホーム**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
 2. 上下左右カーソルボタンで「**機能切換**」—「**視聴操作**」—「**3Dストレッチ**」を選んで**決定**を押す
 3. 3Dメガネの電源を入れて装着する
(3Dメガネを準備する⇒[5-1ページ](#))
 - 開始前メッセージが5秒間表示されます。その後、3Dコンテンツが表示されます。
 - 3Dコンテンツが約1分間再生されます。
 - 途中で止めるときは、**終了**を押します。

3D映像を視聴する



手動で3D映像に切り換える

- サイドバイサイドの映像(左右にならんだ3D映像)やトップアンドボトムの映像(上下にならんだ3D映像)を3Dに切り換えるときは  を押します。
- 3D映像を自動判別できない場合は、手動で3Dモードへ切り替えます。

-  を押して変換モードの選択を表示する
- 左右カーソルボタンで「3Dで視聴する」を選び、  を押す
- 左右カーソルボタンで3D映像の表示方式を選び、  を押す
- 3Dメガネの電源を入れて装着する
(3Dメガネを準備する⇒[5-1ページ](#))

3D映像を視聴する



手動で3D映像に切り換える

お知らせ

- 映像の表示方式の詳細は「3D／2D映像の表示方式」をご覧ください。
- 3Dモードで視聴中に  を押すと3Dメニューが表示され、カラーボタンで各種設定ができます。
 -  赤 2D→3D変換効果調整
 -  黄 3D設定メニューを表示

3D映像を視聴する



ファミリンク機器の3Dと2Dを切り換える

- ファミリンク機器の3Dと2Dを切り換えられます。

1. **□**を押してファミリンクパネルを表示する

- 視聴していないファミリンク機器の場合、**□**を押して操作をしたい機器を選び、ファミリンクパネルを表示します

2. 上下左右カーソルボタンで「3D切換設定」ボタンを選び、**決定**を押す

- 操作ボタン⇒[9-19ページ](#)

お知らせ

- 3D対応のファミリンク機器についてはSHARP Webページ内のAQUOSサポートページをご覧ください。



AQUOS サポートページ
シャープ お問い合わせ テレビ

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>
(スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)

3D映像を視聴する



元の映像へ切り換える

次のようなときは、を押して映像を元に戻すことができます。

- 3Dモードで視聴している映像を、2Dモードに切り換えて視聴したいとき
- 2Dモードに変換した3D映像を、3Dモードで視聴したいとき

1. を押して左右カーソルボタンで「する」を選び、を押す
- 元の映像に切り換わります。

お知らせ

- 自動判別できる3D信号から、2Dまたは自動判別できない3D信号に切り換わったときは、自動的に2Dモードに切り換わります。

3D映像を視聴する



3D映像を2D映像に変換して見る

- 3D映像を3Dメガネをかけずに2D映像で見たい場合に下記の操作を行います。
- 3Dボタンを押して変換モードの選択を表示する
 - 左右カーソルボタンで「2Dで視聴する」を選び、決定ボタンを押す
 - 左右カーソルボタンで2D映像の表示方式を選び、決定ボタンを押す
 - 3Dメガネをはずして3Dメガネの電源を切る

お知らせ

- 映像の表示方式の詳細は「3D／2D映像の表示方式」(\Rightarrow [5-4ページ](#))をご覧ください。

3D映像を視聴する



2D映像を3D映像に変換して見る

- 通常の2D映像を3D映像に変換して楽しむことができます。
- 2D映像を画面に表示中に、**3D**を押して変換モードの選択を表示する
 - 左右カーソルボタンで「3Dで視聴する」を選び、**決定**を押す
 - 左右カーソルボタンで「2D→3D」を選び、**決定**を押す
 - 3Dメガネの電源を入れて装着する
(3Dメガネを準備する⇒[5-1ページ](#))

元の映像へ切り換える⇒[5-18ページ](#)
2D→3D変換の効果調整をする⇒[5-21ページ](#)

お知らせ

- 2D→3D変換の3D視聴が約1時間経過すると、3D視聴を続けるかどうかの確認画面が表示されます。3D視聴を続けたいときは、リモコンの**決定**を押してください。**決定**を押さなかった場合は、自動で2D視聴に切りわります。

3D映像を視聴する



2D→3D変換の効果調整をする

- 2D映像を3Dで見るときに3D効果の段階を選ぶことができます。
1. **(ホーム)**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
 2. 上下左右カーソルボタンで「**機能切換**」—「**3D設定**」を選んで**決定**を押す
 3. 上下カーソルボタンで「**2D→3D変換効果調整**」を選び、左右カーソルボタンで変換効果を調整し、**決定**を押す

お知らせ

- 2D→3D変換時のみこの機能を使用できます。
- 3D専用に撮影された映像ほどの効果はありません。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで当機能を利用して2D映像を3D変換して表示すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

3D視聴時の設定



3D映像視聴時間を1時間ごとに表示する

- 3D映像を長時間見続けるのを防ぐために、経過時間を知らせてくれる機能です。

◆重要◆

- 長時間の3D視聴は、人体への悪影響が考えられるため1時間以内の視聴をおすすめします。

1. **(インターネット)** [ホーム] を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定** を押す
2. 上下左右カーソルボタンと **決定** で「**機能切換**」—「**3D設定**」—「**3D視聴時間お知らせ設定**」を選ぶ
3. 上下カーソルボタン「する」または「しない」を選び、**決定** を押す
 - 「する」の場合、3D映像の視聴を始めてから1時間経過するたびに画面左下にメッセージが表示されます。
 - メニューを消すときは **ホーム** を押します。

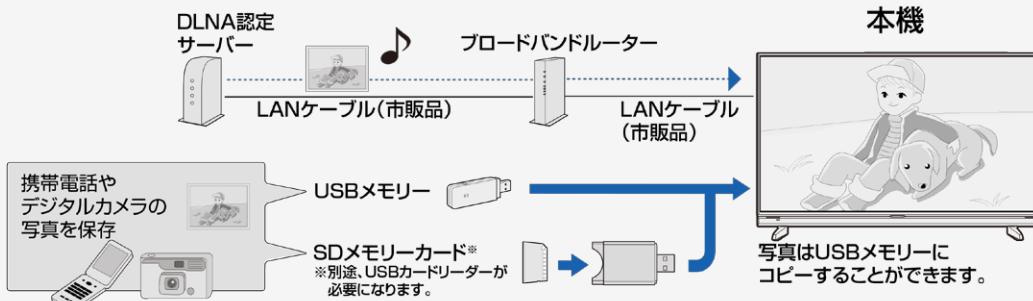
コンテンツマネージャーをお使いになる前に

コンテンツマネージャーでできること

- USBメモリーやホームネットワーク上のサーバー機器に保存されている写真を表示することができます。
また、写真をUSBメモリーにコピーすることができます。
- USBメモリーやホームネットワーク上のサーバー機器に保存されている動画や音楽を再生できます。

お知らせ

- 本機はDLNA認定フォトプレーヤー(DLNA CERTIFIED[®] Photo Player)です。
- 本機はDLNA認定動画プレーヤー(DLNA CERTIFIED[®] Video Player)です。
- 本機はDLNA認定音楽プレーヤー(DLNA CERTIFIED[®] Audio Player)です。
- DLNA認定機器とはDLNAガイドラインに適合した、デジタルメディアプレーヤーまたはサーバーです。



本機に取り付けられるUSBメモリーについて

USB端子に取り付けられる機器

- USBメモリー、USBカードリーダー（マスストレージクラス）

ファイルシステム

- FAT、FAT32

お知らせ

- 本機の電源が入った状態でUSBメモリーを取り付けるとコンテンツマネージャーが表示されます。

本機に取り付けられるUSBメモリーについて

USBメモリーの取り付け・取りはずしについて

- 推奨のUSBハブ以外を使って接続した場合、操作は保証されません。
推奨USBハブについては、SHARP webページ内のAQUOSサポートページをご覧ください。



AQUOS サポートページ

シャープ お問い合わせ テレビ

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>
(スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)

- ファイル転送中、スライドショー中、画面切り換え中、または入力切換メニューの「コンテンツマネージャー」を終了する前に、USBメモリーを本機から取り外さないでください。
- USBメモリーの抜き差しをむやみに繰り返さないでください。
- USBカードリーダーを使う場合は、必ず先にメモリーカードをUSBカードリーダーに挿入し、その後USBカードリーダーを本機に接続してください。
- USBメモリーを本機のUSB端子に接続する場合、USB延長ケーブルは使わないでください。
USB延長ケーブルを使うと、本機が正しく機能しないことがあります。
- USBメモリーは、本体の電源を切ってから取り外してください。

本機で再生できるUSBメモリーのファイルについて

写真ファイル形式

- JPEG(.jpg) (DCF2.0準拠)
最大解像度(画像サイズ): 8192x8192画素
最小解像度(画像サイズ): 32x32画素

音楽ファイル形式

- MP3(.mp3)
ビットレート: 32k~320kbps
サンプリング周波数: 32k, 44.1k, 48kHz
- WAV(.wav)
ビットレート: 64~1536kbps (LPCM)
サンプリング周波数: 32k, 44.1k, 48kHz
- WMA(.wma)
ビットレート: 32~384kbps
サンプリング周波数: 8k, 11.025k, 16k, 22.05k, 32k, 44.1k, 48kHz
- AAC(.m4a/.aac)
ビットレート: 1~1728kbps
サンプリング周波数:
8k, 11.025k, 12k, 16k, 22.05k, 24k, 32k, 44.1k, 48kHz (AAC)
16k, 22.05k, 24k, 32k, 44.1k, 48kHz (HE-AAC)

本機で再生できるUSBメモリーのファイルについて

音楽ファイル形式(つづき)

- FLAC (.flac)
ビットレート: 128 ~ 2304 kbps
サンプリング周波数: 8k、16k、22.05k、24k、32k、44.1k、48k、88.2k、96k、192kHz
量子化ビット数: 8、16、24bit

映像ファイル形式

- m2ts、mp4、3gp

お知らせ

- プログレッシブ形式のjpegファイルはサポートされていません。
- 3D形式の写真はサポートされていません。
- USB1.1の装置に入っている音楽ファイルは、正しく再生されないことがあります。
- USBメモリー機器によっては、保存されたデータを本機で認識できないことがあります。
- 80文字を超えるファイル名は表示されないことがあります。
- 対応のファイル形式であっても、正しく再生されないことがあります。
- 著作権保護された音楽ファイルは、正しく再生されないことがあります。

接続するサーバー機器について

接続する機器について

- サーバー機器は10台まで選択できます。
- サーバー機器の設定や操作についてはサーバー機器の取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。

使用可能なサーバーの最新情報について

- SHARP Webページ内のAQUOSサポートページをご覧ください。



AQUOS サポートページ

シャープ お問い合わせ テレビ

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>
(スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)

本機で再生できるサーバー上の写真について

- ホームネットワーク上のDLNA認定サーバーに保存されているJPEGファイルを再生できます。

再生できるJPEGファイル

- 色情報: YUV420、YUV422、YUV444
JPEGヘッダーの回転タグは4方向(上、下、左90度、右90度)に対応しています。
- 最大ファイルサイズ: 10MB
- 最大解像度(画像サイズ): 8192x8192画素
- 最小解像度(画像サイズ): 32x32画素

お知らせ

- サーバーや静止画によっては、再生できないことがあります。
- パソコンソフトで加工した静止画は表示できないことがあります。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、写真の無いフォルダが表示される場合があります。
- プログレッシブ形式のJPEGはサポートされていません。
- JPEG静止画のファイルサイズが大きいとスライドショーでの写真表示に時間がかかることがあります。

本機で再生できるサーバー上の音楽について

- ホームネットワーク上のDLNA認定サーバーに保存されている音楽データを再生できます。

本機で再生できる音楽データの形式

- LPCM:サンプリング周波数32/44.1/48kHz、stereo/mono
- MP3:サンプリング周波数32/44.1/48kHz 32kbpsから320kbps、stereo/mono
- AAC:サンプリング周波数32/44.1/48kHz 1728bpsまで、stereo/mono

使用可能なサーバーについて

- サーバーの動作確認機種の最新情報については、SHARP Webページ内のAQUOSサポートページをご覧ください。

	AQUOS サポートページ <input type="text" value="シャープ お問い合わせ テレビ"/> <input type="button" value="検索"/>
<p>http://www.sharp.co.jp/support/aquos/ (スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)</p>	

- サーバーの操作については、それぞれの取扱説明書またはサポートホームページをご覧ください。

お知らせ

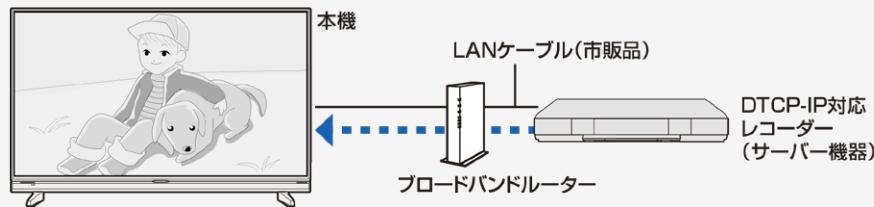
- 音楽ファイルをサーバーに書き込んでもサーバーのデータとしてホームネットワークに反映されるのに非常に時間がかかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、音楽の無いフォルダが表示される場合があります。
- サーバーや音楽ファイルによっては再生できないことがあります。
パソコンでは再生できても、本機で再生できない場合があります。
- ホームネットワークではFLACファイルは再生できません。

本機で再生できるサーバー上の動画について

- DTCP-IP対応レコーダーに保存されているデジタル放送の番組やサーバーに保存されている動画を再生できます。

DTCP-IPとは

- DTCP-IPは、デジタル放送などの著作権保護されたデータを伝送するための規格です。この規格に対応することにより、著作権保護されたデータ(1回だけ録画可能なデジタル放送の番組など)を、ホームネットワークでつないだ機器の間でやりとりすることができます。
- DTCP-IPは、「Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol」の略です。



本機で使える機器と、表示できるビデオ形式について

- MPEG2-PS、MPEG2-TTS、MP4、3GP形式の動画が再生できます。
 - 3D動画が自動で切り換わらないことがあります。
- その場合は  を押して3D動画に切り換えてください。(⇒ [5-9ページ](#))

本機で再生できるサーバー上の動画について

使用可能なレコーダーについて

- 本機で使えるレコーダー(サーバー機器)は、DTCP-IP対応のレコーダーです。
詳しくはSHARP Webページ内のAQUOSサポートページをご覧ください。

	<p>AQUOS サポートページ シャープ お問い合わせ テレビ <input type="button" value="検索"/></p> <p>http://www.sharp.co.jp/support/aquos/ (スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)</p>
---	---

お知らせ

- ビデオカメラで撮影した映像、衛星放送のSTB(セットトップボックス)やCATV(ケーブルテレビ)のSTB(セットトップボックス)から録画した番組など、外部機器からレコーダーに取り込まれた映像は、再生できない場合や音声が出ない場合があります。
- 本機は、あらゆる録画データの再生を全て保証するものではありません。レコーダーが配信可能な動画データでも、本機で一覧表示できない場合や一覧表示から選んでも再生できない(映像・音声が正常に再生されない)場合がありますが、故障ではありません。

本機で再生できるサーバー上の動画について

DTCP-IP対応レコーダーの取扱説明書またはWebページ内のサポート情報などをご覧ください。

- レコーダーによっては、ホームネットワークで配信できる録画データの種類や形式に制約があります。(プレイリストは不可など)
- レコーダーによっては、録画中の番組が配信できない場合や、同時に複数の動画を配信できない場合があります。
- レコーダーの動作状況(使用状況、操作状況、録画画質の設定状況、画面の表示状況など)によっては、動画をホームネットワークで配信できない場合があります。このときは、本機にサーバー名が表示されないことや、レコーダーの操作によって再生が途中で打ち切られることがあります。
- レコーダーによっては、レコーダーでBD／DVDの再生中や録画中、ダビング中に、映像を配信できない場合があります。
- 通常、レコーダーはHDD(ハードディスク)に記録されている映像のみ配信できます。BDやDVDの映像は配信できません。
- レコーダーによっては、本機とレコーダーのデータのやり取りを許可させるために本機のMACアドレスを登録する必要があります。
- 無線LAN環境でDTCP-IPにより著作権保護された映像を再生するには、無線LANのセキュリティ設定を行う必要があります。また、著作権保護された映像を安定して受信するためには、802.11a/n(5GHz)方式とAES暗号化によるセキュリティ設定を組み合わせてご利用いただくことをおすすめします。
- 無線LANを使用するときは、「無線LAN使用上のご注意」(⇒ [1-15～1-18](#)ページ)をご確認ください。

写真を楽しむ



写真を表示する

この機能について

- USBメモリー、ホームネットワークにある写真を表示できます。

お知らせ

- 2番組録画中またはIPTV録画中は、コンテンツマネージャーを使用できません。

操作のしかた

入力切換

- を押し、上下カーソルボタンで「コンテンツマネージャー」を選び、**決定**を押す
 - USBメモリーを取り付けると、自動的に「コンテンツマネージャー」が表示されます。
- 上カーソルボタンを押して左右カーソルボタンでメモリーまたはサー
バー機器を選び、**決定**を押す
- 左右カーソルボタンで「写真」を選び、**決定**を押す

写真を楽しむ



写真を表示する

4. 上下左右カーソルボタンでフォルダを選び、**決定**を押す

5. 上下左右カーソルボタンで写真を選び、**決定**を押す

- 写真が全画面で表示されます。
- フォルダを選んだときはフォルダ内の画像が表示されます。
- 戻る
- でひとつ前の画面を表示できます。

お知らせ

- 無効な写真ファイルがあると、そのファイルに対して×マークが表示されます。
- 画面の左下に、ファイル名、撮影データ※、ピクセルサイズ、ファイルサイズ、そのメディアの空き容量が表示されます。
※EXIFファイル形式の写真のみ、撮影データを表示できます。
- 画面サイズの切り換えはできません。
- サーバー機器や写真データによっては、サムネイルが表示されないことがあります。
- 縦位置で撮影した写真でも、サムネイルは横位置で表示されることがあります。(サーバーの仕様により異なります。)
- 写真が表示されず、エラーメッセージが表示されたときは「コンテンツマネージャーに関するエラーメッセージ」(⇒11-47～11-49ページ)をご覧ください。
- 分割駆動エンジンを設定すると写真を正しく表示できないことがあります。その場合は、分割駆動エンジン設定を「しない」にしてください。

写真を楽しむ



写真表示中の操作について

この機能について

- 写真表示中に、次の写真に切り換えたり写真を回転させたりすることができます。
- 画面の下部に、操作方法を示すガイダンス(操作案内)が表示されます。ガイダンスの表示に従って、ボタンを押して操作してください。

お知らせ

- スライドショー再生中は、写真の回転はできません。
- GPSの地図データ情報が入っている写真データや一部のファイル形式では、回転しない場合があります。
- 写真の回転は一時的に選択された項目に対して適用されるだけであり、設定内容は保存されません。

写真を表示中の操作

- 青 同じフォルダ内の前の写真に戻ったり、次の写真に進んだりします。
- 黄 ガイダンス(操作案内)の表示・非表示を切り替えます。
- 黄 写真を右に90度回転します。
- 緑 写真を左に90度回転します。
- ツール 機能メニューを表示します。
- 戻る 一覧表示に戻ります。
- 終了 コンテンツマネージャーを終了します。

写真を楽しむ



写真の表示モードを変える

この機能について

- 写真の表示モードを切り換えられます。

操作のしかた

ツール

- 写真表示中に○を押し、機能メニューを表示する
- 上下カーソルボタンで「表示モード切換」を選び、決定を押す
- 上下カーソルボタンでお好みの設定を選び、決定を押す

お知らせ

- 手順2で「AVポジション(画質切換)」を選ぶと画質を切り換えられます。
AVポジションについては⇒[4-25ページ](#)をご覧ください。

表示モード切換の項目と表示について

画像サイズ	ノーマル	Dot by Dot	トリミング
3840×2160ドットを越える画像			
3840×2160ドットまでの画像			

スライドショーを楽しむ

この機能について

- 写真をスライドショーで表示することができます。
- USBメモリーに保存されている写真の場合、スライドショーで表示する写真を選ぶことができます。
- サーバー機器に保存されている写真のスライドショーは、フォルダごとに行われます。

お知らせ

- スライドショーの途中で「次の写真を取得できません」と表示されたときは、接続やサーバーの設定を確認してください。

写真を楽しむ



スライドショーを楽しむ

スライドショーで表示する写真を選ぶには

- サーバー機器に保存されている写真のスライドショーは、フォルダごとに行われます。選択することはできません。

- 写真一覧画面で **青** を押し、スライドショー写真選択画面を表示する
- 上下左右カーソルボタンで表示する写真を選び、 **黄** を押す
- 選び終わったら **青** を押す
 - スライドショーが開始されます。
 - 写真の一覧からスライドショーを行うには [6-18ページ](#)をご覧ください。

写真を楽しむ



スライドショーを楽しむ

写真の一覧からスライドショーを行うには

1. **■** を押し、上下カーソルボタンで「コンテンツマネージャー」を選び、**決定**を押す
 2. 上カーソルボタンを押して左右カーソルボタンでメモリーまたはサーバー機器を選び、**決定**を押す
 3. 左右カーソルボタンで「写真」を選び、**決定**を押す
- サーバー機器の場合、**緑**を押すと前回再生したスライドショーを再開できます。
黄を押すと最後に再生したフォルダを表示します。
 - 4. 左右カーソルボタンでフォルダを選び、**決定**を押す
 - 5. **青**を押す
- サーバー機器に保存されている写真の場合は、スライドショーが始まります。
 - USBメモリーに保存されている写真の場合、写真選択モードになります。スライドショーで表示したい写真を上下左右カーソルボタンで選び、**黄**で選択／解除を切り替えます。
一括で選択／解除を行いたい場合は、**青**を押し、機能メニューから「スライドショー全選択」または「スライドショー全解除」を選んでください。
 - **青**を押すとスライドショーが始まります。
- スライドショーをやめるには、**○**を押します。

写真を楽しむ



スライドショーの設定をする

この機能について

- 写真の保存先が、USBメモリーの場合とサーバー機器の場合で操作が異なります。

写真の保存先がUSBメモリーの場合

ツール

- 写真一覧画面で  を押し、機能メニューを表示する
- 上下カーソルボタンで「スライドショー設定」を選び、  を押す
- 上下カーソルボタンで設定を選び、  を押す

写真の保存先がサーバー機器の場合

ツール

- 写真一覧画面で  を押し、機能メニューを表示する
- 上下カーソルボタンで設定を選び、  を押す

設定項目は⇒ [6-20](#)ページ以降をご覧ください。

スライドショーの設定をする

スライドショー間隔

- 次の写真に切り換わるまでの時間を設定します。
- サーバーや写真によっては設定時間どおりに表示が切り換わらない場合があります。

スライドショー効果

- 写真が切り換わるときの視覚効果を設定します。

スライドショーOFFタイマー設定

- スライドショーにタイマーを設定し、時間になると自動的に電源が切れます。
- 本機を大画面のフォトフレームとしてご使用になるときに、電源の切り忘れを予防できる機能です。
- スライドショー中のみタイマーが進みます。

明るさ控えめモード

- まぶしさを抑え、スライドショーを楽しむことができます。
- スライドショーを長時間表示するときも、消費電力を一定程度削減できます。
(削減できる消費電力は環境や写真によって変わります。)

BGM再生

- サーバーの最後に再生したフォルダの音楽が流れます。
- サーバーに音楽がないときや再生できないときは、内蔵BGM(弦楽セレナーデ・ホ短調)が流れます。

写真を楽しむ



スライドショーのBGMを選ぶ

この機能について

- スライドショー表示中に流れる音楽(BGM)を選べます。
- 写真の保存先が、USBメモリーの場合とサーバー機器の場合で手順が異なります。

写真の保存先がUSBメモリーの場合

- USBメモリーに保存されている音楽をBGMにできます。
- スライドショー写真選択モードで **緑** を押す
 - 上下左右カーソルボタンでメディアを選択し、**決定** を押す
 - 左右カーソルボタンでBGMにしたいデータが入っているフォルダを選び、**決定** を押す
 - 上下カーソルボタンでBGMにしたいデータを選び、**青** で選択／選択解除する
 - 戻る** を押し、フォルダを選ぶ画面に戻る
 - 戻る** を押し、スライドショー写真選択モードに戻る
 - スライドショー写真選択モードで **青** を押し、スライドショーを開始する

お知らせ

- 初期設定では、すべての音楽ファイルが選ばれています。
- スライドショー表示中は、選択されたBGMが繰り返し再生されます。

写真を楽しむ



スライドショーのBGMを選ぶ

写真の保存先がサーバー機器の場合

- サーバー機器に保存されている音楽のうち最後に再生した曲が保存されているフォルダがBGMとして流れます。

- 写真の一覧画面で を押し、機能メニューから「BGM再生」—「する」を選ぶ
 - を数回押し「写真」を選ぶ画面に戻る
 - 左右カーソルボタンで「音楽」を選び を押す
 - 上下左右カーソルボタンでBGMにしたい音楽を選び を押して再生する
 - を数回押し「音楽」を選ぶ画面に戻る
 - 左右カーソルボタンで「写真」を選び を押す
 - 写真の一覧画面で を押す
- スライドショーなどの「写真」機能を、お好みのBGMでご利用いただいている場合、音楽サーバーから切断される等の理由によりBGMが停止する場合がありますが、その場合も「写真」機能はそのまま続行されます。
再度BGMを再生するには、「音楽」を選び、音楽の再生をやり直してください。

写真を楽しむ



写真をコピーする

この機能について

- USBメモリーの写真を、他のメモリーにコピーします。ホームネットワーク上のサーバー機器に保存されている写真はコピーできません。
- SDメモリーカードにコピーする場合、USBカードリーダーが必要です。
- 使用するUSBメモリーは、あらかじめ本機に取り付けておいてください。
- 設定メニューでコピー先を指定し、コンテンツマネージャーでコピーの操作をします。

写真のコピー先を指定する

(インターネット)

- ホームを押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選んで決定を押す
 - 上下左右カーソルボタンで「(視聴準備)」—「各種設定」—「USBメモリー設定」を選んで決定を押す
 - 上下カーソルボタンで「USBメモリーの指定」を選んで決定を押す
 - 上下カーソルボタンでUSBメモリーを選ぶ
 - 左右カーソルボタンで「する」を選んで決定を押す
 - 決定を押す
- コピー操作については⇒ [6-24ページ](#)をご覧ください。

写真を楽しむ



写真をコピーする

入力切換

1. を押し、上下カーソルボタンで「コンテンツマネージャー」を選び、**決定**を押す
2. 上カーソルボタンを押して左右カーソルボタンでコピーしたい写真が保存されているメモリーを選び、**決定**を押す
3. 左右カーソルボタンで「写真」を選び、**決定**を押す
4. 左右カーソルボタンでコピーしたい写真が入っているフォルダを選び、**決定**を押す
5. **赤**を押す
6. 「すべてのフォルダ」「現在のフォルダ」「選択したファイル」の中からコピー元を選び、**決定**を押す
7. 「選択したファイル」を選ぶと画像選択画面が表示されます。
上下左右カーソルボタンと**黄**でコピーするファイルを選んだあと、**赤**を押してください。
8. 上下カーソルボタンで保存先を選び、**決定**を押す
9. 上下カーソルボタンで保存するフォルダを選び、**決定**を押す
10. 確認画面で**決定**を押す

写真をコピーする

お知らせ

- ファイル名は全角80文字、半角160文字までです。これより長い名前のファイルはコピーされません。
- 写真をコピーしているときに入力切換をするとコピーが中断されます。
- 同じファイル名の写真がある場合、最大10個までコピーされ、ファイル名の後ろには「(01)～(10)」が追加されます。
- 「全てのフォルダ」「現在のフォルダ」を指定した場合は、コピー先に無いファイルのみコピーされます。

コピー先に使用するUSBメモリーを取り外すときは
⇒[6-26](#)ページをご覧ください。

本機に取り付けられるUSBメモリーについて
⇒[6-2](#)ページをご覧ください。

写真を楽しむ



コピー先に使用するUSBメモリーを取り外すときは

操作のしかた

- (インターネット)
1. **[ホーム]**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選んで**決定**を押す
 2. 上下左右カーソルボタンで「**（視聴準備）**」—「各種設定」—「USBメモリー設定」を選んで**決定**を押す
 3. 上下カーソルボタンで「指定済みUSBメモリーの取り外し」を選んで**決定**を押す
 4. **決定**を押す
 5. **決定**を押す
 6. USBメモリーを取り外す

お知らせ

- 「指定済みUSBメモリーの取り外し」を選んでも、USBメモリーを取り外すまでは「コンテンツマネージャー」でUSBメモリーのデータを視聴できます。
- 「指定済みUSBメモリーの取り外し」を選んだあとUSBメモリーは、コピーや削除の機能が使用できません。
コピーや削除の機能を使用する場合は、USBメモリーを接続し直してください。
(自動的に再度指定されます)

写真を楽しむ



写真を削除する

この機能について

- USBメモリーに保存されている不要な写真を削除できます。

操作のしかた

1. 写真一覧画面で  を押し、機能メニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで「写真の削除」を選び、  を押す
3. 上下カーソルボタンで「すべてのフォルダ」「現在のフォルダ」「選択したファイル」の中から削除元を選び、  を押す
4. 「選択したファイル」を選ぶと画像選択画面が表示されます。上下左右カーソルボタンと  で削除するファイルを選び  を押してください。
4. 上下カーソルボタンで「はい」を選び、  を押す

音楽を楽しむ



音楽を再生する

この機能について

- USBメモリーやホームネットワークにある音楽を再生できます。

お知らせ

- 2番組録画中またはIPTV録画中は、コンテンツマネージャーを使用できません。

操作のしかた

入力切替

- を押し、上下カーソルボタンで「コンテンツマネージャー」を選び、決定を押す
 - USBメモリーを取り付けると、自動的に「コンテンツマネージャー」が表示されます。
- 上カーソルボタンを押して左右カーソルボタンでメモリーまたはサーバー機器を選び、決定を押す
- 左右カーソルボタンで「音楽」を選び、決定を押す
 - サーバー機器の場合、緑を押すと前回再生したファイルを再開できます。 黄を押すと最後に再生したフォルダを表示します。
- 上下左右カーソルボタンで曲名を選び、決定を押す



音楽を再生する

- 音楽が再生されます。
- フォルダを選んだときはフォルダ内の音楽が表示されます。
戻る
●でひとつ前の画面を表示できます。
- 再生中の音楽ファイルと同じフォルダに複数の音楽ファイルがあるときは、フォルダ内の音楽ファイルが順番に再生され、最後のファイルを再生したあとは最初のファイルの再生に戻ります。
- USBメモリーの場合、黄●で音楽ファイルの左側にあるチェックボックスにチェックマークを入れると、選択したファイルのみを再生することができます。●で表示されるメニューから「自動再生全選択」を選ぶとすべての音楽ファイルにチェックマークが入り、「自動再生全解除」を選ぶとすべての音楽ファイルからチェックマークが外れます。
- で表示されるメニューから「AVポジション(画質切換)」を選ぶと画質や音質を切り替えられます。
- AVポジションの設定項目については⇒ [4-25ページ](#)をご覧ください。

お知らせ

- 無効な音楽ファイルがあると、そのファイルに対して×マークが表示されます。
- 可変ビットレートのファイルでは、表示される再生時間が実際の再生時間と異なることがあります。また、プログレスバーの表示が途中でも、再生が終わることがあります。

音楽を楽しむ



音楽再生中の操作のしかた

音楽再生中の操作について

戻る

一つ前の手順に戻ります。

赤 音楽の再生／一時停止をします。※

緑 音楽の再生を停止します。

黄 再生したい音楽の選択／選択解除を行います。※

ツール 機能メニューを表示します。

※USBメモリーに保存された音楽を再生しているときのみはたらきます。

動画を楽しむ



動画を再生する

この機能について

- USBメモリーやホームネットワークにある動画を再生できます。

お知らせ

- 2番組録画中またはIPTV録画中は、コンテンツマネージャーを使用できません。

操作のしかた

入力切換

- を押し、上下カーソルボタンで「コンテンツマネージャー」を選び、決定を押す
 - USBメモリーを取り付けると、自動的に「コンテンツマネージャー」が表示されます。
 - 上カーソルボタンを押して左右カーソルボタンでメモリーまたはサーバー機器を選び、決定を押す
 - 左右カーソルボタンで「動画」を選び、決定を押す
- サーバー機器の場合、緑を押すと前回再生した動画を続きから再生します。再生します。続きから再生できない場合は先頭から再生します。
 - 黄を押すと最後に再生したフォルダを表示します。

動画を楽しむ



動画を再生する

4. 上下左右カーソルボタンで動画を選び、を押す

- 動画が再生されます。
- 途中まで見ていた動画を選んだ場合は、続きから再生されます。
- フォルダを選んだときはフォルダ内の動画が表示されます。
- でひとつ前の画面を表示できます。

お知らせ

- 無効な動画ファイルがあると、そのファイルに対して×マークが表示されます。
- 可変ビットレートのファイルでは、表示される再生時間が実際の再生時間と異なることがあります。また、プログレスバーの表示が途中でも、再生が終わることがあります。
- 本機で再生できない動画が表示されることもあります。
- 表示される動画は、正常に再生できることを保証するものではありません。

つづき再生について

- 本機は、途中まで再生した動画の状態を再生の新しい順で50件まで保持しています。この動画を選んだときは前回のつづきから始まります。
- 動画によっては、つづき再生ができない場合があります。

最初から再生したいときは

- 上下カーソルボタンで動画を選び、を押します。

動画を楽しむ



動画再生中の操作のしかた

動画再生中の操作について

- 一時停止や再生などの操作ができます。
- USBメモリーに保存されている動画と、サーバー機器に保存されている動画で操作が異なります。

USBメモリーに保存されている動画を再生しているとき

- 次のリモコンのボタンで操作できます。

再生	一時停止/静止
前/早戻し	いま見ているチャプターの先頭に戻ります。 長押しで早戻しになります。そのまま押し続けると、速度が速くなります。(4段階)
早送り/次	次のチャプターを頭出します。 長押しで早送りになります。そのまま押し続けると、速度が速くなります。(4段階)
停止	再生を停止し、動画一覧画面に戻ります。
10秒戻し	約10秒戻します。
30秒送り	約30秒送ります。
ツール	機能メニューを表示します。操作パネルを表示して上記と同じ操作をしたり、画質や音質、画面サイズを切り換えられます。

- 動画によっては操作できない場合があります。

動画を楽しむ



動画再生中の操作のしかた

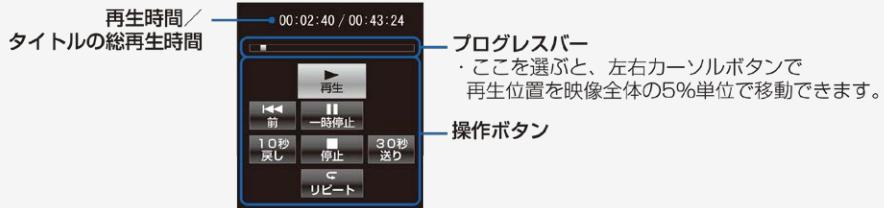
サーバー機器に保存されている動画を再生しているとき

1. を押す
 - VOD操作パネルが表示されます。
2. 上下左右カーソルボタンで操作したい機能のボタンを選び、 を押す
 - VOD操作パネルの表示を消すときは、 を押します。

お知らせ

- 早送り再生／スロー再生／逆スロー再生できません。
- 動画によってできる操作が異なります。操作できないボタンは、表示されません。
- 10秒戻し／30秒送りで操作できる時間は、おおよその時間です。

VOD操作パネルの見かた



動画を楽しむ



USBメモリーの動画でパズルをする

この機能について

- USBメモリーに保存された動画を使って、画面分割パズルができます。

操作のしかた

- USBメモリーの動画再生中に  を押す
- 上下カーソルボタンで「ゲーム」を選び、 を押す
- 上下カーソルボタンでパズルの種類を選び、 を押す
・パズルが始まります。
- 上下左右カーソルボタンと  を使ってパネルを並べ替えます
・ を押すとパズルの遊び方が表示されます。
・ を押すとヒントが表示されます。

お知らせ

- 他人の著作物を使って本機能を利用すると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。
- 営利目的で、または公衆に視聴することを目的として、喫茶店・ホテルなどにおいて本機能を利用して画面を分割して表示した場合には、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

再生中に映像や音声が途切れるときは

- レコーダーと本機を無線LANやPLC(電力線通信)を使ったLAN環境で接続している場合は、LANの通信速度が不足して再生が途切れことがあります。
有線LANで接続すると、改善することがあります。
- レコーダー側で長時間録画用の録画画質で録画しておくと、LANの通信速度が低くても再生できる場合があります。

USBハードディスク(市販品)の準備をする

USBハードディスクを使ってできること

- 地上デジタル放送の録画と再生
- BSデジタル放送の録画と再生
- 110度CSデジタル放送の録画と再生
- IPTV(ひかりTV)放送サービスの録画と再生
 - ・地上/BS/110度CSデジタル放送は2番組同時に録画できます。
 - ・録画した番組は、ホームネットワーク上の対応レコーダーにダビングできます。

USBハードディスク

USBハードディスク(市販品)の準備をする

USBハードディスクを使ってできないこと

- × インターネット動画の録画
- × アクトビラビデオの録画
- × ビデオデッキなど、本機につないだ外部入力映像の録画
- × 本機以外につないで録画したUSBハードディスクの再生
- × IPTV(ひかりTV)のVODサービスとカラオケサービスの録画
- × 本機につないで録画したUSBハードディスクの映像を、他の映像機器で再生・複製
- × 2番組録画またはIPTV録画中のコンテンツマネージャー
- × 2番組録画またはIPTV録画中のインターネット
- × 2番組録画中のIPTV視聴
- × 2番組録画中またはIPTV録画中の2画面視聴
- × 録画中のYouTube/Hulu動画再生

お知らせ

ハードディスクを使うときの制限

- テレビの電源を入れてから、USBハードディスクの録画・再生が行えるようになるまでしばらく時間が掛かります。

◆ 重要 ◆

- USBハードディスクに付属の取扱説明書は、必ずお読みください。
- 本機のUSB端子(録画用)には、動作確認済み機器を接続してください。

ハードディスクの認証

- 本機でハードディスクに録画した番組は本機でしか再生できません。他のテレビやパソコンでは再生できません。
- 修理等でテレビ内部の主要部品を交換したり、テレビ本体を交換したときは、ハードディスクに録画した番組が再生できなくなります。

USBハードディスク

USBハードディスク(市販品)の準備をする

USBハードディスクを使う前に

USBハードディスクを本機のUSB3端子(録画用)につなぐ

⇒[7-5](#)ページ



初めて使うUSBハードディスクの場合は、「機器の初期化」をする

⇒[7-7](#)ページ



「録画機器選択」で録画に使用するUSBハードディスクを選ぶ

⇒[7-23](#)ページ



必要に応じて省エネの設定をする

⇒[7-10](#)ページ

録画の操作

⇒[7-23](#)ページをご覧ください。

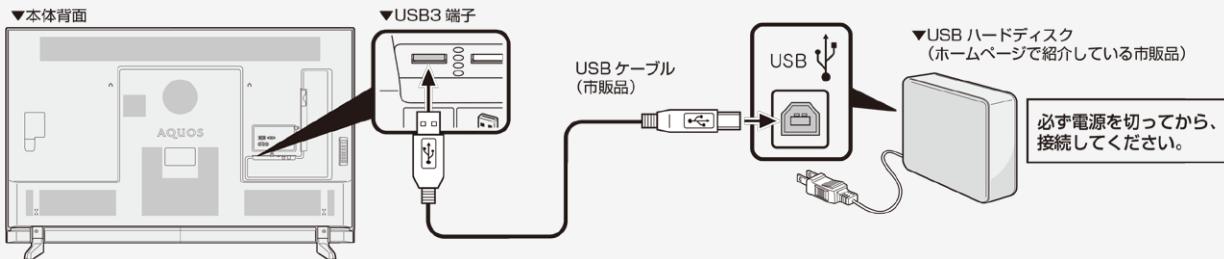
再生の操作

⇒[7-52](#)ページをご覧ください。

USBハードディスク(市販品)の準備をする

USBハードディスクをつなぐ

- 本機の録画用USB3端子に、市販のUSBハードディスクをつなぎます。
- 市販のUSBケーブルで接続します。
- USBハードディスクを取りはずすときは
⇒7-11ページをご覧ください。



動作確認済USBハードディスク・USBハブについて

- ホームページやカタログなどでご確認ください。



AQUOS サポートページ

シャープ お問い合わせ テレビ

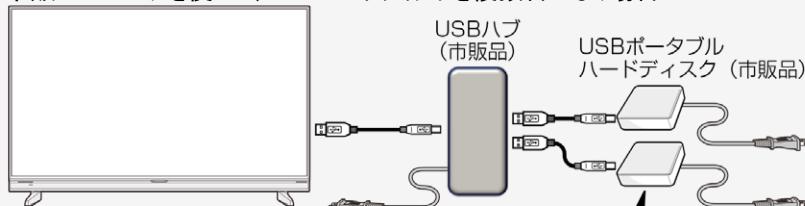
検索

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>
(スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)

USBハードディスク(市販品)の準備をする

USBハードディスクをつなぐ

市販のUSBハブを使って、USBハードディスクを複数台つなぐ場合には



本機で録画・再生の操作ができるのは、いずれかの1台のみ
(操作したいUSBハードディスクをメニューで選びます。)

USBハブにUSBポータブルハードディスクを接続する場合は、必ずACアダプターから電源を供給してください。(最大4台まで)

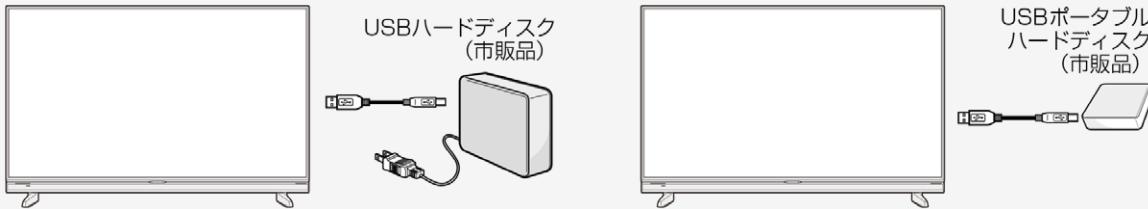
USBハブ経由でUSBハードディスクを接続する場合は

- USBハブは、USB2.0以降を使用してください。
- USBハブにACアダプターを使用し、電源供給をする必要があります。
- 本機にUSBハブを接続する場合は、USBハブにACアダプターを接続し、電源を供給してから接続してください。
- USBハブからUSBハブを接続しての使用はできません。
- USBハブの種類によっては、USBハブの中で複数の接続をしているものもあり、使用できない場合があります。
- 本機にUSBハブを使って複数接続できるポータブルUSBハードディスクは、ACアダプターで電源が供給できるポータブルUSBハードディスクです。ACアダプターで電源を供給できないポータブルUSBハードディスクは、本機に直接接続してください。

USBハードディスク(市販品)の準備をする

USBハードディスクを初期化(登録)する

- USBハードディスクを使って録画するためには、使うための準備「初期化(登録)」が必要です。
- 初期化(登録)するときは、USB端子とUSBハードディスクを1台だけ直接接続してください。
- USB機器を2台以上接続している場合は、初期化(登録)できません。



◆ 重要 ◆

- レコーダーやパソコンで録画したUSBハードディスクをつないだときも、本機で使うためには、初期化(登録)が必要です。
- USBハードディスクを初期化(登録)すると、録画済みのタイトルがすべて消去されます。
- 消去されたタイトルは元に戻せませんので、USBハードディスクの内容をよく確認してください。

USBハードディスク(市販品)の準備をする



USBハードディスクを初期化(登録)する

1. USBハードディスクを本機の録画用USB3端子に接続し、本機とUSBハードディスクの電源を入れる
2. を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、を押す
3. 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「USB-HDD設定」を選び、を押す
4. 上下左右カーソルボタンと で「機器の初期化」—「する」を選ぶ
 - 機器の初期化設定画面が表示されます。
5. 上下左右カーソルボタンと を使って画面に従って操作する

お知らせ

- 初期化中にUSBハードディスクを取り外したり、USBハードディスクや本機の電源を切らないでください。故障の原因となります。

USBハードディスクの名前を変えたいときは



- USBハードディスクを複数台つないだ（登録した）ときにつないだ機器を識別しやすくするために、各USBハードディスクに名前を付けることができます。
- (インターネット)
- 【ホーム】を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
 - 上下左右カーソルボタンで「」（視聴準備）—「USB-HDD設定」を選び、決定を押す
 - 「機器名の変更」を選ぶ
 - 名前を変更したいUSBハードディスクを選び、「機器名を変更しますか？」で「する」を選ぶ
 - ソフトウェアキー（⇒ [4-80](#)ページ）で、新しい名前を入力する
 - 「この名称に変更しますか？」で「する」を選ぶ

USBハードディスクを省エネで使うには



- USBハードディスクを使わない状態が続いたときに、USBハードディスクを待機状態にして、消費電力を抑えます。
1. **ホーム**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
 2. 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「USB-HDD設定」を選び、**決定**を押す
 3. 「省エネ設定」を選び、**決定**を押す
 4. 「する」を選び、**決定**を押す

USBハードディスクを取りはずすときは

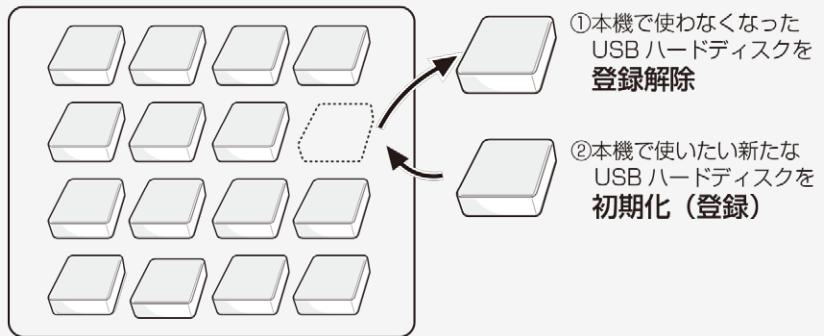


- 本機やUSBハードディスクの電源を切ったり、接続しているUSBケーブルを抜く前に、必ずホーム画面から「機器の取りはずし」を行ってください。
- (インターネット)
- 【ホーム】を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
 - 上下左右カーソルボタンで「(視聴準備)」—「USB-HDD設定」を選び、決定を押す
 - 「機器の取りはずし」を選び、決定を押す
 - 「取りはずす」で決定を押す
 - 取りはずし中を知らせるメッセージが表示されます。
 - 取りはずしが完了するまで、USBハードディスクの電源を切ったり、接続しているUSBケーブルを抜いたりしないでください。故障の原因となります。
 - 「確認」で決定を押す
 - 本機とUSBハードディスクの電源を切り、接続しているUSBケーブルを抜く

本機に登録したUSBハードディスクの登録を削除するときは

- 本機はUSBハードディスクを16台まで登録できます。(本機で初期化をすると、自動的に登録されます。)
- 本機に登録していないUSBハードディスクでは、録画・再生できません。
- 本機に16台のUSBハードディスクが登録された状態で、新たなUSBハードディスクを登録する場合には、登録済みのUSBハードディスクのいずれかを登録解除してください。

本機で登録できるUSBハードディスクは16台まで



◆ 重要 ◆

- 登録解除されたUSBハードディスクは、本機で録画・再生できなくなります。
- 再登録するためには、本機で初期化する必要があります。(初期化すると録画したタイトルは全て削除されます。)

本機に登録したUSBハードディスクの登録を削除するときは



- 本機に登録しているUSBハードディスクを選んで、本機の登録リストから削除します。
1. を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「USB-HDD設定」を選び、を押す
3. 「機器の登録解除」を選び、を押す
4. 登録を解除したいUSBハードディスクを選び、を押す
・画面の指示に従って操作をします。
5. 「解除する」を選び、を押す
6. もう一度「解除する」を選び、を押す
・このUSBハードディスクを、本機の登録リストから削除します。登録を解除すると、このUSBハードディスクに録画されている番組は、再生できなくなります。
7. 「確認」でを押す
- 新たに登録したいUSBハードディスクを本機で使えるように初期化してください。
(⇒[7-8ページ](#))

録画するときに自動的にに入るチャプター間隔を変えたいときは(オートチャプター設定)



- 録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。
 - 録画した番組にチャプターマークが記録されていると、再生したい場面を探すときに便利です。
1. を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「USB-HDD設定」を選び、を押す
3. 「オートチャプター設定」を選び、を押す
4. 「おまかせ」「しない」「10分」「15分」「30分」のいずれかを選び、を押す

- 操作を終了する場合は、を押します。

USBハードディスク

録画するときに自動的に入るチャプター間隔を変えたいときは(オートチャプター設定)

- 録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。
- 録画した番組にチャプターマークが記録されていると、再生したい場面を探すときに便利です。

項目	内容
おまかせ	<ul style="list-style-type: none">音声の切り換わりを検知して自動的にチャプターが入ります。
しない	<ul style="list-style-type: none">チャプターが入ません。
10分	<ul style="list-style-type: none">10分間隔でチャプターが入ります。
15分	<ul style="list-style-type: none">15分間隔でチャプターが入ります。
30分	<ul style="list-style-type: none">30分間隔でチャプターが入ります。

チャプターマークとチャプターとは

- チャプターマークで区切られた部分がチャプターになります。

タイトル



お知らせ

- IPTVの録画中は、「おまかせ」に設定していても15分間隔でチャプターが入ります。
- 録画中は、チャプター間隔を変更できません。
- 音声のフォーマットによっては、検知ができないことがありますので、「おまかせ」設定時にはチャプターが作成されないことがあります。

録画をする前にお読みください

◆ 重要 ◆

- 「電源ボタン設定」(⇒ [4-19](#)ページ)を「モード2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。

本体の電源をオフにすると…

- 予約が実行されません。
- 録画が停止します。
- 録画中、または録画予約中に電源を切ったり停電になった場合には、録画中の内容が損なわれることがあります。

録画できる番組数と予約件数について

- 1台のUSBハードディスクには、最大999番組まで録画可能です。(USBハードディスクに空き容量がない場合は、録画できません。)
- 最大32件までの予約が可能です。

録画予約について

- 番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。
- 時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終ります。
- IPTVとIPTV以外の連続の場合、通常より早く録画が終わる場合があります。
- 既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作をやり直してください。

録画をする前にお読みください

録画・録画予約実行中の制限について

- 予約が実行中(録画中)の場合は、実行中の予約と時刻の重なる新たな予約は設定できません。すぐに予約を設定したいときは、録画予約を停止させてから設定してください。

マルチビューサービス放送を録画して再生する場合は

- マルチビューサービスは、主映像のみ録画されます。

連動データ放送を録画する場合は

- 「録画モード」を「標準(DR)」にして録画してください。「モード1」または「モード2」で録画したときは、連動データ放送は録画されません。

HDD(ハードディスク)について

- パソコンと同様に、HDD(ハードディスク)は、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。録画(録音)内容の長期的な保管場所ではありません。あくまでも一時的な保管場所としてご使用ください。
- 録画中は、YouTube動画を再生できません。
- 2画面表示中に録画予約が開始されたときは、2画面が解除されます。
- 2番組録画中は、IPTVの視聴はできません。
また、IPTV視聴中に2番組録画が開始されたときは、テレビの画面に切り換わります。
- 2番組録画またはIPTV録画中は、インターネット、コンテンツマネージャーに切り換えられません。また、電子取扱説明書を表示することもできません。
- 2番組録画またはIPTV録画が開始されたとき、インターネット、コンテンツマネージャーからテレビの画面に切り換わります。

録画をする前にお読みください

HDD(ハードディスク)について(つづき)

- IPTV録画中は、IPTVの選局、IPTV(ポータル)の表示、IPTVの設定、同時録画再生(追いかけ再生を含む)はできません。
- IPTVを録画する場合、番組を連続して録画したり、IPTVの視聴から引き続いて録画したりすると、録画番組の開始時間や終了時間の変更に追従できない場合があります。
- 録画中に再生を行うと、画面の映像が粗くなる場合があります。
- USBハードディスクおよびファミリンク機器が合わせて1台しか接続されていない場合、を押すと直接その機器の録画リストが表示されます。
- アンテナの受信状態が悪くなったときは、自動で録画が停止する場合があります。

万一何らかの不具合により、録画されなかった場合の内容の補償、録画されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いません。あらかじめご了承ください。

B-CAS(ビーキャス)カードについて

- 録画・録画予約をするときは、本機にB-CASカードが入っていることを確認してください。

著作権について

- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組により、録画・録音が制限されている場合などがあります。

録画をする前にお読みください

コピー制御信号について

- デジタル放送で視聴・録画できる番組には、コピー制御信号が含まれています。
- 「録画可能」:制限なしに録画・ダビングが可能です
- 「録画禁止」:録画できません(視聴のみ)
- 「1回だけ録画可能」:録画できます
- 「ダビング10」:録画できます

録画が可能な区間の中に「録画禁止」区間がある場合

- 録画中、一旦「録画禁止」になると、録画は停止し、「録画禁止」でなくなっても、自動的には録画は復帰しません。

移動(ムーブ)について

- 「1回だけ録画可能」の番組をUSBハードディスクからネットワーク上の対応レコーダーへダビングしたとき、USBハードディスクのタイトルはネットワーク上の対応レコーダーへの移動(ムーブ)となり、USBハードディスクからは消去されます。
- 「ダビング10」の番組を10回目にダビングしたときも移動(ムーブ)になります。

録画をする前にお読みください

「ダビング10」番組の、ダビングと移動(ムーブ)について

- ・「ダビング10」の番組のダビングを途中で停止すると、ネットワーク上の対応レコーダーにはダビングされず、ダビング回数も変化しません。
- ・移動(ムーブ)の途中で停止した場合は、ネットワーク上の対応レコーダーに移動されず、USBハードディスクに録画した番組が残ります。
- ・「ダビング10」番組は、ネットワーク上の対応レコーダーへ10回までダビングが可能です。ただし、10回目は移動(ムーブ)となり、USBハードディスクから番組が消去されます。
- ・すべてのデジタル放送が「ダビング10」に対応しているわけではありません。

◆ 重要 ◆

- ・有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

録画をする前にお読みください

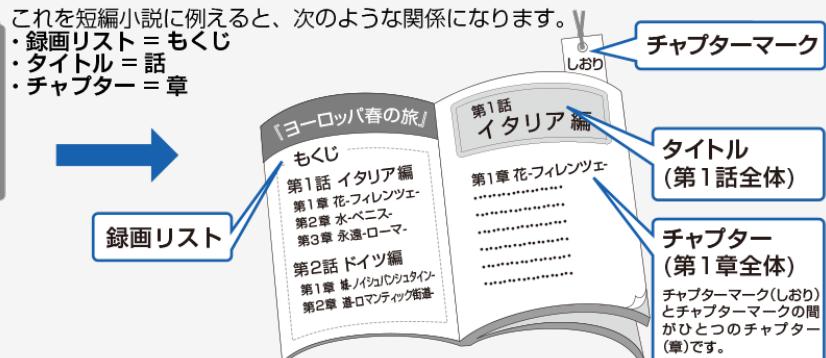
録画した番組の構成について

- 録画した番組は、1回の録画ごとに「タイトル」として記録されます。
各タイトル(録画した番組)は「録画リスト」に一覧表示され、再生・消去・タイトル名変更・タイトルの並べ替え・保護・保護解除・毎週予約・タイトル検索・ダビングができます。
タイトル(録画した番組)が消されないように保護する／保護を解除する(⇒[7-67ページ](#))
タイトル(録画した番組)を消去する(⇒[7-73ページ](#))
録画リストの一覧表示の並びかたを変えるには(⇒[7-65ページ](#))

「タイトル」「チャプター」「録画リスト」の関係(市販のビデオディスクの場合の例)

『ヨーロッパ春の旅』		
イタリア編(タイトルA)		
花-フィレンツェ	水-ベニス	永遠-ローマ-
(チャプター1)	(チャプター2)	(チャプター3)
ドイツ編(タイトルB)		
城-ノイシュバッハク	道-ロマンティック街道-	
(チャプター1)	(チャプター2)	

タイトルA
チャプター1 チャプター2 チャプター3
タイトルB
チャプター1 チャプター2

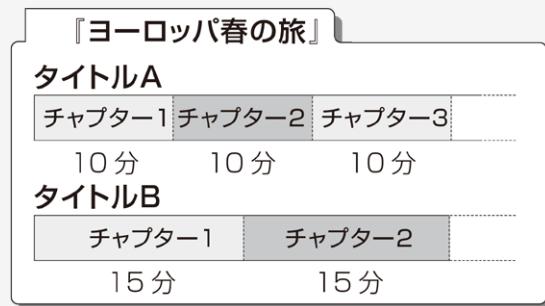


録画をする前にお読みください

録画した番組の構成について

例) 本機で録画したUSBハードディスクの場合

※ タイトルAは「オートチャプター設定」を「10分」に、タイトルBは「15分」に設定した例です。



お知らせ

- 本機は、番組録画中に音声の切り換わりを検知して自動的にチャプターを作成する「おまかせオートチャプター」機能を搭載しています。また、一定時間でチャプターを作成することもできます。
- 本機には録画中にチャプターマークを任意の場所に記録する機能はありません。
デジタル放送を録画するときに、チャプターマークを設定した間隔で自動的に入れるようにできます。(⇒[7-14](#)ページ)

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



優先して録画するUSBハードディスクを選択する

- 複数のUSBハードディスクを接続している場合に、優先して録画に使用するUSBハードディスクを選択します。接続が1台の場合でも選択されていない場合がありますので、選択してください。

1. (インターネット) **ホーム**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「録画機器選択」を選び、**決定**を押す
3. 表示された機器から1台または、「録画／予約時に選択する」を選んで**決定**を押す
 - 操作を終了する場合は、**ホーム**を押します。
 - 「録画／予約時に選択する」を選んだときは、**決定**を押したときに録画する機器を選ぶ画面が表示されます。

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



視聴中の番組を録画する(一発録画)

- 視聴中のデジタル放送の番組が終わるまで録画し、番組が終了すると自動で録画が停止します。番組の延長にも対応します。

◆ 重要 ◆

- 録画の前に、USBハードディスクを使ってできること／できないことをご覧ください。
(⇒[7-1～7-2](#)ページ)
- 「電源ボタン設定」を「モード2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。
(⇒[4-19](#)ページ)

本体の電源をオフにすると…

- 預約が実行されません。
- 録画が停止します

- 録画の前に「録画をする前にお読みください」をご覧ください。
(⇒[7-16](#)ページ)
- USBハードディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。
- でUSBハードディスクに録画するには、事前に「録画機器選択」
(⇒[7-23](#)ページ)で「USB-HDD」または「録画／予約時に選択する」を選択しておく必要があります。

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



視聴中の番組を録画する(一発録画)

1. 録画したい放送の種類を選ぶ

- 地上 BS CS のいずれかを押すか、「IPTV(ひかりTV)」のテレビサービスを楽しむ」(⇒[8-60](#)ページ)の手順で録画したい放送の種類を選びます。
- 「チャイルドロック」(⇒[4-45](#)ページ)をかけているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。

2. 選局ボタンで録画したいチャンネルを選ぶ

3. 録画をはじめる

- 録画 を押します。
- テレビ画面に録画開始のメッセージが表示されます。
- 視聴中の番組が終わるより前に録画を止める場合は、停止 を押し、メッセージに従って操作してください。

お知らせ

- デジタル放送はB-CASカードを挿入しないと視聴・録画できません。
- アンテナの受信状態が悪くなったときは、自動で録画が停止する場合があります。
- BS/CSの自動録画実行中にBS/CSの一発録画をすると、録画は開始されますが、自動録画している番組に視聴画面が切り替わります。



USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する

視聴中の番組を録画する(一発録画)

番組情報が取得できていないチャンネルを録画したときは

- デジタル放送で番組表が表示されていないチャンネルを録画したときは、を押すまで、最大6時間録画が続けます。
- 録画終了時刻を設定したいときは
⇒下記をご覧ください。

録画終了時刻の設定をやり直すには

- 録画中に、を押して終了時刻設定画面を表示させる
- 上下カーソルボタンで終了時刻を選び、を押す(1分単位)
 - 終了時刻を選ぶときに、上下カーソルボタンを長押しすると、10分単位で選べるようになります。(カーソルボタンを押し直すと、1分単位の動作に戻ります。)
 - 設定した時刻になると、自動的に録画が停止します。

「録画中の番組の最後まで」を設定したとき

- 設定した時点での番組情報に従い、番組終了時刻が設定されます。
- 番組表で番組情報が取得されていないときは、「録画中の番組の最後まで」は設定できません。
- デジタル放送で番組表が表示されていないチャンネルを録画したときは、ファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選ぶ、またはを押すまで、最大6時間録画が続けます。



USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する

視聴中の番組を録画する(一発録画)

録画終了時刻を設定したとき

- 録画終了時刻が設定されます。設定した時刻になると、自動的に録画が停止します。

設定を解除したいとき

- 「設定しない(解除)」を選びます。

「設定しない(解除)」を選んだとき

- 「設定しない(解除)」を選んだときは、■またはファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選ぶまで最大6時間録画が続きます。USBハードディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。

録画を途中で停止したいとき

- 「いますぐ録画停止」を選びます。
- 続いて「する」を選ぶと、録画が停止します。

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



デジタル放送の番組を録画予約する

- 番組表を使って、番組を録画予約できます。
- 7日先まで録画予約できます。
- 予約の最大件数は、32番組です。

◆ 重要 ◆

- 録画予約の前に、USBハードディスクを使ってできること／できないことをご覧ください。
(⇒ [7-1～7-2ページ](#))
- 録画予約する前に、USBハードディスクかファミリンク録画機器が接続されていることを確認してください。
- 録画予約の前に「録画をする前にお読みください」
(⇒ [7-16ページ](#))をご覧ください。
- 「電源ボタン設定」
(⇒ [4-19ページ](#))を「モード2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。

本体の電源をオフにすると…

- 予約が実行されません。
- 録画が停止します。

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



デジタル放送の番組を録画予約する

お知らせ

- 番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。
- 時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終わります。
- 既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作をやり直してください。

1. 録画したい放送の種類を選ぶ

- 地上 BS CS のいずれかを押すか、「IPTV(ひかりTV)」のテレビサービスを楽しむ(⇒[8-60ページ](#))の手順で録画したい放送の種類を選びます。
- 「チャイルドロック」(⇒[4-45ページ](#))をかけているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。

2. **番組表**を押し、番組表を表示する

3. 上下左右カーソルボタンで予約したい番組を選ぶ

- 日時やジャンルを指定して番組を選ぶこともできます。
(⇒[3-7ページ](#))

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



デジタル放送の番組を録画予約する

4. **決定**を押し、予約する

- 他の予約と予約時間が重なる番組を選んだときは画面にメッセージが表示されます。画面の説明に従って操作してください。
(⇒[11-67ページ](#))
- 予約した番組には、予約アイコンが表示されます。

録画禁止の番組を予約したときは

- 視聴予約となります。

USBハードディスクが接続されていないときは

- 予約方法の選択画面が表示されます。

5. **番組表**を押し、番組表を消す

- 予約が設定されると、本体のTIMER/REC(タイマー／録画)ランプが橙色に点灯します。(自動録画予約の場合は点灯しません。)

録画予約の取り消し・変更をしたいときは

- ⇒[7-46ページ](#)をご覧ください。

録画モードと録画時間

- ビデオテープの標準モードや3倍モードのように録画モードを指定して録画ができます。
- 本機でデジタル放送を録画するときは、録画モード(録画時間)「標準(DR)」「標準(DR)」「モード1」「モード2」が選べます。
(USBハードディスクの録画モードを設定する⇒[7-35ページ](#))
- 録画するときの画質を下げるとき、録画できる時間を増やすことができます。

1.0TBハードディスクの場合の録画モードと録画時間の関係

「標準(DR)(放送画質)」で録画するとき

- BS CS HD放送 87時間 地上 HD放送120時間 標準放送173時間

「モード1／モード2」で録画するとき

- 「モード1」BS CS 地上 HD放送348時間
- 「モード2」HD放送696時間
- デジタル標準(SD)放送時は、表記の録画時間より長く録画できます。
- IPTVを録画する場合は、録画モードの設定に関らず「標準(DR)」での録画となります。

「BS CS HD放送」は、BS・110度CSハイビジョン放送です。

「地上 HD放送」は、地上デジタルハイビジョン放送です。

録画モードと録画時間

録画時間の算出について(録画時間は目安です)

- 録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他の条件により
⇒[7-31](#)ページの時間を下回るまたは上回る場合があります。
- 録画した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。

お知らせ

- スポーツや歌番組などの動きの激しい番組を録画する場合は、なるべく「標準(DR)」、「モード1」の画質で録画していただくことをおすすめします。「モード2」の長時間録画モードで録画をするとブロック状に見える画像ノイズが目立つ場合があります。

録画モードと録画される内容・楽しめる機能

放送の種類	録画モード	標準 (DR)	モード1／モード2
マルチビューサービス放送 (ステレオ二重音声)		主映像 (音声は主・副両方記録されます)	主映像 (音声は主・副両方記録されます)
連動データ放送		○	×
二重音声放送		○	○
字幕		○	○
番組情報		○	○

録画モードと録画時間

USBハードディスクの容量と録画時間について

- 録画時間は、お使いになるUSBハードディスクの容量によって異なります。以下は、録画モードを標準(DR)にした場合の録画時間の目安です。

容量／放送の種類	BS・110度CS ハイビジョン放送	地上デジタル ハイビジョン放送	標準放送
3TB	約260時間	約360時間	約520時間
2TB	約174時間	約240時間	約347時間
1.5TB	約130時間	約180時間	約260時間
1TB	約87時間	約120時間	約173時間
750GB	約65時間	約90時間	約130時間
640GB	約56時間	約77時間	約111時間
500GB	約44時間	約60時間	約87時間
400GB	約35時間	約48時間	約70時間
320GB	約28時間	約39時間	約56時間
300GB	約26時間	約36時間	約52時間
250GB	約22時間	約31時間	約43時間

録画モードと録画時間

お知らせ

録画時間の算出について(録画時間は目安です)

- 録画時間は、BS/110度CSデジタルハイビジョン(HD)放送は約24Mbps、地上デジタルハイビジョン(HD)放送は約17Mbps、標準(SD)放送は約12Mbpsで算出しています。
- 録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他の条件により⇒[7-33](#)ページの時間を下回るまたは上回る場合があります。
- 録画した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。
- 「標準(DR)」を選ぶと、放送と同じ画質で録画できます。

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



録画モードと録画時間

USBハードディスクの録画モードを設定する

- デジタル放送を録画する場合、画質を優先するときは「標準(DR)」に、より長い時間の録画を優先するときは「モード1」か「モード2」に設定することをおすすめします。ただし、IPTVを録画する場合は、録画モードの設定に関らず「標準(DR)」での録画となります。

お知らせ

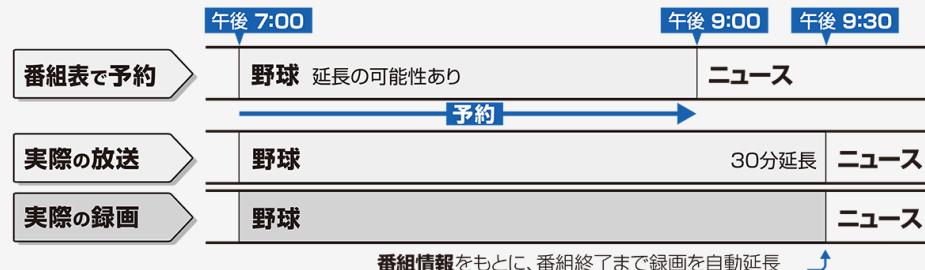
- 「モード1」、「モード2」で録画できるのは録画①(予約の場合は予約①)で録画した場合のみです。
- 録画②(予約の場合は予約②)で録画した場合は「標準(DR)」で録画されます。

1. **[ホーム]**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
 2. 上下左右カーソルボタンと**決定**で「**（視聴準備）**」—「**USB-HDD設定**」—「**録画モード**」を選ぶ
 3. 上下カーソルボタンで録画モードを選び、**決定**を押す
- 操作を終了する場合は、**[ホーム]**を押します。

デジタル放送の延長予約について

- スポーツ中継など終了時刻が延長される可能性のある番組を番組表で予約すると、録画予約の終了時刻が自動で延長されます。
- 番組が延長されても番組の最後まで録画を行います。
- 前の番組が延長されて録画予約した番組が繰り下げられたときでも、録画予約した番組の最後まで録画します。

スポーツ番組を番組表から録画予約したとき



お知らせ

- 予約した番組が延長したり、繰り下げとなった予約と他のチャンネルの予約が重なったときは、重なった予約が実行されない、または番組の途中から予約が実行されます。
- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、変更した時刻で録画されます。(延長に対応しなくなります。)
- 外部ビデオ入力の録画には対応していません。

デジタル放送の延長予約について

繰り下げる可能性がある番組を番組表から録画予約したとき



お知らせ

- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、変更した時刻で録画されます。(延長に対応しなくなります。)
- 放送される番組によっては、延長に対応できない場合もあります。

デジタル放送の延長予約について

番組の延長により、予約が重なった場合

- 予約Aと予約Bが重複できない予約の場合、先の予約録画が終了したあと、次の重なった予約録画を途中から実行します。

重複できる録画や予約の組み合わせ(⇒ [7-41ページ](#))

- 番組が繰り下げられた場合も同様です。



お知らせ

- 予約が取り消される場合もあります。(⇒ [7-39ページ](#))

デジタル放送の延長予約について

予約が取り消される場合について

- 予約A, Bが以下の組み合わせの場合、後から開始した予約は実行されず、取り消されます。

・組み合わせ①

予約A : IPTV以外のテレビの視聴予約／録画予約
予約B : IPTV視聴予約／録画予約

・組み合わせ②

予約A : IPTV視聴予約／録画予約
予約B : IPTV以外のテレビの視聴予約／録画予約

- 番組が繰り下げられた結果、開始時刻が他の予約と同じ時刻になった場合は、繰り下げられた予約が取り消されます。

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



おすすめ番組を録画予約する

- 放送予定のおすすめ番組を録画予約することができます。

◆重要◆

- 録画予約の前に、USBハードディスクを使ってできること／できないことをご覧ください。(⇒ [7-1～7-2ページ](#))
- 録画予約する前に、USBハードディスクかファミリンク録画機器が接続されていることを確認してください。

(インターネット)

1. を押してホーム画面を表示する

- ホーム画面におすすめ番組の候補が表示されます。

2. 上下左右カーソルボタンで放送予定の番組を選び、を押す

- 他の予約と予約時間が重なる番組を選んだときは、メッセージ画面が表示されます。
画面の表示にしたがって、操作します。(⇒ [11-67ページ](#))
- USBハードディスクが接続されていない場合は、選択画面が表示されます。

お知らせ

- 録画禁止の番組を予約したときは「視聴予約」となります。
- 予約した番組には、予約アイコンが表示されます。
- 予約が設定されると、本体のTIMER/REC(タイマー／録画)ランプが点灯します。

USBハードディスク

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する

重複できる録画や予約の組み合わせ

		録画②／予約②				
		USB-HDD 録画モード：モード1、モード2	USB-HDD 録画モード：標準（DR）	ファミリンク	視聴	IPTV 視聴／録画
録 画 ①	USB-HDD 録画モード：モード1、モード2	×	○	○	○	×
	USB-HDD 録画モード：標準（DR）	×	○	○	○	×
	ファミリンク	×	○	×	○	×

※視聴予約およびIPTV録画予約の予約先に、「予約①」は選べません。
IPTVの録画予約／視聴予約は、他の予約と重複できません。

番組を自動で録画する(自動録画)

- USBハードディスクを使って、登録したキーワードやジャンルなどの条件で見つかった番組を自動で録画できます。

◆重要◆

- 自動録画機能を使うには、自動録画領域の設定とおすすめキーワード登録をする必要があります。(⇒ [7-43ページ](#))
- 自動録画機能で録画した番組は、自動録画専用領域の録画可能時間を超えないように、録画日時の古い番組から自動的に消されます。
消されたくない番組は、消される前に通常録画に変更(「自動録画で録画した番組を自動消去対象から外す」⇒[7-44ページ](#))しておくか、はじめから通常の録画・録画予約をしてください。

お知らせ

- 自動録画機能で録画する時間帯と通常の録画予約の時刻が重なったときは、通常の録画予約が優先されます。録画される番組は、「通常の録画番組(電子番組表から設定した予約)」、「一発録画」、「自動録画(おすすめキーワード登録の優先順)」の順に優先されます。
- 録画モードを設定することはできません。標準(DR)で録画されます。
- 自動録画は、予約②のみに登録されます。

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



番組を自動で録画する(自動録画)

自動録画に割り当てるUSBハードディスク領域を設定する

- 自動録画で使用するUSBハードディスクの領域を録画時間で設定します。

1. **ホーム**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
2. 上下左右カーソルボタンと**決定**で「 (視聴準備)」—「USB-HDD設定」—「自動録画領域設定」を選ぶ
3. 上下カーソルボタンで設定するUSBハードディスクを選んで**決定**を押す
4. 左右カーソルボタンで自動録画に割り当てる時間を選んで**決定**を押す

お知らせ

- USBハードディスク録画中は設定できません。
- 空き容量が不足している場合は、不要なタイトル(録画した番組)を削除してください。
- 自動録画時間を増やす場合は、録画リストの通常録画タイトルを削除してください。
- 自動録画時間を減らす場合は、録画リストの自動録画タイトルを削除してください。

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



番組を自動で録画する(自動録画)

自動で録画した番組を自動消去対象から外す

- 自動録画で録画した番組を通常録画に変更することで自動消去の対象から外すことができます。
- 操作する前に、USBハードディスクの準備をしてください。
このUSBハードディスクの自動録画タイトルを通常録画タイトルに変更します。

1. **録画リスト**を押して録画リストを表示し、**ツール**を押し、「全画面録画リストへ」を選び、**決定**を押す
2. 上下左右カーソルボタンで自動消去対象から外したい自動録画タイトルを選ぶ
 - 自動録画タイトルには、アイコン(**AUTO**)が表示されます。
3. **ツール**を押してツールメニューを表示する
4. 上下カーソルボタンで「自動録画番組の自動消去を解除する」を選び、**決定**を押す
 - 選んだタイトルが自動消去対象から外されます。
 - 操作を終了する場合は、**終了**を押します。

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



録画した番組を次回も録画予約する(また見たい予約)

- 録画した番組を次回(次週)もまた見たいときに、毎週予約するように設定できます。
1. **録画リスト** を押して録画リストを表示する
 2. 上下左右カーソルボタンで毎週予約したいタイトルを選び、**ツール**を押してツールメニューを表示する
 - 複数のUSBハードディスクを接続している場合は、左右カーソルボタンでUSBハードディスクが切り換わります。
 3. 上下カーソルボタンで「この番組を毎週予約する」を選び、**決定**を押す
 4. **決定**を押して「確認」で決定する

予約の確認・取り消し・変更をするには



- 録画先をUSBハードディスクやファミリンク機器に変更するときや、日時を指定して予約したいとき、視聴予約、繰り返し予約は、この手順で予約方法を変更します。

実行中の予約録画を解除するには

- ツール
①を押してツールメニューを表示し、「録画停止」を選んで②を押したあと、画面の指示に従って操作してください。
- 録画実行中の予約は「取り消す」のみ操作ができます。

予約を確認する

- 番組表を押し番組表を表示する
- 青を押し予約リストを表示する
- 左右カーソルボタンで予約リストページ1～8(自動)のいずれかを選び、上下カーソルボタンで確認したい予約番組を選んで、②を押す
 - 予約の設定内容が表示され、確認できます。
 - 終了する場合は、「変更しない」を選びます。

予約の確認・取り消し・変更をするには



予約を取り消す

1. **番組表**を押し番組表を表示する
2. **青**を押し予約リストを表示する
3. 左右カーソルボタンで予約リストページ1~8(自動)のいずれかを選び、上下カーソルボタンで取り消したい予約番組を選んで、**決定**を押す
4. 左右カーソルボタンで「取り消す」を選んで **決定**を押し、左右カーソルボタンで「する」を選び **決定**を押す

予約の確認・取り消し・変更をするには



予約の設定を変更する

(予約)

1. **番組表**を押し番組表を表示する
青
2. **決定**を押し予約リストを表示する
3. 左右カーソルボタンで予約リストページ1～8(自動)のいずれかを選び、上下カーソルボタンで設定を変更したい予約番組を選んで、**決定**を押す
4. 左右カーソルボタンで変更したい項目を選び、上下カーソルボタンで内容を選ぶ

予約の設定項目

「録画モード」: 標準(DR)／モード1／モード2

「予約方法」: USB-HDD録画／ファミリンク録画／視聴予約

「録画日」: 日付／毎週○曜／毎日／月・土／月・金

「予約先」: 予約①／予約②

- 予約方法が「ファミリンク録画」の場合、「録画日」「開始時間」「終了時間」は変更できません。
 - 「日時指定予約」の場合、録画日の「日付」は、「今日の日付」～「28日後の日付」が選べます。
 - USBハードディスクに録画する場合、予約先が「予約①」の場合のみ「モード1」、「モード2」での長時間録画が可能です。
予約先が「予約②」の場合は「標準(DR)」で録画されます。
 - 予約方法が「視聴予約」の場合、予約先に「予約①」は選べません。
5. 左右カーソルボタンで「変更する」を選び、**決定**を押す
 6. 「確認」で **決定**を押す

予約の確認・取り消し・変更をするには



自動録画予約の設定を変更するときは

1. (予約) **番組表** を押し番組表を表示する
2. 青 **□** を押し予約リストを表示する
3. 左右カーソルボタンで「自動」を選び、上下カーソルボタンで予約番組を選んで **決定** を押す
4. 左右カーソルボタンで「変更する」を選び、 **決定** を押す
 - 通常録画予約に変更されます。

予約の確認・取り消し・変更をするには



繰り返し予約をする

- 毎日、毎週など、同じ番組を繰り返し録画予約できます。

- (予約)
番組表を押し番組表を表示し、上下左右カーソルボタンで繰り返し予約をしたい番組を選んで決定を押す
- 上下左右カーソルボタンでもう一度同じ番組を選び、決定を押す
 - 予約した番組を予約リストからも選べます。
- ①左右カーソルボタンで「録画日」を選ぶ
②上下カーソルボタンで「毎週の曜」「毎日」「月一土」「月一金」のいずれかを選ぶ

予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

番組指定：放送開始時間や終了時間が変更されたときに自動的に対応して録画します。
日時指定：開始時刻／終了時刻を指定して録画します。

録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法	録画モード
毎日	[火] 午後 2 : 00 ~ 午後 3 : 00		USB-HDD1	標準(DR)
残時間： ** 時間 ** 分	今回の予約時間： 1 時間 00 分	番組指定予約		

予約の確認・取り消し・変更をするには



繰り返し予約をする

4. カラーボタンで、予約の種類を設定する

- 青 を押すと、「毎日予約」に設定できます。
- 赤 を押すと、「毎週予約」に設定できます。
- 黄 を押すと、「日時指定予約」※1に切り換えられます。

5. 左右カーソルボタンで「変更する」を選び、を押す

6. 「確認」でを押す

※1 「日時指定予約」の場合は、指定した時間で繰り返し予約を行います。「番組指定予約」の場合は、初回予約時の前後3時間以内で放送が開始される類似した番組名の番組を検索し、録画します。繰り返し予約が他の予約の時間と重なる場合、繰り返し予約は自動的に「休止」となり、録画予約は行われません。また、該当する番組がない場合は、日時指定予約で録画されます。

お知らせ

- 「日時指定予約」に変更した番組を再度変更するときは、一度予約を取り消してから新しい予約の設定をやり直してください。

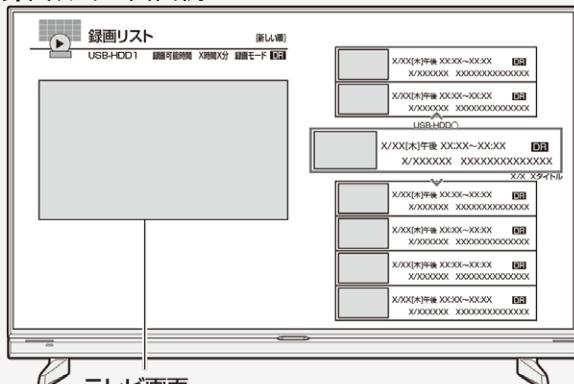


録画リストについて

- **録画リスト** を押してメニューを表示し、上下カーソルボタンで表示したいUSBハードディスクを選択すると、録画した番組が表示されます。(1台のみの場合は録画リストが直接表示されます)

 - 録画リストの表示中に **○** を押し、「全画面録画リストへ」を選択すると、録画リストが全画面で表示されます。
 - 録画リストを表示して、USBハードディスクに録画した番組を一覧表示できます。一覧表示した番組は、小画面で映像を確認しながら選べます。

録画リストの画面例



テレビ画面
視聴中の放送が縮小表示されます。

USBハードディスク

USBハードディスクに録画した番組を再生する

録画リストについて

録画リスト(全画面)でできること

ツール

- 録画リスト(全画面)で  を押すと、機能メニューが表示されます。
- 機能メニューから、次のことができます。
 - 録画した番組の消去(⇒ [7-73～7-75ページ](#))
 - 録画した番組のタイトル名の変更(⇒ [7-76ページ](#))
 - 録画した番組の保護(⇒ [7-67～7-72ページ](#))
 - 録画した番組の繰り返し予約(⇒ [7-50～7-51ページ](#))
 - 録画した番組の検索(⇒ [7-78ページ](#))
 - 録画した番組のダビング(⇒ [7-81～7-83ページ](#))
 - USB-HDDの設定(⇒ [4-13～4-14ページ](#))

お知らせ

- 本機以外につないで録画したUSBハードディスクや、登録解除したUSBハードディスクは再生できません。
- 「USB-HDDの選択」で選ばれたUSBハードディスクに録画した番組が表示されます。

録画リストは、以下の操作でも表示されます。

- ホーム画面から「USB-HDD録画リスト」を選んで切り換えることもできます。
- ファミリンクパネルを表示して、ファミリンクパネルから選ぶこともできます。⇒ [7-79ページ](#)

録画リスト(全画面)の画面例

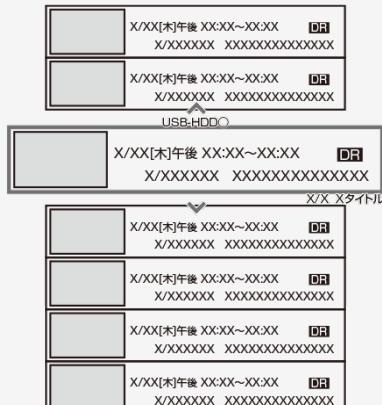


USBハードディスクに録画した番組を再生する



録画リストから再生する

1. **録画リスト** を押して録画リストを表示する
 - ホーム画面から「USB-HDD録画リスト」でも再生できます。
2. 上下カーソルボタンで再生したい番組を選び、**決定**を押す
 - 複数のUSBハードディスクを接続している場合は、左右カーソルボタンでUSBハードディスクを切り換えることができます。



- 選んだ番組の再生が始まります。

USBハードディスクに録画した番組を再生する



録画リストから再生する

- 表示の順番を変更する場合は、[録画リストの一覧表示の並びかたを変えるには] (⇒ [7-65ページ](#))をご覧ください。
- 再生中はリモコンの (前/早戻し), (再生), (早送り/次), (10秒戻し), (一時停止/停止), (停止), (30秒送り) で操作することができます。番組によっては、操作できない機能があります。
- (再生) (約1.5倍速)のときは、早見、早聞き視聴ができます。
- 放送や録画番組の1シーンを縮小した静止画(サムネイル)を同時に表示できますが、表示されるまでに時間がかかります。
- 録画内容によってはサムネイルが取得されないことがあります。

	いま見ているチャプターの先頭に戻ります。 長押しで早戻しになります。そのまま押し続けると、速度が速くなります。(4段階)
	次のチャプターを頭出します。 長押しで早送りになります。そのまま押し続けると、速度が速くなります。(4段階)

お知らせ

録画リスト(全画面)のタイトル表示について

- 録画リストを全画面にした場合は、1ページに12タイトルまで表示されます。13タイトル以上あるときは、右カーソルボタンを押すと、ページを切り換えて表示できます。

USBハードディスクに録画した番組を再生する



録画中の番組を再生する(追いかけ再生)

- 録画中の番組を再生することができます。
- 一発録画、予約録画に対応しています。

◆重要◆

- 追いかけ再生が開始するまで、多少時間がかかることがあります。
- 番組によっては追いかけ再生ができない場合があります。

次のようなときは、追いかけ再生ができません

- HDDの残量が少ないとき
- IPTV録画のとき

1. 録画中に、リモコンの を押して再生選択画面を表示する
2. 上下カーソルボタンで「録画番組(○○ ○○○ch)を追いかけ再生する」を選び、 を押す
 - 画面右上に緑色の再生マークが出ます。
 - 最後に視聴したチャンネルの場面に戻るには を押します。録画を停止するときは、ツールメニューから「録画停止」を選びます。

USBハードディスクに録画した番組を再生する



録画中の番組を再生する(追いかけ再生)

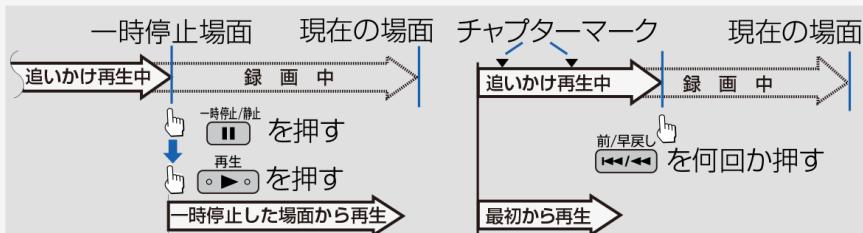
追いかけ再生中の早戻し／早送り

- 追いかけ再生中に または を押すたびに、次のように早戻し／早送り再生ができます。



追いかけ再生中に一時停止した場合

- 現在放送中の場面を追いかけながら見られます。
- 番組の途中にチャプターマークがある場合でも、最初から見られます。



録画中の番組を再生する(追いかけ再生)

- 追いかけ再生中に録画禁止の映像になったときや録画が6時間以上続いたときは、追いかけ再生用の録画が停止します。録画が停止した時点で追いかけ再生から通常再生に変わります。
- 追いかけ再生中に早送りをしたとき、現在放送されている場面(録画中の画面)の手前になると追いかけ再生が解除され、最後に視聴したチャンネルの画面に戻ります。
戻るタイミングは、早送りのスピードや録画モードにより異なります。
- 早見・早聞き視聴をしたとき、録画した番組によっては、映像がスムーズに再生されなかったり、映像と音声が合わなかったりする場合があります。
- 追いかけ再生中に別の番組の録画が開始したときは、追いかけ再生が停止します。

再生時の操作



停止ボタンを押して途中で止めた場合の再生について

停止した場所からつづけて再生するときは

1. **再生** **を押す**
- つづきから再生できます。

はじめから再生するときは

1. **録画リストを表示する**
- ⇒ [7-54ページ](#)

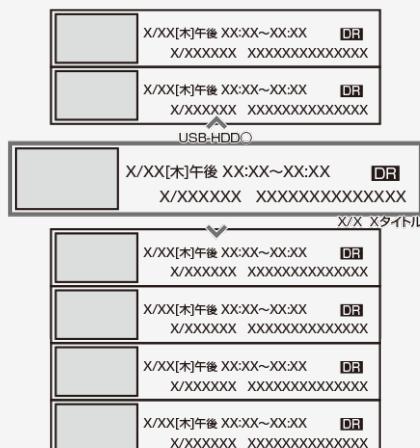
再生時の操作



停止ボタンを押して途中で止めた場合の再生について

はじめから再生するときは

2. 上下カーソルボタンで再生したいタイトルを選ぶ



3. **赤**ボタンを押して、最初から再生する

- 選んだタイトルがはじめから再生されます。

再生時の操作



再生中に設定をする(視聴メニュー)

- 再生しながら、再生情報を確認したり、リピート再生が行えます。

お知らせ

- 字幕の表示が「—」と表示される場合は、そのタイトルに選択できる字幕が記録されていません。

- 再生中に  を押し、ファミリンクパネルを表示して、「視聴メニュー」を選ぶ
 - 上下左右カーソルボタンで選んで、 を押します。



- ファミリンクパネル
⇒ [7-79ページ](#)

再生時の操作



再生中に設定をする(視聴メニュー)

2. 設定項目を選ぶ

- 上下カーソルボタンで選んで、**決定**を押します。

- ①再生状態表示動作状態やディスクの種類
- ②設定項目(⇒7-63ページ)
- ③操作ガイド表示

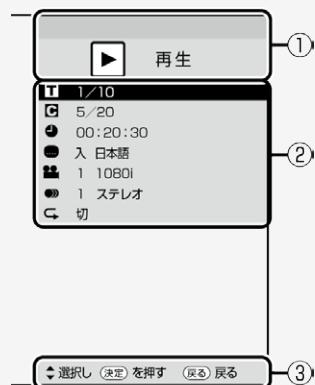
3. 設定する(⇒7-63ページ)

- 上下左右カーソルボタンで選んで、**決定**を押します。

- 戻る または 終了

お知らせ

- ・ アングルや字幕などの表示が「—」と表示される場合は、そのタイトルに選択できるアングルや字幕が記録されていません。



再生中に設定をする(視聴メニュー)

1.  タイトル(トラック)選択

- 再生中のタイトル番号が表示されます。番号を選択してタイトルの頭出しができます。

2.  チャプター再生表示

- 再生中のチャプター番号が表示されます。番号を選択してチャプターの頭出しができます。

3.  再生経過時間表示

- 選択したタイトルのはじめから現在までの経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。

4.  字幕言語再生表示

- 再生中のタイトルに字幕がある場合に、切り換えられます。

5.  映像切換

- 再生中のタイトルに複数の映像がある場合に、切り換えられます。

6.  音声切換

- 再生中のタイトルに複数の音声がある場合に、切り換えられます。
- 早見・早聞き視聴中は切り換えられません。



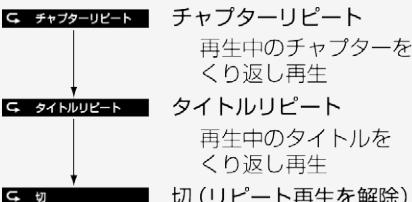
再生時の操作



再生中に設定をする(視聴メニュー)

7. ↻リピート再生

- 再生中のタイトルまたはチャプターを、くり返し再生できます。
- 上下カーソルボタンで「チャプターリピート」または「タイトルリピート」を選び、**決定**を押します。



- リピート再生を開始します。
- 選択画面に戻るには 戻るを押します。

お知らせ

- 再生しているタイトルによって選択できる項目は異なります。



USBハードディスクに録画した番組の管理



録画リストの一覧表示の並びかたを変えるには

1. 録画リストを表示する
 - ⇒ [7-54](#)ページ
2. 青を押し、「並べ換え」をする
3. 「新しい順」「古い順」「未視聴(新しい順)」「既視聴(古い順)」「タイトル名順」「保護無し(古い順)」「データ量多い順」「自動録画(古い順)」のいずれかを選んで、決定を押す
 - 並べ換えを行うと、録画リストフォルダの中にあるタイトルが選択した順に並べ換えられます。

USBハードディスクに録画した番組の管理



録画済みのタイトルを次回も録画予約したいときは(毎週予約)

1. 録画リストを表示する

- ⇒ [7-54](#)ページ

2. 毎週予約したいタイトルを選ぶ

ツール

3. ○を押し、ツールメニューを表示する

4. 「この番組を毎週予約する」を選ぶ

5. 「確認」で○を押す

- 録画予約した内容を取り消し・変更したいときは
⇒ [7-46](#)ページをご覧ください。

USBハードディスクに録画した番組の管理



タイトル(録画した番組)が消されないように保護する／保護を解除する

タイトルを1つ選んで保護／解除する

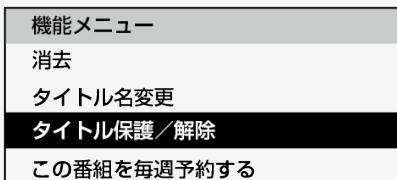
1. 録画リストを表示して、保護／解除したいタイトルを選ぶ

- 録画リストを表示する
⇒ [7-54](#)ページ

2. を押し、「全画面録画リストへ」を選び、を押す

3. を押し、機能メニューを表示する

4. 「タイトル保護／解除」を選び、を押す



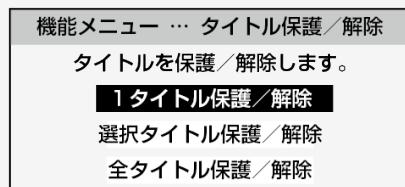
USBハードディスクに録画した番組の管理



タイトル(録画した番組)が消されないように保護する／保護を解除する

タイトルを1つ選んで保護／解除する

5. 「1タイトル保護／解除」を選び、**(決定)**を押す



6. 「保護する」または「保護解除」を選び、**(決定)**を押す

保護する **保護解除**

- 操作を終了する場合は、**(終了)**を押します。

USBハードディスクに録画した番組の管理



タイトル(録画した番組)が消されないように保護する／保護を解除する

複数のタイトルを選んで保護／解除する

1. **ツール**
ツール
1. **録画リスト**を押して録画リストを表示し、**ツール**を押し、「全画面録画リストへ」を選び、**決定**を押す
2. **ツール**
ツール
2. **ツール**を押してツールメニューから「タイトル保護／解除」を選び、**決定**を押す
3. **ツール**
ツール
3. 上下カーソルボタンで「選択タイトル保護／解除」を選び、**決定**を押す

USBハードディスクに録画した番組の管理



タイトル(録画した番組)が消されないように保護する／保護を解除する

複数のタイトルを選んで保護／解除する

4. カーソルボタンで保護／解除したいタイトルを選び、**決定**を押す

NEW	ぼくとテディのはるやすみ	XX/XX
	午後のドラマ「普通の人たち」	XX/XX
	おとうさんもいっしょ	XX/XX
	きょうのお献立	XX/XX
NEW	金曜ドラマスペクタクル「執事探偵5」	XX/XX
NEW	- 奥様あなたのTVショッピング	XX/XX
	- どうぶつ抱腹絶倒	XX/XX

- 保護したいタイトルに、「」マークを付けます。
- 1回の操作で最大20タイトルまで選べます。
- 保護するタイトルには「」マークが付きます。もう一度選ぶと「」マークが外れます。

USBハードディスクに録画した番組の管理



タイトル(録画した番組)が消されないように保護する／保護を解除する

複数のタイトルを選んで保護／解除する

5.  を押す

- 「」マークが付いたタイトルが保護されます。
- 「」マークのない(外した)タイトルは保護されません。

NEW	■ ぼくとテディのはるやすみ	XX/XX
	■ 午後のドラマ「普通の人たち」	XX/XX
	■ おとうさんもいっしょ	XX/XX
	■ きょうのお献立	XX/XX
■	■ 金曜ドラマスペクタクル「執事探偵5」	XX/XX
■	■ 奥様あなたのTVショッピング	XX/XX
	■ どうぶつ抱腹絶倒	XX/XX

- 操作を終了する場合は、 を押します。

USBハードディスクに録画した番組の管理



タイトル(録画した番組)が消されないように保護する／保護を解除する

タイトルを全て保護／解除する

1. **ツール** ボタンを押して録画リストを表示し、**決定**ボタンを押し、「全画面録画リストへ」を選び、**決定**ボタンを押す
2. **ツール** ボタンを押してツールメニューから「タイトル保護／解除」を選び、**決定**ボタンを押す
3. 上下カーソルボタンで「全タイトル保護／解除」を選び、**決定**ボタンを押す
4. 左右カーソルボタンで「保護する」または「保護解除」を選び、**決定**ボタンを押す

• 操作を終了する場合は、**終了**ボタンを押します。

USBハードディスクに録画した番組の管理



タイトル(録画した番組)を消去する

お知らせ

- 消去したタイトルは復活できません。

タイトルを1つ選んで消去する

1. 録画リストを押して録画リストを表示し、ツールマークを押し、「全画面録画リストへ」を選び、決定を押す
2. 上下カーソルボタンで消去したいタイトルを選ぶ
 - 3. 消去したいタイトルに「」マークがついている場合は、先に「タイトル保護／解除」([⇒ 7-67ページ](#))を行ってください。
3. ツールマークを押し、ツールメニューを表示する
4. 「消去」を選び、決定を押す
5. 「1タイトル消去」を選び、決定を押す
6. 「する」を選び、決定を押す
 - 選んだタイトルが消去されます。
 - 消去中は、電源を切らないでください。
7. 操作を終了する場合は、ツールマークを押します。



タイトル(録画した番組)を消去する

複数のタイトルを選んで消去する

- ツール

 1. 録画リストを押して録画リストを表示し、○を押し、「全画面録画リストへ」を選び、決定を押す
 2. ○を押し、ツールメニューを表示する
 3. 「消去」を選び、決定を押す
 4. 上下カーソルボタンで「選択タイトル消去」を選び、決定を押す
 5. カーソルボタンで消去したいタイトルを選び、決定を押す
 - 1回の操作で最大20タイトルまで選べます。
 - 選んだタイトルにはごみ箱マークが付きます。もう一度選ぶとごみ箱が消えます。
 6. 赤を押す
 7. 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定を押す
 - ごみ箱マークを付けたタイトルが消去されます。
 - 操作を終了する場合は、○を押します。

USBハードディスクに録画した番組の管理



タイトル(録画した番組)を消去する

USBハードディスクのタイトルを全て消去する

1. 録画リストを押して録画リストを表示し、ツールを押し、「全画面録画リストへ」を選び、決定を押す
2. ツールを押し、ツールメニューを表示する
3. 「消去」を選び、決定を押す
4. 上下カーソルボタンで「全タイトル消去」を選び、決定を押す
5. 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定を押す
 - すべてのタイトルが消去されます。(保護されたタイトルは残ります。)
 - 消去中は、電源を切らないでください。
 - 操作を終了する場合は、終了を押します。



録画した番組の名前を変更する

1. 録画リストを表示する

- ⇒ [7-54](#)ページ

ツール

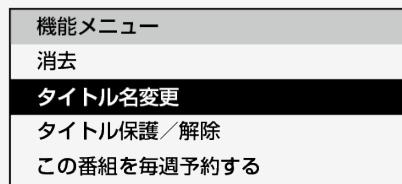
2. (決定)を押し、「全画面録画リストへ」を選び、(決定)を押す

3. タイトル名を変更したいタイトルを選び、ツールメニューを表示する

- 上下左右カーソルボタンで選び、(決定)を押します。

ツール

4. 「タイトル名変更」を選び、(決定)を押す

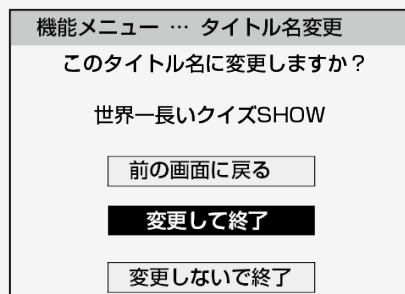


USBハードディスクに録画した番組の管理



録画した番組の名前を変更する

5. 「する」を選び、**決定**を押す
6. ソフトウェアキー「**ボード**」を使ってタイトル名を変更する
7. 「変更して終了」を選び、**決定**を押す



- 操作を終了する場合は、**終了**を押します。



録画した番組を録画リストのタイトルから探す

1. **録画リスト** を押して録画リストを表示する
2. **検索** を押し、スマートサーチ画面を表示する
3. キーワード入力欄を選び、**決定** を押す
4. ソフトウェアキーボードを使ってキーワードを入力する
5. 左右カーソルボタンで「録画リスト検索」を選び、**決定** を押す
 - 入力したキーワードを含む録画番組が一覧で表示されます。

USBハードディスクに録画した番組の管理



ファミリンクパネルの操作のしかた

- USBハードディスクと接続しているときは、ファミリンクパネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

1. ファミリンクパネルを表示する

- ファミリンク
• [決定] を押します。

2. USBハードディスクを選ぶ



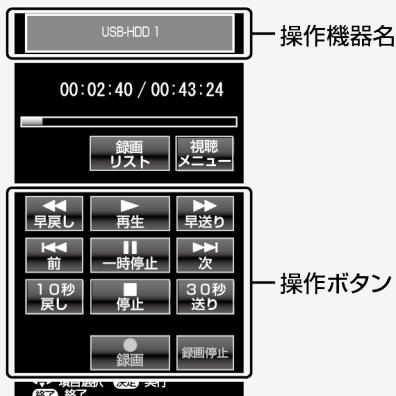
- 上下左右カーソルボタンで選び、[決定] を押します。
- USBハードディスクの選択は、場合によっては表示されないことがあります。

USBハードディスクに録画した番組の管理



ファミリンクパネルの操作のしかた

3. 操作したい機能のボタンを選ぶ



- 上下左右カーソルボタンで選び、**決定**を押します。

お知らせ

- 視聴コンテンツによっては、操作できない機能ボタンがあります。

USBハードディスクに録画した番組の管理



USBハードディスクに録画した番組をダビングする

この機能について

- AQUOSに接続されたUSBハードディスクに録画したコンテンツをネットワーク上の対応レコーダーなどにダビングできます。
- 対応機器については「使用可能なサーバー機器の最新情報について」(⇒ [6ページ](#))をご覧ください。
- 操作する前に、USBハードディスクの準備をしてください。

操作のしかた(1タイトルダビングの場合)

1. **録画リスト** を押してメニューを表示し、上下カーソルボタンで表示したいUSB-HDDを選んで、**決定**を押す
2. **ツール** を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「全画面録画リストへ」を選んで、**決定**を押す
3. 上下カーソルボタンでダビングするタイトルを選ぶ
4. **ツール** を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンと **決定**で「ダビング」→「1タイトルダビング」を選ぶ
5. 上下カーソルボタンでダビングする機器を選び、**決定**を押す
6. 左右カーソルボタンで「はい」を選び、**決定**を押す

USBハードディスクに録画した番組の管理



USBハードディスクに録画した番組をダビングする

操作のしかた(複数タイトルダビングの場合)

1. **録画リスト** を押してメニューを表示し、上下カーソルボタンで表示したいUSB-HDDを選んで、**決定**を押す
2. **ツール** を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンで「全画面録画リストへ」を選んで、**決定**を押す
3. **ツール** を押してツールメニューを表示し、上下カーソルボタンと **決定**で「ダビング」—「選択タイトルダビング」を選ぶ
4. 上下カーソルボタンでダビングするタイトルを選び、**決定**を押す
5. 上下カーソルボタンでダビングする機器を選び、**決定**を押す
6. 左右カーソルボタンで「はい」を選び、**決定**を押す

USBハードディスクに録画した番組の管理



USBハードディスクに録画した番組をダビングする

手順[4]について

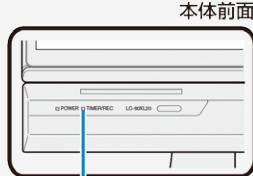
- 「ダビング」—「選択タイトルダビング」を選んだ場合は、選んだタイトルにチェックがつきます。8タイトルまで選択できます。
- 赤
ダビングするタイトルを全て選んだら、**赤**を押して次の手順に進みます。

手順[6]について

- ダビングを途中で停止したいときは、ツールメニューから「録画停止」を選び、「中断する」を選びます。

お知らせ

- ダビング中は、USBハードディスクの録画・再生、ホームネットワーク、IPTVの視聴、インターネット、2画面機能は使用できません。
- ダビング実行中に予約(視聴、録画、ファミリンク)が開始された場合にはダビングは中断されます。ダビング中のコンテンツはダビング先には残らず、USBハードディスクに録画した番組のダビング回数は減りません。
- チャプター情報はダビングできません。
- ダビング中は、TIMER/REC(タイマー／録画)ランプが赤色で点灯します。



本体前面
TIMER/REC(タイマー／録画)
ランプ

双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

- インターネットやホームネットワークを楽しむために、ブロードバンド環境やLAN環境を用意しましょう。
- 通信端末認定品の市販のルーターなどを使ってLAN接続をしてください。

ブロードバンド環境やLAN環境を用意すると楽しめること

楽しめること	有料サービスの契約	ブロードバンド環境の用意	LAN環境の用意
AQUOS Cityやインターネットの表示 使いかた⇒ 8-37～8-49 ページ	プロバイダとの契約が必要	必要	必要
デジタル放送の双方向通信 (LAN接続に対応している番組のみ)	プロバイダとの契約が必要	必要	必要
IPTVの視聴 使いかた ⇒ 8-50～8-71 ページ	プロバイダとの契約と、 IPTVサービスの契約が必要	光回線環境が必要	必要
ホームネットワーク上の 写真データの表示／ 動画や音楽データの再生 使いかた ⇒ 8-72～8-75 ページ	不要	不要	必要

双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

お知らせ

AQUOS Cityについて

- AQUOSのお客様のためのサイトとして、「AQUOS City」を公開しています。本機の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください。

視聴者参加型データ放送の利用について

- 本機には電話回線端子がありませんので、視聴者参加型データ放送など、接続に電話回線が必要となる一部のサービスは、ご利用いただけません。(LAN接続で利用できるものもあります。)

ブロードバンド回線について

- IPTVやビデオオンデマンドなどの映像配信サービス(動画)をご利用いただくには、光回線(FTTH)が必要です。映像配信サービス(動画)をご利用いただく場合、本機と回線終端装置はLANケーブルで接続してください。LANケーブル接続以外では諸条件(ノイズなど)によって通信速度が一時的に低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。
- IPTVのご利用には、実効速度(常時)20Mbps以上の光回線(FTTH)が必要です。実効速度が20Mbpsを下回る場合、映像がときどき停止してしまう可能性があります。

IPTVの利用について

- IPTVのご利用には、実効速度(常時)20Mbps以上の光回線(FTTH)が必要です。

ホームネットワークの利用について

- ホームネットワークを利用するには、LAN接続が必要です。インターネットプロバイダーとの契約は不要です。

インターネット機能について

- 本機に搭載しているインターネット機能は、ネットワークサービス事業者が提供するサービスを視聴する機能です。サービス事業者の都合により、予告なく変更や終了されることがあります。サービスの変更や終了による損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ブロードバンド環境とLAN環境の用意のしかた

1. 本機が接続できるブロードバンド環境を確認する
⇒[8-5～8-26](#)ページ

- 本機をインターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。
- IPTVを視聴するためには、IPTVサービス事業者との契約などが必要です。
- コンテンツマネージャー(⇒[6-1](#)ページ)を利用するときは、インターネットプロバイダーへの契約は不要ですが、ブロードバンドルーターの設置と家庭内LANへの本機の接続が必要です。

ブロードバンド環境の確認

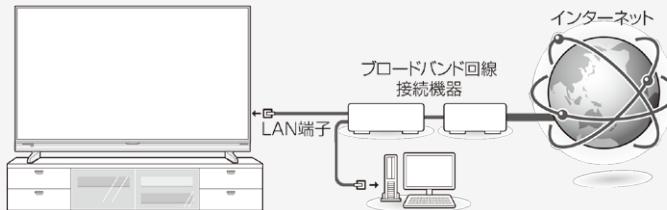
- ⇒[8-5～8-26](#)ページ

ブロードバンドルーターと本機を接続する

- ⇒[8-7](#)ページ

ブロードバンド環境がない場合の用意のしかた

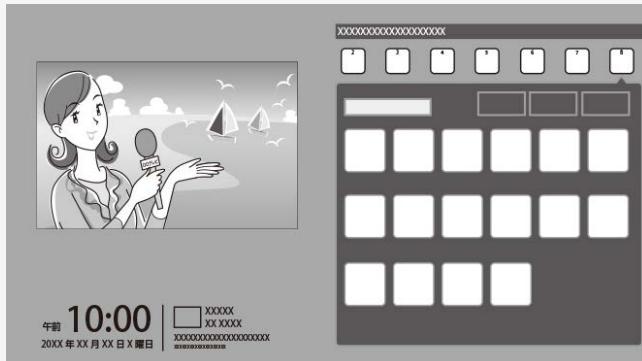
- ⇒[8-6](#)ページ



双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

ブロードバンド環境とLAN環境の用意のしかた

2. AQUOS Cityを表示してみる
⇒[8-37ページ](#)



- AQUOS Cityの表示内容は一例です。
- AQUOS Cityが表示されないときは、「インターネットに接続できない場合は」
(⇒[8-27ページ](#))をご覧ください。

3. インターネットへの接続を制限する

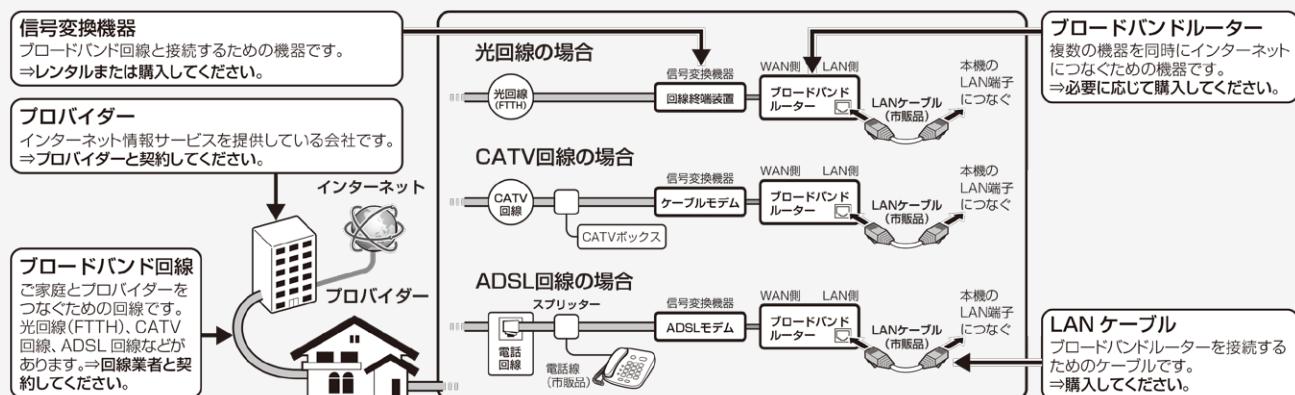
- プロキシ形式のフィルタリングサービス(インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能)を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定を行ってください。
(⇒[8-35ページ](#))

双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

ブロードバンド環境を用意する

- 本機をインターネットに接続するためには、ブロードバンド環境が必要です。
- まだブロードバンド環境がない場合は、下記の環境をご用意ください。すでにブロードバンド環境がある場合は、本機をブロードバンドルーターに接続してください。
(⇒[8-7～8-8ページ](#))
- IPTVやビデオオンデマンドなどの映像配信サービス(動画)をご利用いただくには、光回線(FTTH)が必要です。

本機をインターネットに接続するためのブロードバンド環境



IPTVをご利用になる場合は⇒[8-50ページ](#)をご覧ください。

CATVボックスの接続例⇒取扱説明書「テレビを見るための準備」をご覧ください。

双向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

ブロードバンド環境を用意する

本機をインターネットに接続するためのブロードバンド環境

お知らせ

IPTVやビデオオンデマンドなどの映像配信サービス(動画)をご利用いただくには、光回線(FTTH)が必要です。映像配信サービス(動画)をご利用いただく場合、本機と回線終端装置はLANケーブルで接続してください。LANケーブル接続以外では諸条件(ノイズなど)によって通信速度が一時的に低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。

- IPTVのご利用には、実効速度(常時)20Mbps以上の光回線(FTTH)が必要です。

ブロードバンド環境がない場合

- インターネットの接続サービスを行っている「プロバイダー」や、光回線(FTTH)・CATV回線・ADSL回線などを提供している「回線事業者」と契約する必要があります。詳しくはお買いあげの販売店やプロバイダー、回線事業者などにご相談ください。

双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

ブロードバンド環境を用意する

本機をインターネットに接続するためのLAN環境

- 本機のLAN端子とブロードバンドルーターのLAN側の端子をLANケーブルで接続します。

接続例 ADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、

ルーター機能が付いていない場合

A 信号変換機器（ルーター機能なし）

- ADSLモデム
- ケーブルモデム
- 光回線終端装置

接続例 ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、
LAN端子の空きがない場合

B 信号変換機器（ルーター機能付き）

- ADSLモデム
- ケーブルモデム
- 光回線終端装置



双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

ブロードバンド環境を用意する

本機をインターネットに接続するためのLAN環境

接続例

C

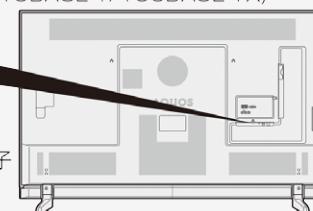
ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、
LAN端子の空きがある場合

信号変換機器（ルーター機能付き）

- ・ADSLモデム
- ・ケーブルモデム
- ・光回線終端装置



LAN端子 (10BASE-T/100BASE-TX)



接続例

D

無線LAN環境の場合⇒[8-9ページ](#)をご覧ください。

双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

本機に無線LANで接続する場合

- ブロードバンドルーターが無線LANに対応している場合やアクセスポイント（無線LAN親機）につながっている場合は、本機と直接無線LANで接続できます。
- 有線LANケーブルの配線が不要になり、使いやすく便利です。



お知らせ

- 無線LAN接続をご利用になる場合はアクセスポイントが必要になります。アクセスポイントの説明書をご覧いただき設置、設定を行ってください。アクセスポイントは安定したワイヤレス接続のために802.11n(5GHz)方式／IPv6ブリッジ接続／AES暗号化に対応した製品のご使用をおすすめします。
- 無線LAN接続をご利用の場合は、有線LAN接続のご利用はできなくなります。接続先設定で、無線LAN接続または有線LAN接続を選んでご利用ください。
「有線接続／無線接続の設定を切り換える」(⇒[8-12ページ](#))
- 第三者に譲渡したり廃棄するなどお客様以外の方へ渡る場合は、無線設定情報を初期化してください。
「個人情報初期化」(⇒[4-24ページ](#))
- お使いの無線LAN環境によっては、インターネットサービスへの接続に時間がかかることがあります。



双方向通信／インターネット／ ホームネットワークの準備をする

かんたん設定を行う

この機能について

- 本機のインターネット接続設定を、画面の説明に従ってかんたんに行なうことができます。
- この操作を行なうまえに、本機のブロードバンド環境とLAN環境を確認してください。
「ブロードバンド環境とLAN環境の用意のしかた」
(⇒[8-3～8-4](#)ページ)

操作のしかた

(インターネット)

- ホーム**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
- 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「通信(インターネット)設定」を選び、**決定**を押す
- 上下カーソルボタンで「LAN設定」を選び、**決定**を押す
- 上下カーソルボタンで「かんたん設定」を選び、**決定**を押す
- 左右カーソルボタンで「する」を選び、**決定**を押す



双方向通信／インターネット／ ホームネットワークの準備をする

かんたん設定を行う

6. 現在の設定を確認し、上下カーソルボタンで接続タイプを選び、**決定**を押す
7. 画面に従い上下左右カーソルボタンと **決定**を使って設定を行う

- メニューを消すときは **ホーム** を押します。

かんたん設定初期画面について

有線設定を行う

- 接続タイプで「有線」を選んでください。

無線設定を行う

- 接続タイプで「無線」を選んでください。
- 無線の設定のしかたは、「アクセスポイントに接続する」
(⇒[8-14](#)ページ)の手順で接続の設定をしてください。
- 接続ができない場合は、「ネットワークの設定を確認する」
(⇒[8-27](#)ページ)の手順でネットワークの設定を確認してください。
- 無線接続が選ばれていて接続ができない場合は、「無線LANで接続できない」
(⇒[11-33](#)ページ)の手順で無線接続設定を確認してください。



双方向通信／インターネット／ ホームネットワークの準備をする

有線接続／無線接続の設定を切り換える

ネットワークへ接続する方法について

- 本機は、有線接続／無線接続の接続方法を選び、接続することができます。
- 有線接続または無線接続で設定した後に有線接続／無線接続を切り換えることもできます。

お知らせ

- 初めて無線接続設定をする場合は、「プッシュボタン方式でアクセスポイントに接続する」(⇒[8-15ページ](#))の手順でかんたんに設定できます。

- (インターネット)
1. **■ホーム**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
 2. 上下左右カーソルボタンで「**（視聴準備）**」—「通信（インターネット）設定」を選び、**決定**を押す
 3. 上下カーソルボタンで「LAN設定」を選び、**決定**を押す
 4. 上下カーソルボタンで「手動設定」を選び、**決定**を押す
 5. 左右カーソルボタンで「する」を選び、**決定**を押す
 6. 上下カーソルボタンで「接続タイプ切換」を選び、現在の設定を確認する
- メニューボタンを消すときは **■ホーム**を押します。



双方向通信／インターネット／ ホームネットワークの準備をする

有線接続／無線接続の設定を切り換える

「接続タイプ切換」画面について

- 「現在の設定」が正しいかを確認してください。
- 異なる場合は接続方法を選び、**決定**を押してください。
- 無線の設定のしかたは、「アクセスポイントに接続する」
(⇒[8-14](#)ページ)の手順で接続の設定をしてください。
- 接続ができない場合は、「ネットワークの設定を確認する」
(⇒[8-27](#)ページ)の手順でネットワークの設定を確認してください。
- 無線接続が選ばれていて接続ができない場合は、
「ネットワークの設定を確認する」
(⇒[8-27](#)ページ)
「無線LANで接続できない」
(⇒[11-33](#)ページ)
の手順で無線接続設定を確認してください。

双向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

アクセスポイントに接続する

- 無線LANに接続するには、アクセスポイント(無線LAN親機)と本機の接続設定をしておく必要があります。
- WPS対応のアクセスポイントをお使いになる場合は、WPSでの接続がおすすめです。
WPSに対応していないアクセスポイントをお使いの場合は、「他の手動設定でアクセスポイントに接続する」(⇒[8-22](#)ページ)の手順で接続の設定をしてください。
- WPSでの接続には、プッシュボタン方式とPINコード方式がありますが、プッシュボタン方式で接続すると、かんたんに設定することができます。
- WPSでの接続には、アクセスポイントのセキュリティ設定が、None／WPA-TKIP／WPA2-AESの必要があります。WEP設定では接続失敗するため、アクセスポイントの設定を見なおして下さい。

プッシュボタン方式

- アクセスポイントのWPSボタンを押して、自動的に接続できます。
「プッシュボタン方式でアクセスポイントに接続する」(⇒[8-15](#)ページ)

PINコード方式

- PIN(Personal Identification Number)コードとは、アクセスポイントや本機などの機器がお互いに情報をやり取りするときに機器の識別に利用するための識別番号のことです。
- PINコードを手動で入力して接続の設定をします。
「PINコード方式でアクセスポイントに接続する」(⇒[8-19](#)ページ)

お知らせ

- 本機は、有線接続／無線接続の接続方法を選び、接続することができます。無線接続設定をした後で有線接続に切り換える場合は、「有線接続／無線接続の設定を切り換える」(⇒[8-12](#)ページ)の手順で有線接続に切り換えてください。



双方向通信／インターネット／ ホームネットワークの準備をする

プッシュボタン方式でアクセスポイントに接続する

プッシュボタン方式とは

- アクセスポイントのWPSボタンを押して、無線LANの接続を自動設定する方法です。

操作のしかた

- (インターネット)
1. **[ホーム]**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
 2. 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「通信 (インターネット) 設定」—「LAN設定」を選び、**決定**を押す
 3. 上下カーソルボタンで「手動設定」を選び、**決定**を押す
 4. 左右カーソルボタンで「する」を選び、**決定**を押す
 5. 上下カーソルボタンで「無線設定」を選び、**決定**を押す
 6. 画面に従い上下左右カーソルボタンと**決定**を使ってLAN設定を行う
- メニュを消すときは **[ホーム]**を押します。
 - 詳細手順は⇒ [8-16](#)ページ以降をご覧ください。



双方向通信／インターネット／ ホームネットワークの準備をする

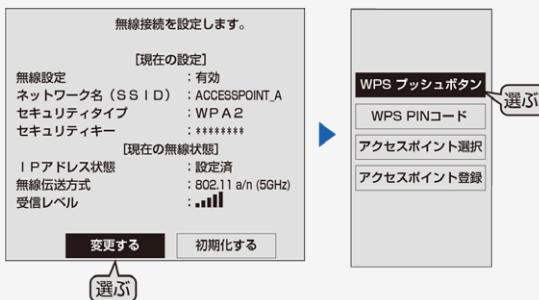
プッシュボタン方式でアクセスポイントに接続する

詳細手順について

- 手順5を行ったとの操作です。

①左右カーソルボタンで「変更する」を選び、**決定**を押す

②上下カーソルボタンで「WPSプッシュボタン」を選び、**決定**を押す



無線設定をお買い上げ時の状態に戻す場合

- 上記①で「初期化する」を選び、**決定**を押します。



双方向通信／インターネット／ ホームネットワークの準備をする

プッシュボタン方式でアクセスポイントに接続する

詳細手順について(つづき)

- 次の画面が表示されます。



▼アクセスポイントの例



- を押したあと、アクセスポイントのWPSボタンを5秒以上押します。
- WPSボタンとは、無線LAN自動接続のためのボタンです。
- アクセスポイントによっては、WPSボタンの名称が異なる場合や、ボタンを数秒間押し続ける必要があります。詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- アクセスポイントのWPSボタンを押すと、無線接続確認中の画面になります。そのまましばらくお待ちください。
- 無線接続が完了したら、接続の内容が表示されます。



双方向通信／インターネット／ ホームネットワークの準備をする

プッシュボタン方式でアクセスポイントに接続する

詳細手順について(つづき)

- 無線LANの接続に関する設定情報が一覧で表示されます。内容を確認して **決定** を押してください。



- 操作を終了する場合は、**ホーム**を押します。
- 無線接続設定に失敗した場合は、アクセスポイントの電源や設定を確認してください。
それでも接続できない場合は、「無線LANで接続できない」
(⇒ [11-33ページ](#))をご覧ください。



双方向通信／インターネット／ ホームネットワークの準備をする

PINコード方式でアクセスポイントに接続する

PINコード方式とは

- PINコードを入力して無線LANの接続を設定する方法です。

操作のしかた

1. (インターネット) [ホーム]を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
 2. 上下左右カーソルボタンで「（視聴準備）」—「通信（インターネット）設定」—「LAN設定」を選び、決定を押す
 3. 上下カーソルボタンで「手動設定」を選び、決定を押す
 4. 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定を押す
 5. 上下カーソルボタンで「無線設定」を選び、決定を押す
 6. 画面に従い上下左右カーソルボタンと 決定を使ってLAN設定を行う
- メニューを消すときは ホーム を押します。
 - 詳細手順は⇒[8-20](#)ページ以降をご覧ください。



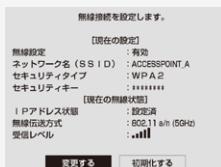
双方向通信／インターネット／ ホームネットワークの準備をする

PINコード方式でアクセスポイントに接続する

詳細手順について

- 手順5を行ったあと操作です。

①左右カーソルボタンで「変更する」を選び、を押す



無線設定をお買い上げ時の状態に戻す場合

- 「初期化する」を選び、を押します。

②上下カーソルボタンで「WPS PINコード」を選び、を押す

- 本機のPINコードが表示されます。(PINコードは、「WPS PINコード」を選ぶたびに異なる番号が表示されます。)
- 表示されたPINコードを、アクセスポイントに設定します。設定のしかたは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- アクセスポイントにPINコードを設定したら、「次へ」で決定します。

双方向通信／インターネット／
ホームネットワークの準備をする

PINコード方式でアクセスポイントに接続する

詳細手順について(つづき)

③接続するアクセスポイントのSSIDを選び、**決定**を押す

- SSIDの確認のしかたについては、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- 無線接続確認中の画面になります。そのまましばらくお待ちください。
- 無線LANの接続に関する設定情報が一覧で表示されます。

④内容を確認して**決定**を押す

- 操作を終了する場合は、**ホーム**を押します。
- 無線接続設定に失敗した場合は、アクセスポイントの電源や設定を確認してください。
それでも接続できない場合は、「無線LANで接続できない」
(⇒[11-33ページ](#))をご覧ください。



双方向通信／インターネット／ ホームネットワークの準備をする

その他の手動設定でアクセスポイントに接続する

手動でアクセスポイントを設定する方法について

- 手動での設定方法には、アクセスポイント選択方式とアクセスポイント登録方式があります。

アクセスポイント選択方式

- 接続できるアクセスポイントを検索してリスト表示し、接続するアクセスポイントを選択します。

アクセスポイント登録方式

- 接続するアクセスポイントのSSID番号を入力します。

操作のしかた

- 「 ホーム」を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
- 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「通信(インターネット)設定」—「LAN設定」を選び、**決定**を押す
- 上下カーソルボタンで「手動設定」を選び、**決定**を押す
- 左右カーソルボタンで「する」を選び、**決定**を押す
- 上下カーソルボタンで「無線設定」を選び、**決定**を押す
- 画面に従い上下左右カーソルボタンと**決定**を使ってLAN設定を行う

- (インターネット)
- メニューを消すときは ホーム を押します。
 - 詳細手順は⇒ [8-23](#) ページ以降をご覧ください。



双方向通信／インターネット／ ホームネットワークの準備をする

その他の手動設定でアクセスポイントに接続する

詳細手順について

- 手順5を行った後の操作です。

①左右カーソルボタンで「変更する」を選び、を押す



無線設定をお買い上げ時の状態に戻す場合

- 「初期化する」を選び、を押します。
- ②上下カーソルボタンで「アクセスポイント選択」または「アクセスポイント登録」のいずれかを選び、を押す



双方向通信／インターネット／ ホームネットワークの準備をする

その他の手動設定でアクセスポイントに接続する

詳細手順について(つづき)

「アクセスポイント選択」を選んだ場合

- ③上下カーソルボタンで接続するアクセスポイントを選び、**決定**を押す

「アクセスポイント登録」を選んだ場合

- ③SSIDを入力し、上下カーソルボタンで「次へ」を選び、**決定**を押す
「文字を入力する(ソフトウェアキーボード)」(⇒[4-80](#)ページ)

- ④上下カーソルボタンで「WEP」「WPA」「WPA2」「なし」のいずれかを選び、**決定**を押す

⑤セキュリティキーを入力する

「文字を入力する(ソフトウェアキーボード)」(⇒[4-80](#)ページ)

- ⑥上下カーソルボタンで「次へ」を選び、**決定**を押す

- 無線LANの接続に関する設定情報が一覧で表示されます。

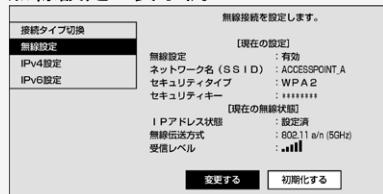
- ⑦内容を確認して**決定**を押す

- 操作を終了する場合は、**ホーム**を押します。
- 無線接続設定に失敗した場合は、アクセスポイントの電源や設定を確認してください。それでも接続できない場合は、「無線LANで接続できない」(⇒[11-33](#)ページ)をご覧ください。

双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

無線設定を確認する

無線設定の表示例



「無線設定」

無線接続が選ばれている場合は、有効と表示されます。

- 設定の変更は、「有線接続／無線接続の設定を切り換える」
(⇒[8-12ページ](#))をご覧ください。

「ネットワーク名 (SSID)」

設定されているSSIDが表示されます。

- 設定の変更は、「アクセスポイントに接続する」
(⇒[8-14ページ](#))をご覧ください。

「セキュリティタイプ」

設定されているセキュリティタイプが表示されます。(表示例⇒WPA2)

- 設定の変更は、「アクセスポイントに接続する」
(⇒[8-14ページ](#))をご覧ください。
- 安定に受信いただくためには、WPA2をおすすめします。アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。

無線設定を確認する

「セキュリティキー」

設定されているセキュリティキーが表示されます。(通常は***が表示されます)

- 設定の変更は、「アクセスポイントに接続する」
(⇒[8-14](#)ページ)をご覧ください。

「IPアドレス状態」

正常に動作している場合は、設定済が表示されます。
(設定中のときは、自動設定していますと表示されます。)

- 設定の変更は、「ネットワークの設定を確認する」
(⇒[8-27](#)ページ)をご覧ください。

「無線伝送方式」

無線伝送方式が表示されます。(表示例⇒802.11a/n(5GHz))

- 安定に受信いただくためには、802.11a/n(5GHz)をおすすめします。アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。

「受信レベル」

受信レベルが表示されます。
(通常は左から5つまで緑になれば電波は良好です。)

- レベル表示が良好になるようにアクセスポイントの位置(確認)を調整してください。

インターネットに接続できない場合は



ネットワークの設定を確認する

(インターネット)

1. **ホーム**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「**鍵** (視聴準備)」—「通信(インターネット)設定」を選び、**決定**を押す
3. 「LAN設定」を選び、**決定**を押す
4. 「IPv4設定」を選び、**決定**を押す
• 各項目に数値が表示されているか確認します。

各項目が空欄の場合

次のことを確認してください。

- ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるようになるまで少し時間のかかるものもあります。
- ブロードバンドルーターのDHCP機能(IPアドレスなどを自動で割り当てる機能)が有効になっていますか。DHCP機能を使用しない場合は、LAN設定でIPアドレスなどを入力してください。
(⇒[8-31](#)ページ)
- 本機のLAN端子とブロードバンドルーターのLAN端子が、正しく接続されていますか。

インターネットに接続できない場合は

ネットワークの設定を確認する

各項目に数値が表示されている場合

LAN設定を確認しても原因が分からぬときは、次のことを確認してください。

- 接続する機器の電源は入っていますか。
- ブロードバンドルーターと、回線終端装置やケーブルモデム、ADSLモデムなどが正しく接続されていますか。
- ブロードバンド回線と、回線終端装置やケーブルモデム、ADSLモデムなどが正しく接続されていますか。
- ブロードバンドルーターのインターネット接続に関する設定は正しく設定されていますか。
- ブロードバンド環境を使ってインターネットを活用しているかたは、パソコンなどがインターネットに接続できるか確認してみてください。
- 「インターネット接続制限」を「しない」に設定してください。
(⇒[8-34](#)ページ)

ここに記載している項目をすべて確認しても原因が分からぬときは、プロバイダーや回線事業者にお問い合わせください。

インターネットに接続できない場合は



ネットワークの設定を変更する

1. [8-27ページ](#)の手順1~3を行う
2. 上下カーソルボタンで「IPv4設定」または「IPv6設定」を選び、を押す
 - IPv4を設定する場合
 - 「IPv4設定」を選んで決定します。
 - IPv6を設定する場合
 - 「IPv6設定」を選んで決定します。
3. 左右カーソルボタンで「変更する」を選び、を押す
4. IPアドレスなどを入力する場合、左右カーソルボタンで「しない」を選び、を押す
 - 「IPアドレスなどの入力のしかた」(\Rightarrow [8-31ページ](#))をご覧になり、ブロードバンドルーターの設定に合わせて、IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイを入力し、「次へ」でを押します。
 - 入力する必要がない場合
 - 「する」を選び、を押したあと「次へ」でを押します。

インターネットに接続できない場合は



ネットワークの設定を変更する

5. DNSのIPアドレスなどを入力する場合、左右カーソルボタンで「しない」を選び、**決定**を押す

- 「IPアドレスなどの入力のしかた」(⇒ [8-31ページ](#))をご覧になり、プロバイダーから発行された資料をもとに、DNSのIPアドレスを入力し、「次へ」で**決定**を押します。
- セカンダリの指定がない場合は、空欄のまま入力を完了してください。

入力する必要がない場合

- 「する」を選び、**決定**を押したあと「次へ」で**決定**を押します。

6. 「完了」で決定する

- 操作を終了する場合は、**ホーム**を押します。

インターネットに接続できない場合は



ネットワークの設定を変更する

IPアドレスなどの入力のしかた

1. 入力欄を選び、**決定**を押す

- ・ソフトウェアキーボードが表示されます。

2. 文字を入力する

- ・「0」を入力する場合は **10/.** を押します。

- ・IPv6の場合 **11** で「ABC」、**12** で「DEF:」を入力できます。

3. **黄**を押して、入力した文字を確定する

- ・ソフトウェアキーボード上の文字が入力欄に入力されます。

IPアドレス

192 · --- · --- · ---

インターネットに接続できない場合は

ネットワークの設定を変更する

IPアドレスなどの入力のしかた

お知らせ

IPアドレスについて

- TCP/IPネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

ネットマスクについて

- TCP/IPネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。

ゲートウェイについて

- 異なるネットワークを相互に通信可能にする機器の識別番号です。

プロバイダーから発行された資料で、DNSのアドレスが見つからないとき

- DNSは、ドメインネームサーバーやネームサーバーと記載される場合もあります。

双方向サービス/インターネット/
ホームページへの接続を制限する

双方向サービスの利用を制限する

- 双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、デジタル放送の接続を禁止したいときに便利な設定です。

お知らせ

- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定
([⇒4-17ページ](#))をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。
1. **(インターネット)**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
 2. 上下左右カーソルボタンで「**（視聴準備）**」—「通信（インターネット）設定」を選び、**決定**を押す
 3. 「ネットサービス制限設定」を選び、**決定**を押す
 4. 「デジタル放送接続制限」を選び、**決定**を押す
 5. 暗証番号を入力する
 6. 「する」を選び、**決定**を押す
 - デジタル放送の双方向通信の、禁止する／禁止しないを設定できます。

双方向サービス/インターネット/
ホームページへの接続を制限する

インターネット接続の利用を制限する

- インターネットは回線の利用料金がかかる場合がありますので、接続を禁止したいときに便利な設定です。

お知らせ

- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定(→[4-17](#)ページ)をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。
1. **Home**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
 2. 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「通信(インターネット)設定」を選び、**決定**を押す
 3. 「ネットサービス制限設定」を選び、**決定**を押す
 4. 「インターネット接続制限」を選び、**決定**を押す
 5. 暗証番号を入力する
 6. 「する」を選び、**決定**を押す
 - ・ インターネットの接続を禁止する／禁止しないを設定できます。禁止すると、インターネットの表示やIPTVの視聴ができなくなります。

双方向サービス/インターネット/
ホームページへの接続を制限する

プロキシ設定機能を利用する(プロキシサーバー設定)

- プロキシ形式のフィルタリングサービス(インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能)を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定で入力してください。

お知らせ

- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定
(⇒[4-17](#)ページ)をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

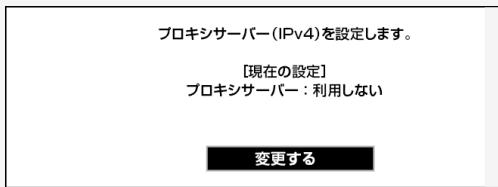
- 「ホーム」を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
- 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「通信(インターネット)設定」を選び、**決定**を押す
- 「ネットサービス制限設定」を選び、**決定**を押す
- 「プロキシサーバー設定」を選び、**決定**を押す
- 暗証番号を入力する



双方向サービス/インターネット/ ホームページへの接続を制限する

プロキシ設定機能を利用する(プロキシサーバー設定)

6. 「変更する」を選び、**決定**を押す



7. 「する」を選び、**決定**を押す

8. プロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力する

- 各欄を選ぶとソフトウェアキーボードが表示されます。
- 文字を入力し **黄** で確定します。詳しくは「文字を入力する」(⇒ [4-80](#)ページ)をご覧ください。

9. 「完了」で**決定**を押す

- 操作を終了する場合は、**ホーム**を押します。

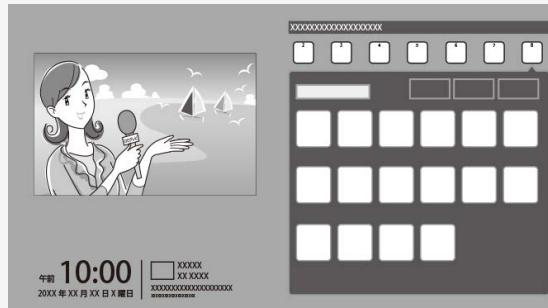
インターネットを楽しむ



AQUOS Cityを表示する

- AQUOSのお客様のためのサイトとして、「AQUOS City」を公開しています。本機の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください。

AQUOS Cityの表示内容は一例です。



- テレビの画面に戻すときは、を押します。インターネットの画面だけを表示しているときは、選局ボタンや放送切換ボタンでも戻せます。

インターネットを楽しむ



AQUOS Cityを表示する

お知らせ

視聴予約しているときは

- ・ 視聴予約した時間になると、予約した番組が表示されます。

接続について

- ・ インターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。
⇒[8-3](#)ページをご覧になり、接続と設定を行ってください。

AQUOS Cityが表示されないときは

- ・ 「LAN接続していません」または、エラーメッセージが表示されます。ホームボタンを押して、テレビの画面に戻してから「インターネットに接続できない場合は」(⇒[8-27](#)ページ)をご覧になって、インターネットに接続してください。

パソコンでインターネットを活用されているお客様へ

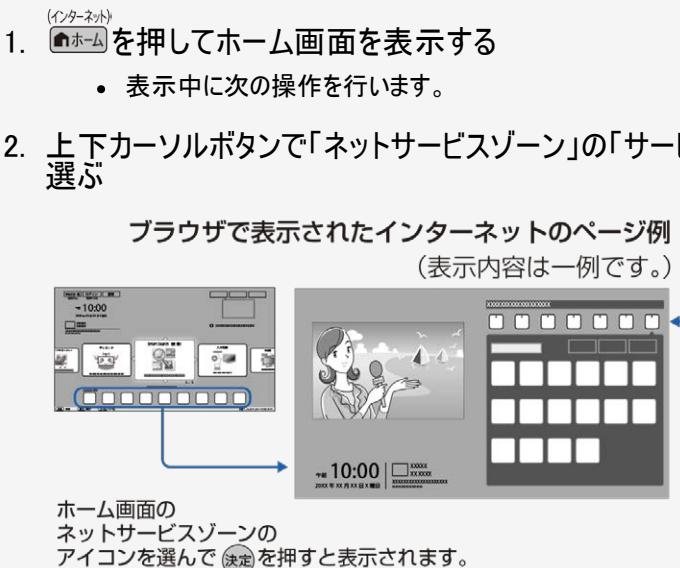
- ・ 本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて動作の異なる場合があります。ご了承ください。

- ・ ファイルのダウンロードはできません。
- ・ 表示したページの履歴は表示できません。
- ・ インターネットボタンを押したあと最初に表示されるページは変更できません。
- ・ ポップアップブロックは、別のタブで表示されます。
- ・ ページによっては、動画や音声が再生されなかったり、文字や画像が正しく表示されなかったりする場合があります。
- ・ PDF(電子文書)を読み込む機能はありません。
- ・ メールの送受信機能はありません。

インターネットを楽しむ



AQUOS Cityを表示する



インターネットのページに番号が割り当てられている場合は、数字ボタン(チャンネルボタン)を押すと、リンク先のページを呼び出せます。

インターネットを楽しむ



インターネットを見る画面の操作のしかた

操作に使用できるボタンの一覧

	リンクやテキストボックスなどを選びます。
	リンク先のページを呼び出したり、文字入力を開始したりします。
	1つ前の画面に戻します。
	ツールバーを表示します。
	インターネットのページに番号が割り当てられている場合は、リンク先のページを呼び出すことができます。
	テレビ画面に戻します。

インターネットを見る画面の操作のしかた

視聴予約しているときは

- 視聴予約した時間になると、予約した番組が1画面で表示されます。

ネットサービスゾーンにアイコンが表示されないときは

- ネットワークに接続されていないメッセージが表示されます。「ネットワークの設定を確認する」
(⇒[8-27](#)ページ)をご覧になって、インターネットに接続してください。

テレビと同時に表示したときは⇒ [8-42](#)ページ

セキュリティの通知画面が表示されたとき⇒ [8-43](#)ページ

ページの一部が正しく表示されないとき⇒ [8-43](#)ページ

ツールバー(便利機能)の使いかた⇒ [8-44](#)ページ

◆重要◆

- インターネットの画面を表示しているときに電源プラグが抜けたり、停電などによって電源が切れたりすると、ブックマークやCookieなどの情報が正しく保存されない場合があります。
また、ブラウザ動作による不具合があった場合、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

インターネットを楽しむ



テレビと同時に表示したときは

- テレビの音声が聞こえます。インターネットのページの音声は聞けません。
- テレビのチャンネルは選局ボタンで切り換えてください。数字ボタン(チャンネルボタン)では、選局できません。
- テレビとインターネットの画面の位置は変更できません。
- インターネットの操作に使用するボタンは、ファミリンク機器の操作に使用できなくなります。

インターネットの操作に使用するボタンについては⇒[8-40ページ](#)

- で入力切換画面を表示したあとに、 でツールメニューを表示し、「インターネット1画面切換」を選ぶとインターネット1画面に切り換えることができます。インターネット1画面中の場合は同様の操作を行い、「テレビ+インターネット切換」を選ぶとテレビ+インターネット画面に切り換えることができます。

インターネットを楽しむ



セキュリティの通知画面が表示されたとき

- 「OK」を選んで **決定** を押すと、画面が消えます。
- この画面は、セキュリティで保護されているページを表示するときや、保護されているページから保護されていないページに切り換わるときに表示されます。
- この画面を表示させるかどうかは、「セキュリティ設定」([⇒8-48ページ](#))で設定できます。

ページの一部が正しく表示されないとき

- ページの読み込みに失敗したか、本機で表示できない形式の画像の可能性があります。
- ツールバーの  (再読み込み) を選んで、ページを表示し直してみてください。
「ツールバー(便利機能)の使いかた」([⇒8-44ページ](#))

インターネットを楽しむ



ツールバー(便利機能)の使いかた

この機能について

- ツールバーを使って、ブラウザの操作や設定が行えます。

操作のしかた

ツール

- ツールを押し、ツールバー(便利機能)を表示する



URL を直接入力できます。

- 左右カーソルボタンでボタンを選び 決定 ツール を押すとその機能が実行されます。
- ツールバー(便利機能)を消すには、もう一度 ツール を押します。

ツールバー(便利機能)の使いかた

ツールバー(便利機能)について

	1つ前のページに戻ります。
	1つ先のページに進みます。
	ページを再読み込みします。ページを読み込んでいるときは、読み込みを中止します。
	ブックマークを開くときに選びます。編集や削除もできます。
	AQUOS Cityを表示します。
	ブラウザメニューを表示します。(ブラウザの設定を確認・変更する⇒ 8-47ページ)
	表示中のページをブックマークに登録します。(表示しているページのURLを保存する⇒ 8-46ページ)

お知らせ

- 「ブラウザ制限」(有害サイトへのアクセスを防ぐ(ブラウザ制限)⇒ [8-49ページ](#))を「する」にすると、アドレスの入力およびブックマークの編集は選べません。

インターネットを楽しむ



表示しているページのURLを保存する
(ブックマークに登録する)

表示しているページのURLを保存しておくと

- 次に表示するときはブックマーク一覧から選んで、表示できます。

操作のしかた

- ブックマークに登録したいページを表示する
- ツールボタンを押し、ツールバー(便利機能)を表示する
- 左右カーソルボタンでツールバー(便利機能)の ★(ブックマークに登録)を選び、決定ボタンを押す
- ガイダンスに従って操作する
 - ブックマークに登録されます。

ブラウザの設定を確認・変更する

ブラウザの設定について

- ブラウザの設定はブラウザメニューで確認・変更できます。

「拡大・縮小表示」

- ページの表示サイズを変更できます。
- 文字のサイズだけを大きくすることはできません。

「文字コード」

- ページ上の文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示される場合があります。

お知らせ

- 「リセット」を行っても、各証明書の有効/無効および文字コードの設定は戻りません。

「ページ情報」

- 表示しているページの情報を確認できます。

ブラウザの設定を確認・変更する

「セキュリティ設定」

- セキュリティで保護されたページ(サイト)とされていないページ(サイト)の間を移動するときに、メッセージを表示するかどうかの設定ができます。
- 本機に保存されている証明書※の確認と、証明書の有効・無効の切り換えができます。
※ページを表示しても安全であることを証明するものです。

「Cookie設定」

- Cookie(クッキー)の受信方法の設定と、受信したCookieの削除ができます。

お知らせ

- Cookieをすべて削除するときは、「Cookieをすべて削除」を選んで **決定** を押し、「する」を選び、**決定** を押します。
- Cookieを削除すると、入力した情報を再度入力する必要があります。

「リセット」

- ブラウザの設定を工場出荷時の状態に戻します。

お知らせ

- 「リセット」を行っても、各証明書の有効／無効および文字コードの設定は戻りません。

インターネットを楽しむ



有害サイトへのアクセスを防ぐ(ブラウザ制限)

ブラウザ制限について

- 有害サイトへのアクセスを防ぐために、URLを入力してページを表示させる機能を禁止することができます。

お知らせ

- 「ブラウザ制限」を「する」にしている場合、アドレスの入力およびブックマークの編集は選べません。

1. **[ホーム]**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
 2. 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「通信(インターネット)設定」を選び、**決定**を押す
 3. 上下カーソルボタンで「ネットサービス制限設定」を選び、**決定**を押す
 4. 上下カーソルボタンで「ブラウザ制限」を選び、**決定**を押す
 5. 数字ボタン **1** ~ **10** で暗証番号を入力する
 6. 上下カーソルボタンで「する」を選び、**決定**を押す
- メニューを消すときは **[ホーム]** を押します。

暗証番号の設定について

- 暗証番号の設定をしていない場合は、先に暗証番号の設定をしてください。(暗証番号設定⇒[4-17](#)ページ)
- 「0」を入力したい場合は、**[10]**を押します。

IPTV(ひかりTV)を視聴するための準備

- IPTVとはブロードバンドの光回線(FTTH)を使って受信するテレビ放送などのサービスです。テレビ放送サービスやビデオオンデマンドサービスなどがあります。2014年10月現在、株式会社NTTぷららより、IPTVサービスとして「ひかりTV」が提供されています。
- IPTVはブロードバンドルーターなどとつないで受信します。(アンテナとの接続は必要ありません。)

IPTV(ひかりTV)を視聴するまでの準備の流れ

1. IPTVサービスの契約をする

- IPTV事業者と、IPTVサービスや光回線(FTTH)の有料サービス契約をする必要があります。
- IPTVサービスによっては、IPTVを見るためのサービスとビデオを見るためのサービスで、コースが分かれているものもあります。
- IPTVサービス(ひかりTVなど)のホームページやパンフレットなどをご覧ください。
- 本機はIPTVのチューナーを内蔵しているため、IPTVを受信するためのセットトップボックス(STB)は不要です。

2. 光回線(FTTH)に接続する⇒ [8-52ページ](#)

- IPTVのご利用には、実効速度(常時)20Mbps以上の光回線(FTTH)が必要です。

3. IPTVの基本登録とチャンネルの設定をする ⇒ [8-53～8-59ページ](#)

- IPTVサービスを利用するための登録をします。

お知らせ

- 引っ越した場合、IPTVが視聴できなくなる場合があります。その場合は、かんたん初期設定を行った後、ポータルの案内に従って操作してください。

IPTV(ひかりTV)を見るための接続をする

- ご契約のIPTVサービスにより、必要になるブロードバンド環境が異なります。IPTVサービス申込書や接続に関する案内などをご覧ください。ただし、本機はIPTVのチューナーを内蔵しているため、IPTVを受信するためのセットトップボックス(STB)は不要です。

IPv4環境の場合

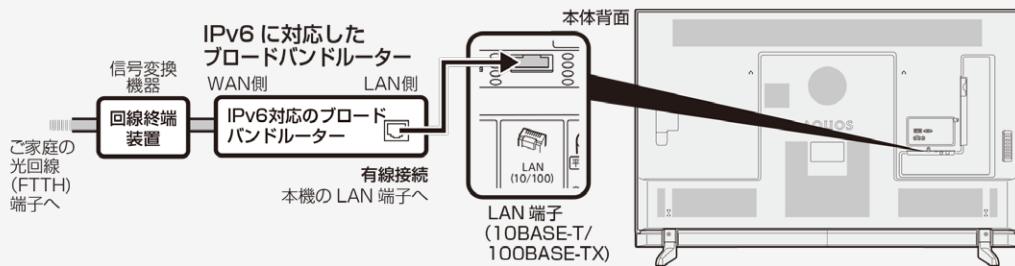
- ⇒8-3～8-8ページをご覧になり、ブロードバンドルーターと本機を接続してください。

IPTV(ひかりTV)を視聴するための準備

IPTV(ひかりTV)を見るための接続をする

IPv6環境の場合

- IPTVサービスが、IPv6方式(⇒ [12-11ページ](#))の場合に必要な接続です。



◆重要◆

本機のIPv6接続はIPTVの受信にのみ使用します

- インターネットやホームネットワーク機能をお使いになるときは、IPv4環境も必要です。

IPTV(ひかりTV)を視聴するための準備



IPTV(ひかりTV)の基本登録をする

- IPTVを視聴するためには、ポータル画面で基本登録をする必要があります。
- 基本登録を完了してから放送を受信できる状態になるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

お知らせ

「IPTV設定」-「サービス設定」について

- かんたん初期設定の「IPTV設定」を「する」にした場合、IPTVのサービス設定は「する」に設定されていますので、改めて設定する必要はありません。新たにIPTVの契約をした場合は、IPTVのサービス設定を「する」に設定してください。

1. を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」-「通信(インターネット)設定」を選び、を押す
3. 上下カーソルボタンで「IPTV設定」を選び、を押す
4. 上下カーソルボタンで「サービス設定」を選び、を押す
5. 左右カーソルボタンで「する」を選び、を押す
6. 「終了」でを押す

IPTV(ひかりTV)を視聴するための準備



IPTV(ひかりTV)の基本登録をする

7. 上下カーソルボタンで「基本登録」を選び、**決定**を押す
8. 上下カーソルボタンで基本登録をするIPTV事業者名を選び、**決定**を押す
 - IPTV事業者的基本登録画面が表示されます。
9. 「基本登録」をする
 - 以降の操作は画面の表示に従って行ってください。

IPTVのチャンネル設定は⇒[8-56ページ](#)をご覧ください。
ただし、基本登録を完了してから受信できるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

IPTV(ひかりTV)を視聴するための準備



IPTV(ひかりTV)の基本登録をする

お知らせ

IPTVの基本登録画面が表示されないときは

- IPTVサービス事業者がIPv6でサービスを行っている場合は、を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」→「 (視聴準備)」→「通信 (インターネット) 設定」→「LAN設定」→「IPv6設定」を選び、各項目に数値が入っているか確認します。
- 各項目が空欄の場合は次のことを確認してください。
 - ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるまで少し時間のかかるものがあります。
 - ブロードバンドルーターがIPv6に対応したものになっていますか。また、IPv6を使用できる設定になっていますか。
 - 本機とブロードバンドルーターの間に無線LANを接続していませんか。無線LANでは、IPv6の通信ができない場合があります。
 - 本機のLAN端子とブロードバンドルーターのLAN端子が、正しく接続されていますか。
 - 光回線の終端装置(ONU)や途中の機器の電源が入っていますか。また、必要なケーブルは正しく接続されていますか。

これらの確認を行っても原因が分からないときは、回線事業者やIPTVサービスへお問い合わせください。

- IPTVサービス事業者がIPv4でサービスを行っている場合は、「インターネットに接続できない場合は」(⇒[8-27](#)ページ)をご覧ください。

IPTV(ひかりTV)を視聴するための準備



IPTV(ひかりTV)のチャンネルを設定する

- IPTVの放送サービスを受信するときはチャンネル設定が必要です。
IPTVのチャンネル設定の前に、IPTVの基本登録が必要です。
1. **[ホーム]**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
 2. 上下左右カーソルボタンで「**🔧(視聴準備)**」—「**通信(インターネット)設定**」を選び、**決定**を押す
 3. 上下カーソルボタンで「**IPTV設定**」を選び、**決定**を押す
 4. 上下カーソルボタンで「**チャンネル設定**」を選び、**決定**を押す
 5. 上下カーソルボタンで「**IPTV—自動**」を選び、**決定**を押す

IPTV(ひかりTV)を視聴するための準備



IPTV(ひかりTV)のチャンネルを設定する

6. 左右カーソルボタンで「する」を選び、**決定**を押す

「しない」を選んだ場合は

- チャンネルの登録を行いません。次に表示される画面で「終了」を選びます。
- 自動設定が始まります。終わるまでしばらくお待ちください。

7. 「終了」で**決定**を押す

- 操作を終了する場合は、**ホーム**を押します。

お知らせ

チャンネルを追加するときは

- 「IPTV-自動」を行った後で、新しくサービスに加入するなど開始された放送チャンネルを追加する場合、⇒[8-56](#)ページの手順5で「IPTV-追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で**決定**を押します。

IPTV(ひかりTV)を視聴するための準備

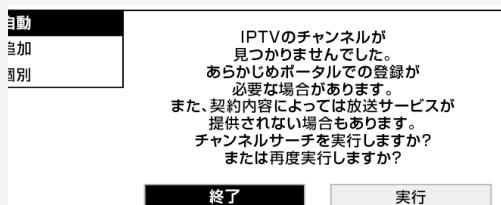


IPTV(ひかりTV)のチャンネルを設定する

お知らせ

IPTVのチャンネルが見つからなかったときは

- 次の画面が表示されます。



- IPTVの放送サービスに加入していて、この画面が表示された場合は基本登録を行ってください。(⇒[8-53ページ](#))
- 基本登録がお済みでこの画面が表示された場合は、ポータル画面で、受信できる状態になっているか確認してください。
- IPTVの放送サービスに加入していない場合、チャンネルは登録されません。

IPTVの受信状態を確かめたいときは

- ⇒[8-53ページ](#)の手順4で「受信状態」を選びます。

IPTV(ひかりTV)を視聴するための準備



IPTV(ひかりTV)のチャンネルを設定する

選局ボタンで選べる不要なチャンネルをスキップする／
スキップしたチャンネルを番組表や裏番組一覧で非表示にするには

1. ⇒[8-56](#)ページの手順5で「IPTV－個別」を選び、
決定を押す
2. スキップするチャンネルを選び、**決定**を押す
3. 「スキップ」を選び、**決定**を押す
4. 「する」を選び、**決定**を押す
5. 「する」または「しない」を選び、**決定**を押す
 - 「する」を選ぶとスキップ設定したチャンネルが、番組表や裏番組一覧に表示されなくなります。ただし、スキップ設定したチャンネルでも視聴中の場合は、番組表や裏番組一覧に表示されます。

IPTV(ひかりTV)を見る



IPTV(ひかりTV)のテレビサービスを楽しむ

- (インターネット) **ホーム**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「ひかりTV」を選び、**決定**を押します。
- 上下カーソルボタンで「テレビ」を選び、**決定**を押します。
- 数字ボタンや選局ボタンを使って選局します。
- 基本操作は⇒[3-1ページ](#)と同じです。
- 3桁のチャンネル番号を入力して選局できます。
- 字幕や複数の音声がある番組の場合は、字幕や音声を切り換えることができます。
(⇒[3-28～3-33ページ](#))

お知らせ

IPTVの視聴について

- IPTVは光回線(FTTH)を使って受信するため、通信回線の使用状況によっては、映像が粗くなったり、一時的に停止したりする場合があります。
- 番組やコンテンツによっては標準画質のものもあります。この場合は、ハイビジョン放送に比べ画質は粗くなります。

IPTV(ひかりTV)を見る



IPTV(ひかりTV)のテレビサービスを楽しむ

お知らせ

放送サービスやビデオオンデマンドサービスをご利用になる場合は、次のこともご注意ください。

- 映像コンテンツの中には、有料のものもあります。映像コンテンツを再生する前に画面上でよく確認してください。
- ほとんどの有料コンテンツには、視聴期間が設定されています。視聴期間が切れると新たに料金がかかります。
- 有料コンテンツを購入後、ビデオが視聴できないなどの不具合があった場合、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

IPTVのポータル画面について

- ビデオオンデマンドなどのタイトルを選ぶには、ポータル画面から項目を選んで操作します。
- IPTVサービスによっては、IPTVを受信する前にポータル画面で受信の手続きが必要になる場合があります。
- 見ているIPTVの放送サービスに連動したポータルがある場合は、を押すとそのポータル画面に切り換わります。

IPTV(ひかりTV)を見る



IPTV(ひかりTV)のテレビサービスを楽しむ

ホーム画面から番組を選ぶには

- ホーム画面から「ひかりTV」→「テレビ」で選べます。
基本操作は⇒[3-1](#)ページと同じです。

お知らせ

(インターネット)

- 複数のプラットフォームを受信している場合は、を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」→「 (機能切換)」→「視聴操作」を選び、「テレビ/ラジオ/データ/ポータル」を選んでプラットフォームを切り換えられます。(「テレビ/ラジオ/データ/ポータル」は、ツールメニューからも選べます。)
- プラットフォームとは、IPTVサービス事業者がサービスを提供する際に使用している環境のことです。1種類のIPTVサービスに加入しているときでも、IPTVサービスによっては複数のプラットフォームを使用している場合があります。また、複数のIPTVサービスに加入していても使用しているプラットフォームは1つだけの場合もあります。
- ポータル画面表示中およびVOD再生中は、番組情報が表示されます。番組情報画面の操作については、⇒[3-26](#)ページをご覧ください。

IPTV(ひかりTV)のテレビサービスを楽しむ

テレビ放送の番組表(⇒ [3-3](#)ページ)と同じように次の操作ができます

- 番組情報の表示
- 指定した日時の番組表を表示
- 見つかる検索
- ジャンル検索
- 特徴検索
- キーワード検索
- 録画予約

お知らせ

- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。
- IPTVの番組表に表示される情報の期間は最大8日分です。
- IPTVの番組表を表示しているときは、放送切換ボタンを押しても、他のデジタル放送の番組表には切り換わりません。
- IPTVの成人向けチャンネルやコンテンツを視聴するためには、視聴年齢制限設定が必要です。視聴年齢制限を「20歳」または「無制限」に設定すると、番組表などに成人向けチャンネルが表示されます。

IPTV(ひかりTV)を見る



IPTV(ひかりTV)のポータル画面を活用する

- ポータル画面とはIPTVサービスの窓口となる画面のことです。

ポータル画面でできること※

- IPTVサービスの基本登録をする
- ビデオオンデマンドサービスのタイトルを選ぶ
- IPTVサービス事業者からのお知らせを確認する
- IPTVサービスのサービスプランを変える

※できることはIPTVサービスによって異なります。詳しくはIPTVサービス事業者にお問い合わせください。

1. を押し、ホーム画面を表示する
2. 上下左右カーソルボタンで「ひかりTV」を選び、を押す
3. 上下カーソルボタンで「ポータル」を選び、を押す
 - 前回表示したポータル画面が表示されます。

IPTV(ひかりTV)を見る



IPTV(ひかりTV)のポータル画面を活用する

4. **(予約)番組表**を押し、ポータルリストを表示する
 5. 上下カーソルボタンで表示したいポータル画面を選び、**決定**を押す
 - 選んだポータル画面が表示されます。
 6. カーソルボタンでポータル画面の中から目的の項目を選び、**決定**を押す
 - 選んだ項目によっては、新しい画面が表示され、その中からさらに項目を選ぶものもあります。
- ポータル画面からIPTVのテレビ放送に切り換えるには
- ⇒[8-64](#)ページの手順2で「テレビ」を選ぶと、IPTVのテレビ放送に切り換えることができます。

IPTV(ひかりTV)のビデオオンデマンド(VOD)を楽しむ

- ビデオオンデマンド(VOD [※])とは映画などを見たいときに、見ることができるレンタルビデオのようなサービスです。
※「VOD」とは、Video on Demandのことです。

◆重要◆

ビデオオンデマンドを利用するためには

- IPTVサービスの中でも、ビデオオンデマンドを利用できるサービスに加入しておく必要があります。

お知らせ

- ビデオオンデマンドは、「ビデオサービス」や「ビデオレンタル」などと呼ばれる場合もあります。
- ポータル画面は、IPTV(テレビ)の番組を選局したあとで、ツールメニューを表示して、「テレビ/ラジオ/データ/ポータル」を選んでも表示できます。

IPTV(ひかりTV)を見る



IPTV(ひかりTV)のビデオオンデマンド(VOD)を楽しむ

ビデオオンデマンドのタイトルを再生する

- タイトルの検索や再生の手続きなどは、主にポータル画面(\Rightarrow [8-65ページ](#))で行います。

◆ポータル画面を表示する

- (インターネット)
1. を押し、ホーム画面を表示する
2. 上下左右カーソルボタンで「ひかりTV」を選び、を押す
3. 上下カーソルボタンで「ポータル」を選び、を押す
 - 前回表示したポータル画面が表示されます。
4. ポータルリストを表示する
5. 表示したいポータル画面を選び、を押す

IPTV(ひかりTV)を見る



IPTV(ひかりTV)のビデオオンデマンド(VOD)を楽しむ

ビデオオンデマンドのタイトルを再生する

◆ビデオオンデマンドのタイトルを探す

6. 画面の項目からビデオオンデマンドに関する項目を選び、**決定**を押す

7. 再生したいタイトルを選び、**決定**を押す

- 以降の操作は画面の表示に従ってください。タイトルによっては再生する前に視聴に関する注意事項や制限事項などが表示される場合がありますので、よく読んでから再生してください。

IPTV(ひかりTV)を見る



IPTV(ひかりTV)のビデオオンデマンド(VOD)を楽しむ

再生中の操作のしかた(VOD操作)

- VOD操作パネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

(インターネット)

1. **ホーム**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「**機能切換**」—「**視聴操作**」を選び、**決定**を押す
3. 「**VOD操作**」を選び、**決定**を押す
4. 操作したい機能のボタンを選び、**決定**を押す

終了

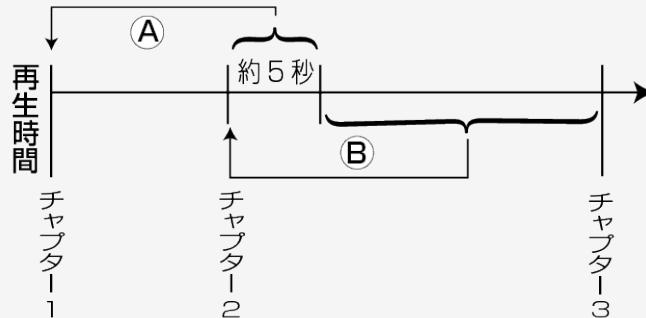
- VOD操作パネルの表示を消すときは、**終了**ボタンを押します。

IPTV(ひかりTV)のビデオオンデマンド(VOD)を楽しむ

再生中の操作のしかた(VOD操作)

お知らせ

- 逆頭出しボタン(◀ 前)は、再生位置によってはたらきがかわります。
- 再生位置がチャプターから約5秒以内の場合は、そのひとつ前のチャプターに(下図A)、5秒を超えている場合は、直前のチャプター(下図B)に戻ります。



IPTV(ひかりTV)を見る



IPTV(ひかりTV)のビデオオンデマンド(VOD)を見る

VOD操作パネルの見かた



お知らせ

- ・ 視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。
- ・ VOD操作パネルの表示とコンテンツの操作情報が一致しないことがあります。
- ・ リモコンの や などでも操作することができます。



携帯端末を使ってホームネットワークで映像・写真・音楽を楽しむ

- 携帯端末やパソコンを使って、ホームネットワーク経由で映像・写真・音楽を本機で再生させることができます。(リモート再生機能)
- 対応機器についてはAQUOSサポートページ「他の機器と接続するには」をご覧ください。



AQUOS サポートページ
シャープ お問い合わせ テレビ

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>
(スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)

- 携帯端末を使う場合は、無線LANルーターが必要です。

リモート再生機能を有効にする

- 本機がリモート再生を許可する設定です。
1. を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、を押す
 2. 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「通信(インターネット)設定」を選び、を押す
 3. 「ホームネットワーク設定」を選び、を押す
 4. 「リモート再生設定」を選び、「許可する」に設定する



携帯端末を使ってホームネットワークで 映像・写真・音楽を楽しむ

リモート再生機能を有効にする

再生終了後に自動でテレビ画面に戻したいときは

- ホームネットワーク経由の映像再生が終了してから、テレビ画面に戻るまでのタイムアウト時間を設定します。
- 「ホーム」を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
 - 上下左右カーソルボタンで「(視聴準備)」—「通信(インターネット)設定」を選び、決定を押す
 - 「ホームネットワーク設定」を選び、決定を押す
 - 「タイムアウト設定」を選び、「10秒」または「60秒」に設定する
 - 自動でテレビ放送画面に戻したくないときは、「しない」を選びます。



携帯端末を使ってホームネットワークで 映像・写真・音楽を楽しむ

本機を操作するための設定をする

- 携帯端末やパソコンを使って本機をリモート操作するときに必要な設定です。
 - ターミナルソフトなどを使って、チャンネル切換、音量調整、入力切換などの本機の操作ができます。
 - パソコン(PC)を使い慣れたかたのご利用をお願いします。
- (インターネット)
1. **ホーム**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
 2. 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「通信(インターネット)設定」—「AQUOSコネクト設定」を選び、**決定**を押す
 3. 「AQUOSコネクト設定」を選び、**決定**を押す
 4. 「変更する」を選び、**決定**を押す
 5. 「する」を選び、**決定**を押す
 6. クイック起動設定を画面に従って設定する

携帯端末を使ってホームネットワークで
映像・写真・音楽を楽しむ



本機を操作するための設定をする

7. 「詳細設定」を選び、「変更する」を選び、**決定**を押す
8. 画面の指示に従って、「ログイン情報」を設定する
 - ログイン情報(ログインIDとパスワード)を設定しておくと、想定外の機器から本機が操作されることを防止できます。
9. 画面の指示に従って、「コントロールポート」を設定する
 - パソコンのターミナルソフトなどで必要な設定です。
 - 設定可能な値は1024～65535です。telnetポート(23)やsshポート(22)は設定できません。

AQUOSインフォメーションを表示する



この機能について

- AQUOSインフォメーションとは、インターネット経由で情報を受信したり、おすすめの番組があるときに番組タイトルの一覧を表示させたりすることのできる機能です。AQUOSインフォメーションを受け取る設定を行う⇒[8-77ページ](#)

インフォメーション

1. を押してAQUOSインフォメーションを表示する
2. 上下左右カーソルボタンで情報または番組を選び **決定** を押す

- 左右カーソルボタンを押すと、カテゴリーの切り替えができます。
(カテゴリーを1つしか設定していない場合は切り換わりません。)
AQUOSインフォメーションを受け取る設定を行う⇒[8-77ページ](#)
- 下カーソルボタンを押すと、情報や番組のタイトルが切り換わります。
- **決定** を押すと情報や番組(または番組情報)が表示されます。

お知らせ

- お知らせの内容によっては、この操作を行わなくても自動的に表示されることがあります。
- 情報が取得できていない場合は、**決定** を押しても無効となる場合があります。
- ホーム画面のインフォメーションゾーン(ホーム画面の見かた
⇒[4-1ページ](#))にも表示されます。

AQUOSインフォメーションを表示する



AQUOSインフォメーションを受け取る設定を行う

この機能について

- AQUOSインフォメーションを受け取るよう設定します。

1. **(インターネット)** **ホーム**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選んで**決定**を押す
 2. 上下左右カーソルボタンで「 (安心・省エネ)」—「AQUOSインフォメーション設定」を選んで**決定**を押す
 3. 上下カーソルボタンで表示させたいカテゴリーを選び、**決定**を押す
 4. 左右カーソルボタンで「する」を選び、**決定**を押す
- メニューを消すときは **ホーム**を押します。
 - 「インターネット情報」は、「する」を選んだあと、「AQUOS Cityへ」を選び、画面に従って設定してください。
 - 「おすすめ番組」は、「する」を選んだあと「見つかる検索へ」を選び、画面に従って設定してください。

AQUOSインフォメーションを表示する

AQUOSインフォメーションを受け取る設定を行う

「視聴番組連動情報」

- 視聴中の番組の情報が表示されます。

「おすすめ番組」

- 今日または明日放送されるおすすめ番組が表示されます。

「未視聴録画番組」

- USBハードディスクをつないでいるとき、まだ見ていない録画番組があるとお知らせ表示が出ます。

「インターネット情報」

- インターネット経由でいろいろな情報を受信できます。

ファミリンク対応機器をつなぐ

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- ファミリンクで操作できるAQUOSレコーダーは3台までです。
- HDMIケーブルは必ず市販のHDMI規格認証品（ハイスピードタイプ）をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、映像にノイズが発生する、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。
- 下記の場合は、ハイスピードタイプのHDMIケーブルをお使いください。
-4K2K出力に対応した機器をつなぐとき
-1080pの映像信号を入力するとき
-3D映像に対応した機器をつなぐとき
- AQUOSレコーダーやAQUOSオーディオをつないで3Dコンテンツをお楽しみいただく場合は3D対応の機器をご使用ください。
- 3D対応のファミリンク機器についてはSHARP Webページ内のAQUOSサポートページをご覧ください。
- ここで説明している接続方法以外で接続した場合には、正しく動作しないことがあります。



AQUOS サポートページ

シャープ お問い合わせ テレビ

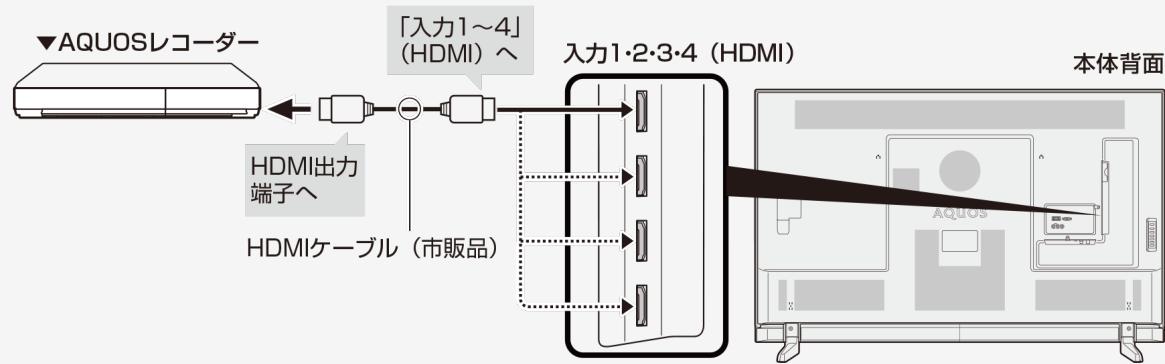
検索

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>
(スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)

◆重要◆

- HDMIケーブルや電源コードを抜き差したり、機器との接続方法を変えた場合は、すべての周辺機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れ直し、本機の入力を入力1～4に切り換えて映像と音声が正しいことを確認してください。

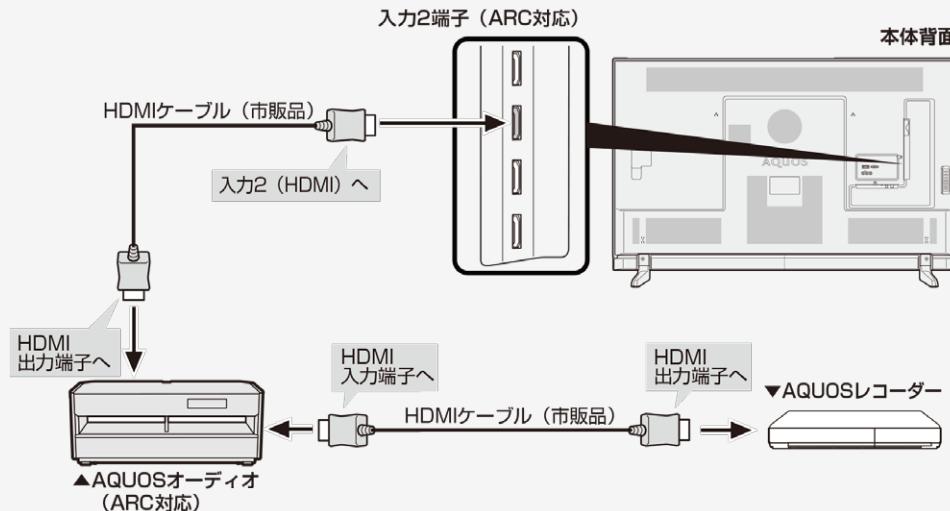
AQUOSレコーダーのみをつなぐとき



AQUOSオーディオ(ARC対応)を同時につなぐとき

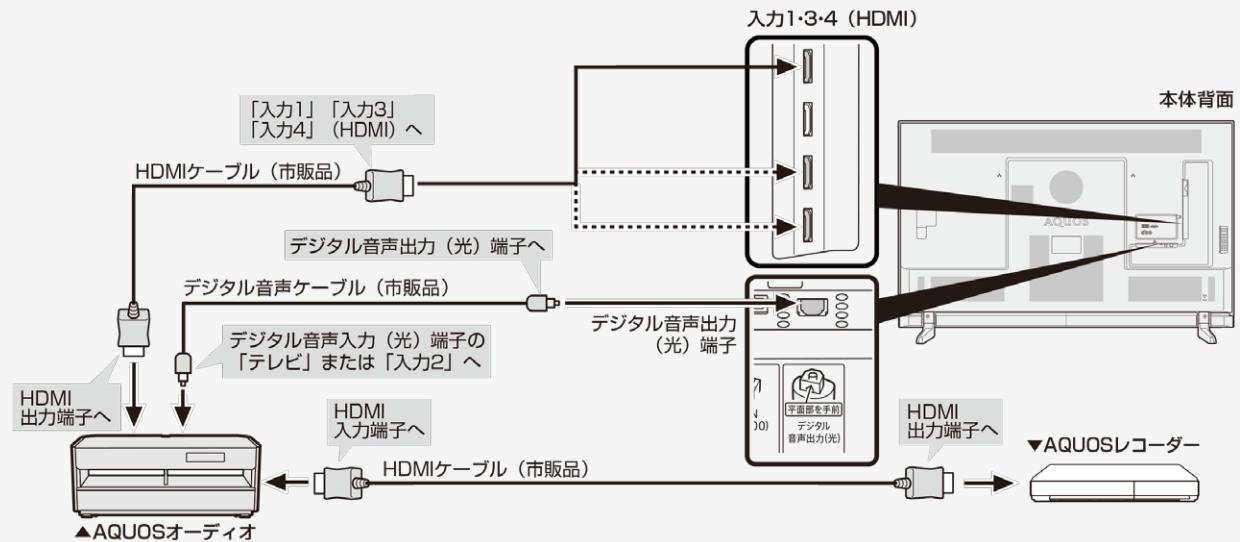
本機の入力2(HDMI)端子につないでください。

- 本機の入力2(HDMI)端子はARC(オーディオリターンチャンネル)に対応しています。本機の入力2(HDMI)端子にARC対応のAQUOSオーディオをつなぐと、本機からAQUOSオーディオへの音声出力もHDMIケーブル1本で可能です。
- ARCに対応したHDMIケーブルをお使いください。ARCに対応していないHDMIケーブルの場合、音が出ない、音が途切れる、ノイズが混ざるといった症状が発生することがあります。



AQUOSオーディオ(ARC非対応)を同時につなぐとき

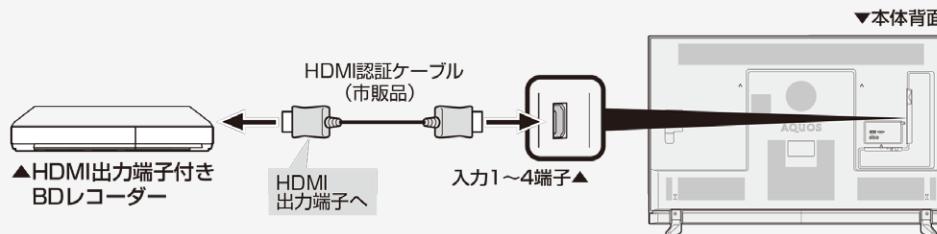
- 本機からAQUOSオーディオに音声信号を出力するために、本機とAQUOSオーディオをデジタル音声ケーブルで接続してください。



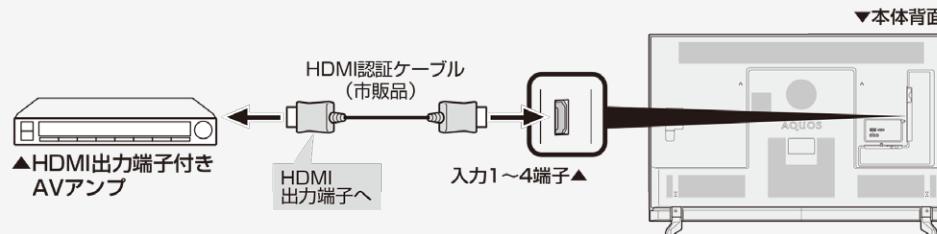
4K2K出力対応機器をつなぐ

HDCP2.2の著作権保護に対応した端子は入力1です。
HDCP2.2コンテンツを視聴する場合は入力1に接続してください。

4K2K出力対応BDレコーダーをつなぐ



4K2K出力対応AVアンプをつなぐ



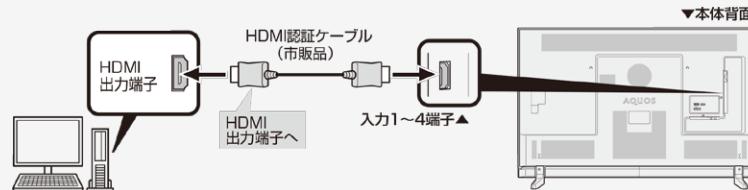
お知らせ

- 市販のHDMI認証ケーブル(ハイスピードタイプ)が必要です。

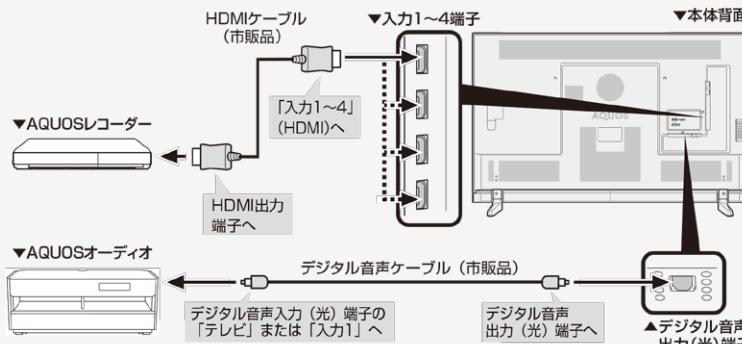
4K2K出力対応機器をつなぐ

4K2K出力対応パソコンをつなぐ

- 4K2K出力(解像度3840×2160出力)に対応しているパソコンをご使用ください。



4K信号非対応のAQUOSオーディオをつなぐ



お知らせ

- 市販のHDMI認証ケーブル(ハイスピードタイプ)が必要です。

ファミリンクで使う

ファミリンクとは

- HDMI端子は、映像や音声信号だけでなく、HDMIケーブルを介して機器間を制御するコントロール信号もやり取りすることができます。この相互に機器間を制御できる規格—HDMI CEC(Consumer Electronics Control)—を使ってシャープ製の液晶テレビやレコーダー、AVアンプなどを相互に制御しスマートに連携できるようにしたのが、ファミリンクです。
本機に、ファミリンクに対応したレコーダー(AQUOSレコーダー)やAVアンプ(AQUOSオーディオ)をHDMI認証ケーブルで接続すると、本機のリモコンまたはレコーダーに付属のリモコンで、右記の連動操作が楽しめます。

お知らせ

- ファミリンクの対応機種についてはSHARP webページ内のAQUOSサポートページ「他の機器と接続するには→AQUOSファミリンクについて(▼対応機種一覧)」をご覧ください。

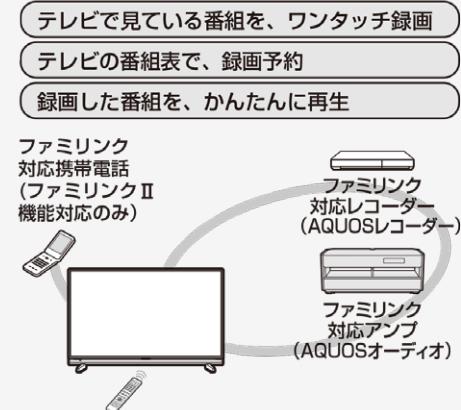


AQUOS サポートページ

シャープ お問い合わせ テレビ

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>
(スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)



- 本機のリモコンでファミリンクを使う場合には、本機に向けて操作してください。AQUOSレコーダーは直接リモコン信号を受信しません。
- 本機にはi.LINK端子はありません。そのため、ハイブリッドダブルコ機能搭載のAQUOSレコーダーと接続したときi.LINK録画(2番組同時録画)は働きません。

ファミリンク機能を使う前に

1. ファミリンク対応機器とつなぐ

⇒ [9-1～9-4ページ](#)

- 市販品のHDMI認証ケーブルを使って、ファミリンク対応機器と本機をつないでください。

2. 設定をする

- ファミリンク機能を使うための設定(⇒ [9-9～9-15ページ](#))が必要です。
- AQUOSレコーダー側の設定も必要です。⇒機器に付属の取扱説明書をご覧のうえ、設定を行ってください。

3. ファミリンクで楽しむ

- ファミリンクII機能に対応した機器をお使いの場合は、ファミリンクパネルで操作できます。
⇒ [9-18～9-19ページ](#)

- 録画・録画予約してみましょう。
⇒ [9-20～9-28ページ](#)

- 再生してみましょう。
⇒ [9-29～9-32ページ](#)

- AQUOSオーディオを使ってみましょう。
⇒ [9-34ページ](#)

- 携帯電話をつないで楽しみましょう。
⇒ [9-35～9-37ページ](#)

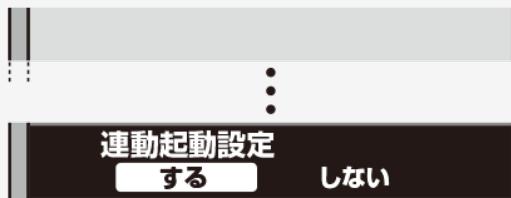


ファミリンク機能を使うための設定

ファミリンク対応機器から本機を自動で起動する

- ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。

- 「ファミリンク」を押し、上下カーソルボタンで「操作メニュー」を選び、**決定**を押す
- 「ファミリンク設定」を選び、**決定**を押す
- 「連動起動設定」を選び、「する」に設定する





ファミリンク機能を使うための設定

録画先として使う機器を選ぶ

- リモコンの録画ボタンを押したときに録画する機器を選ぶ設定です。
- ファミリンク機器に録画するには、「ファミリンクレコーダー」を選択の上、「ファミリンクレコーダー選択」で機器を選択してください。

- ファミリンク
- を押し、上下カーソルボタンで「操作メニュー」を選び、決定を押す
 - 「ファミリンク設定」を選び、決定を押す
 - 「録画機器選択」を選び、決定を押す
 - 上下カーソルボタンで録画する機器を選び、決定を押す



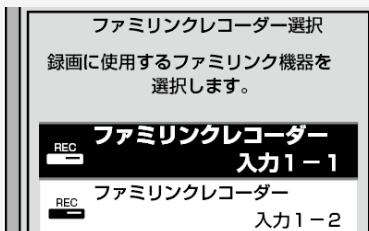
- USB-HDDは、USBハードディスクを接続しているとき選択ができます。
- 操作を終了する場合は、ホームを押します。



ファミリンク機能を使うための設定

ファミリンク録画の録画先として使うレコーダーを選ぶ

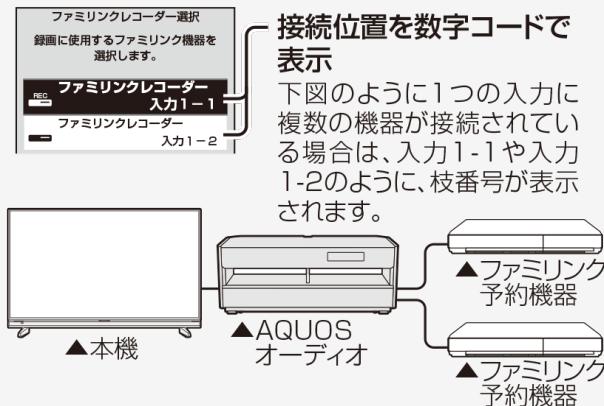
- AQUOSレコーダーをつないだときの設定です。本機からファミリンク録画・録画予約するレコーダーを指定するための設定です。
1. **ファミリンク**を押し、上下カーソルボタンで「操作メニュー」を選び、**決定**を押す
 2. 「ファミリンク設定」を選び、**決定**を押す
 3. 「ファミリンクレコーダー選択」を選び、**決定**を押す
 4. ファミリンク録画予約で録画する機器を選び、**決定**を押す



ファミリンク機能を使うための設定

ファミリンク録画の録画先として使うレコーダーを選ぶ

AQUOSオーディオを接続しているときの設定画面について





ファミリンク機能を使うための設定

本機のリモコンでAQUOSレコーダーの選局などの操作をできるようにする

「選局キー」を「する」に設定すると、本機のリモコンで、以下のAQUOSレコーダーの操作が行えます。

- 選局ボタンと数字ボタン(チャンネルボタン)の **1** ~ **12** で選局の操作ができます。ただし、**11** **12** は、レコーダーによっては動作しない場合があります。
(予約)
- 番組表で番組表を表示できます。
- データで連動データ放送を表示できます。
- 番組表の表示や、**d** は、接続している機器によっては操作できない場合があります。



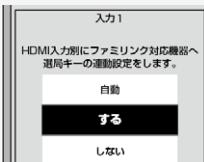
ファミリンク機能を使うための設定

本機のリモコンでAQUOSレコーダーの選局などの操作をできるようにする
この設定は、入力端子ごとに設定します。

1. **ファミリンク**を押し、上下カーソルボタンで「操作メニュー」を選び、**決定**を押す
2. 「ファミリンク設定」を選び、**決定**を押す
3. 「選局キー」を選び、**決定**を押す



4. 本機のリモコンで操作する機器を接続している入力を選び、**決定**を押す
5. 「する」を選び、**決定**を押す



- 「自動」に設定すると、「しない」に設定したときと同じ動作をします。しかし、接続されている機器から要求があった場合のみ、「する」に設定したときと同じ操作ができます。



ファミリンク機能を使うための設定

一般のHDMI機器が誤作動するときは

- ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合に行う設定です。
- 「ファミリンク」を押し、上下カーソルボタンで「操作メニュー」を選び、**決定**を押す
 - 「ファミリンク設定」を選び、**決定**を押す
 - 「ファミリンク制御(運動)」を選び、「しない」に設定する



ファミリンクで使う



AQUOSレコーダーのホームメニューを表示する

- AQUOSレコーダーのセットアップメニューなどを表示することができます。表示される内容はAQUOSレコーダーによって異なります。
1. **ファミリンク**を押し、上下カーソルボタンで「操作メニュー」を選び、**決定**を押す
 2. 「ホームメニュー表示」を選び、**決定**を押す
 - AQUOSレコーダーのホームメニューが表示されます。
 - AQUOSレコーダーの状態（録画中、電源待機中）によっては正しく表示されない場合があります。

お知らせ

- ホームメニューを表示できるAQUOSレコーダーの対応機種については、SHARP webページ内のAQUOSサポートページ「他の機器と接続するには→AQUOS ファミリンクについて（▼対応機種一覧）」をご覧ください。

	<p>AQUOS サポートページ シャープ お問い合わせ テレビ <input type="button" value="検索"/></p> <p>http://www.sharp.co.jp/support/aquos/ (スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)</p>
--	---

ファミリンクで使う



本機からAQUOSレコーダーの電源を入／切するには

- 本機とつないだAQUOSレコーダーの電源を、本機から入／切できます。
- 「ファミリンク」を押し、上下カーソルボタンで「操作メニュー」を選び、**決定**を押す
 - 「レコーダー電源入／切」を選び、**決定**を押す
 - この操作をするたびに、本機とつないだAQUOSレコーダーの電源を入／切できます。



ファミリンクパネルの操作のしかた

ファミリンク II 機能に対応したAQUOSオーディオ・BDプレーヤー・BDレコーダーを接続した場合に、ファミリンク対応機器操作用のファミリンクパネルを表示できます。(表示内容は機器により異なります。)

- ファミリンク対応機器と接続しているときは、ファミリンクパネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

◆ 重要 ◆

- ファミリンク II 機能に対応していない機器(ファミリンク I 対応機器)では、ファミリンクパネルはお使いいただけません。

- 【決定】を押し、操作したい機器を選び、【決定】を押す

ファミリンクで使う



ファミリンクパネルの操作のしかた

2. 操作したい機能のボタンを選ぶ



お知らせ

- ・ プレーヤーやAQUOSオーディオ、携帯電話と接続したときは、上記の操作パネルと異なる内容の操作パネルが表示されます。

見ている番組をすぐに録画する(ワンタッチ録画)

◆重要◆

ファミリンクで録画を行う前にAQUOSレコーダー側の録画準備が必要です。次のことを確認します。

- 本機とAQUOSレコーダーをつないでいますか。
- B-CASカードが挿入されていますか。有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録したB-CASカードが、AQUOSレコーダーに挿入されていることを確認してください。
- アンテナが接続されていますか。
- 記録メディア(HDD、BD、DVDなど)に空き容量がありますか。
- 「録画機器選択」で録画機器をつないでいる入力を選んでいますか。
(⇒[9-10ページ](#))
- 初期設定では入力1に接続したレコーダーに録画する設定になっています。



見ている番組をすぐに録画する(ワンタッチ録画)

再生・録画するメディア(HDD/DVDなど)を切り換える

- 必要に応じてAQUOSレコーダー側のHDDモード／BDモード／DVDモードを切り替えます。
1. **ファミリンク**を押し、上下カーソルボタンで「操作メニュー」を選び、**決定**を押す
 2. 上下カーソルボタンで「機器のメディア切換」を選び、**決定**を押す
 - AQUOSレコーダー側の操作したい記録メディアを選びます。
 - 「機器のメディア切換」で**決定**を押すごとに、AQUOSレコーダーのメディアの種類が順次切り換わります。メディアが正しく切り換わったかどうかは、レコーダー側の表示をご確認ください。



見ている番組をすぐに録画する(ワンタッチ録画)

見ている番組をAQUOSレコーダーに録画する

1. 録画したい番組の視聴中に を押す

- 「ファミリンクレコーダー選択」(⇒ [9-11ページ](#))で選択したAQUOSレコーダーのチャンネルが、本機で視聴中のチャンネルに切り替わり、AQUOSレコーダーに録画を開始します。
- 「録画機器選択」を「ファミリンクレコーダー」にしていない場合、「録画機器選択」で選択した機器に録画されます。ファミリンクレコーダーに録画する際は、「録画機器選択」を変更してください。
- 「録画機器選択」が「録画／予約時に選択する」に設定されている際は、録画先の選択画面が表示されますので、レコーダーに録画する際は「ファミリンク録画」を選択してください。

録画の停止について

- お使いのAQUOSレコーダーによっては、録画終了時刻が表示されます。表示された時刻になると自動的に録画が停止されます。
- 録画開始時に、録画終了時刻が表示されなかった場合は、手動で録画の停止が必要です。
- USB-HDDの録画実行中は録画停止の選択画面が表示されますので、レコーダーの録画を停止する場合は、「ファミリンク録画停止」を選択してください。



見ている番組をすぐに録画する(ワンタッチ録画)

見ている番組をAQUOSレコーダーに録画する

録画を途中で停止したいとき(録画を手動で停止したいとき)

ツール

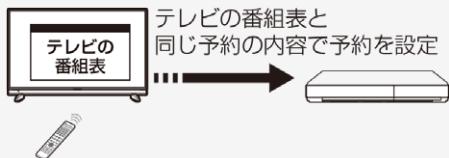
- ツールを押し、「録画停止」を選び、決定を押して、画面の指示に従って操作してください。
- ファミリンクパネルを表示して、「録画停止」を選んでも録画を停止できます。
(⇒ [9-19ページ](#))

お知らせ

- 「録画機器選択」(⇒ [9-10ページ](#))で選択したAQUOSレコーダーで受信した放送を視聴しているときは、視聴しているAQUOSレコーダーに録画を開始します。
- 「録画機器選択」(⇒ [9-10ページ](#))で選択したAQUOSレコーダー以外で受信した放送を視聴しているときや、他の外部入力を視聴しているときは、録画ボタンを押しても録画できません。

本機の番組表でAQUOSレコーダーに録画予約する

- 本機の番組表から接続しているAQUOSレコーダーに録画予約できます。

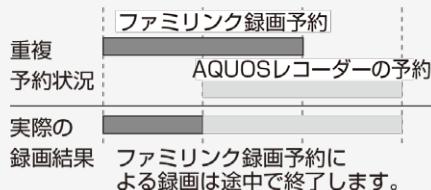


◆重要◆

ファミリンクで録画予約するときのご注意

- 録画予約した番組の録画が終了する前に本機の電源を切るときは、リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。(待機状態)
「電源ボタン設定」(⇒[4-19ページ](#))を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切ると、正しく録画されません。
- 録画予約状態を解除すると、レコーダーの録画が停止して、電源が切れます。
- AQUOSレコーダーで日時の重なる番組が予約されている場合は、レコーダー側の予約が優先されます。

(例) 7:00 7:30 8:00 8:30



本機の番組表でAQUOSレコーダーに録画予約する

◆重要◆

ファミリンクで録画予約するときのご注意

- 番組の放送時間が延長された場合、録画の終了時刻が延長されるかは、お使いのAQUOS レコーダーによって異なります。
- 詳しくは、SHARP webページ内のAQUOSサポートページ「他の機器と接続するには→ AQUOS ファミリンクについて(▼対応機種一覧)」をご覧ください。

	<p>AQUOS サポートページ シャープ お問い合わせ テレビ <input type="button" value="検索"/></p> <p>http://www.sharp.co.jp/support/aquos/ (スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)</p>
---	---

- 録画予約した番組が開始する2分前から番組が開始する直前まで、選局の操作はできません。

お知らせ

- 予約の確認・取り消し・変更については
⇒[7-46～7-48](#)ページをご覧ください。
- ファミリンク録画予約の準備中や実行中は、USBハードディスクへの録画はできません。



本機の番組表でAQUOSレコーダーに録画予約する

1. AQUOSレコーダー側の準備をする

- 本機とAQUOSレコーダーを接続します。
- HDDに録画する場合は、HDDの残量を確認します。
- 有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録したB-CASカードが、AQUOSレコーダーに挿入されていることを確認してください。

2. **(予約)** [番組表] を押して本機の番組表を表示し、予約したい番組を選び、 **決定** を押す

- ジャンルや日時などを指定して番組を選ぶこともできます。
(⇒ [3-7ページ](#))
- 同じ時間帯に他の番組が予約されていると、先の予約を削除する画面になります。
- 「録画機器選択」の設定によって操作方法が変わります。



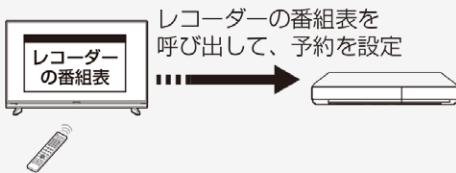
本機の番組表でAQUOSレコーダーに録画予約する

- 表示されている接続機器と違う機器に録画したい場合は、予約設定後にファミリンクレコーダー選択(⇒9-11ページ)を行ってください。
- AQUOSレコーダー側で設定した予約と日時が重複している場合は、「AQUOSレコーダーで日時の重なる番組が予約されていますので、レコーダーの予約が優先されます。」と表示されます。今選んでいる番組を予約したい場合は、AQUOSレコーダーの予約を取り消してください。
- 電源ボタン設定を「モード2」に設定している場合は、本機の番組表を使って予約したファミリンク録画実行中に、テレビの電源を切らないでください。テレビの電源を切ると正常に録画されません。
- 操作を終了する場合は、**番組表**を押します。

ファミリンクで使う



AQUOSレコーダーの番組表を呼び出して録画予約する



1. **ファミリンク**ボタンを押し、上下カーソルボタンで「操作メニュー」を選び、**決定**ボタンを押す
2. 上下カーソルボタンで「リンク予約(録画予約)」を選び、**決定**ボタンを押す
 - レコーダー側の番組表が表示されます。
3. 予約したい番組を選び、録画予約の操作をする
 - レコーダー側の番組表は本機のリモコンの

で操作します。
(詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。)

ファミリンクで使う



AQUOSレコーダーを再生する

視聴するHDMI対応のレコーダーを選ぶ

- 複数のHDMI機器を接続している場合、視聴したいHDMI機器を選びます。
1. **[決定]**を押し、上下カーソルボタンで視聴したい機器を選び **[決定]**を押す

ファミリンクで使う



AQUOSレコーダーを再生する

AQUOSレコーダーの録画リストから再生する

- 本機のリモコンを使って、本機とHDMI接続したAQUOSレコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。
- あらかじめ「連動起動設定」を「する」に設定します。
(⇒[9-9ページ](#))

- 「録画リスト」を押し、上下カーソルボタンで表示したいレコーダーを選んで「決定」を押す

- USBハードディスクおよびファミリンク機器が合わせて1台しか接続されていない場合、「録画リスト」を押すと直接機器の録画リストが表示されます。

2. 再生したい番組(タイトル)を選び再生する

- 録画リストは本機のリモコンの
で選択などの操作ができます。
- 選んだ番組が再生されます。
- 停止したいときは「停止」を押します。
- 停止したときは、切り換わった入力のままでです。

ファミリンクで使う



AQUOSレコーダーを再生する

AQUOSレコーダーの録画リストから再生する

お知らせ

- AQUOSレコーダーがDVDモードになっていてDVDビデオなどの録画リストがないディスクがセットされている場合、録画リストは表示されません。  を押し、上下カーソルボタンと  で「操作メニュー」→「機器のメディア切換」を選んで、AQUOSレコーダーのモードを切り換えてください。
- PinPのときは、以下のボタンでレコーダーのホームメニュー、番組表や録画リストなどの操作はできません。



ファミリンクで使う



AQUOSレコーダーを再生する

最後に録画した番組を再生する(ワンタッチプレー)

- 本機のリモコンを使って、本機とHDMI接続したAQUOSレコーダーを操作できます。

入力切換

- を押し、上下カーソルボタンで再生したいAQUOSレコーダーを選び、決定を押す
- 再生を押す

再生中の操作について

- ファミリンクで再生しているときは、ファミリンクパネルで操作が行えます。⇒ [9-18ページ](#)
- リモコンの 前/早戻し 再生 早送り/次 停止 一時停止/静止 でも操作が行えます。

お知らせ

- リモコンの は、機器によっては動作しない場合があります。



AQUOSオーディオで聞く

- AQUOSオーディオで音声が楽しめます。(本機のスピーカーからは音が出ません。)
- 本機のリモコンでAQUOSオーディオの音量調整、消音、音声切換の操作ができます。

1. を押し、上下カーソルボタンで「音声出力機器切換」を選び を押す
2. 上下カーソルボタンで「AQUOSオーディオで聞く」を選び を押す
 - 本機の音声が停止し、AQUOSオーディオから音声が出力されます。
 - 本機のスピーカーから音を出すときは、手順2で「AQUOSで聞く」を選びます。
 - 本機の設定メニューの「(音声調整)」の設定はできません。

オーディオリターンチャンネル(ARC)対応のAQUOSオーディオをつないだときは

- 「ARC(オーディオリターンチャンネル)」は、テレビのチューナーの音声をHDMIケーブルを使ってAVアンプなどに伝送する機能です。
- 「ARC設定」を「自動」に設定すると、本機とARC対応のAQUOSオーディオをHDMIケーブル一本で接続することができます。この機能は、入力2端子に接続したときのみ使えます。

1. を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、 を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「 (機能切換)」—「ファミリンク設定」—「ARC設定」を選び、 を押す
3. 「自動」を選び、 を押す

ファミリンクで使う



AQUOSオーディオで聞く

番組内容に適した音に切り換える

- デジタル放送のジャンル情報に従って、AQUOSオーディオが適切なサウンドモードに切り換わるように設定できます。

1. **(インターネット)** [ホーム] を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定** を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「**機能切換**」—「**ファミリンク設定**」—「**ジャンル連動**」を選び、**決定** を押す
3. 「**する**」を選び、**決定** を押す

お知らせ

- DVD映像はジャンル情報がありません。自動でサウンドモードが切り換わりませんので、AQUOSオーディオ側で適切なサウンドモードに切り換えてください。
- サウンドモードについて詳しくはAQUOSオーディオの取扱説明書をご覧ください。

携帯電話をAQUOSにつないで楽しむ

ファミリンク II 機能に対応したシャープ製携帯電話を接続すると、ファミリンクパネルで操作できます。また、携帯電話接続中に電話やメールが着信すると、視聴画面にAQUOSからのお知らせとして表示されます。

- HDMI micro端子の付いた携帯電話(ファミリンク II 機能に対応したシャープ製携帯電話)と本機をつなぐと、さまざまなコンテンツが楽しめます。
 - 動画・写真の再生
 - 音楽の再生
 - ホームページの閲覧
 - メールの表示
 - ドキュメントの閲覧 など
- 本機のリモコンで、携帯電話の操作ができます。
- 携帯電話の出力するコンテンツに合わせ、適切な画質とサイズで表示します。
- 携帯電話のファミリンク II 対応機種については、SHARP Webページ内のAQUOSサポートページをご覧ください。



AQUOS サポートページ

シャープ お問い合わせ テレビ

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/>
(スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)



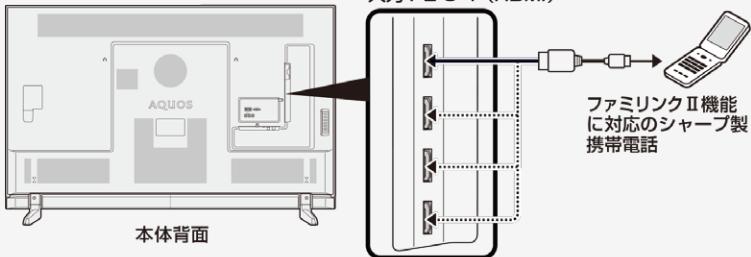
携帯電話をAQUOSにつないで楽しむ

◆重要◆

- ファミリンク II 機能に対応していないシャープ製の携帯電話または、他社製の携帯電話では、ファミリンクパネルはお使いいただけません。

1. ファミリンク II 機能に対応している携帯電話を、本機につなぐ

入力1・2・3・4 (HDMI)



2. ファミリンクボタンを押して、上下カーソルボタンで操作したい携帯電話を選び、決定ボタンを押す

ファミリンクで使う



携帯電話をAQUOSにつないで楽しむ

3. 上下左右カーソルボタンで操作したい機能のボタンを選んで **決定** を押す



携帯電話を取り外すときは

- 操作ボタンの **取り外し** を選んで決定してから、携帯電話を取り外します。

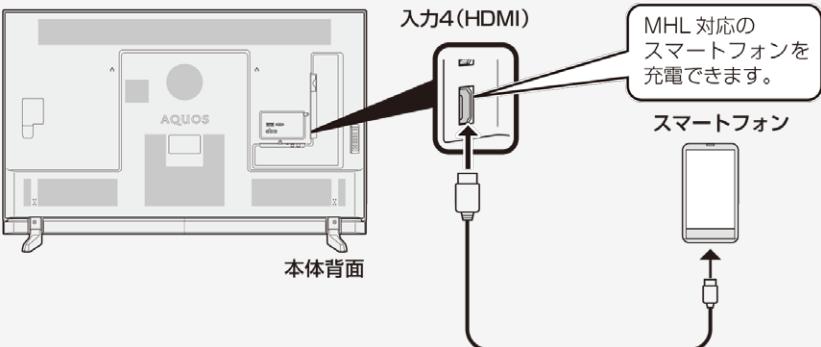
MHL対応スマートフォンとの接続について

- MHL対応MHLケーブル(市販品)で、スマートフォンを入力4のHDMI端子に接続することができます。
- 接続することにより、スマートフォンの画面をテレビに表示し、同時にスマートフォンの充電も行えます。(機種によっては充電ができない場合があります。)
- ファミリンクと同様に、スマートフォンを接続することで、テレビの電源が自動的に入り、入力4に切り換わります。
- テレビのリモコンの上下左右ボタン・決定ボタンを使ってスマートフォンの操作を行います。
- できる操作は、実行するアプリによって異なります。
- メールや検索時の文字入力はできません。
- スマートフォンの操作については、お使いのスマートフォンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 電源をリモコンで切ってもMHL対応スマートフォンは充電を続けます。

スマートフォンをケーブルでつなぐ



- HDMIケーブルを使ってスマートフォンと本機をつなぐこともできます。MHLケーブル（市販品）で、スマートフォンを入力4のHDMI端子に接続すると、同時にスマートフォンの充電も行えます。（機種によっては充電ができない場合があります。）



スマートフォンを接続してもテレビの電源が自動的に入らないようにするには

- (インターネット)
- ホームを押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
 - 上下左右カーソルボタンで「機能切換」—「ファミリンク設定」—「連動起動設定」を選ぶ
 - 上下カーソルボタンで「しない」を選び、決定を押す

スマートフォンをケーブルでつなぐ



テレビのリモコンでスマートフォンを動作させない場合は

(インターネット)

1. を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「 (機能切換)」—「ファミリンク設定」—「ファミリンク制御(連動)」を選ぶ
3. 上下カーソルボタンで「しない」を選び、を押す

お知らせ

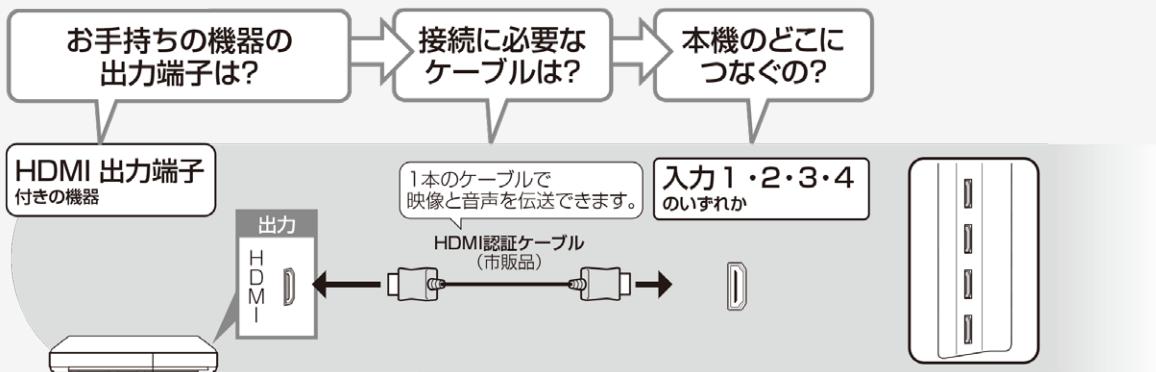
- MHLに対応しているのは入力4のみです。他の端子に接続しても動作・充電しません。
- スマートフォンの操作については、お使いのスマートフォンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- テレビがスタンバイ状態でコンセントを抜き差ししたときは、テレビの電源を入れるまでの間、MHL接続による連動起動は動作しません。
- 本製品は、MHL1をサポートしています。
- テレビの起動直後は、MHL接続による自動入力切換は動作しません。
- スマートフォンのバッテリー残量がない場合は充電できないことがあります。
- 「連動起動設定」(⇒ 9-39ページ)を「しない」に設定していく、テレビがスタンバイ状態のときにMHL接続した場合は、スマートフォンが充電されないことがあります。

HDMI端子で接続するには

- お手持ちの録画・再生機器の出力端子を確認し、高精細・高画質に対応した出力端子とつなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。

お知らせ

- 映像の種類と画質について⇒ [9-46・12-9ページ](#)
- 高精細・高画質に対応した端子でも、標準画質で入力された映像は標準画質になります。
- 接続については、⇒ [9-45ページ](#)をご覧ください。
- ファミリンク対応レコーダーと接続したときは、本機のリモコンでレコーダーを操作できます。
⇒ [9-1ページ](#)



D映像端子で接続するには

D映像出力端子
付きの機器

- 本機は以下のD端子に対応しています。
D5:高精細
D4:高精細
D3:高精細
D2:高画質
D1:標準



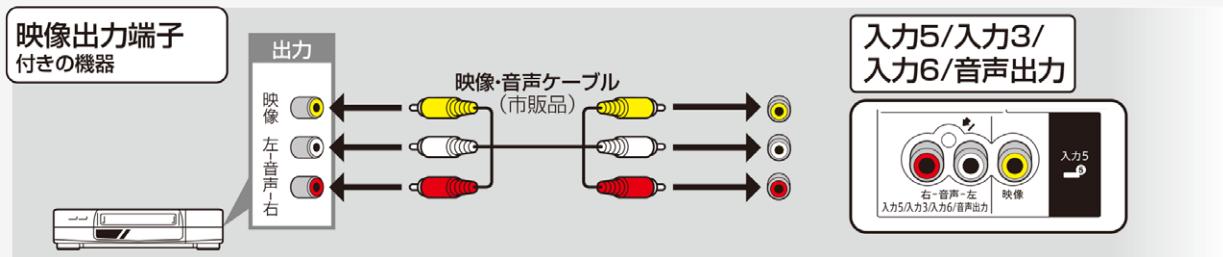
コンポーネント出力端子付きの機器の場合はD-コンポーネント変換ケーブルでつなぎます。

D端子ケーブル
(市販品)音声ケーブル
(市販品)入力5/入力3/
入力6/音声出力

お知らせ

- D端子識別(⇒4-63ページ)を設定してください。

映像端子で接続するには



お知らせ

- 映像・音声ケーブルは先端部と同じ色の端子(黄と黄、白と白、赤と赤)につなぎます。

よりきれいな映像を楽しむためには

接続するときに気をつけること

- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。
しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

レコーダーやプレーヤー側の接続端子について

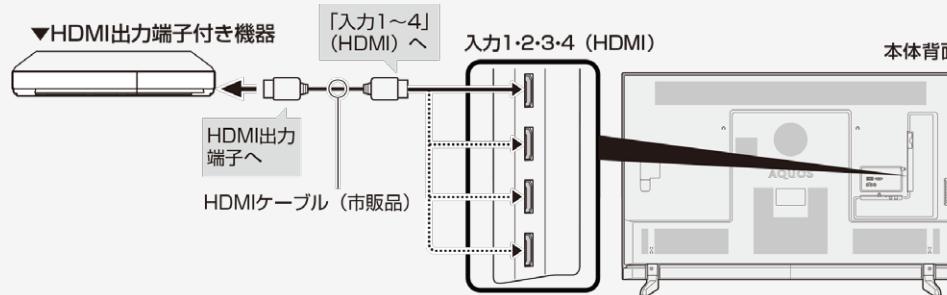
- 詳しくは、レコーダーやプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。

レコーダーをお持ちの場合

- プレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。レコーダーを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

HDMI出力端子が付いた機器の場合

- HDMI端子は、映像と音声の信号を1本のHDMI認証ケーブル(市販品)でつなぐことができる端子です。
- 本機のHDMI入力端子は1080pの信号入力に対応しています。1080pの映像信号を入力するときは、HIGH SPEED(ハイスピード)に対応したHDMIケーブルをお使いください。



必ず市販のHDMI規格認証品(ハイスピードタイプ)をご使用ください。

規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しない、映像にノイズが発生するなど、正常に動作しない場合があります。

HDMI出力端子が付いた機器の場合

対応している映像信号

- 3840×2160(24Hz/25Hz/30Hz/60Hz)※
、1080p(24Hz/30Hz/60Hz)、720p(30Hz/60Hz)、1080i、480p、480i、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA、SXGA+
※3840×2160(60Hz)のとき、入力1は4:2:0フォーマットのみ対応します。

対応している著作権保護信号

- HDCP2.2(入力1)
- HDCP1.4(入力2～4)

対応している音声信号

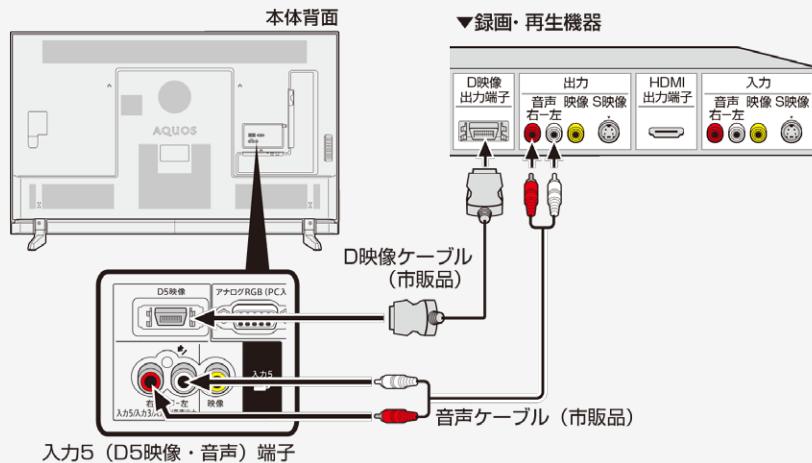
- 種類:リニアPCM(2ch)、AAC※、ドルビーデジタル
サンプリング周波数:48kHz／44.1kHz／32kHz

※デジタル放送は、限られた電波を有効利用するため、映像や音声などを圧縮してから送信されます。
AACはデジタル放送で利用されている音声圧縮方式で、圧縮率が高いにもかかわらず、高音質で多チャンネル音声(5.1チャンネルサラウンドなど)にも対応できる方式です。

お知らせ

- ファミリンクに対応していない機器をつないだとき、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが切り換わってしまう場合は、「ファミリンク制御(連動)」を「しない」に設定してください。
(⇒[9-15ページ](#))

D映像出力端子が付いた機器の場合



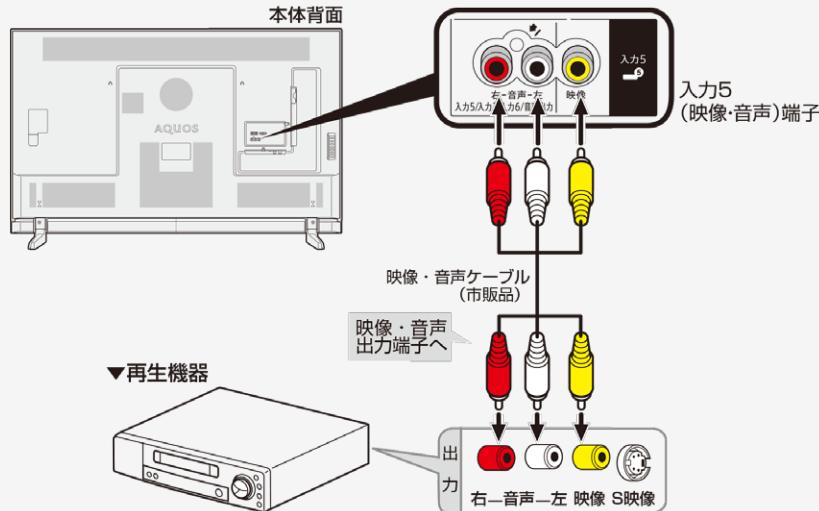
- 録画・再生機器にHDMI端子もD映像端子もない場合は、映像端子につなぎます。
[9-48ページ](#)をご覧ください。

ファミリンクや他機器

レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ

映像出力端子が付いた機器の場合(再生するときの接続)

- 接続が終わるまで、本機と録画機器の電源を入れないでください。



レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ



BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える

- テレビ放送の画面からHDMI入力の画面に切り換えると、BDやDVD、ゲーム機などの映像が見られるようになります。

下線部の手順はBDレコーダーなどの外部機器の操作です。

1. BDレコーダーなどを本機に接続し、電源ボタンを押して電源を入れる
2. 再生したいディスクなどをセットする
3. □を押し、入力切換メニューを表示する
 - 表示中に⇒[9-50](#)ページの操作を行います。

レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ



BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える
下線部の手順はBDレコーダーなどの外部機器の操作です。

入力切換

4. を繰り返し押し、機器を接続した入力名を選ぶ
 - 上下カーソルボタンでも選択できます。

(例) 本機の入力1に接続した機器の映像を見るときは、「入力1」を選ぶ



選べる入力について

- 入力5は、ビデオ機器が接続されているときのみ選択できます。

5. BDレコーダーなどを再生する

- 再生映像が表示されます。
- 外部機器によっては、映像を出力するために設定が必要になる場合もあります。設定のしかたについては、接続したBDレコーダーなどの取扱説明書をご覧ください。

BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える

お知らせ

本体の入力／放送ボタンでも入力を切り換えられます。

- ボタンを押すたびに次の順で切り換わります。(放送の種類も切り換えられます。)



※機器を接続していないときは、切り換えられません。

- 本体のボタンで入力を切り換えたときは、入力切換メニューは表示されません。



BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える

入力5の映像が表示されないときは

- 入力5の映像が表示されない場合、以下の操作を行ってください。

入力切換

- を押して、上下カーソルボタンで「入力5」を選び、を押す
- を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、を押す
- 上下左右カーソルボタンで「 (機能切換)」—「外部端子設定」を選び、を押す
- 上下カーソルボタンで「入力選択」を選び、を押す
- 上下カーソルボタンで「D端子」または「ビデオ映像」を選び、を押す
 - 工場出荷時の設定は「自動」です。
 - 「自動」の場合、D端子が映像端子より優先されます。



BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える

入力切換の表示をお好みのなまえに変えるには

- 入力1～6、Miracastに接続している機器に合わせ、入力切換メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。
- 入力切換
1. を押して、上下カーソルボタンで表示を変更したい入力（入力1～6、Miracast）を選び、**決定**を押す
 2. **ホーム**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
 3. 上下左右カーソルボタンで「**機能切換**」—「外部端子設定」を選ぶ
 4. 上下カーソルボタンで「入力表示」を選び、表示させたい名称を選ぶ
 - お好みで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選んで決定します。（文字を入力する⇒[4-80ページ](#)）

レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ



BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える

使用していない入力をスキップするには

- 入力1～4、入力6、コンテンツマネージャー、Miracast、テレビーナ、地上D、BS、CSを使用しないときは、入力切換の際に飛ばすことができます。
1. **(ホーム)**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
 2. 上下左右カーソルボタンで「**機能切換**」—「外部端子設定」を選び
 3. 上下カーソルボタンで「入力スキップ」を選び、**決定**を押す
 4. 上下カーソルボタンでスキップしたい入力を選び、「する」に設定する
 - 入力スキップを解除する場合は、「しない」を選んでください。

ファミリンクや他機器

レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ

BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える

ゲーム機をつないで使うときは

- テレビゲームを楽しむときは、画面の明るさを抑えて目にやさしい映像にし、ゲームに最適なAVポジションの「ゲーム」(\Rightarrow [4-25ページ](#))にすることをおすすめします。
- ゲームのキーの操作に対して画面の反応が遅く感じられる場合やカラオケの音声が遅れて感じられる場合は、AVポジションを「ゲーム」に変更してください。

お知らせ

- 光線銃などを使って画面を標的にするようなゲームは使用できません。

レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ



BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える

ゲーム機をつないで使うときは

ゲームのプレイ時間を30分ごとに表示する(ゲーム時間表示設定)

- ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、経過時間を知らせてくれる機能です。
- （インターネット）
[ホーム]を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンと [決定] で「設定」—「安心・省エネ」—「ゲーム時間表示設定」を選んで設定します。(入力1~6を選んでいるときに表示されます。)

項目	内容
する	<ul style="list-style-type: none"> 外部入力でゲームモードに設定されているときに、ゲームを始めてから30分経過するたびに画面左下にメッセージが表示されます。
しない	<ul style="list-style-type: none"> 何も表示しません。

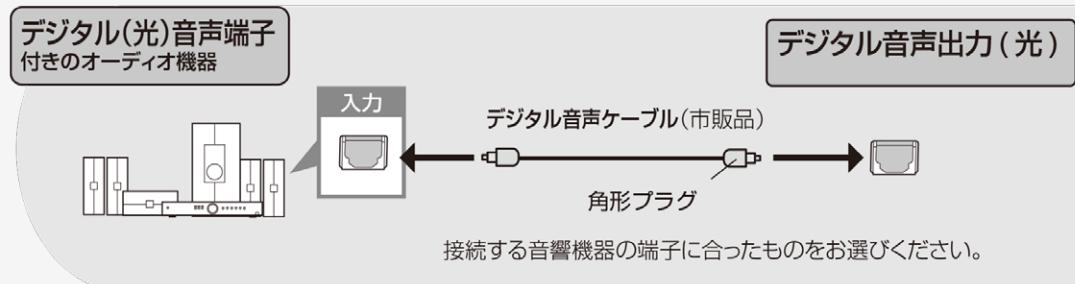
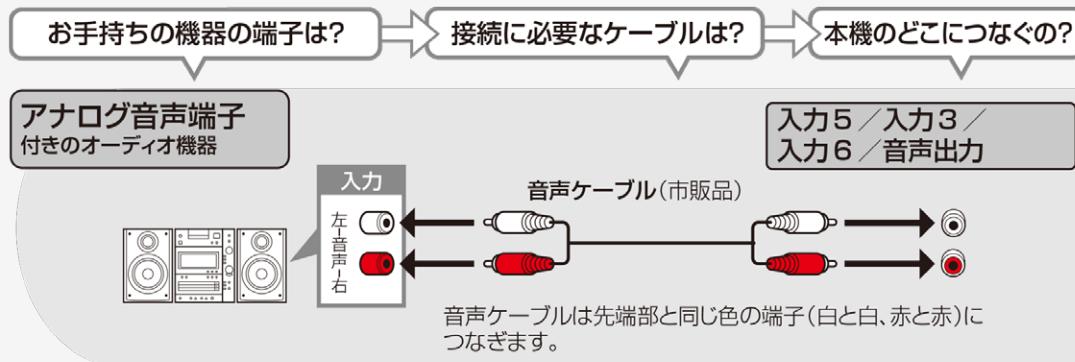
◆重要◆

- 経過時間を表示させたいときは、ゲームを始める前に、ゲーム機をつないだ入力のAVポジション(⇒ [4-25](#) ページ)を「ゲーム」にしてください。
- 外部入力視聴時のみ有効です。

ファミリンクや他機器

オーディオ機器をつなぐ

- 音響機器をつないで、迫力ある音声で楽しむこともできます。

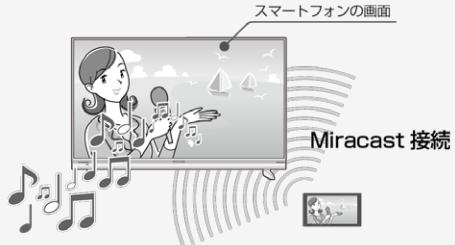


スマートフォンなどをMiracastでつなぐ



スマートフォンの画面を表示する(Miracast)

- スマートフォンと本機を無線(Miracast)で接続し、スマートフォンの画面を表示します。



- 本機の機器名を「テレビ名設定」で変更する
「携帯端末などに表示される本機の機器名を変更する」
⇒[9-67ページ](#)
- を押して、上下カーソルボタンで「Miracast」を選び、を押す
- スマートフォンのMiracast(ワイヤレス出力)機能を有効にする
 - スマートフォンの操作については、お使いのスマートフォンに付属の取扱説明書をご覧ください。
 - テレビに接続確認画面が表示された場合は、手順1で変更した機器名を確認し、「接続する」を選びます。
 - Miracastで接続されれば、スマートフォンの画面が本機の画面に表示されます。

スマートフォンなどをMiracastでつなぐ



スマートフォンの画面を表示する(Miracast)

- 機器名に全角文字を使用した場合、全角文字以降の文字はスマートフォンに表示されません。全角文字のみで設定している場合は、スマートフォンには工場出荷状態の名前で表示されます。
- スマートフォンによっては本機にMiracast接続情報が保存されます。Miracast接続情報が保存されている場合は、⇒[9-58](#)ページの手順2の操作だけでMiracast接続できます。Miracast接続情報は、ホーム画面の「設定」→「 (視聴準備)」→「通信(インターネット)設定」→「Miracast設定」→「接続機器一覧」で確認できます。情報を削除することもできます。
- Miracast接続情報が保存されていても、無線LANを使用して次の機能を利用している場合、スマートフォンの操作だけでは接続できません。テレビをMiracast入力に切り換えてください。
 - ・ アクトビラなどのインターネット
 - ・ ホームネットワーク
 - ・ 録画した番組のダビング
 - ・ IPTV録画の実行
 - ・ VOD再生中

スマートフォンなどをMiracastでつなぐ



スマートフォンの画面を表示する(Miracast)

Miracast入力中は…

- Bluetooth接続できません。
- 「LAN設定」-「手動設定」の「接続タイプ切換」および「無線設定」ができません。
- 「IPTV設定」ができません。
- 本機のサーバー機能による写真や録画番組の配信が停止します。
- テレビ放送や外部入力と同時に2画面表示することはできません。

PINコード方式で接続するときは

- Miracastの接続方式は、ホーム画面の「設定」-「 (視聴準備)」-「通信(インターネット)設定」-「Miracast設定」-「接続方式設定」で設定できます。 「PINコード方式」を選び、⇒[9-58](#)ページの手順1から操作してください。

スマートフォンなどをMiracastでつなぐ



スマートフォンの画面を表示する(Miracast)

Miracastで使用する無線チャンネルを変更するには

- Miracastで接続することにより、他の無線機器に影響を与える場合は無線チャンネルを変更してください。無線チャンネルは、ホーム画面の「設定」→「(視聴準備)」→「通信(インターネット)設定」→「Miracast設定」→「無線チャンネル設定」で変更できます。

スマートフォンなどをBluetoothでつなぐ



スマートフォンなどで再生する音楽を本機で聴く

- スマートフォンやオーディオプレーヤーをBluetoothで接続し、本機のスピーカーで聴くことができます。

本機とスマートフォンなどの準備

- スマートフォンなどと本機をペアリングします。
- 一度ペアリングした機器は、次からペアリングする必要はありません。

1. **ホーム**を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「9-62

スマートフォンなどで再生する音楽を本機で聴く

- 登録の操作はお使いのBluetooth機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機の機器名は「テレビ名設定」で変更できます。
(携帯端末などに表示される本機の機器名を変更する⇒[9-67ページ](#))
Bluetooth接続中に変更した場合は、次に接続の操作をするまで機器名は変わらない場合があります。
- パスキーが必要な場合は「0000」(ゼロ4つ)と入力してください。一部の機器では、接続を確認するメッセージが表示されます。

お知らせ

- 本機では、ペアリング情報を8台まで記録します。
- Bluetooth機器によっては本機のペアリング情報を消去しても接続できることがあります。

スマートフォンなどで再生する音楽を本機で聴く

操作のしかた

1. スマートフォンの操作で接続を行う

- 接続の操作はお使いのスマートフォンに付属の取扱説明書をご覧ください。

2. スマートフォンで音楽を再生する

- 本機のスピーカーから音楽が聴こえます。
- 本機の電源を切る、または、録画予約の開始時間が近づくとBluetooth接続は解除されます。

スマートフォンなどをBluetoothでつなぐ



スマートフォンなどで再生する音楽を本機で聴く

一時的にテレビの音声に戻したいときは

- を押し「Bluetooth ⇄ テレビ音声切換」—「テレビ音声」を選びます。

Bluetooth接続中は…

- 無線LAN接続およびMiracast接続はできません。
- 設定メニューの「」(視聴準備) — 「各種設定」 — 「クリック起動設定」が「する(常に有効)」になっていれば、本機が待機状態でも、本機のスピーカーで音楽を聴くことができます。(無線LAN使用時を除きます)

スマートフォンなどで再生する音楽を本機で聴く

待機状態でBluetooth機器を接続したときは

- 本機の電源が入り、映像が表示されます。しばらくすると映像オフ状態に移行します。
- 音量(+/−)と消音の操作ができます。
- Bluetooth接続を解除すると、本機の電源が入り、映像が表示されます。
しばらくすると待機状態に移行します。

次の場合、Bluetooth接続できません

- 2画面表示中
- Miracast入力中

Bluetooth接続中に、無線LAN設定を表示すると下記の接続は解除されます

- アクトビラなどのインターネット
- ホームネットワーク
- IPTV／IPTV録画
- ハイブリッドキャスト
- 録画番組のダビング

Bluetooth接続中は

- 無線LANが一時的に使用できません。
- 無線LAN使用時にテレビの電源を入れてからしばらくの間、Bluetooth接続およびBluetooth設定ができません。



携帯端末などに表示される本機の機器名を変更する

- スマートフォンなど携帯端末と接続するときに表示される本機の機器名を変更できます。

(インターネット)

- を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
- 上下左右カーソルボタンで「」、「通信(インターネット)設定」、「」を選び、**決定**を押す
- 機器名欄を選び**決定**を押す
・ソフトウェアキーボードが表示されます。
- 機器名を入力する
- 「完了」を選び**決定**を押す

お知らせ

- Miracast接続中や待ち受け中、Bluetooth接続中に変更した場合は、次に接続の操作をするまで機器名は変わりません。
- 機器名に全角文字やスペースを使用した場合、スマートフォンの機種によっては全角文字やスペース以降の文字が表示されない場合があります。この場合は、全角文字やスペース以外の文字(“_”等)を使用してください。
- 機器名に特殊文字を使用した場合、スマートフォンの機種によっては特殊文字が表示されない場合があります。
- Miracast接続では、機器名に全角文字を使用した場合、全角文字以降の文字はスマートフォンに表示されません。全角文字のみで設定している場合は、スマートフォンには工場出荷状態の名前で表示されます。

パソコンのモニターとして使う

- 本機にパソコンをつなぐ場合は、パソコン(PC)の出力解像度を確認してください。パソコンが以下の解像度に対応していない場合は、本機でパソコンの画面を表示できません。
- 接続方法は、⇒[9-72～9-74](#)ページを確認してください。

本機が対応している解像度

解像度(画素)		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格
VGA	720×400	31.5	70	
		31.5	60	○
	640×480	37.9	72	○
		37.5	75	○
SVGA	800×600	35.1	56	○
		37.9	60	○
		48.1	72	○
		46.9	75	○
XGA	1024×768	48.4	60	○
		56.5	70	○
		60.0	75	○

解像度(画素)		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格
WXGA	1280×800	49.7	60	○
	1366×768	47.7	60	○
SXGA	1280×1024	64.0	60	○
SXGA+	1400×1050	65.3	60	○
480p	720×480	31.5	60	
※	1080i	1920×1080	33.8	60
720p	1280×720	45.0	60	
1080p	1920×1080	67.5	60	
※	4K	3840×2160	53.95	24
			56.25	25
			67.5	30
			135.0	60

※HDMI入力時のみ

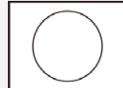
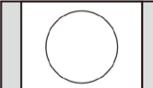
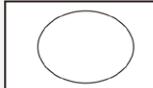
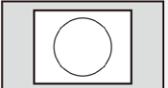
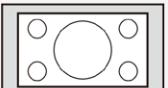
パソコンのモニターとして使う

お知らせ

- 接続するパソコンによっては、本機で対応している信号であっても正しく表示できなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときは、「この入力信号には対応しておりません。」と表示されます。その場合、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧になり、本機で対応している信号に設定してください。
- PC入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、
⇒[9-70](#)ページをご覧ください。
- 特定の入力信号時、特定の条件下で画面の文字などににじみが出ることがあります。
- 4K解像度(3840×2160画素)では、分割駆動エンジンを設定すると映像を正しく表示できないことがあります。その場合は、パソコンから出力する解像度を変更するか、分割駆動エンジン設定を「しない」にしてください。

パソコンのモニターとして使う

本機で選べる画面サイズ（パソコンからの入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。）

入力信号	ノーマル	シネマ	フル	Dot by Dot
16:9よりも 縦長の映像 	 ⇒ 入力信号の縦横比を くずさずに、図のよう に映します。	 入力信号の縦横比をくずさ ずに、画面の左右いっぶいま で拡大して映します。映像 の上下が切れます。	 画面いっぶいに映 します。	 入力信号の解像度ど おりのパネル画素数で 映します。
16:9映像 	⇒ —	—	 画面いっぶいに映 します。	 入力信号の解像度ど おりのパネル画素数で 映します。



パソコンのモニターとして使う

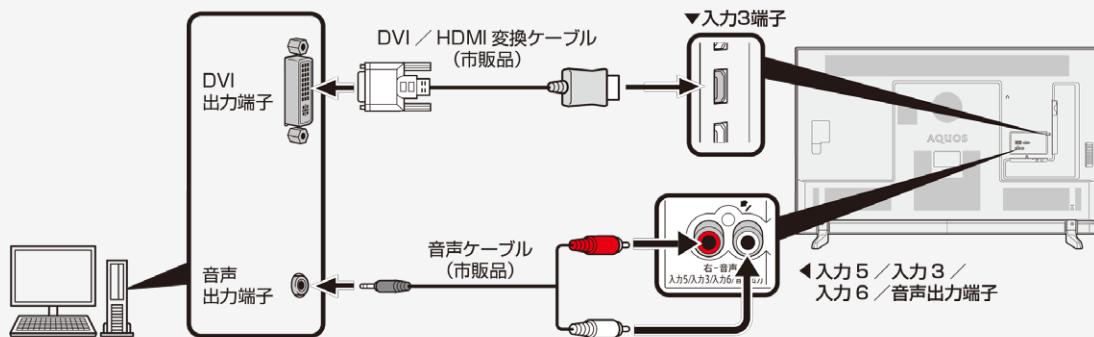
パソコンの画面を表示させる／画面サイズを選ぶ

1. パソコン(PC)の電源を入れる
入力切換
2. を押して、入力切換メニューを表示し、上下カーソルボタンでパソコンを接続した入力を選び、 を押す
 - ・パソコンの画面が表示されます。
3. を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、 を押す
4. 上下左右カーソルボタンで「 (機能切換)」—「視聴操作」を選び、 を押す
5. 「画面サイズ」を選んで を押す
6. 画面サイズ切換メニューから、お好みの画面サイズを選ぶ
 - ・画面の調整が必要なときは、下記をご覧ください。

入力1～4に接続したパソコンの画面を調整する

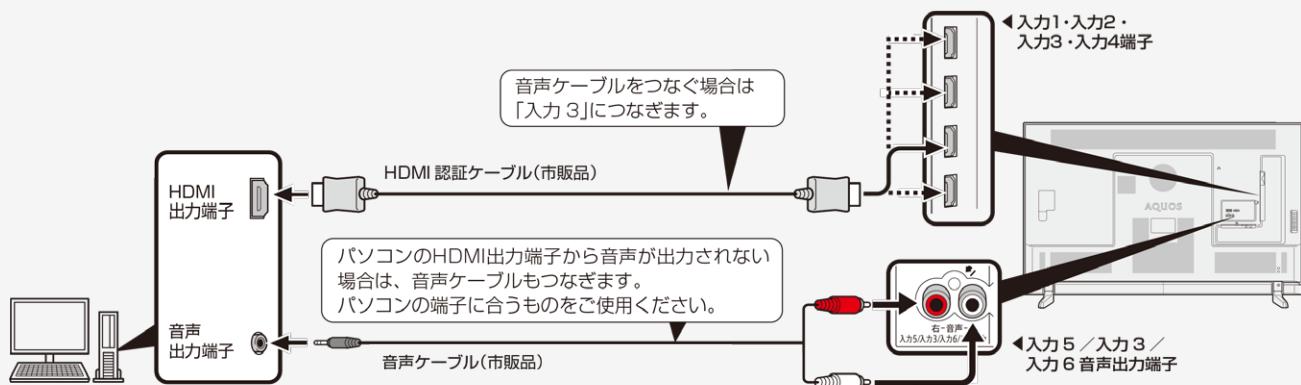
- を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンと で「設定」—「 (機能切換)」—「画面表示設定」—「画面位置」で設定します。
(⇒[4-62ページ](#))

本機をDVI出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）



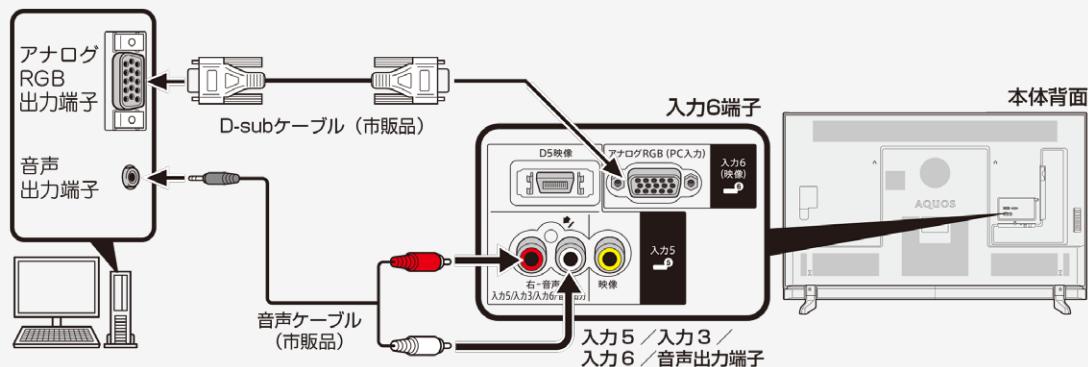
- 市販のDVI/HDMI変換ケーブルと音声ケーブルが必要です。
- 音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。
- 本機のHDMI端子とパソコンのDVI端子を変換ケーブルで接続しても、パソコンによってはHDMI規格に対し十分サポートされていないものもあり、パソコンの画面が正しく表示されなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときには「この入力信号には対応しておりません」と表示されます。その場合はお使いのパソコンの取扱説明書にもとづき本機で対応している信号に設定してください。
- 入力3に切り換えたあと、ホーム画面から「設定」→「(機能切換)」→「外部端子設定」→「入力3音声選択」を選び、「アナログ音声入力」に設定してください。
設定できない場合は、ホーム画面から「設定」→「(機能切換)」→「外部端子設定」→「入力/音声出力切換」を選び、「入力」に変更してから再度設定してください。

本機をHDMI出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合(デジタル接続)



- 市販のHDMI認証ケーブルが必要です。
- 入力3に切り換えたあと、「設定」→「(機能切換)」→「外部端子設定」→「入力3音声選択」を選び、「アナログ音声入力」に設定してください。
設定できない場合は、「設定」→「(機能切換)」→「外部端子設定」→「入力/音声出力切換」を選び、「入力」に変更してから再度設定してください。

本機をアナログRGB出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合(アナログ接続)



- 市販のD-subケーブルと音声ケーブルが必要です。
- 音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。
- 入力6に切り換えたあと、ホーム画面から「設定」-「 (機能切換)」-「外部端子設定」-「入力6音声選択」を選び、「アナログ音声入力」に設定してください。
設定できない場合は、ホーム画面から「設定」-「 (機能切換)」-「外部端子設定」-「入力/音声出力切換」を選び、「入力」に変更してから再度設定してください。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

- デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。
初めて設置するときや引っ越ししたときなどは、「かんたん初期設定」(⇒同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」)を行ってください。
- 地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ(受信強度)を確認する

- アンテナに電源を供給するかどうかの設定と、受信強度の確認・調整をします。

◆ 重要 ◆

- アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。もし、本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送用アンテナの設定をする

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ(受信強度)を確認する

1. **BS** を押してBSデジタル放送を選ぶ
 - 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定できます。
 - 「チャイルドロック」(⇒ [4-45ページ](#))をかけているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。
2. **ホーム** を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定** を押す
3. 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「テレビ放送設定」を選び、**決定** を押す
4. 「アンテナ設定」を選び、**決定** を押す
5. 「電源・受信強度表示」を選び、**決定** を押す

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送用アンテナの設定をする

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ(受信強度)を確認する

◆アンテナに電源を供給するための設定

6. 上下左右カーソルボタンで「オート」「入」「切」のいずれかを選ぶ

アンテナ電源の設定

項目	内容
オート	<ul style="list-style-type: none"> 個人でアンテナを設置している場合に選びます。 本機の電源が入っているとき、アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。(リモコンで電源を切ったときは、アンテナ電源も切れた状態になります。)
入	<ul style="list-style-type: none"> 「オート」を選んでBSデジタル放送が受信できたりできなかったりするときは、「入」を選びます。 本機の電源が入っているとき、アンテナに電源を供給します。リモコンで本機の電源を切ったときも、常にアンテナ電源は「入」になります。
切	<ul style="list-style-type: none"> 共聴アンテナに接続しているときなど、電源を供給しないときに選びます。 アンテナ電源が常に「切」になります。

◆受信強度の調整

7. 受信強度が最大になるように、アンテナの向きを調整する

- 受信強度が60以上になるように、アンテナの向きを調整してください。(アンテナの向きの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。)



デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ(受信強度)を確認する

8. 調整が終わったら **決定** を押す

・操作を終了する場合は、**戻る** を押します。

お知らせ

- 10-3ページの手順7で「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、⇒ 11-42ページをご覧になり適切な処置を行ってください。
- 10-3ページの手順6または手順7の画面で、「受信状態一覧へ」を選び **決定** を押すと受信状態一覧画面が表示されます。
(⇒ 11-7ページ)
- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な受信強度などを示すものではありません。(表示される数値は、受信C/N※の換算値です。)

※受信C/Nとは放送に関する信号とノイズなどの不要な信号の割合です。

アンテナ設定画面について

- 共聴アンテナなどに接続したときの「BS・CSアンテナ電源」の設定を誤って「入」にしたり、新しくアンテナの接続を変更したりした場合で、「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を切り」にしました。受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナの接続を確認してください。」などのお知らせが表示されたときは、電源を入れ直してください。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送用アンテナの設定をする

デジタル放送の受信強度の確認(信号テスト)をするときは

- 各デジタル放送の信号テストができます。
(例) BSデジタル放送の信号テストをする
- 10-2ページの手順1~4を行い、「信号テストーBS」を選び、**決定**を押す
 - カーソルボタンで確認したい項目を選び、**決定**を押す
 - 「受信状態: 良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。
 - 「受信状態: 良好です。【A】」と表示されないときは、アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ
(⇒11-42ページ)をご覧になり、適切な処置を行ってください。
 - カーソルボタンで「終了」を選び、**決定**を押す
 - 操作を終了する場合は、**ホーム**を押します。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送用アンテナの設定をする

デジタル放送の受信強度の確認(信号テスト)をするときは

お知らせ

地上デジタル放送・110度CSデジタル放送の受信強度の確認(信号テスト)について

- ⇒ [10-5](#)ページの手順1で「信号テストー地上D」または「信号テストーCS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

周波数設定について

- ⇒ [10-5](#)ページの手順1で「周波数設定」を選ぶと、新しい衛星が追加されたり現在の衛星が故障したりした場合などに、新しい周波数を入力することで受信に必要な情報を取得できます。
通常は、設定する必要はありません。(例: BS15のアンテナ受信周波数11996を入力すると15chの受信強度が表示されます。)

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

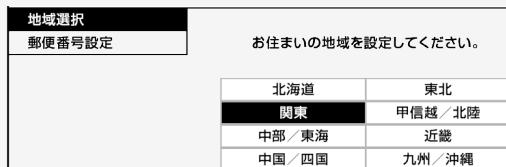


お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために(地域選択／郵便番号設定)

- 地上デジタル放送の地域情報(緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報)をお住まいの地域に合わせる設定です。

地域選択

- 【ホーム】を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
- 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「テレビ放送設定」を選び、**決定**を押す
- 「地域設定」を選び、**決定**を押す
- 「地域選択」を選び、**決定**を押す
- お住まいの地域を選び、**決定**を押す



- 地域選択を変更した場合は、あとで「チャンネル設定」から「地上デジタル自動」を行ってください。(⇒[10-9ページ](#))

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために(地域選択／郵便番号設定)

郵便番号設定

1. を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「テレビ放送設定」を選び、を押す
3. 「地域設定」を選び、を押す
4. 「郵便番号設定」を選び、を押す
5. 数字ボタン(チャンネルボタン)で郵便番号を入力し、を押す



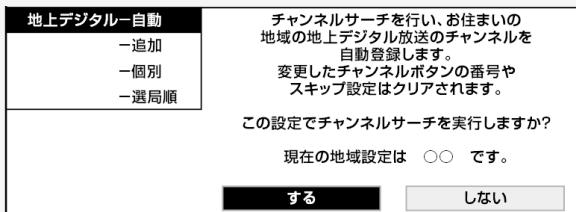
- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタン(チャンネルボタン)で数字を選び直します。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。チャンネル設定の前に、必ず「地域設定」(⇒[10-7～10-8ページ](#))をしてください。
- 地上デジタル放送を選局する
 - 【ホーム】を押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、**決定**を押す
 - 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」—「テレビ放送設定」を選び、**決定**を押す
 - 「チャンネル設定」—「地上デジタル」を選び、**決定**を押す
 - 「地上デジタルー自動」を選び、「する」に設定する



デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

◆ 重要 ◆

「地上デジタル一自動」を行った後で、新しく放送が開始されたチャンネルを追加するときは

- 「地上デジタル一自動」の代わりに「地上デジタル一追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

お知らせ

地上デジタル放送のCATV(ケーブルテレビ)放送対応について

- CATVによる地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されているCATV会社にお問い合わせください。
- 本機で受信できるケーブルテレビ(CATV)の方式は、「パススルー方式」(UHF帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF帯)です。
- CATVパススルー方式とは、CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままCATV網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することができます。



デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送のチャンネルの個別設定

- 登録したデジタル放送のチャンネルは、次の設定内容を変更できます。

項目	内容
数字ボタン	リモコンの数字ボタン(チャンネルボタン)を押したときに受信するチャンネルを設定します。
枝番	受信した放送局の3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め(枝番)を変更して区別できます。(地上デジタル放送のみ)
スキップ	選局(△順／▽逆)ボタンで選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。

- 地上 BS CS のいずれかを押し、デジタル放送を選ぶ
 - 「チャイルドロック」(⇒ [4-45](#)ページ)をかけているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。
- ホームを押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
- 上下左右カーソルボタンで「(視聴準備)」—「テレビ放送設定」を選び、決定を押す
- 「チャンネル設定」を選び、決定を押す
- 「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選び、決定を押す
 - 「BSデジタル」または「CSデジタル」を選んだ場合は、手順7に進みます。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送のチャンネルの個別設定

6. 「地上デジタル一個別」を選び、**決定**を押す
 7. ①上下カーソルボタンで変更したいチャンネルを選び、**決定**を押す
②左右カーソルボタンで「数字ボタン」を選び、**決定**を押す
 - ・ 枝番を入力する場合は、「枝番」を選び、**1**～**9**を押します。
 - ・ チャンネルをスキップする場合は、「スキップ」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選びます。このメニューで行ったスキップ設定は、⇒[10-14](#)ページのチャンネルスキップ設定と連動します。
 8. 数字ボタンで入力欄に数字を入力して、決定する
 - ・ 数字ボタンが重複している場合は、「数字ボタンが重複しています。置き換えますか？」と表示されます。(枝番の場合は「枝番が重複しています。置き換えますか？」と表示されます。)
- 数字ボタンを置き換える場合
- 手順9に進みます。
- 置き換えずに別の数字にする場合
- 画面の「戻る」を選び、別の数字を入力して決定ボタンを押してください。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送のチャンネルの個別設定

9. 「確認」を選び、**決定**を押す

- 操作を終了する場合は、**ホーム**を押します。

お知らせ

地上デジタル放送の受信チャンネル番号と枝番について

- 地上デジタル放送では、1~12の数字ボタン(チャンネルボタン)の番号のほかに、3桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3桁のチャンネル番号は、放送地域内(都府県、北海道は7地域)ではそれぞれ別番号になっています。従って、通常は3桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3桁チャンネル番号が重複することがあります。このときは、さらにもう1桁(これを「枝番」といいます)を入力して選局することになります。



デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送のチャンネルの個別設定

チャンネルスキップ設定

- 通常の選局時と番組表を使った選局時の、チャンネルのスキップ設定を次のように変更できます。

両方する	<ul style="list-style-type: none"> 選局時と番組表のどちらもスキップします。 この設定をしたチャンネルは、選局時と番組表のどちらにも表示されなくなります。
番組表のみ	<ul style="list-style-type: none"> 番組表のみ表示されなくなります。 選局時は表示されます。
選局のみ	<ul style="list-style-type: none"> 選局時のみ表示されなくなります。 番組表には表示されます。
両方しない	<ul style="list-style-type: none"> 選局時と番組表のどちらもスキップされません。 この設定をしたチャンネルは、選局時と番組表のどちらにも表示されます。

- 地上 BS CS のいずれかを押して、デジタル放送を選ぶ
- ホームを押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
- 上下左右カーソルボタンで「(視聴準備)」—「テレビ放送設定」を選び、決定を押す
- 上下カーソルボタンで「スキップ設定」を選び、決定を押す

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送のチャンネルの個別設定

チャンネルスキップ設定

5. 上下カーソルボタンで「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選び、**決定**を押す
6. 手順5で「地上デジタル」または「BSデジタル」を選んだ場合は、上下カーソルボタンで「放送事業者」を選び、**決定**を押す
 - 「スキップ設定を一括で行うか個別に行うかを選択してください」と表示されますので、手順7に進みます。
- 手順5で「CSデジタル」を選んだ場合は、スキップ設定したい3桁番号の範囲を選び、**決定**を押す
 - 手順8に進みます。
7. カーソルボタンで「一括設定」または「個別設定」を選び、**決定**を押す
 - 「一括設定」を選んだ場合は、「この放送事業者内の全てのチャンネルを番組一覧表と、選局順逆時にスキップしますか？」と表示されますので、手順9に進みます。
 - 「個別設定」を選んだ場合は、手順8に進みます。
8. 上下カーソルボタンでスキップ設定したいチャンネルを選び、**決定**を押す

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送のチャンネルの個別設定

チャンネルスキップ設定

9. カーソルボタンで「両方する」「番組表のみ」「選局のみ」「両方しない」のいずれかを選び、**決定**を押す

- 操作を終了する場合は、**ホーム**ボタンを押します。

お知らせ

- 地デジ難視対策衛星放送(BS291ch～BS298ch)は一般の方は視聴できないため、工場出荷時の設定は、「両方する」になっています。この放送を視聴する場合は、BSデジタルの「地デジ難視対策衛星放送」を一括設定で「両方しない」に設定してください。

放送の種類について

地上デジタル放送

特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 高音質と多チャンネル放送
- 天気予報やニュースなどの、番組に連動したデータ放送
- 視聴者参加型の双方向通信番組

受信に必要なアンテナ

- UHF対応のアンテナが必要です。お使いのアンテナがUHF対応であればそのまま使えます(取り替えや調整が必要になることもあります)。VHFアンテナでは受信できません。

地上デジタル放送のCATV放送対応について

- 本機で受信できるケーブルテレビ(CATV)の方式は「パススルー方式」(UHF帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF帯)です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。



お知らせ

- ARIB放送規格の変更により、本機のホーム画面などの仕様が変わる場合があります。
- ARIB(Association of Radio Industries and Businesses)とは、通信・放送分野の電波利用システムの標準化や、電波利用に関する調査、研究などを行う社団法人の名称です。

放送の種類について



BS・110度CS共用アンテナ

BSデジタル放送も110度CSデジタル放送も、このアンテナで受信できます。

(他の衛星放送は、衛星の向きが違うため受信できません。)



BSデジタル放送

- 放送衛星(Broadcasting Satellite)を使ったデジタル放送です。
- 地デジ難視対策衛星放送(BS291ch～BS298ch)は一般の方は視聴できない放送のため、非視聴に設定されています。この放送を視聴される場合は、スキップ設定を「両方しない」に設定してください。
(スキップ設定⇒[10-14ページ](#))
- 有料放送を視聴するときは、受信契約する必要があります。

特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 視聴者参加型の双方向通信番組
- 2種類のデータ放送(独立データ放送・番組に連動したデータ放送)

受信に必要なアンテナ

- BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。

放送の種類について

110度CSデジタル放送

- BSデジタル放送用人工衛星と同じ東経110度にある通信衛星(Communication Satellite)を使ったデジタル放送です。おもなサービスに「スカパー！」があります。110度CSデジタル放送は一部を除き有料です。受信するには、見たいチャンネルを視聴契約する必要があります。

特長

- テーマ別に専門化した多数のチャンネル
- ボード(掲示板)機能でサービス情報の案内を閲覧可能

受信に必要なアンテナ

- BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。
- 従来のCSアンテナやBSアナログ用アンテナでは受信できません。

放送の種類について

◆重要◆

- データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

デジタル放送のその他の特長

臨時放送(臨時編成サービス)

- スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り替えます。

イベントリレーサービス

- スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り替えます。延長された番組を録画予約していた場合、自動的に追従します。

※ファミリンク録画予約(⇒ [9-24](#)～[9-28](#)ページ)の場合、お使いのAQUOSレコーダーによっては追従されません。

マルチビューサービス

- 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大3つの映像が放送されるサービスです。ツールメニューを表示して、「映像切換」を選んで切り替えます。

緊急警報放送

- 地震などの際の緊急警報放送です。

放送の種類について

デジタル放送のその他の特長

ご案内チャンネルの表示

- 非契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

放送の種類について

BSデジタル放送のみの専用サービス

降雨対応放送

- 降雨・降雪による電波減衰時に画質や音質を落とした信号を放送するサービスです。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り替えます。ツールメニューを表示して、「映像切換」を選ぶと元の映像に戻れます。

ツールメニューから

「映像切換」を選び、

決定 を押す

決定 を押す

受信状態が悪くなっています[E201]
この番組は降雨対応画面に切り替える
ことができます。

見る

降雨対応画面

通常画面

放送の種類について

110度CSデジタル放送のみの専用サービス

ボード(掲示板)

- プラットフォーム(スカパー!)単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード(掲示板)に表示されます。ホーム画面からボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。
(⇒[4-65ページ](#))

(画面例)



放送の種類について

WOWOWやスカパー！などの有料放送を見るときは

- 有料放送を視聴するには、スカパー！などの各プラットフォーム（運営会社）や放送局との視聴契約が必要です。それぞれの契約申込書に必要事項を記入し、郵送するか、カスタマーセンターにお問い合わせください。
2014年10月現在

WOWOW

WOWOWカスタマーセンター

電話番号	0120-580-807	
受付	9:00～20:00(年中無休)	
ホームページ	http://www.wowow.co.jp/ (スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)	

スターチャンネル

スターチャンネル カスタマーセンター

電話番号	0570-013-111(ナビダイヤル) または045-650-4724	
受付	10:00～18:00(年中無休)	
ホームページ	http://www.star-ch.jp/ (スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)	

- スターチャンネルの加入申し込みは、⇒ [10-25](#)ページのスカパー！カスタマーセンターへお問い合わせください。

放送の種類について

WOWOWやスカパー！などの有料放送を見るときは

スカパー！

スカパー！カスタマーセンター（総合窓口）

電話番号	0570-039-888（ナビダイヤル）
受付時間	10:00～20:00（年中無休）
ホームページ	http://www.skypertfectv.co.jp/ (スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)



お知らせ

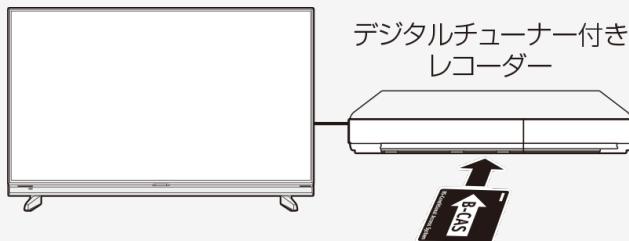
- 本機には、電話回線端子がありませんので、電話回線を使用した新規加入のお申し込みはできません。

放送の種類について

WOWOWやスカパー！などの有料放送を見るときは

デジタルチューナー付きレコーダーで有料放送の受信契約をしている場合について

- お手持ちのデジタルチューナー付きレコーダーで有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録したB-CASカードをレコーダーに挿入しておく必要があります。挿入していないと、有料放送が録画できません。



有料放送で登録したB-CASカードは、
レコーダーに挿入します。

- レコーダーで受信している内容を本機で視聴したいときは、リモコンの入力切換ボタンでレコーダーが接続されている外部入力に切り換えてください。
- 有料放送を録画しながら別の有料放送を視聴したい場合は、複数の有料受信契約をする必要があります。

故障かな？

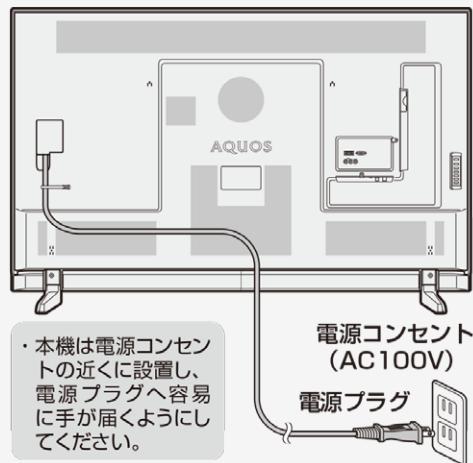
故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
なお、アフターサービスについては「保証とアフターサービス」(⇒14-4ページ)をご覧ください。

まず確認してください

電源が入らない

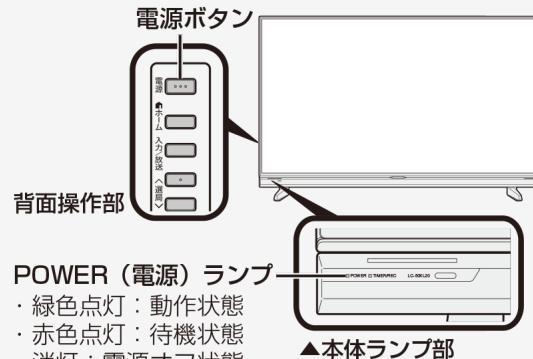
電源コードのプラグを奥まで確実に差し込んでください。
(⇒同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」)



まず確認してください

電源が入らない(つづき)

ランプが点灯していないときは、本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。



POWER (電源) ランプ

- ・緑色点灯：動作状態
- ・赤色点灯：待機状態
- ・消灯：電源オフ状態

- 本機は本体の電源ボタンを押して切ってもPOWER(電源)ランプは消えません。
リモコンで電源が入ります。
- POWER(電源)ランプを消し、リモコンで電源が入らないようにするには、
「電源ボタン設定」で「モード2」に変更してください。
(⇒ [4-19](#) ページ)

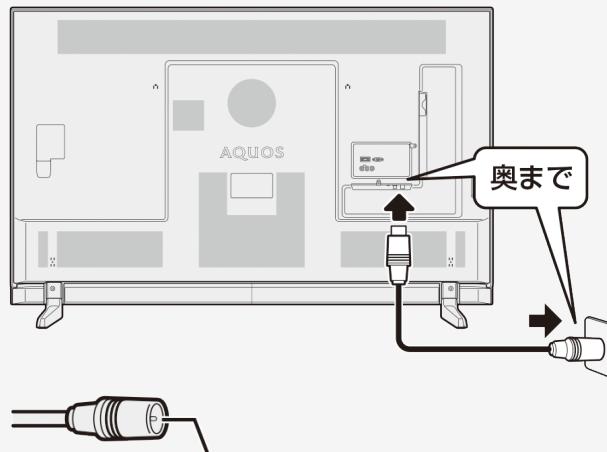
故障かな？

故障かな？と思ったら

まず確認してください

TV放送が見られない

アンテナケーブルの端子を奥まで確実に差し込んでください。
(⇒同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」)



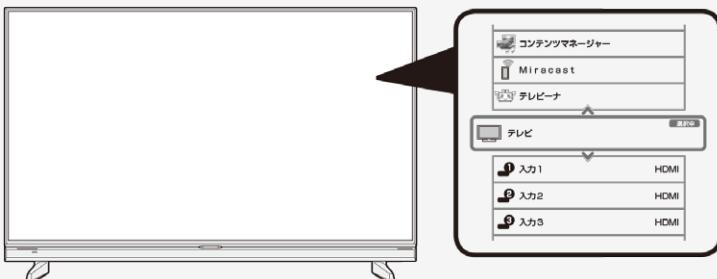
故障かな？と思ったら



まず確認してください

ビデオ・DVDが見られない

リモコンの入力切換ボタンを繰り返し押して、見たい機器の入力を選んでください。





故障かな？と思ったら

放送が受信できないときに確かめること

以下の画面は一例です。
確認のしかたが異なる場合は、画面の指示に従ってください。

1. 画面のメッセージを確認し、**決定**を押す

- 受信状態が悪い場合、次のような画面が表示されます。

BS 103chが受信できません。[E202]
リモコンで放送切換や選局を確認ください。
アンテナの調整・接続を確認ください。

決定で受信強度を確認します

現在放送されていません。[E203]
番組表などで放送時間を確認してください。
雨や雪などの天候の影響で
一時的に受信できない場合もあります。

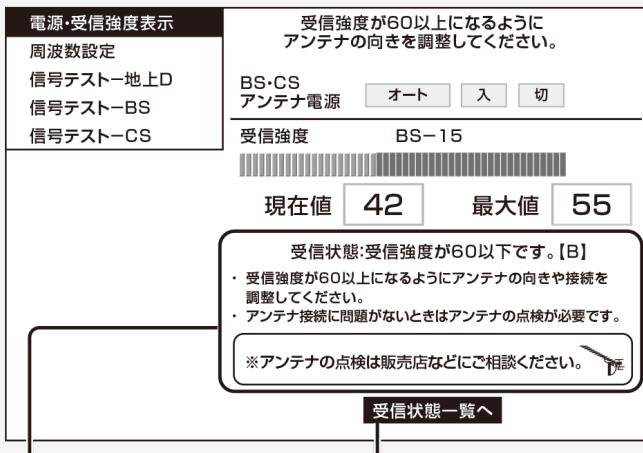
決定で受信強度を確認します

故障かな？と思ったら



放送が受信できないときに確かめること

2. 受信状態に応じた対処のしかたを確認し、上下左右カーソルボタンで「受信状態一覧へ」を選び、**決定**を押す



受信状態に応じた
対処のしかたが
表示されます。

「受信状態一覧へ」を
選んだ状態で**決定**を
押すと受信状態一覧
画面が表示されます。



放送が受信できないときに確かめること

3. デジタル放送の受信強度や受信できるチャンネルなどを確認する

- 直前に視聴していた放送（「地上デジタル」または「BSデジタル」「110度CSデジタル」のいずれか一方）が一覧で表示されます。

現在の受信状態の説明

地上デジタル放送の受信状態一覧											
各チャンネルのアンテナ受信状態の一覧表示です。 （BS）＊を押すと受信強度を再確認することができます。											
【ご了承ください】 一度の表示の受信強度が悪くなっています。 ご観ていても問題ない場合は、アンテナをシールド等で保護する方法を試してみてください。 ・BSデジタル放送の受信強度はBSデジタルの受信強度を表示しています。 ・アンテナケーブルや分配器などはデジタルにおいても受信強度を表示します。											
【ご承認ください】 BS-BSデジタルがBSデジタル-110度CSデジタルに對応している場合、BS-BSデジタルの受信強度を表示します。 （BS）＊を押すと受信強度を再確認することができます。											
（地デジ放送） 放送局名 順位 放送時間 受信強度 地域 制限 地域 制限 地域 制限 地域 制限 NHK総合放送 LXX 01 01 87 64 BS-1 94 BS-2 90 BS-3 94 BS-4 86 BS-5 74 BS-6 67 BS-7 54 BS-8 48 BS-9 44 BS-10 46 NHK教育放送 LXX 02 01 87 65 BS-2 94 BS-3 94 BS-4 86 BS-5 74 BS-6 67 BS-7 54 BS-8 48 BS-9 44 BS-10 46 NHK Eテレ放送 LXX 041 01 90 68 BS-3 94 BS-4 86 BS-5 74 BS-6 67 BS-7 54 BS-8 48 BS-9 44 BS-10 46 TBS放送 LXX 051 01 85 53 BS-4 94 BS-5 86 BS-6 74 BS-7 62 BS-8 54 BS-9 48 BS-10 42 BS-11 46 フジテレビ放送 LXX 061 01 77 35 BS-5 94 BS-6 86 BS-7 74 BS-8 62 BS-9 54 BS-10 48 BS-11 46 テレビ朝日放送 LXX 071 02 80 43 BS-6 94 BS-7 86 BS-8 74 BS-9 62 BS-10 54 BS-11 48 BS-12 31 放送大手 LXX 121 02 80 43 BS-7 94 BS-8 86 BS-9 74 BS-10 62 BS-11 54 BS-12 48 BS-13 31 TVK放送 LXX - 02 01 32 0 BS-8 94 BS-9 86 BS-10 74 BS-11 62 BS-12 54 BS-13 48 BS-14 46 BS-15 42 BS-16 36 BS-17 31 BS-18 26 BS-19 21 BS-20 16 BS-21 11 BS-22 4											

地上デジタル放送の
受信状態一覧

BSデジタル放送と110度CSデジタル
放送の受信状態一覧

解決方法

現在の地域設定

お住まいの地域に設定されていない場合、地上デジタル放送を正しく受信できません。

受信状態一覧で、最新の状態を表示するには

- 決定を押します。（表示が切り換わるまで時間がかかる場合があります。）

故障かな？と思ったら



放送が受信できないときに確かめること

終了

4. 確認したら、○を押して受信状態一覧の画面を消す

- アンテナとの接続について
⇒同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」をご覧ください。
- かんたん初期設定をやり直すとき
⇒同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」をご覧ください。

お知らせ

BS・110度CSデジタル放送について

- デジタル放送には有料放送があります。視聴するには、視聴契約する必要があります。BS・110度CSデジタル放送が受信できない場合は、視聴契約がお済みかどうかご確認ください。

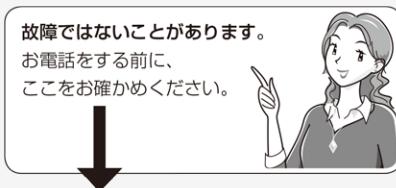
110度CSデジタル放送を初めて選局するときは

- ①CSデジタル放送を選びCS100chを選局し、約5秒待つ
- ②CS001chを選局し、約5秒待つ
(2014年10月現在CS001chは放送されていません。)
- ③番組表で選局したい放送局のチャンネル番号が表示されている事を確認する(⇒ [3ページ](#))

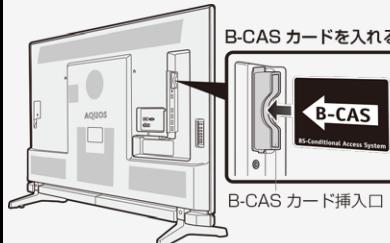
故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは([E202]と表示される)



こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
映像も音声も出ない  	アンテナケーブルは接続されていますか。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
	端子を間違えて接続していませんか。	—
	アンテナケーブルが切れていませんか。	—
	BS・CSアンテナ電源設定を「オート」にしてみてください。「オート」に設定している場合は「入」にしてみてください。	10-1 ~ 10-4
	B-CASカードは正しく挿入されていますか。	

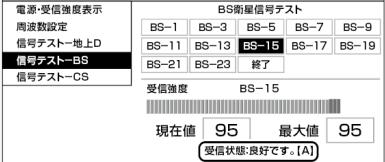


同梱の取扱説明書
「テレビを見るための準備」

故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは([E202]と表示される)

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
映像にノイズ(モザイク状／ブロック状)や線が入ったり、ちらついたりする。 音声が途切れる。 映像が映らない／映らなくなる。 	<p>アンテナの向きは正しいですか。</p> <p>「受信状態：良好です。[A]」と表示されていることを確認してください。表示が異なる場合は、アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ（⇒11-42ページ）をご覧になり必要な処置をしてください。</p> 	—
		10-1～10-6
	110度CSデジタル放送の場合は、アンテナケーブルや分配器は110度CS帯域対応のものを使用していますか。	—
BSデジタル放送の一部のチャンネルが視聴できない	<p>WOWOWやスター・チャンネル、スカパー！は有料です。視聴するためには契約をしてください。</p> <p>地デジ難視対策衛星放送については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。（0570-08-2200）</p>	10-24～10-25 10-18
110度CSデジタル放送が視聴できない	<p>アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。</p> <p>デジタル放送には有料放送があります。視聴するには、視聴契約する必要があります。BS・110度CSデジタル放送が受信できない場合は、視聴契約がお済みかどうかご確認ください。</p>	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは([E202]と表示される)

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
画面にノイズが出る	ノイズが出るときはケーブル同士を離すと軽減されることがあります。 アンテナケーブルは正しく接続されていますか。	— 同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
特定のチャンネルだけ映らない	有料放送は視聴契約が必要です。 アンテナの受信強度を確認してください。	10-24～10-25 10-1～10-6・11-5～11-8

- アンテナの接続については、同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」をご覧ください。

全般について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
映像も音声も出ない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 POWER(電源)ランプが緑色に点灯していますか。 テレビ放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 外部機器の映像が出ないとき、正しく入力切換ができるですか。 接続ケーブルが抜けていませんか。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」 3-1 9-49～9-51 9-49～9-51 —

全般について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
リモコンが動作しない	POWER(電源)ランプが緑色に点灯していますか。	3-1
	乾電池の極性(+)、(-)が逆になってしまいませんか。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
	リモコンの乾電池が消耗していませんか。リモコンの使用頻度により乾電池の消耗が早くなる場合があります。リモコンを操作しても時々反応しなくなつたときは、早めに新しい電池と交換してください。アルカリ乾電池をご使用ください。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
	リモコンはリモコン受光部に向けてお使いですか。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
	リモコン番号が本体と一致していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。	2-5 ・ 2-11 ～ 2-12
	リモコン番号切換について動画で案内しています。	11-41
	以下の場合は、リモコンで動作しにくくなります。 <ul style="list-style-type: none">リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていませんか。照明の向きを変えるなどしてみてください。蛍光灯などが近くにありませんか。受信設備の消耗減衰のために(映り等に影響する場合もあります)操作切換が遅くなることがあります。(天候等の環境で受信強度の数値が変動するとノイズの影響を受けています。)電池の端子が酸化(薄黒く)していませんか。室温が極端に低下していませんか。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

全般について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
	音量調整が最小になつていませんか。 「消音」状態になつていませんか。 ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになつていませんか。	3-1 3-2 2-2
映像は出るが音声が出ない	D映像端子を使用する場合、音声端子も接続していますか。	9-47
テレビ放送と各入力の音量が違つて聞こえる	接続されている機器や、再生するディスク等により入力される音声レベルが異なる場合があるため、音量は各入力ごとに設定できます。音量調整は各入力ごとに設定してください。	3-1
BDプレーヤーなどの外部機器の映像が映らない、BDプレーヤーなどの外部機器の映像が映らなくなつた	外部機器の電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 外部機器の電源は入っていますか。 外部機器を接続している入力を選んでいますか。 外部機器からアンテナケーブルがはずれていませんか。	— — 9-49～9-51 —
	映像オフが「する」になつていませんか。 映像ケーブルが抜けていませんか。	4-42 9-42～9-43
	映像「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。 液晶パネルの視野角特性により斜め方向から見ると映像内容によっては、色が薄くなったり、色合いが変わったりする場合がありますが故障ではありません。 分割駆動エンジン設定を「しない」にすると改善されることがあります。	4-28 12-13

故障かな？

故障かな？と思ったら

全般について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
画面が暗い	明るさセンサーの前に物などを置いていませんか。 「映像調整」は正しく調整されていますか。	2-1 4-25～4-33
	「AVポジション」をご確認ください。「標準」でも暗いと感じる場合は、「高精細」を試してください。	4-25
	分割駆動エンジン設定を「モード2」にすると、精細感が高まりますが画面が暗くなります。	4-25・12-13
	「明るさ」、「黒レベル」、「プロ設定」、「ガンマ設定」を調整してみてください。	4-27・4-31
画面が大きくなったり、小さくなったりする	オートワイド機能が「する」になっていませんか。設定を「しない」に変更してください。	4-63
画面がちらついたりざらついたりする	「プロ設定」の「デジタルNR」を、「自動」「強」「中」「弱」のいずれかに設定してみてください。	4-32
テレビの上部が熱い	内部の回路から発生する熱で温まった空気が自然な対流により、上部を通って抜ける構造になっているため、上部が温かくなります。本体の温度が異常に上昇したときは画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れます。	—
画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れる	本機の温度が上昇したためです。温度が上昇した原因(直射日光や熱風など)を取り除いてください。	—
	本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面の通風孔がふさがらないように設置してください。	—
	本機の内部や通風孔にたまっているホコリで、外部から取り除けるものはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買いあげの販売店にご相談ください。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

全般について

	ここをお確かめください	参照ページ
リモコンや本体のボタンの操作 ができない	外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。「電源ボタン設定」を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。	4-19
	チャイルドロックが設定されていませんか。誤って設定してしまった場合は、設定メニューの「安心・省エネ」—「チャイルドロック」で「しない」を選んでください。(本体のボタンで操作する場合は⇒ 2-6 ページをご覧ください。)	4-45
	チャイルドロックについて、動画でも確認できます。	11-41
	本体とリモコンのリモコン番号を同じ番号に設定していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。	2-5 ・ 2-11 ～ 2-12
ときどき「ピシッ」と音がする	温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	—
リモコンで電源を切った後に、ときどき「カチ」と音がする(数回鳴る場合があります。)	本機の電源が待機状態のときでも、次の場合は動作している音が鳴ることがあります。 <ul style="list-style-type: none">デジタル放送の録画予約を実行している場合ダウンロードをしている場合有料放送の契約情報を取得している場合地上デジタル放送の番組表の情報を取得している場合	—
時刻表示が画面に出ない	「時刻表示」の設定は「する」になっていますか。	4-22
	リモコンの画面表示ボタンを繰り返し押してみてください。	3-34
時刻表示が消えない	リモコンの画面表示ボタンを繰り返し押してみてください。	3-34

故障かな？

故障かな？と思ったら

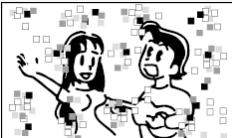
全般について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
字幕表示が画面に出ない	放送によっては、字幕を送っていない場合があります。 字幕の表示方式が「表示しない」になっていませんか。	— 3-30
入力切換をしても選べない	入力スキップが「しない」に設定されていますか。	9-54
電源が勝手に切れる	自動で電源がオフになるモードになってしまいか。受信機レポートで確認してください。	4-64
本体の電源ボタンを押してもPOWER(電源)ランプが消えない	電源ボタン設定が「モード1」になっている場合は、本体の電源ボタンを押して電源を切ってもPOWER(電源)ランプは消えません。赤色点灯(待機状態)となります。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」

故障かな？

故障かな？と思ったら

デジタル放送関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
		
映像も音声も出ない	<p>個人でBS・110度CSデジタル放送用アンテナを設置しているのに、アンテナ電源が「切」になってしまんか。個人でBS・110度CSデジタル放送用アンテナを設置し、そのアンテナに複数の機器を接続している場合で、本機以外の機器の中にも必要に応じてアンテナへ電源を供給する設定がある場合、電源供給のタイミングによってはどちらからも電源供給されない状態になり、映像も音声も出なくなる場合があります。このときは、本機のアンテナ電源を「入」にしてください。</p> <p>その局が放送していない時間帯ではありませんか。</p> <p>ビデオ入力などに切り換えられていませんか。</p> <p>B-CASカードは正しく挿入されていますか。</p>	10-1～10-4
		
• 映像にノイズ（モザイク状／ブロッケ状）や線が入ったり、ちらついたりする • 音声が途切れる • 映像が映らない／映らなくなる	<p>アンテナの向きがずれていませんか。</p> <p>受信状態を確認してください。</p> <p>アンテナの前方に障害物はありませんか。</p> <p>アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。</p>	10-1～10-6 11-5～11-8
		同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」

故障かな？

故障かな？と思ったら

デジタル放送関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
BSデジタル放送の一部が視聴できない	B-CASカードは正しく挿入されていますか。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
	有料放送を視聴するための契約はしていますか。	10-24～10-25
	地デジ難視対策衛星放送(BS291ch～BS298ch)については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。(0570-08-2200)	10-18
110度CSデジタル放送が受信できない	アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	—
	デジタル放送には有料放送があります。視聴するには、視聴契約する必要があります。BS・110度CSデジタル放送が受信できない場合は、視聴契約がお済みかどうかご確認ください。	—
BSデジタル・110度CSデジタル放送に雑音が出たり、まったく受信できなくなる	強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着していませんか。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。	—
	春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰(食)になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。これは故障ではありません。	—
地上デジタル放送が受信できない	お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。	—
	地上デジタル放送の受信に必要なUHFアンテナが正しく設置されていますか。	—
	アンテナ線は正しく接続されていますか。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
	お住まいの地域を地域選択で正しく設定していますか。	10-7
	チャンネル設定は正しくされていますか。	10-9
画面にノイズが出る	VHF/UHFのアンテナケーブルがBS・110度CSデジタルアンテナケーブルと接近していませんか。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

デジタル放送関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
特定のチャンネルだけ映らない	契約していない有料放送ではありませんか。	10-24～10-25
	受信強度を確認してください。	10-1～10-6
	地デジ難視対策衛星放送(BS291ch～BS298ch)については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。(0570-08-2200)	10-18
番組表が表示されない 番組表に表示されない番組がある	地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、番組表に情報が表示されません。番組表取得設定を「する」に設定すると、リモコンで電源を切った(待機状態)ときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。	3-7
	デジタル放送を選局していますか？	—
	電源を入れた後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	—
	スキップをする設定にしていませんか。	10-14
番組の予約をしても受信できない	契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	—
デジタル放送が受信できない	外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。「電源ボタン設定」を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。	4-19
	BSデジタル放送および110度CSデジタル放送を視聴するとき、BS・110度CS共用アンテナ(市販品)およびBS・110度CSデジタル用アンテナケーブル(市販品)を接続していますか。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

インターネット関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
	ブロードバンドルーターや信号変換機器の電源が切れていませんか。 LANケーブルがはずれていませんか。	—
AQUOS Cityのページが表示されなくなった	「ネットサービス制限設定」-「インターネット接続制限」を「禁止しない」に設定してください。	8-7～8-8 8-34
	ブロードバンド回線やプロバイダーのメンテナンスなどにより、接続できない期間ではありますか。しばらく、時間をおいてからもう一度接続してください。	—
文字が読めない文字になった	ブラウザメニューの文字コードを変更してください。	8-47
カーソルボタンでページの続きを表示できない	ページの読み込みが終わるまでお待ちください。	—

故障かな？と思ったら

インターネット関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
インターネットに接続できない	「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする」をご覧いただき、接続・設定状況をご確認ください。	8-1～8-26
	【パソコンをお持ちの場合】	ご使用になっているLANケーブル(CAT5以上)をパソコンに差し込み、パソコンでインターネットに接続できるかどうか試してください。
	【停電などにより、モデムやケーブルモデム、ブロードバンドルーターの電源をいったん切った場合など】	できる場合は、ブロードバンドルーターからLAN側(本機側)の接続・設定を確認してください。できない場合は、ブロードバンドルーターからWAN側(プロバイダー側)の接続・設定を確認してください。 電源が再投入されてから数分程度インターネットが復旧するまで時間がかかる場合があります。
		外部からのノイズなどにより、通信機能に障害が発生した可能性があります。「電源ボタン設定」を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切り、1分間放置した後、再度電源を入れてください。
		4-19

故障かな？と思ったら

インターネット関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
ホームページの音声が聞こえない ホームページの動画が再生できない	本機では、一部の形式の音声ファイル(WAVやAAC／ドルビーデジタル形式の一部)については再生可能ですが、一般的なWebサイトに掲載されている動画や音楽コンテンツ(検索サイトの検索結果など)についてはパソコン向けに作られており、基本的に再生・視聴することができません。本機での動画視聴についてはホームページの「AQUOS City」から選択しお楽しみください。	—
パソコンのインターネット機能でできることができない	本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて以下のような点などが異なりますので、ご了承ください。 <ul style="list-style-type: none">• ファイルのダウンロードはできません。• PDF(電子文書)を読み込む機能はありません。• メールの送受信機能はありません。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

映像配信サービス関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
映像や音声がときどき停止する	お使いのブロードバンド回線は光回線(FTTH)ですか。映像配信サービスをお楽しみになる場合は、光回線(FTTH)が必要です。	8-5
	ご家庭のブロードバンド環境に接続しているパソコンで、大容量のファイルをダウンロードしたり、動画をストリーミング再生したり、別のテレビでも映像配信サービスの再生をしたりしていませんか。回線の使用状況によっては、映像や音声が停止します。他の機器の使用を中断したあと、もう一度映像配信サービスを再生してみてください。	—
	本機とブロードバンドルーターをLANケーブルで接続してください。	8-7～8-8
	ブロードバンドルーターなどの機器の性能によっては、通信速度が足りない場合があります。回線事業者やプロバイダーから機器をレンタルしている場合は、ご加入の回線事業者やプロバイダーに確認してみてください。	—
	光回線(FTTH)をご利用の場合でも、ご加入のプランによっては映像配信サービスを再生するために十分な通信速度でない場合があります。ご加入の回線事業者やプロバイダーに確認してみてください。	—
映像配信サービスの画質が悪い	デジタル放送とは異なる方式で映像を配信しているため、デジタル放送のハイビジョン放送と画質が異なります。	—
	映像の圧縮率が高いコンテンツの場合は、低画質になります。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

Miracast関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
スマートフォンと Miracast接続でき ない	「スマートフォンなどをMiracastでつなぐ」の手順を確認してください。	9-58
	スマートフォンの設定を確認してください。 Miracastの接続方法については、スマートフォンの取扱説明書をお読みください。(スマートフォンによっては、「Miracast」を「ワイヤレス出力」と表記しているものがあります。)	—
	スマートフォンとテレビの間に障害物はありませんか。また、スマートフォンがテレビから離れすぎていませんか。障害物を取り除き、スマートフォンを近づけてください。	—
	テレビの電源を入れてすぐにスマートフォンからMiracast接続操作を行うと、Miracast接続に失敗することがあります。	—
	電波の干渉元となる電子レンジなどの機器からスマートフォンとテレビを離してください。	—
	スマートフォンによっては、電波状況が悪化してMiracastが切断したときや、テレビの電源を入れ直してMiracastが切断したときなどは、自動的に再接続を行います。この再接続中にスマートフォンから接続操作を行うとMiracast接続に失敗します。	—
	無線LANを使用して次の機能を利用している場合、スマートフォンの操作だけでは接続できません。テレビをMiracast入力に切り換えてください。 <ul style="list-style-type: none">・ アクトビラなどのインターネット・ ホームネットワーク・ 録画した番組のダビング・ IPTV録画の実行・ 本機のサーバー機能による写真や録画番組の配信の実行・ VOD再生中	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

Miracast関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
テレビにスマートフォンの画面が映らない	テレビの入力は「Miracast」になっていますか。	—
	スマートフォンとMiracast接続はできていますか。 ⇒「スマートフォンなどをMiracastでつなぐ」をご覧ください。	9-58
	スマートフォンに映像は表示されていますか。	—
	セキュリティのかかっている映像は表示できない場合があります。	—
表示される映像の縁が切れる、縦横比がくずれる	テレビの画面サイズの設定を確認してください。	4-49
突然接続できなくなったり、画面が更新されなくなった	スマートフォンおよび本機の電源を入れ直してください。	3-1

故障かな？

故障かな？と思ったら

Miracast関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
Miracastの映像が乱れる、音声が途切れる	<p>Miracastは無線を使った伝送システムのため、電波環境によっては映像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。この場合は次のことをお試しください。</p> <p>記載している対応でどうしても改善されない場合は、スマートフォン(MHL／HDMI対応機種のみ)とテレビの入力4を有線(MHLケーブル／HDMIケーブル)で接続することでも、スマートフォンの画面を表示することができます。</p> <p>視聴しているコンテンツに問題があることがありますので、コンテンツをご確認ください。</p> <p>お使いのスマートフォンによっては、Miracastの映像が乱れたり、音声が途切れることがあります。これはスマートフォンの処理能力や無線伝送性能、無線伝送ジッターによる影響のため、本機の故障ではありません。</p>	<p>スマートフォンとテレビを近づけてください。 電波の干渉元となる電子レンジなどの機器からスマートフォンとテレビを離してください。 スマートフォンの位置を変えてください。 「無線チャンネル設定」で使用する無線チャンネルを変更してください。</p> <p>4-11 9-38～ 9-40</p>
スマートフォンを操作すると、映像や音声が途切れる	お使いのスマートフォンによっては、スマートフォン側の操作でMiracastの映像や音声に影響が出ることがあります。 この場合、映像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。これはスマートフォンの処理能力に起因した症状であり、故障ではありません。	—
スマートフォンを放置するとMiracast接続が切れる	スマートフォンの設定によっては、無操作で放置すると、一定時間でスリープ状態に入ることがあります。スリープ状態になると、Miracastが切断されることがあります。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

Miracast関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
スマートフォンにメッセージが表示され接続できない	<p>スマートフォンに「認証に失敗しました」、「ワイヤレス出力できません」などのメッセージが表示され接続できないことがある場合、Miracast接続をやり直してください。 ※お使いのスマートフォンによっては、Miracast接続の操作手順によって、接続に失敗することがあります。この場合は、もう一度スマートフォンの接続操作を行ってください。</p> <p>繰り返し接続に失敗する場合は、スマートフォンおよび本機の電源を入れ直してください。</p>	3-1
Miracast接続すると、スマートフォンのWi-Fiが切れる	<p>お使いのスマートフォンによっては、MiracastとWi-Fiの同時接続ができないものがあります。詳しくはスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。</p> <p>この場合、Miracast接続を行うとWi-Fiが切れたり、Wi-Fi接続を行うとMiracastが切れます。これはスマートフォンの仕様であり、本機の故障ではありません。</p>	—
音声がテレビから出ず、スマートフォンから出る	<p>お使いのスマートフォンによっては、MiracastのHDCP(著作権保護技術)に対応していないものがあります。</p> <p>この場合、Miracast接続でテレビから音声が出なかったり、スマートフォンアプリの映像がテレビに表示されないことがあります。これはスマートフォンの仕様であり、本機の故障ではありません。</p>	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

Miracast関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
スマートフォンアプリの映像がテレビに表示されない	お使いのスマートフォンによっては、MiracastのHDCP(著作権保護技術)に対応していないものがあります。 この場合、Miracast接続でテレビから音声が出なかったり、スマートフォンアプリの映像がテレビに表示されないことがあります。これはスマートフォンの仕様であり、本機の故障ではありません。	—
Miracastの音が小さい	テレビとスマートフォンの音量を確認してください。 Miracast接続では、スマートフォンの音量とテレビの音量の両方が有効になります。	—

故障かな？と思ったら

Bluetooth関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
ペアリングした Bluetooth機器が接 続できない	「スマートフォンなどで再生する音楽を本機で聴く」の手順を確認してください。	9-62
	もう一度ペアリングを行ってください。	—
	お使いのBluetooth機器にパスキー設定があるか、機器の仕様をご確認ください。パスキーが必要な場合は、正しい値を入力しているか確認してください。	—
	本機のBluetooth機能では、受信のみ行えます。本機の音声をBluetoothヘッドホンで聴くなど、本機から他の機器への送信はできません。	—
	無線LANを使用して次の機能を使用している場合は、Bluetooth接続できません。 <ul style="list-style-type: none">・ アクトビラなどのインターネット	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

Bluetooth関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
Bluetooth機器の音声が再生されない	Bluetooth機器と本機を、電波障害が発生する可能性のある機器（コードレス電話、電子レンジ、無線LANルーター、本機と接続しないBluetooth機器など）から離してください。	—
	可能な場合は、近くにある他のBluetooth機器をオフにするか、Bluetooth機能を無効にしてください。	—
	本機の電源を入れ直してください。	3-1
	本機の音声がミュートされていたり、音量が小さすぎないかを確認してください。	3-1 ～ 3-2
	Bluetooth機器で音楽が再生されているか、音量が小さすぎないかを確認してください。	—
	Bluetooth機器を本機に近づけてみてください。	—
	Bluetooth機器のその他の音声出力を停止または切断してみてください（Miracastを停止します、またはイヤホンを取り外します）。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

Bluetooth関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
Bluetooth機器をペアリングできない	機器のペアリングリストで、本機との接続を完了させた事を確認してください(一部の機器ではこの手順が必要です)。	—
	機器でBluetooth機能がオンになっているか確認してください。	—
	機器側が本機を検出可能な状態であるか確認してください(機器によっては検索ボタンを押す必要があります)。	—
	Bluetooth機器を本機に近づけてみてください。	—
	お使いのBluetooth機器でA2DPプロファイルがサポートされているか確認してください。	—
	パソコンに接続している場合は、オーディオ出力機器の設定メニューで本機を選択している事を確認します。接続手順の最後に音声トラックの再生が必要となる場合があります(詳細な手順は、接続する機器の説明書をご覧ください)。	—
	お使いのBluetooth機器の最新バージョンのソフトウェアが入手可能かを確認してください。	—
Bluetooth機器の音質が悪い	Bluetooth機器を本機に近づけてみてください。	—
	Bluetooth機器と本機を、電波障害が発生する可能性のある機器(コードレス電話、電子レンジ、無線LANルーター、他のBluetooth機器など)から離してください。	—
	Bluetooth機器で実行しているアプリケーションの数を減らしてみてください。複数のアプリケーションを実行すると、音声を転送するための処理速度が落ちるため音質が悪くなることがあります。	—
	Miracastをオフしてみてください。	—
	本機の電源を入れ直してください。	3-1
	お使いのBluetooth機器の最新バージョンのソフトウェアが入手可能かを確認してください。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

AQUOSコネクト関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
AQUOSコネクトとテレビの接続ができない	設定メニューの「  (視聴準備)」—「通信(インターネット)設定」—「AQUOSコネクト設定」が「する」になっているか確認してください。 Miracastの接続を行う場合は、テレビの入力をMiracastにしてください。	8-74
スマートフォンを横にしてもテレビの画面が横にならない	スマートフォン側でAQUOSコネクトの詳細設定の「常駐設定」「テレビ画面連動設定」にチェックが入っていることを確認してください。	—

無線LAN関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
無線LANで接続できない	「ブロードバンド環境とLAN環境の用意のしかた」をご覧いただき、ブロードバンド環境をご確認ください。	8-3～8-4
	「無線LAN使用上のご注意」をご覧いただき、接続、設定状態をご確認ください。	1-15～1-18
	無線LANの接続設定を実施されましたか。「アクセスポイントに接続する」をご覧いただき、接続、設定状態をご確認ください。	8-14
	ブロードバンドルーターやアクセスポイントの設定は正しく設定されていますか。機器の取扱説明書をご確認ください。	—
	アクセスポイントの電源が入っていますか。アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。	—
	アクセスポイントの設定はされていますか。アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。	—
	すでにアクセスポイントに接続している機器はありますか。接続している機器の数や設定によっては、接続できない場合があります。本機のみ接続して確認してください。	—
	アクセスポイントを複数台お使いですか。無線のチャンネルや周波数が競合していないか確認してください。	—
	有線接続で接続できますか。「ネットワークの設定を確認する」の手順で、ブロードバンド環境が正しく接続されているか確認してください。	8-27～8-28

故障かな？

故障かな？と思ったら

無線LAN関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
映像や音声が途切れ る、またはつながらなく なった	無線LANアクセスポイントの設置場所は、本機から遠い場所に設置されていませんか。設置環境によっては、電波が小さくなり通信が途切れたり届かなくなります。「無線設定を確認する」をご覧いただき、受信レベルが良好になるように設置位置を変えてみてください。	8-25～8-26
	ご使用の無線LANアクセスポイントが高速無線通信(802.11n／5GHz／40MHz)に対応していない場合、通信速度が足りず視聴ができない場合があります。無線LANアクセスポイントの対応方式と設定を確認してみてください。	—
	無線LANアクセスポイントは、本機以外に、パソコン／ゲーム機などを無線LANで接続していますか。無線LANアクセスポイントに複数のネットワーク機器を同時使用する場合、通信速度が落ちて視聴に影響を与える場合があります。他の機器の接続を停止して本機だけ接続してみてください。	—
	電子レンジ／他の通信機器などを使用していますか。同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉、電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害の影響で、通信速度が落ちて視聴に問題を与える場合があります。他の通信機器の電源を落として確認してみてください。またはアクセスポイントの設定で通信周波数を変更してみてください。	—
	無線LANアクセスポイントに、本機および他の機器から無線設定を行うと、アクセスポイントの無線設定が変更される場合があります。アクセスポイントの設定を確認してみてください。 「無線LAN使用上のご注意」も、合わせてご覧ください。	1-15～1-18
IPTV動画サービスだけ が受信できない	お使いのブロードバンドルーターおよび無線LANアクセスポイントは、IPv6方式に対応していますか。IPv6に対応していない場合は接続できない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書でご確認ください。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

無線LAN関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
無線接続設定ができない	無線LANアクセスポイントの設置場所は、本機から遠い場所に設置されていませんか。設置環境によっては、電波が弱くなり接続できない場合があります。本機の近くに設置して再度設定してみてください。	8-14
WPSプッシュボタン方式で接続できない	無線LANアクセスポイントはWPSプッシュボタン方式に対応していますか。機器の取扱説明書をご確認ください。	—
	無線LANアクセスポイントによっては、WPSボタンを長く押し続ける(約5秒以上など)必要があります。機器の取扱説明書をご確認ください。	—
	アクセスポイントの設置場所が本機から遠い場所にあるなどにより、メニューで「アクセスポイントのWPSボタンを5秒以上押してください」が表示されてから、アクセスポイントのWPSボタンが押されるまでに時間がかかると、接続に失敗する場合があります。アクセスポイントを本機の近くに設置して、短時間でWPSボタンを押せるようにしてから再度設定してみてください。	8-14

故障かな？

故障かな？と思ったら

IPTV関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
ポータル情報が取得できない	お使いのブロードバンドルーターはIPv6に対応していますか。	—
チャンネル登録で失敗する	IPTVのマルチキャスト開通処理が完了していない可能性があります。ポータル画面で回線番号の登録をしてください。	—
テレビ放送やVODの映像が乱れる	使用している光回線をIPv4のインターネット接続と共に用いている場合は、家庭内の別の機器がインターネットに接続しているとテレビ放送やVODの映像が乱れることがあります。	—
ライセンスが無いと表示される	追加契約が必要なチャンネルです。契約状況についてポータルで確認するか、サービス事業者にご確認ください。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

USBハードディスク関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
USB端子に接続したUSBハードディスクが録画機器選択画面に出ない	USBハードディスクの電源が入っていますか。	—
	録画機器選択画面にUSBハードディスクを表示するには、事前に「機器の初期化」をする必要があります。	7-7～7-8
	USBハードディスクが正しく接続・設定されていますか。	7-5
USBハードディスクに正しく録画できない	録画先に指定したUSBハードディスクが録画機器選択画面に表示されていますか。表示されない場合は上記の「USB端子に接続したUSBハードディスクが録画機器選択画面に出ない」の内容をお確かめください。	—
	USBハードディスクに十分な残量がありますか。残量が少ない場合は、不要な番組を削除するか、残量のある別のUSBハードディスクを接続してください。	—

故障かな？と思ったら

USBハードディスク関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
USBハードディスクに録画したコンテンツが表示されない／再生できない	本機に接続しているUSBハードディスクは本機で録画したものですか。本機以外のテレビ受信機で録画されたUSBハードディスクを本機でコンテンツリスト表示／再生することはできません。	—
	本機が故障した際に主要部品を交換していませんか。	—
USBハードディスクが使用できない	使用したい機器が録画機器選択画面に表示されていますか。表示されない場合は、⇒ 11-37 ページの「USB端子に接続したUSBハードディスクが録画機器選択画面に出ない」の内容をお確かめください。	—
	それでも使用できない場合は以下の操作をしてください。 ① テレビ本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグを抜く ② USBハードディスクの電源を入れ直す ③ 本機の電源プラグを差し込んで電源を入れる	—
USBハードディスクに録画した番組が消えた	USBハードディスク使用中に停電や雷などによる瞬間的な停電、USBハードディスクの電源プラグを抜く、ブレーカーを落とすなどで電源が切れませんでしたか。 (上記の場合、録画した番組が消える場合があります。) (録画した番組がすべて消えた場合や、USBハードディスクが動作しない場合は、機器の初期化を行ってください。)	—
	異なるUSBハードディスクをつないでいませんか。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

3D映像関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
3D映像にならない	3D映像を楽しむには専用の3Dメガネが必要です。	—
	3D映像に切り換わっていますか。3D映像信号の中には、自動的に3D映像と認識されないものがあります。この場合は、  を押し、適切な3D映像の表示形式を選んで3D映像に切り換えてください。	5-15
	「3D自動切換」が「しない」になっている場合は、  を押して3D映像に切り換えてください。	5-11
	3Dメガネの電源は入っていますか。	—
	もう一度ペアリングを行ってください。	—
	3Dメガネの動作が2D映像になってしまいませんか。	—
	3Dメガネはテレビからの電波を受けて動作します。 <ul style="list-style-type: none">Bluetooth機器と本機を、電波障害が発生する可能性のある機器(コードレス電話、電子レンジ、無線LANルーター、本機と接続しないBluetooth機器など)から離してください。可能な場合は、近くにある他のBluetooth機器をオフにするか、Bluetooth機能を無効にしてください。	—
メガネの電源が切れてしまう場合	テレビからの電波が途絶えると、自動的に電源が切れます。 <ul style="list-style-type: none">Bluetooth機器と本機を、電波障害が発生する可能性のある機器(コードレス電話、電子レンジ、無線LANルーター、本機と接続しないBluetooth機器など)から離してください。可能な場合は、近くにある他のBluetooth機器をオフにするか、Bluetooth機能を無効にしてください。	—
3Dメガネの電源ランプが点灯しない	3Dメガネの電池が消耗していませんか。	—

3D映像関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
3D映像が二重に見える	テレビの使用環境や3D映像のシーンによっては、3D映像が二重に見えることがあります。 二重に見える症状が続く場合には、3Dでの視聴を控えてください。	—
映像が不自然なとき	3D映像信号によっては、本機で3D映像が正しく表示されないことがあります。 この場合は3Dでの視聴を中止してください。	—
3Dメガネをかけると、部屋の明かりがちらついて見える	部屋の照明器具によっては、部屋の明かりがちらついて見えることがあります。 この場合は、部屋の明かりを暗くするか、もしくは消して視聴してください。	—



ビジュアルガイド

- リモコン番号切換とチャイルドロックなどについて動画で案内しています。
- 当サイト及び動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
- 通信状況、機種、QRコード読み取りアプリケーションの種類、OSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。
- QRコードが読み取れない場合は、「シャープサポート ビジュアルガイド」で検索いただくか、下記アドレスを直接入力してください。

シャープサポート ビジュアルガイド

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/visualguide/index.html#aquos>
(スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)

故障かな？

エラーメッセージが出たら

アンテナ受信強度に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた	参照ページ
受信強度が60以下です。【B】	受信強度が60以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。	10-1～10-6
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。 販売店などにご相談ください。	—
アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。	—
アンテナ信号が良くありません。【D】	アンテナ信号が劣化しています。アンテナの接続、および調整を確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。	—
受信できません。【E】	アンテナが正しく設置されているか確認してください。	—
	アンテナ線を確認してください。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
	アンテナの設定が合っているか確かめてください。	10-1～10-6

故障かな？

エラーメッセージが出たら

B-CASカードや放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
B-CASカードを正しく挿入してください。 B-CASカードを挿入していてもこのメッセージが表示される場合は、カードを差し直してください。	****	B-CASカードを正しく挿入してください。挿入してある場合は、カードを差し直してください。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
このB-CASカードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
このカードは使用できません。 正しいB-CASカードを装着してください。	****	本機に付属のB-CASカードを挿入してください。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	—
このB-CASカードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	—
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	このチャンネル(番組)は視聴できません。	—

故障かな？

エラーメッセージが出たら

B-CASカードや放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
受信状態が悪くなっています。 この番組は降雨対応画面に切り換えることができます。	E201	降雨対応画面に切り換えて視聴していただけか、天気の回復をお待ちください。	10-22
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	****	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	—
〇〇 〇〇〇chが受信できません。リモコンで放送切換や選局を確認ください。またはアンテナの調整・接続を確認ください。雨や雪などの影響で一時的に受信できない場合もあります。	E202	アンテナ線を確認してください。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
		アンテナの設定と受信強度を確認してください。	10-1～10-6 11-5～11-8
		雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	—

故障かな？

エラーメッセージが出たら

B-CASカードや放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	E203	番組表などで放送時間を確かめてください。	—
		受信強度を確認してください。	10-1～10-6 ・ 11-5～11-8
		雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	—
○○○チャンネルが見つかりません。番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	番組表などでチャンネルを確かめてください。	—
アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。受信できない場合は、本体の電源を切つてから、アンテナとの接続を確認してください。	*****	電源を入れ直してください。 BSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できない場合は、本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れ直してください。	10-1～10-6 ・ 同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	—

故障かな？

エラーメッセージが出たら

B-CASカードや放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	****	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。
データが受信できません。	E400	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。
この受信機では、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。
データの表示に失敗しました。	E402	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。

エラーメッセージが出たら

コンテンツマネージャーに関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
接続しているUSB機器の電源容量が大きすぎます。 本体の電源を切ってから、必要なUSB機器のみを接続し直してください。	USB過電流が発生しました。USB機器を多く接続すると、発生する場合があります。 本体の電源を切ってから、使用しないUSB機器を取り外してください。
この形式の写真データは表示できません。 データの容量が大きすぎます。 写真的サイズが大きすぎます。 このデータは表示できません。 次の写真を取得できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。	規格外の写真は表示できません。 なお、パソコンで写真を編集すると、本機で表示できない規格のデータ形式に変更される場合があります。 データの容量が10MB以下のデータとしてください。 画素サイズ8192×8192以下の写真にしてください。 本機で表示可能な仕様のJPEG以外のデータや、壊れたデータは表示できません。 写真取得時サーバー機器に接続できなくなっています。 ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。 またSDカードを持つサーバー機器ではSDカード挿入後ホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
接続できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。	サーバー機器の電源が入っているか、ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。 またSDカードを持つサーバー機器ではSDカード挿入後SDカードの内容をホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。

エラーメッセージが出たら

コンテンツマネージャーに関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
写真を表示できません。 フォルダが削除されたか、機器が再起動された可能性があります。	サーバー機器によっては、サーバー起動直後やデータの追加削除を行うと本メッセージが表示される場合があります。故障ではありません。
接続できません。 接続機器から映像データを取得できません。	サーバーの設定を確認してください。 サーバーによってはBD再生中や設定画面にしていると取得できない場合や、インターネットを利用中は取得できない場合があります。
再生できません。 この形式の映像データは再生できません。	規格外の映像データは再生できません。 本機で再生できる映像データの形式か確認してください。 (「本機で再生できるサーバー上の動画について」 ⇒ 6-9～6-11ページ)
再生できません。 この形式の音楽データは再生できません。	規格外の音楽データは再生できません。 本機で再生できる音楽データの形式か確認してください。 (「本機で再生できるサーバー上の音楽について」 ⇒ 6-8ページ)
フォルダにアクセスできません。 トップフォルダへ移動します。	サーバー機器によっては、サーバー起動直後やデータの追加削除を行うと本メッセージが表示される場合があります。故障ではありません。

故障かな？

エラーメッセージが出たら

コンテンツマネージャーに関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
データを取得できません。 フォルダが削除されたか再起動された可能性があります。 初期画面に戻ります。	メモリーモードを実行する際、前回再生したファイルが削除されたり、サーバーが再起動されたなどにより、データを取得できない場合に表示されます。初期画面よりご利用ください。
接続できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。 初期画面に戻ります。	メモリーモードを実行する際、前回接続したサーバーが起動されていないなどにより、接続できない場合に表示されます。初期画面よりご利用ください。
再生できません。 無線LANのセキュリティを設定してください。	手動で無線LANを設定する場合は、無線LANのセキュリティをWPA2／WPA／WEPのいずれかに設定してください。ただし、WEPはWPA2／WPAに比べ通信速度が低下します。

故障かな？

エラーメッセージが出たら

USBハードディスク利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れているため録画できません。 ハードディスクが認識できないため、録画できません。ハードディスクを接続し直してください。 まもなく録画予約の開始時間です。録画可能なハードディスクが接続されていません。	USBハードディスクを本機に接続してください。 初めて本機に接続するUSBハードディスクの場合は、接続後に初期化(登録)してください。 (⇒ 7-1 ～ 7-8 ページ)
タイトルが一杯です。これ以上録画できません。	USBハードディスクの電源を入れてください。
ハードディスク準備中のため録画できません。	本機で録画できるUSBハードディスクのタイトル数は最大999タイトルです。不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスクに異常があり録画を停止しました。	USBハードディスクの準備が終わるまでお待ちください。
ハードディスクの空き容量がなくなったため録画を中断しました。	USBハードディスクの故障の可能性があります。USBハードディスクの状態をお確かめください。
初期化中のため録画できません。	不要なタイトルを消去してください。
録画できる最大タイトル数を超えてます。	USBハードディスクの初期化(登録)が終わるまでお待ちください。
	本機で録画できるUSBハードディスクのタイトル数は最大999タイトルです。不要なタイトルを消去してから録画してください。

故障かな？

エラーメッセージが出たら

USBハードディスク利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
予約可能時間を過ぎたので、リモコンの録画ボタンで直接録画してください。	リモコンの録画ボタンで、直接録画してください。
予約方法を選択してください。 (録画可能なハードディスクが見つかりません。)	録画可能なUSBハードディスクを接続してください。もしくは、視聴予約／ファミリンク録画予約から予約したい方法を選択してください。
ハードディスクの容量が不足しています。	不要なタイトルを消去してください。
予約できる番組数を超えているため、予約できません。	予約できる番組は、最大32番組です。新しい予約を設定する場合は、ど れか他の予約を消去してください。
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れ ていました。録画前にはハードディスクを接続し、電源を 入れておいてください。	USBハードディスクを本機に接続してください。 初めて本機に接続するUSBハードディスクの場合は、接続後に初期化し ておいてください。 (⇒ 7-7～7-8ページ)
タイトル数の制限を超えたので録画できませんでした。 別の録画用ハードディスクを使用してください。このハー ドディスクに録画を行う場合は、不要なタイトルを消去し てください。	USBハードディスクの電源を入れておいてください。 本機で録画できるUSBハードディスクのタイトル数は最大999タイトルで す。別のUSBハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中の USBハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録 画してください。

故障かな？

エラーメッセージが出たら

USBハードディスク利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
ハードディスクに空き容量がないため、録画できませんでした。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合は、不要なタイトルを消去してください。	録画する前にUSBハードディスクの空き容量をご確認ください。空き容量がない場合は別のUSBハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中のUSBハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスク初期化中のため、録画できませんでした。	USBハードディスクの初期化が終わるまでお待ちください。
ハードディスクに異常があり、録画できませんでした。	USBハードディスクの故障の可能性があります。USBハードディスクの状態をお確かめください。
ハードディスクに空き容量がなくなったため、録画を停止しました。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合には、不要なタイトルを消去してください。	本機で録画できるUSBハードディスクのタイトル数は最大999タイトルです。別のUSBハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中のUSBハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスクに異常があり、録画を停止しました。	USBハードディスクの故障の可能性があります。USBハードディスクの状態をお確かめください。
1タイトルの録画時間が6時間を超えたため、録画を停止しました。1タイトルが6時間以上の連続録画はできません。	1タイトルの録画時間は最長6時間なので、6時間単位で録画してください。
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れているため再生できません。 ハードディスクが認識できないため、再生できません。	本機にUSBハードディスクを接続してください。 また、USBハードディスクの電源を入れてください。

故障かな？

エラーメッセージが出たら

USBハードディスク利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
このタイトルは再生できません。	再生できないタイトルである可能性があります。
再生できるタイトルがありません。	本機に接続されているUSBハードディスクの中に再生できるタイトルがありません。再生できるタイトルが入っている別のUSBハードディスクを本機に接続してください。
記録長が短いため、再生できません。	記録時間が3秒未満のタイトルは再生できません。
日付・時刻が設定されていません。 日付・時刻を設定してください。	時計合わせを行ってください。
この番組は録画できません。	独立データ放送は録画できません。
録画禁止の番組です。	「録画禁止」の番組は録画できません。
番組の時間が未定のため、録画予約ができません。	終了時刻が未定の番組、長さが1分未満の番組、長さが48時間超の番組は録画予約ができません。
1度にダビングできる数を超えています。 次回のダビングで選択してください。	放送番組は、最大8タイトルずつダビングしてください。 より多くのタイトルをダビングしたい場合は、ダビング終了後、新たなタイトルのダビングを行なってください。
対応する機器がありません。	ダビング機能に対応した機器をホームネットワークに接続してください。
録画時間が短いため、ダビングできません。	録画時間が1分未満のコンテンツはダビングできません。

故障かな？

エラーメッセージが出たら

USBハードディスク利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
正常に録画されていないタイトルです。ダビングできません。	何らかの原因で録画が正常に行なわれなかったため、ダビングできないタイトルです。正常に録画されたタイトルを選択してください。
ダビングを実行しますか？ ただし、予約があれば、予約を優先します。	ダビングを開始する時に、予約録画がある場合に表示されます。ダビングよりも予約録画が優先されるため、ダビング中に予約録画が開始された場合にはダビングは中断されます。そのときは、ダビング途中のタイトルはダビング先から消去されますが、USBハードディスクのダビング回数は減りません。
現在、ダビングを実行中です。 中断した場合、ダビングが完了していないタイトルはディスクに残りません。(ダビング回数は減りません。) ダビングを中止しますか？	ツールメニューから「録画停止」を選び、「中断する」を選ぶとダビングを中断することができます。ダビングを中断した場合は対象機器に途中まで移動(ムーブ)/コピーしたタイトルは消去され、USBハードディスクにタイトルが残ります。
ダビングタイトルの作成に失敗しました。 ダビングを中止します。	ダビング対象機器のディスク残量が十分あるか確認してください。または、ダビング先の機器が他の機器からダビング中の場合があります。他の機器からダビングを行なっていないか確認してください。
ダビング先の認証に失敗しました。 ダビング先の機器の設定を確認してください。	ダビングはDTCP-IPという著作権保護技術で保護されています。ダビング先の機器がDTCP-IPに対応しているか設定を確認してください。
ダビング先の機器からダビングをキャンセルされました。ダビング先の機器の状態を確認してください。	ダビング先の機器で録画を開始していませんか？またはダビング先の機器のディスク残容量を確認してください。

故障かな？

エラーメッセージが出たら

USBハードディスク利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
ネットワークに異常が発生しています。ダビングを中止します。	「ブロードバンド環境とLAN環境の用意のしかた」 (⇒8-3～8-4ページ)をご覧いただき、ブロードバンド環境をご確認ください。 ブロードバンドルーターやアクセスポイントの設定は正しく設定されていますか。機器の取扱説明書をご確認ください。 無線LANアクセスポイントは、本機以外に、パソコン／ゲーム機などを無線LANで接続していますか。 無線LANアクセスポイントに複数のネットワーク機器を同時使用する場合、通信速度が落ちてダビングに影響を与える場合があります。他の機器の接続を停止して本機だけ接続してみてください。
ダビングに失敗しました。コンテンツは保護されます。	ダビング対象機器の電源がOFFになっていないか確認してください。機器によっては一定時間アクセスが無いと自動的に省電力モードになる場合があります。その場合には省電力モードにならないように設定してください。
録画予約開始時刻のためダビングをキャンセルしました。	ダビングと録画予約は同時に実行できません。ダビングと録画予約が重なった場合には、録画予約が優先されます。録画予約が終了した後、あらためてダビングを開始してください。
ダビング中はこの機能は使用できません。	以下の機能はダビングと同時に実行できません。 ○USB-HDD録画・再生(録画リストの表示も不可) ○コンテンツマネージャー ○インターネット ○IPTV視聴 ○2画面視聴 上記機能を実行したい場合には、ダビングを中断した上で機能を選択してください。

故障かな？

エラーメッセージが出たら

USB利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
接続しているUSB機器の電源容量が大きすぎます。 本体の電源を切ってから、必要なUSB機器のみを接続し直してください。	USB過電流が発生しました。USB機器を多く接続すると、発生する場合があります。 本体の電源を切ってから、使用しないUSB機器を取り外してください。

故障かな？

エラーメッセージが出たら

双方向通信に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
アクセスできませんでした。[C204]	C204	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
サーバー証明書 ^{※1} が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	C208	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
サーバー証明書 ^{※1} に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	C209	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
双方向サービスを利用するには、デジタル放送接続制限を「禁止しない」に設定してください。	****	「ネットサービス制限設定」-「デジタル放送接続制限」で「しない」を選択してください。⇒ 8-33ページ
まだルート証明書 ^{※2} を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。
サーバー証明書 ^{※1} の信頼性が確認できません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。
まだ新しいルート証明 ^{※2} を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。

※ 1 サーバー証明書……… 暗号化通信に使われる暗号鍵。Webサーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

※ 2 ルート証明書……… 暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

故障かな？

エラーメッセージが出たら

ファミリンク録画時にに関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S05	録画ができない「コンテンツ(放送や番組)」、または録画ができない「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」です。「コンテンツ(放送や番組)」または「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」を確認してください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S06	このネットワークは録画することができません。
	S07	ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。	S09 S10 S11 S12	ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S13	この「コンテンツ(放送や番組)」は録画することができません。
	S14	「コンテンツ(放送や番組)」を確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S16	「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」を確認してください。
録画に失敗しました。 現在、再生中のため録画できません。	S17	再生を停止した後、再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 別の録画を実行中のため、録画できません。	S18	現在録画中のため、新たに録画できません。

故障かな？

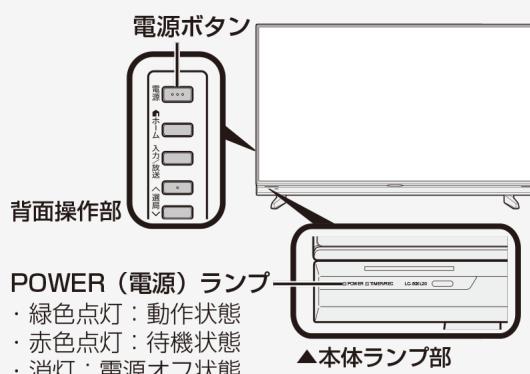
エラーメッセージが出たら

ファミリンク録画時にに関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S19	「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」が書き込み禁止です。 「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」を確認してください。
録画に失敗しました。 放送を受信できないため、録画できません。	S20	放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S21	「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」に録画できません。 「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」を確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能な容量がありません。	S22	「記録メディア(HDD・BD・DVDなどの録画媒体)」の容量を確認してください。
録画に失敗しました。 視聴制限がかかっています。	S23	視聴制限を解除して再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 レコーダーが録画できない状態になっています。	S31	録画機器を確認してください。

本機の操作ができなくなったときは

- 強い外来ノイズ(過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合などに、本機が操作できないなどの異常が発生することがあります。
- このときは、本体の電源ボタンを押して、一旦電源を切ったあと、再度電源を入れてから、操作をやり直してください。
- 電源を入れ直してもまだ操作できないときは、本体の電源ボタンを5秒以上押し続けてください。本機の電源がいったん切れますので、約1分待ってから電源ボタンを押して電源を入れたあと、再び操作をやり直してください。この操作をしてもチャンネル設定やメニュー、予約などの設定項目は保持されます。



お知らせ

- 再度電源を入れた直後はデータ取り込みのため、画面表示には多少時間がかかります。

こんなときは



システム動作テスト

- 本機は、B-CASカードが正しく挿入できているかをテストできます。
- 1. (インターネット) ホームを押してホーム画面を表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
- 2. 上下左右カーソルボタンで「お知らせ」—「システム動作テスト」を選び、決定を押す
- 3. 「テスト実行」で決定を押す

バージョン番号	:	00000000	00000000
		00000000	
		00000000	
システム状態	:		
B-CASカード	:		
DRM番号	:		

テスト実行

- 表示が「テスト実行中」に変わります。テストが終了すると「テスト終了」になります。

こんなときは



システム動作テスト

4. 結果を確認し、「テスト終了」で **決定** を押す

バージョン番号	:	00000000	00000000
		00000000	
		00000000	
システム状態	:	0000-0000-0000-0000	
B-CASカード	:	0000-0000-0000-0000	
DRM番号	:	0000-0000-0000-0000	

テスト実行

- 操作を終了する場合は、**ホーム**を押します。

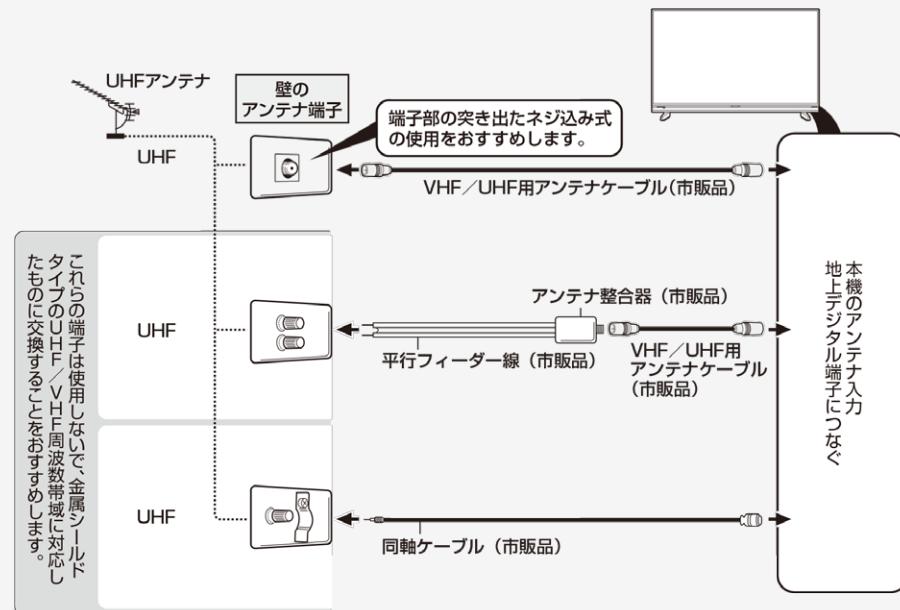
お知らせ

システム動作テストに失敗したときは

- B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
(⇒同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」)

壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合について

- 壁のアンテナ端子のかたちが同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」の記載と異なる場合は、市販品のケーブルなどを使って、以下のように接続します。



停電になったときは

停電時に設定が保持されている項目と設定が解除される項目があります。

- テレビにおける設定内容(設定項目、音量など)は保持されます。
- 番組予約(視聴予約／録画予約)が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
- 時刻設定は消去されます。時刻の自動設定がされないときは、「時刻設定」
(⇒[4-22ページ](#))で設定してください。
- 停電前に下記の状態や設定は解除されます。
 - 静止画
 - オフタイマー
 - 消音
 - 映像オフ
 - 2画面

こんなときは

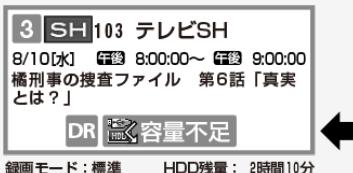


予約設定時のメッセージについて

- 番組表で番組を予約したときに、取得された番組情報に基づいてテレビ画面にメッセージが表示されることがあります。必要に応じて、以下の設定を行ってください。

予約リスト

(⇒[7-46ページ](#))に「容量不足」と表示されるとき



- USB/ハードディスク残時間が不足しており設定した予約が録画できないときに表示されます。
- USB/ハードディスクを接続しているときは、録画リストから不要な番組を消去することで、残量を増やせます。
(タイトル消去⇒[7-73](#)～[7-75ページ](#))

こんなときは



予約設定時のメッセージについて

予約リスト

(⇒[7-46](#)ページ)に「録画不可」と表示されるとき



録画モード: 標準 HDD残量: --時間--分

- USB/ハードディスクを接続していないときに表示されます。
初期化(登録)済み(⇒[7-7](#)～[7-8](#)ページ)のUSB/ハードディスクを接続してください。
- 本機で初期化していない(登録されていない)USB/ハードディスクが接続されているときに表示されます。
接続したUSB/ハードディスクを本機で初期化(⇒[7-7](#)～[7-8](#)ページ)してください。

こんなときは



予約設定時のメッセージについて

「同時に実行できない予約があります。」と表示されるとき

- 重複している予約の中から残す予約を選び、**決定**を押すと、選んだ予約にチェックがつき、取り消される予約に×印が表示されます。
- 残す予約が決まつたら上下左右カーソルボタンで「予約する」を選びます。
- 予約の内容によっては、残す予約を選べない場合があります。

こんなときは



予約設定時のメッセージについて

設定中の予約を残したいとき

- 「予約する」をすると、設定中の予約で設定を完了します。
- すでに設定された予約は、消えます。

すでに設定されている予約を残したいとき

- 「予約しない」をすると、すでに設定された予約が残ります。
- 設定中の予約は、設定されません。

お知らせ

- USB/ハードディスク利用時に関するエラーメッセージ
(⇒ [11-50～11-55ページ](#))も併せてご覧ください。
- 予約した番組によっては、番組情報の取得に時間がかかることがあります。

仕様や索引など

おもな仕様について

品名	液晶カラーテレビ				
形名	LC-60XL20	LC-52XL20	LC-46XL20		
液晶 パネル	表示サイズ	60V型(横133.1cm×縦74.8cm／対角152.7cm)	52V型(横115.2cm×縦64.8cm／対角132.2cm)		
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式			
	画素数	1,920(水平)×1,080(垂直) 画素			
	使用光源	LED			
アンテナ入力	地上デジタル 75Ω 不平衡型、BS/CS-IF 75Ω 不平衡型				
スピーカー	ツイーター×2個、ミッドレンジ×2個、サブウーハー×1個				
音声実用最大出力 (JEITA)	35W (10W+10W+15W)				
使用電源	AC100V・50/60Hz				
消費電力	202W (待機時:0.1W、クイック起動「する」時:37W)	167W (待機時:0.1W、クイック起動「する」時:37W)	152W (待機時:0.1W、クイック起動「する」時:37W)		
年間消費電力量	区分名:DG1 (FHD、液晶倍速、付加機能1) 受信機型サイズ:60V 年間消費電力量:119kWh／年(標準時※)	区分名:DG1 (FHD、液晶倍速、付加機能1) 受信機型サイズ:52V 年間消費電力量:99kWh／年(標準時※)	区分名:DG1 (FHD、液晶倍速、付加機能1) 受信機型サイズ:46V 年間消費電力量:83kWh／年(標準時※)		

※一般的にご家庭で使用する際のメーカー推奨の映像モード。(本機では、AVポジション「標準」の場合です)

仕様や索引など

おもな仕様について

品名	液晶カラーテレビ		
形名	LC-60XL20	LC-52XL20	LC-46XL20
接続端子	HDMI入力4系統4端子(入力1はHDCP2.2対応、入力2はARC対応、入力4はMHL対応、DC5V 500mA)、D5映像入力1系統1端子、ビデオ入力1系統1端子(音声入力／音声出力端子兼用)、音声出力1系統1端子(ビデオ入力／音声入力端子兼用)、デジタル音声出力(光)1系統1端子、アンテナ入力地上デジタル端子、アンテナ入力BS・110度CS端子、ヘッドホン接続端子、USB端子3系統3端子、LAN1系統1端子(10BASE-T/100BASE-TX)、アナログRGB(PC入力)端子		
受信チャンネル	BSデジタル001～999ch、110度CSデジタル000～999ch、地上デジタル(ワンセグを除く)011～528ch (CATV/パススルー対応)		
BS・110度CSチャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK	
	トランスポート	MPEG2システム	
	映像	MPEG2 (MP@HL)	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz	
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz	
地上デジタルチャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重 (OFDM)	
	トランスポート	MPEG2システム	
	映像	MPEG2 (MP@HL)	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz	
	CATV/パススルー対応	UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、VHF帯	

おもな仕様について

品名		液晶カラーテレビ		
形名		LC-60XL20	LC-52XL20	LC-46XL20
外形寸法	ディスプレイ部のみ	幅135.3×奥行6.9×高さ83.3(cm)	幅119.3×奥行7.1×高さ74.3(cm)	幅105.5×奥行7.1×高さ66.3(cm)
	スタンド装着時	幅135.3×奥行36.1×高さ90.0(cm)	幅119.3×奥行29.6×高さ80.4(cm)	幅105.5×奥行29.6×高さ72.5(cm)
本体質量	ディスプレイ部のみ	約27.5kg	約22.0kg	約18.5kg
	スタンド装着時	約29.5kg	約23.5kg	約20.0kg
使用温度		0°C~40°C		

- 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。
- 表示サイズの「××V型」は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
- JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値—高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 年間消費電力量とは：省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
- 年間消費電力量の区分名とは：「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビの画素数、表示素子、動画表示、及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっています。その区分名称を言います。

仕様や索引など

おもな仕様について

内蔵無線LANの仕様について

データ転送速度 (理論値)	IEEE802.11n	300 ~ 6Mbps
	IEEE802.11a/g	54/48/36/24/18/12/9/ 6Mbps
	IEEE802.11b	11/5.5/2/1Mbps
チャンネル (中心周波数)※	5GHz	W52 36、40、44、48ch W53 52、56、60、64ch W56 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch
	2.4GHz	1ch ~ 13ch
セキュリティ	WPA2-PSK(TKIP/AES)【推奨】、WPA-PSK(TKIP/AES)、WEP(128/64bit)	

※基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が2.4GHz帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。

※電波法により、W52／W53は屋外での使用は禁止されています。

別売品について

- 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。
- 本機に適合する別売品が新たに追加発売されることがあります。また、新たに適合となる別売品もあります。ご購入の際には、最新のカタログで適合性をご確認いただき、販売店にご相談の上、お買い求めください。(2014年10月現在)

No.	品名	形名	対応機種
1	壁掛け金具	AN-52AG6	
2	システムラック	AN-R600	LC-60XL20 LC-52XL20
3	システムラック	AN-65SR3	LC-46XL20
4	3Dメガネ	AN-3DG50	

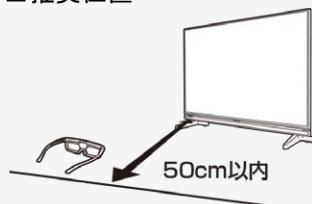
※1 取り付け角度は0°のみ対応しています。

※2 必ず本機の転倒防止金具を使用して、ラックにネジ止めしてください。

3Dメガネ(別売品)とのペアリングについて

- 本機では、別売の3Dメガネで3D対応の映像を見ると、3D映像を楽しむことができます。3Dメガネは本機とペアリングする必要があります。本機を3Dモードに設定し、3Dメガネの電源ボタンを3秒以上長押ししたあと、下記推奨位置に3Dメガネを置いてください。3Dモードの設定方法は⇒[5-9](#)ページをご覧ください。

■推奨位置



お使いの環境によってはペアリングしにくい場合があります。その場合は本機と3Dメガネの位置を近づけて、再度ペアリングを行ってください。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。

また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License(以下、GPL)、GNU Lesser General Public License(以下、LGPL)、またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPLおよびLGPLも、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびにGPL、LGPLおよびその他のライセンス契約の確認方法については、以下のWEBサイトをご覧ください。



シャープGPL情報公開サイト
<http://www.sharp.co.jp/support/aquos/source/download/index.html>
(スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)

なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

お知らせ

- ホーム画面の「設定」—「 (お知らせ)」—「ソフトウェアライセンス」を選択すると、本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示することができます。

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
この製品に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

MP3はFraunhofer IISおよびThomsonからライセンスされたMPEG Layer-3音声コーディング技術です。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、ロヴィ社の許可が必要です。また、その使用は、ロヴィ社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計したLCフォント(複製禁止)が搭載されています。LCフォント、LCFONT、エルシーフォント及びLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部LCフォントでないものも使用しています。

本機で使用している特許など

商標・登録商標など

- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DLNA[®], the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED[™] are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの認証マークです。
- Wi-Fi CERTIFIED[™]、Wi-Fi Direct[™]、Wi-Fi Protected Setup[™]、WPA2[™]、Wi-Fi CERTIFIED Miracast[™]、Miracast[™]はWi-Fi Alliance の商標です。
- Bluetooth[®]のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、シャープ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interface用語およびHDMIロゴは、米国およびその他国々において、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- MHL、MHL ロゴ、およびMobile High-Definition Link は、米国およびその他の国におけるMHL,LLC の商標または登録商標です。
- 「DiXiM」は、デジオンのホームネットワークソリューションです。詳しくは、デジオンWebサイト(<http://www.digion.com/>)をご覧ください。
- 本機は、THX[®]社が定めるホームシアター用のディスプレイ規格(THX Certified Display Standard)に準拠した映像品位を実現しました。(本機の映画(THX)モード使用時)
- THX およびTHX ロゴは、いくつかの法域で登録されている、THX Ltd. の登録商標です。無断複写・転写を禁じます。
- This product is embedded with technology owned by and under license from G-cluster Global Corporation.

powered
by  **espial**

<http://www.espial.com>

用語の解説

1080p、720p、1080i、480p、480i

映像の種類	画質(放送の種類)
1080p	走査線1125本(有効走査線1080本)、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
720p	走査線750本(有効走査線720本)、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
1080i	走査線1125本(有効走査線1080本)、インターレース方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
480p	走査線525本(有効走査線480本)、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンに近い画質です。
480i	走査線525本(有効走査線480本)、インターレース方式。 地上アナログ放送(VHF/UHF)やBSアナログ放送と同等の画質です。

1080p(24Hz)

映像信号の方式の1つであり、フィルム映画などは、この方式により毎秒24コマ(24p信号)で撮影されています。

16:9

デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4:3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

AAC(Advanced Audio Coding)

デジタル放送は、限られた電波を有効利用するため、映像や音声などを圧縮してから送信されます。

AACはデジタル放送で利用されている音声圧縮方式で、圧縮率が高いにもかかわらず、高音質で多チャンネル音声(5.1チャンネルサラウンドなど)にも対応できる方式です。

B-CASカード(ビーキャスカード)

各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS／110度CS／地上デジタル放送視聴用ICカードのことです。B-CASカードを受信機に挿入すると、接続されたデジタル放送の視聴が可能となります。また、有料放送の視聴を希望される場合は、放送局への申し込みが必要です。詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

Cookie

Webサイトから、ブラウザに対して一時的に書き込まれる情報です。

例えば、買い物ができるWebサイトでは、購入したい商品を選んだときに情報が書き込まれ、選んだ商品を確認するときや、商品の代金を計算するときに利用されます。

DLNA(Digital Living Network Alliance)

デジタル機器の相互接続を実現させるための標準化活動を推進している団体です。

デジタルAV機器やPCなどがホームネットワーク内で画像や音楽などのデータをやり取りするためのガイドラインを定めています。

用語の解説

EPG (Electronic Program Guide)

デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。本機では、電子番組表から番組を選んで選局や録画予約をすることができます。

HDMI (High Definition Multimedia Interface)

ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるAVインターフェースです。高精細な映像入力に対応しています。

IP (Internet Protocol)

インターネットでの通信に関する規約のことです。ネットワークに接続された機器はIPを利用して通信していて、機器ごとにIPアドレス(住所のようなもの)が割り振られています。

IPv6 (Internet Protocol Version6)

インターネットでの通信に関する規約のことです。

インターネットに接続された機器はIPを利用して通信していて、機器ごとにIPアドレス(住所のようなもの)が割り振られています。近年インターネットの普及により、従来のIP(IPv4)では数が足りなくなってきたため、新しくIPv6方式が定めされました。

IPTV

IPTVとはブロードバンドの光回線(FTTH)を使って受信するテレビ放送などのサービスです。テレビ放送サービスやビデオオンデマンドサービスなどがあります。2014年10月現在、株式会社NTTぷららより、IPTVサービスとして「ひかりTV」が提供されています。

用語の解説

MPEG(Moving Picture Experts Group)

デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要です。MPEGは、デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

PCM(Pulse Code Modulation)

音楽CDやDVDビデオなどは、音声がデジタルデータで記録されています。音楽CDで利用されているPCMは、音声などを数値に変換してデジタルデータにする方式のひとつです。圧縮を行わないで、原音に近い高品質な音を再現できます。

USB(Universal Serial Bus)

パソコンなどに周辺機器を接続するための規格のひとつです。
プリンターやハードディスクなど様々な周辺機器が発売されています。

WAN

Wide Area Network(ワイド・エリア・ネットワーク)の略で、コンピューター・ネットワークの形式のひとつです。広域通信網とも呼ばれ、大きな規模で用いられています。

インターレース(飛び越し走査)

テレビやビデオの画像表示では、有効走査線のうち、まず奇数番めの有効走査線を描きます(この1画面を1フィールドといいます)。次に偶数番めの有効走査線を描きます。これで、1枚の完全な画像(フレーム)を作っていく方式です。「480i」「1080i」の「i」はインターレース(interlaced)を表します。

用語の解説

高画質アクティブコンディショナー

見ている映像に応じて自動的にコントラストや色を調整し、ノイズを低減してみやすい映像が楽しめます。
映像調整一プロ設定のアクティブコントラスト「する」、デジタルNR「自動」のときに有効です。

(⇒[4-31](#)・[4-32](#)ページ)

ハイビジョン放送

デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が480本の有効走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は720本や1080本の有効走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

プログレッシブ(順次走査)

飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。480pの場合、480本の有効走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「480p」「720p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を表します。

分割駆動エンジン設定

・高精細な映像を表示する液晶の駆動回路の設定です。

映像を画素単位で再現するのとは異なり、映像の明るさ信号を縦と横方向で2倍にし、画素を分割して再構成した上で、映像の表示を行います。

分割駆動エンジン設定「モード1／モード2」を選択すると、画素より小さなエリア単位での液晶駆動になるため、「しない」に比べて、斜め方向への光の透過が減り、視野角を広げる効果が低下します。

また「モード2」を選択すると、画素より小さなエリア単位の縦方向の分割効果を上げるため、明るさを抑えます。

・4K映像のHDMI入力時は、画素を分割して駆動する「モード1／モード2」では、正しく表示できないことがあります。

用語の解説

画面サイズ切換の設定項目

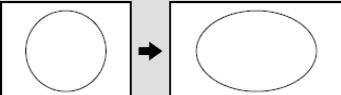
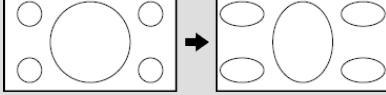
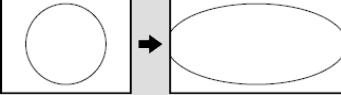
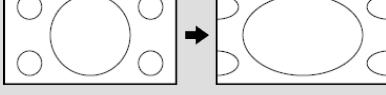
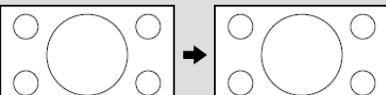
映像の種類(⇒[12-9ページ](#))によって、選べる画面サイズは異なります。

項目	内容		
ノーマル			<ul style="list-style-type: none">通常のテレビ(4:3サイズ)の映像をそのまま映します。
シネマ			<ul style="list-style-type: none">シネスコまたは16:9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。
フル			<ul style="list-style-type: none">16:9から4:3に圧縮された映像を元の16:9に戻して画面いっぱいに映します。
スマートズーム			<ul style="list-style-type: none">通常4:3映像をより自然に拡大して映します。

用語の解説

画面サイズ切換の設定項目

映像の種類(⇒[12-9ページ](#))によって、選べる画面サイズは異なります。

項目	内容
ワイド4:3	
	
ワイド16:9	
	
Dot by Dot アンダースキャン	

索引

- 本体およびリモコンの「各部のなまえ」については、
⇒[2-1](#)～[2-10](#)ページをご覧ください。
- 用語については、
⇒[12-9](#)～[12-15](#)ページをご覧ください。

英数字・記号	
110度CSデジタル放送	3-1 ・ 10-6 ・ 10-19 ・ 11-8
2D→3D変換効果調整	5-21
2画面	3-11 ～ 3-24
3D(AVポジション)	4-25
3D視聴時間お知らせ設定	5-22
3D自動切換	5-11 ～ 5-12
3Dストレッチ	5-14
3Dメガネ	5-1 ～ 5-2 ・ 12-5
3行入力	4-48
AAC	12-10
AQUOS City	8-37
AQUOSインフォメーション	8-76 ～ 8-78
AQUOSインフォメーション設定	8-76 ～ 8-78
AQUOSオーディオ	9-3 ～ 9-4 ・ 9-33 ～ 9-34
AQUOSコネクト設定	8-74
AQUOSレコーダーに録画する	9-20 ～ 9-28

英数字・記号	
ARC設定	9-33
AVポジション(画質切換)	4-25
B-CASカード	4-65 ・ 12-10 ・ 同梱取扱説明書
B-CASカード番号表示	4-65
Bluetooth	9-62 ～ 9-66
BS・CSアンテナ電源	10-1 ・ 10-3 ・ 同梱取扱説明書
BSデジタル放送	3-38 ・ 10-2 ・ 10-18
CATV(ケーブルテレビ)	同梱取扱説明書
Cookie(クッキー)	12-10
Dot by Dot (ドット・バイ・ドット)	12-15
DR(標準)	7-33 ～ 7-35
DTCP-IP	6-9
DVI端子	9-72
D-コンポーネント変換ケーブル	9-42
D端子	9-42 ・ 9-47

索引

英数字・記号	
D端子識別	4-63
HDMI	2-2 ・ 9-1 ～ 9-6 ・ 9-36 ・ 9-39 ・ 9-41 ・ 9-45 ・ 9-72 ・ 9-73
HDMIコンテンツタイプ連動	4-61
HDMI識別	4-63
IPTV(ひかりTV)	8-50
IPTV設定	8-53 ・ 8-56
IPアドレス	8-31
JPEG	6-4 ・ 6-7
Language(言語)	13-4 ～ 13-7
LAN設定	8-10 ～ 8-32
MHL	9-38
Miracast	9-58
Miracast設定	9-59 ～ 9-61
PC(AVポジション)	4-25
PCM	4-59 ・ 12-12
POWER(電源)ランプ	2-1 ・ 3-1 ・ 11-2
TIMER/REC(タイマー／録画) ランプ	2-1
USBハードディスク	7-1 ～ 7-13
USBメモリー	6-1 ～ 6-5
VOD操作パネル	6-34 ・ 8-69 ・ 8-71

あ行	
アイコン一覧(番組表)	3-4
明るさ	4-27
明るさセンサー	2-1
明るさセンサー(OPC)	4-26
明るさセンサー(OPC)設定	4-33
アクティブコントラスト	4-31
暗証番号設定	4-17
安心・省エネ	4-40 ～ 4-47
アンダースキャン	12-15
アンテナ設定	10-1
アンテナの接続	同梱取扱説明書
一日の累計視聴時間表示	4-44
色あい	4-28
色温度(映像調整)	4-29
色の濃さ	4-28
インターネット	8-37
裏番組	3-2
映画	4-25
映画THX	4-25
映画THX環境設定	4-26
映画(クラシック)	4-25
映像	4-27
映像オフ	4-42

索引

あ行	
映像切換	4-48 ・ 4-69 ・ 7-63
映像調整	4-25 ～ 4-33
映像判別	4-63
枝番	10-11 ～ 10-13
追いかけ再生	7-56
オートチャプター設定	7-14
オートボリューム	4-34
オートワイド	4-63
お知らせ	4-64 ～ 4-66
お知らせタイマー	3-53 ～ 3-55 ・ 4-71
おすすめキーワード登録	4-45 ・ 4-74 ・ 4-76
お手入れのしかた	1-11 ・ 1-12
おはようタイマー	3-46 ～ 3-52
オフタイマー	3-39 ～ 3-41
おやすみタイマー	3-42 ～ 3-45
音質補正	4-37
音声切換	2-8 ・ 3-28 ・ 4-48 ・ 7-63
音声調整	4-34 ～ 4-39
「温度」の文字点滅表示	11-14
か行	
外部端子設定	4-57 ～ 4-61 ・ 9-52
各種設定	4-17 ～ 4-23
画質	4-28
壁掛視聴設定	
画面位置	4-38
画面サイズ	4-62
画面表示設定	4-49 ・ 12-14
画面表示(チャンネルサイン)	4-62 ～ 4-63
かんたん初期設定	3-34 ・ 3-35 ～ 3-36
乾電池の入れかた	同梱取扱説明書
ガンマ設定	4-31
機器の初期化 (USBハードディスクの初期化)	7-7 ～ 7-8
機器のメディア切換	9-21
機能切換	4-48 ～ 4-63
起動モード設定	4-20
クイック起動設定	4-20
黒レベル	4-27
ケーブルテレビ(CATV)	10-10 ・ 同梱取扱説明書
ゲーム(AVポジション)	4-25
ゲーム(3D)(AVポジション)	4-25
ゲーム時間表示設定	4-44
検索履歴リセット	4-47
降雨対応放送	10-22
高音	4-35

索引

か行		さ行	
高精細	4-25	受信強度	10-2 ～ 10-6 ・ 同梱取扱説明書
声の聞きやすさ	4-39	受信機レポート	4-64
個人情報初期化	4-24	仕様	12-1 ～ 12-3
コンテンツマネージャー	6-1 ～ 6-36	消音	3-2
さ行		使用温度	1-14 ・ 12-3
サーバー証明書	11-57	照明オフ連動	4-40
再生(USBハードディスク)	7-52 ～ 7-64 ・ 7-80	垂直位置	4-62
サラウンド	4-36	水平位置	4-62
残量(録画時間) (USBハードディスク)	11-65	スキップ設定	10-14 ～ 10-16
時刻設定	4-22	スキップ(チャンネル)	8-59 ・ 10-14 ～ 10-16
時刻表示	4-22	スタンド	同梱取扱説明書
システム動作テスト	11-61	スマートズーム	12-14
視聴準備	4-4 ～ 4-24	スマホスクリーン	3-19 ～ 3-23
視聴操作	4-48 ～ 4-50	セーブモード／ セーブモード設定	4-41
視聴年齢制限設定	4-18	静止	3-25
視聴メニュー	7-61	セキュリティ	8-43
視聴履歴リセット	4-47	設定	4-4 ～ 4-66
自動録画予約	7-42 ～ 7-44	選局	3-1
シネマ(画面サイズ)	9-70 ・ 12-14	選局キー	9-13
字幕(切換)／字幕表示	3-29 ～ 3-33	操作切換(2画面)	3-18 ～ 3-29
ジャンル連動	4-51	双方向通信	8-1

索引

さ行	
ソフトウェアキーボード	4-80
ソフトウェアの更新	4-66
た行	
タイトル(録画した番組)	7-52 ～ 7-55
タイトル消去(USB/ハードディスク)	7-73 ～ 7-75
タイトル番号(USB/ハードディスク)	7-63
タイトル保護(USB/ハードディスク)	7-67 ～ 7-72
タイトル名変更	7-76
ダイナミック／ ダイナミック(固定)	4-25
タイマー／録画(TIMER/REC)ランプ	2-1
タイマー機能	3-39 ～ 3-55
ダウンロード設定	4-18
ダビング	7-81 ～ 7-83
地域設定	10-7 ～ 10-8
地上デジタル放送	3-1 ・ 10-7 ～ 10-10 ・ 10-17
地デジ難視対策衛星放送	10-16 ・ 10-18 ・ 11-18 ～ 11-19
チャイルドロック	4-45 ・ 11-41
チャプター	7-15 ・ 7-21 ～ 7-22 ・ 7-63
チャンネル	3-1
チャンネルサイン(画面表示)	3-27 ・ 3-34 ～ 3-36

た行	
チャンネル設定	4-4 ・ 8-56 ・ 10-11 ～ 10-13
チャンネル番号(3桁)	3-3 ・ 10-13
通信(インターネット)設定	8-10 ～ 8-36 ・ 8-53 ～ 8-59
ツール	4-67 ～ 4-79
ツールバー	8-44
つづき再生(USB/ハードディスク)	6-32
低音	4-35
データ放送	3-37 ～ 3-38 ・ 10-17 ～ 10-20
デジタルNR	4-32
デジタル音声設定	4-59
テレビ放送設定	4-5 ～ 4-6 ・ 10-2 ～ 10-16
テレビ／ラジオ／データ	3-7
テレビ／ラジオ／データ／ポータル	3-38 ・ 4-48
電源(POWER)ランプ	2-1 ・ 3-1 ・ 11-2
電源コードをつなぐ	同梱取扱説明書
電源の入／切	3-1 ・ 11-2
電源ボタン設定	4-19
転倒防止	同梱取扱説明書
時計設定	4-22

索引

た行	
時計タイプ	4-22
な行	
二重音声	3-29
日時移動	3-7
入力3音声選択	4-58
入力6音声選択	4-58
入力／音声出力切換	4-58
入力解像度(PC入力信号の解像度)	9-68
入力切換	9-49 ～ 9-54 ・ 9-71
入力スキップ	4-60
入力表示	4-61 ・ 4-75
ネットサービス制限設定	4-10 ・ 8-33 ・ 8-49
ノーマル	9-70 ・ 12-14
は行	
早戻し／早送り再生	6-33
バランス	4-35
番組詳細検索	3-7
番組情報	3-26
番組表	3-3
番組表取得設定	3-7
ひかりTV(IPTV)	8-50 ～ 8-71

は行	
ぴったりセレクト	4-25
ビットストリーム	4-59
表示言語	3-31
表示サイズ(インターネット)	8-47
表示方式(字幕表示)	3-29 ～ 3-30
標準	4-25 ・ 4-37
標準(DR)	7-33 ～ 7-35
ファミリンク	9-7 ～ 9-8
ファミリンク機器リスト	9-10
ファミリンク制御(連動)	9-15
ファミリンク設定	9-33 ・ 9-34 ・ 9-39 ～ 9-40
ファミリンク対応レコーダー	9-1
ファミリンクパネル	7-79 ～ 7-80 ・ 9-18 ～ 9-19
ファミリンクレコーダー選択	9-11
ファミリンク録画予約	9-24 ～ 9-28
フィルムモード	4-32
フォト	4-25
付属品	同梱取扱説明書
ブックマーク	8-46
プラットフォーム(運営会社)	8-62 ・ 10-24 ～ 10-25

索引

は行	
フル	9-70・12-14
ブロードバンドルーター	8-5～8-9
プロ設定	4-29～4-33
分割駆動エンジン設定	4-25・12-13
ページ情報	8-47
ヘッドホン(設定)	4-57
別売品	12-5
放送局メッセージ	4-64
放送切換ボタン(地上／BS／CS)	3-1
ポータル	4-48・8-61
ボード	4-65・10-23
ホーム画面	4-1～4-3
ホームメニュー表示	9-16
保証とアフターサービス	14-4～14-7
ま行	
毎週予約	7-66
マルチ音声番組	3-29
見つかる検索	3-7
無信号オフ	4-43
無線LAN	8-9～8-26
無操作オフ	4-43
メディア(テレビ／ラジオ／データ／ポータル)	4-48

ま行	
文字コード	8-47
文字サイズ設定	4-62
文字スーパー表示	4-62
文字入力のしかた	4-80～4-85
「モニター温度」の文字点滅表示	11-14
モノクロ	4-33
や行	
有料放送の視聴契約	10-24～10-25
予約の確認・取り消し・変更	7-46～7-51
予約リスト	7-46
ら行	
リピート再生(USBハードディスク)	7-64
リモコン	2-7～2-12
リモコン番号	2-5・2-11～2-12・4-21
リンク予約(録画予約)	9-28
臨時放送(臨時編成サービス)	10-20
レコーダー電源入／切	9-17
連動起動設定	9-9・9-39
連動データ放送	3-37
録画(USBハードディスク)	7-17～7-39
録画機器選択	9-10
録画消去	7-73～7-75

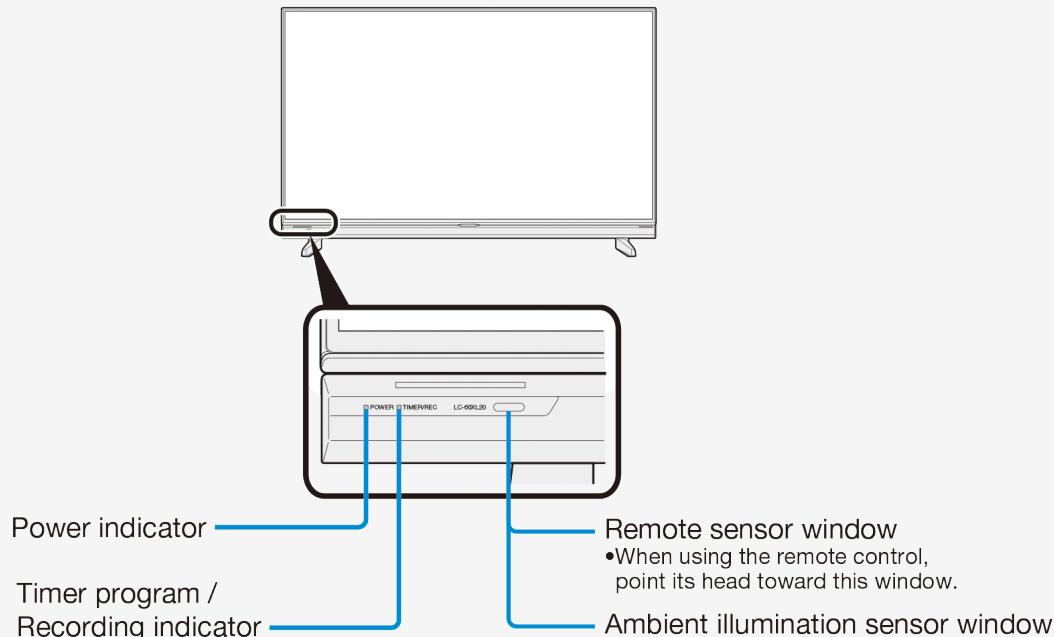
索引

ら行	
録画モードと録画時間	7-33～7-39
録画予約(USBハードディスク)	7-23～7-39 ・ 7-66
録画予約(ファミリンク予約)	9-24～9-28
録画リスト(USBハードディスク)	7-52～7-55
録画リストから再生(ファミリンク)	9-30
わ行	
ワイド 16:9	12-15
ワイド 4:3	12-15
ワンタッチプレー(ファミリンク)	9-32
ワンタッチ録画(ファミリンク)	9-20

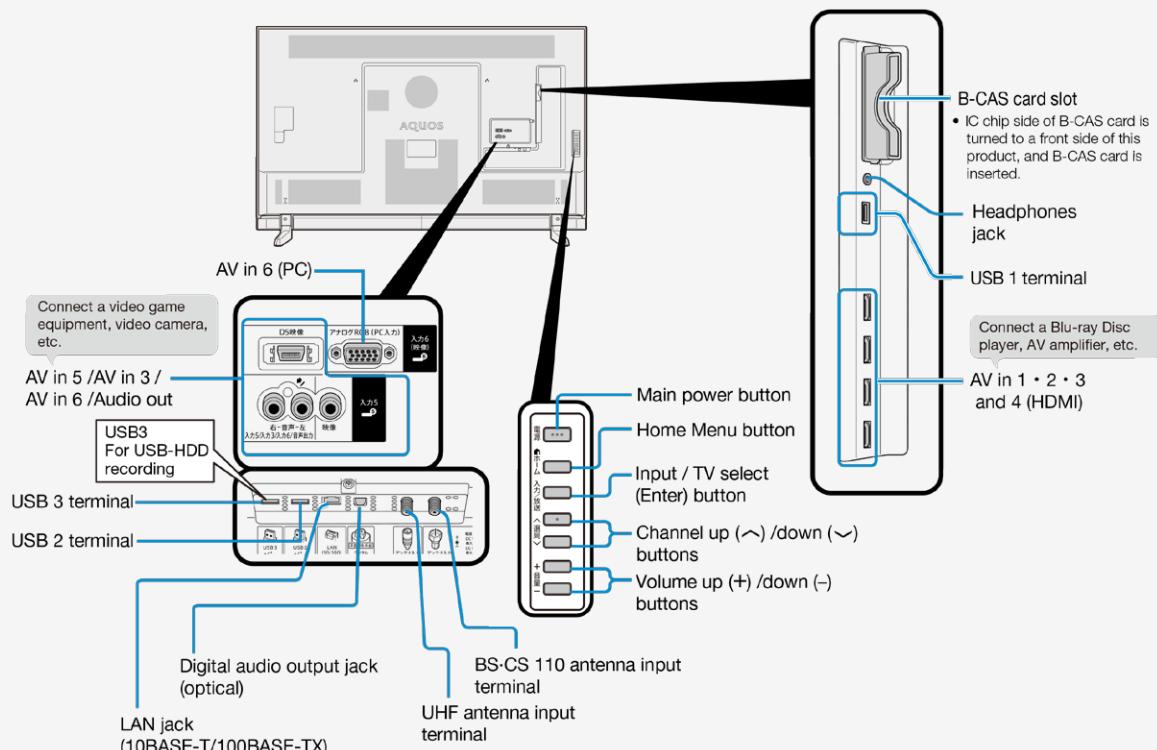
Part Name

The illustrations used throughout this operation manual are based on LC-60XL20.
LC-52XL20 and LC-46XL20 has the same layout of jacks and terminals as LC-60XL20.

FRONT VIEW



BACK VIEW



Remote Control Unit

Active/Standby

Press to engage the TV set in the active or standby mode.

Search

Press to display the Smart search.

Terrestrial digital select

BS

CS

Channel select

Press to select a channel. Use to input a number for various settings.

Audio select

Press to select the audio.

Mute

Press to mute audio.

Volume up (+)/down (-)

Press to adjust the volume.

EPG

Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: 番組表) when receiving a digital broadcast.

Display the "Home" Menu

Press to start some useful operations of the TV.

Other on-air programs

Press to display the EPG for currently on-air programs only(裏番組).

Linked data broadcast

Press to call the data broadcast linked with the current digital TV program.

Finish

Press to finish menu operation, etc.

Color

Use to operate EPGs and data program screens.

• Press to jump to the beginning of the current chapter.

• Press and hold to rewind. When keep on holding, the speed gets faster. (4 levels)

Recording list

Press to display a list of programs recorded onto a USB HDD or AQUOS recorder.



Program info

Press to display detailed information on the current digital program.

Display

Press to display or turn off the channel call, etc.

Operation Guide

Press to display the operation guide.

Sleep timer

Press to select the remaining time period after which the TV set automatically enters the standby mode.

Split screen

Press to switch between the split screen mode and the normal screen mode.

Digital channel number input

Use to select a digital channel by entering the 3-digit channel number.

3D

Press to switch to 3D mode when the TV set receives a 3D signal.

Information

Press to display AQUOS information.

Input select

Press to select the input.

Channel up (^)/down (^)

Press to select channels in the ascending or descending order.

Display the Tool Menu

Return

Press to go back to the previous screen.

Cursor (up, down, left, right)

Use to select a menu item, column, etc.

Enter/Confirm

Press to confirm a selected setting or menu item.

Familink

Press to operate "Familink" Recorders and AQUOS Audio connected via HDMI cables.

• Press to jump to the next chapter.

• Press and hold to fast-forward. When keep on holding, the speed gets faster. (4 levels)



Switching the Display Language to English ホーム画面などの言語を英語にする

Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.

ホーム画面などの画面表示を英語にすることができます。

1. Press (Home) and select “設定” (Setup) with cursor button, and then press (Enter) button.
ホーム画面から「設定」を選ぶ



2. Select “ (視聴準備)” (View Setting) with cursor button.
「 (視聴準備)」を選ぶ





Switching the Display Language to English ホーム画面などの言語を英語にする

Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.

ホーム画面などの画面表示を英語にすることができます。

3. Select “Language(言語)” with cursor button, and then press (Enter) button.
「Language(言語)」を選ぶ





Switching the Display Language to English ホーム画面などの言語を英語にする

Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.

ホーム画面などの画面表示を英語にすることができます。

4. Select “English” with cursor button.
「English」を選ぶ
Press  (Enter) button.
決定する



- The menu screen is now displayed in English.
 - 画面表示が英語になります。



Switching the Display Language to English ホーム画面などの言語を英語にする

Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.

ホーム画面などの画面表示を英語にすることができます。

5. Press  (Home) button to finish this operation.
終了する

お知らせ

誤ってホーム画面を英語にしてしまったときは

- ホーム画面から「Setup」—「🔧 (ViewSetting)」—「言語(Language)」を選んで決定し、「日本語」を選んで決定すると日本語になります。

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。



いつでも便利なWebサービス【SHARPオンラインサポート】



スマートフォン
またはパソコンから
ご覧ください。

ご質問、お困りごとは、気軽にアクセス、しっかりアシスト!

SHARP オンラインサポート

シャープ お問い合わせ

検索



<http://www.sharp.co.jp/support/>

引き取り修理のご依頼、進捗確認も24時間サポート



スマートフォン
またはパソコンから
ご覧ください。

インターネットから修理のお申し込み

シャープ 修理相談

検索



<http://www.sharp.co.jp/support/repair.html>

■取説に掲載のQRコードから誘導されるサイトについてご注意事項があります。同梱取扱説明書の裏表紙をご確認ください。

■製品の「よくあるご質問」への回答を24時間音声ガイダンスでご案内(電話オペレーターにはつながりません)
自動音声案内 フリーダイヤル (携帯電話からもご利用いただけます)

0120 - 001 - 252



使用方法や修理のご相談など【お客様相談センター】 おかげ間違いのないようにご注意ください。

受付時間 (年末年始を除く) ●月曜～土曜: **9:00～18:00** ●日曜・祝日: **9:00～17:00**

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル



0120 - 001 - 251

携帯電話からは、ナビダイヤル



0570 - 550 - 113

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電話	FAX
043 - 331 - 1626	043 - 297 - 2696
〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

お問い合わせ

お客様ご相談窓口のご案内

持込修理および部品購入のご相談は、下記地区別窓口(サービスセンター/テクニカルセンター)でも承っております。

受付時間 (祝日など弊社休日を除く) ●月曜～土曜:9:00～17:40 ただし、沖縄地区は月曜～金曜:9:00～17:40

北海道	•札幌 011-641-4685 〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17	中部	•静岡 054-344-5781 〒424-0067 静岡市清水区鳥坂1170-1	近畿	•大阪 06-6794-5611 〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19
東北	•仙台 022-288-9142 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27		•名古屋 052-332-2623 〒454-0011 名古屋市中川区山王3-5-5	中国	•広島 082-874-8149 〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
関東	•宇都宮 028-637-1179 〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41	近畿	•金沢 076-249-2434 〒921-8801 野々市市御経塚4-103	四国	•高松 087-823-4901 〒760-0065 高松市朝日町6-2-8
東京都	•東東京 03-5855-0432 〒114-0012 北区田端新町2-2-12		•京都 075-672-2378 〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町48	九州	•福岡 092-572-4652 〒812-0881 福岡市博多区井相田2-12-1
	•横浜 045-753-4647 〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23		•阪神 06-6422-0455 〒661-0981 尼崎市猪名寺3-2-10	沖縄	•那霸 098-861-0866 〒900-0002 那霸市曙2-10-1

●お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2014.10)

よくお読みください

保証書(別添)

- 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ 保証期間

お買いあげの日から1年間です。

保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

※本機を分解すると、保証が無効になります。

使い方や修理のご相談など

- 修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、 お買いあげの販売店、またはシャープお客様相談センターにお問い合わせください。
(⇒[14-2ページ](#))

修理を依頼されるときは(出張修理)

- 「故障かな?と思ったら」「エラーメッセージが出たら」
(⇒[11-1 ~ 11-59](#)ページ)を調べてください。
- SHARPオンラインサポートページの「Q&Aよくあるご質問」や「故障診断ナビ」でも確認できます。



SHARPオンラインサポート:
<http://www.sharp.co.jp/support/>
(スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)

- それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品名: 液晶カラーテレビ
- 形名: LC-60XL20/LC-52XL20/LC-46XL20
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけくわしく)
- ご住所(付近の目印もあわせてお知らせください)
- お名前
- 電話番号
- ご訪問希望日

修理を依頼されるときは(出張修理)

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理を依頼されるときは(出張修理)

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検



このような
症状は
ありません
か

- 電源ボタンを押して電源を入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源ボタンを押して電源を切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

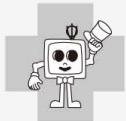
●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

〔熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用的の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。〕

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源ボタンを押して電源を切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全



製品登録の お願い

オンラインでの各種サポートサービスをご利用いただくために、〈SHARP i CLUB〉で
ご愛用製品の登録をお願いいたします。(登録無料)

<http://club.sharp.co.jp/m/>

スマートフォンや
携帯電話はこちらから



■取説に掲載のQRコードから誘導されるサイトについてのご注意 (QRコードは株式会社デンソーウエーブの登録商標です。)

- 当サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。パケット定額サービスにご加入でないお客様は、高額になる可能性がございますのでご注意ください。
- スマートフォンにより、QRコード読み取りアプリケーションが必要となる場合があります。また、通信状況、機種、QRコード読み取りアプリケーションの種類、OSのバージョンによっては正常に動作しない場合があります。詳しくは、お使いの携帯電話会社にお問い合わせください。
アプリケーションのダウンロードに際して、万一お客様に損害が生じたとしても、当社は何ら責任を負うものではありません。
- 当社は、当サイト上のコンテンツやURLを予告なく変更、もしくは削除することがあります。

■廃棄時のご注意

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式、液晶式、プラズマ式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

シャープ株式会社

本

社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号

デジタル情報家電事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地